

---

# 男女共同参画に関する 住民意識調査報告書

---

令和2年9月



飯網町教育委員会  
生涯学習係



# 目 次

I 調査概要	.....	1
II 調査結果		
1 調査項目別結果		
	(調査票設問)	
【1】世の中の男女平等感について	(問 1. 2)	..... 8
【2】用語や制度の認知度について	(問 3)	..... 20
【3】性別役割分担意識について	(問4. 5. 6)	..... 30
【4】子育て・教育について	(問7. 8. 9)	..... 61
【5】仕事について	(問 10. 11. 12. 13)	..... 68
【6】ワーク・ライフ・バランスについて	(問14. 15)	..... 92
【7】介護について	(問16)	..... 98
【8】社会参加(地域活動への参加)について	(問17. 18)	.....100
【9】社会参加(政策・方針決定)について	(問19. 20)	.....106
【10】男女共同参画社会の実現について	(問21, 22, 23, 24)	.....117
2 ご意見・ご要望		.....125
III 調査票		.....133



## I 男女共同参画に関する住民意識調査の概要

### 1 目的

令和3年度を初年度とする「第2次飯綱町男女共同参画計画」を策定する基礎資料を得るとともに、男女共同参画社会づくりを推進するための現状を把握するため、男女共同参画に関する町民の意識調査を実施する。

### 2 実施主体

飯綱町教育委員会

### 3 調査の設計

(1) 調査地域 飯綱町全域

(2) 調査対象 満20歳以上の男女700人

一般的な統計調査を行う際に用いられる標本数を求める算定式により、標本数を求めた後、回収率を考慮し調査対象者(配布数)を設定。

(3) 抽出方法 無作為抽出

対象者の抽出は、個人情報保護に関する例規に基づき町住民環境課に依頼して実施し、年齢層に偏りがないうよう各年齢層(10歳代毎)人口の割合に応じて行った。

(4) 調査方法 郵送法調査(調査票の郵送、返信用封筒による回収)

(5) 調査時期 令和2年5月11日から6月15日

(6) 調査内容等

1) 調査対象者の属性に係る項目(全6項目)

- ①性別
- ②年齢(年代)
- ③婚姻状況
- ④家族形態
- ⑤職業
- ⑥配偶者の職業

2) 男女共同参画に関する項目(全10項目24問)

- ①世の中の男女平等感について(調査票問1・2)
- ②用語や制度の認知度について(調査票問3)
- ③性別役割分担意識について(調査票問4・5・6)
- ④子育て・教育について(調査票問7・8・9)
- ⑤仕事について(調査票問10・11・12・13)
- ⑥ワーク・ライフ・バランスについて(調査票問14・15)
- ⑦介護について(調査票問16)
- ⑧社会参加(地域活動への参加)について(調査票問17・18)
- ⑨社会参加(政策・方針決定)について(調査票問19・20)
- ⑩男女共同参画社会の実現について(調査票問21・22・23・24)

3) 意見、要望等

#### 4 調査対象者数

(人)

年齢区分	女性	男性	計
20歳代	35	39	74
30歳代	50	31	81
40歳代	61	50	111
50歳代	50	59	109
60歳代	70	77	147
70歳代以上	86	92	178
計	352	348	700

#### 5 調査結果

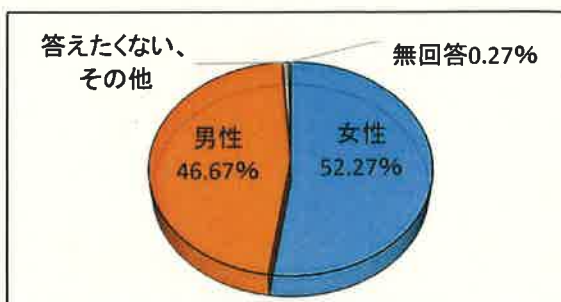
回収数 **375** 人 回収率 **53.6%** (375人/700人×100%)

#### 6 回答者の属性

##### (1) 性別

(人)

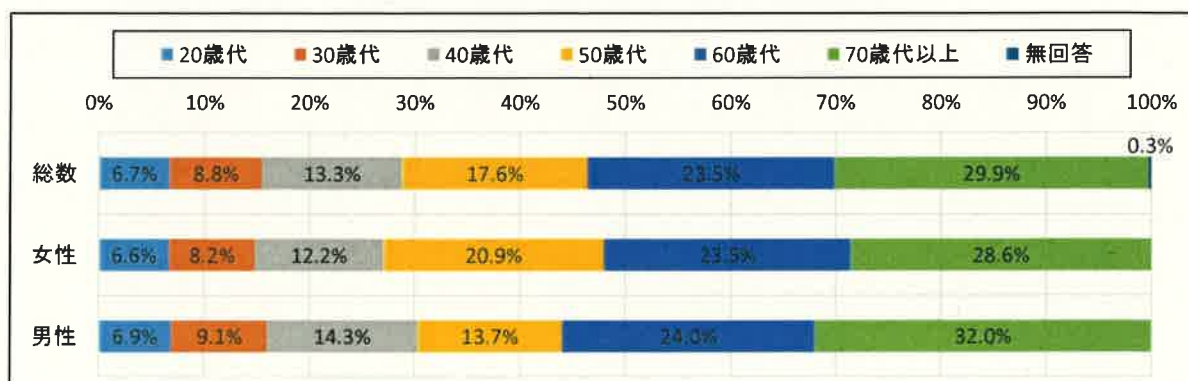
区分	人数
女性	196
男性	175
答えたくない、その他	3
無回答	1
総数	375



##### (2) 年齢(年代)

(人)

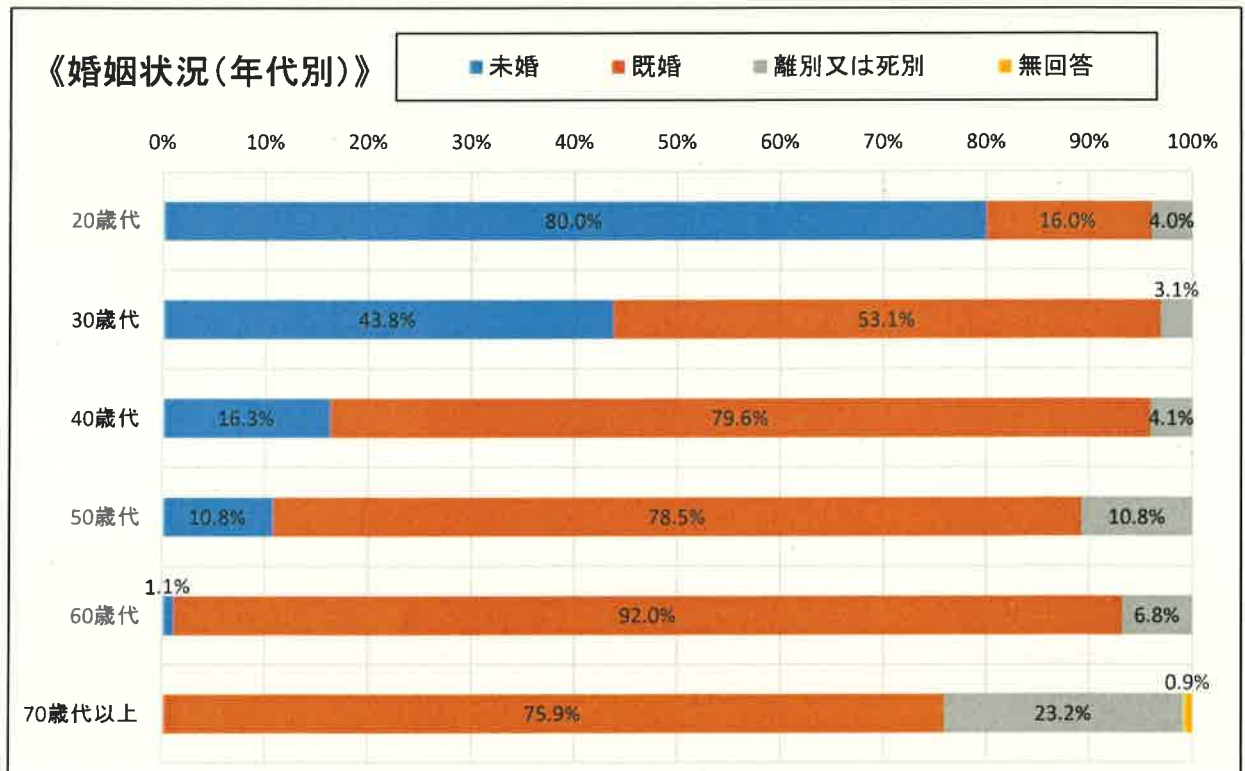
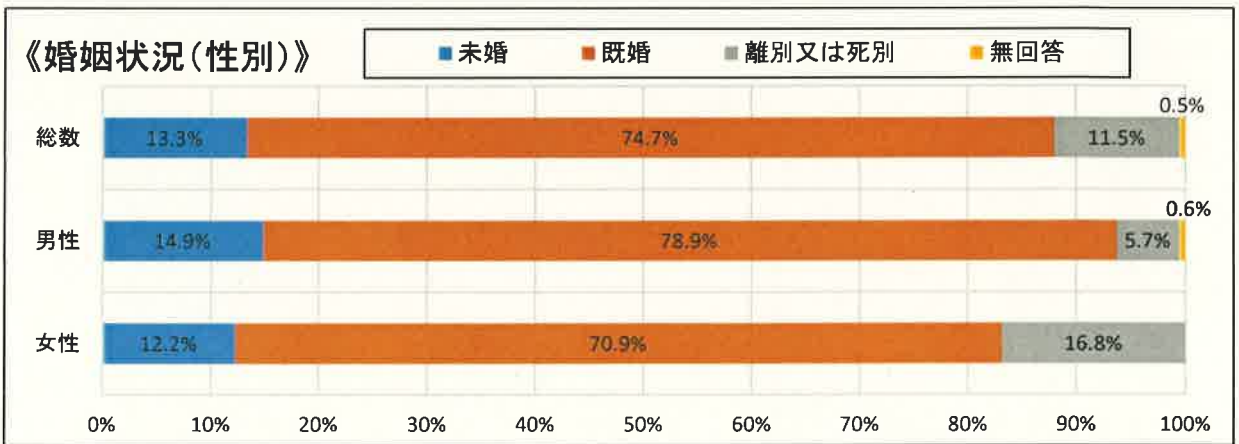
区分	女性	男性	性別無回答	総数
20歳代	13	12	0	25
30歳代	16	16	1	33
40歳代	24	25	1	50
50歳代	41	24	1	66
60歳代	46	42	0	88
70歳代以上	56	56	0	112
無回答	0	0	1	1
計	196	175	4	375



(3) 婚姻状況

(人)

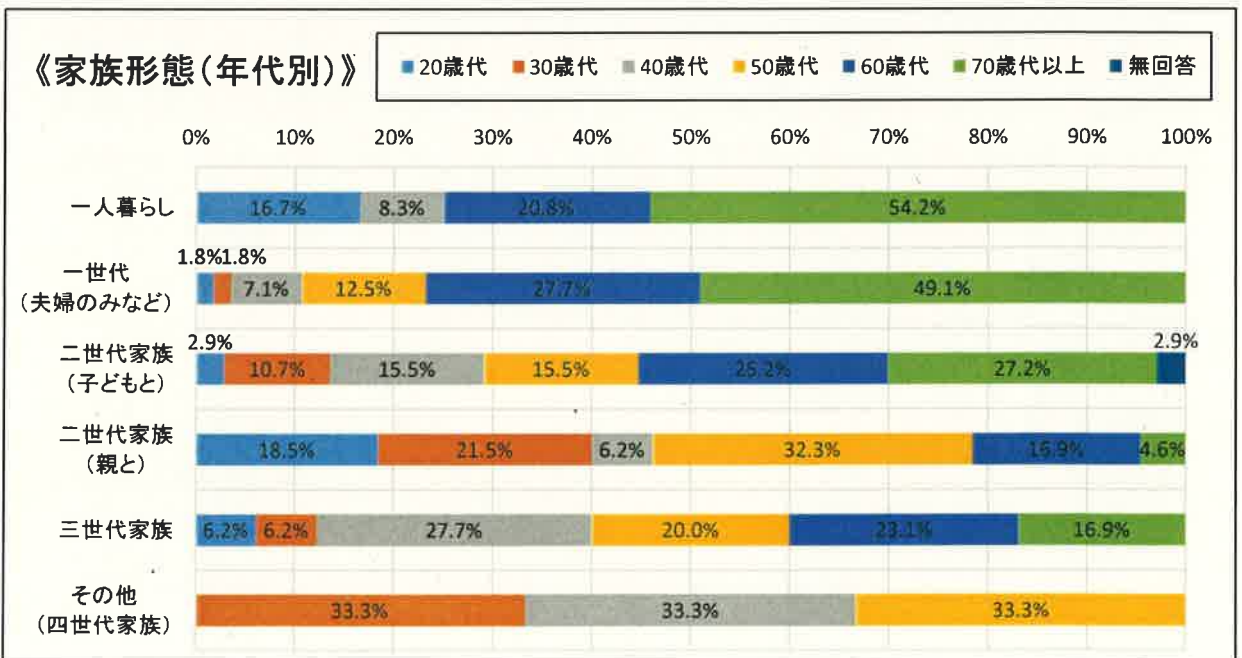
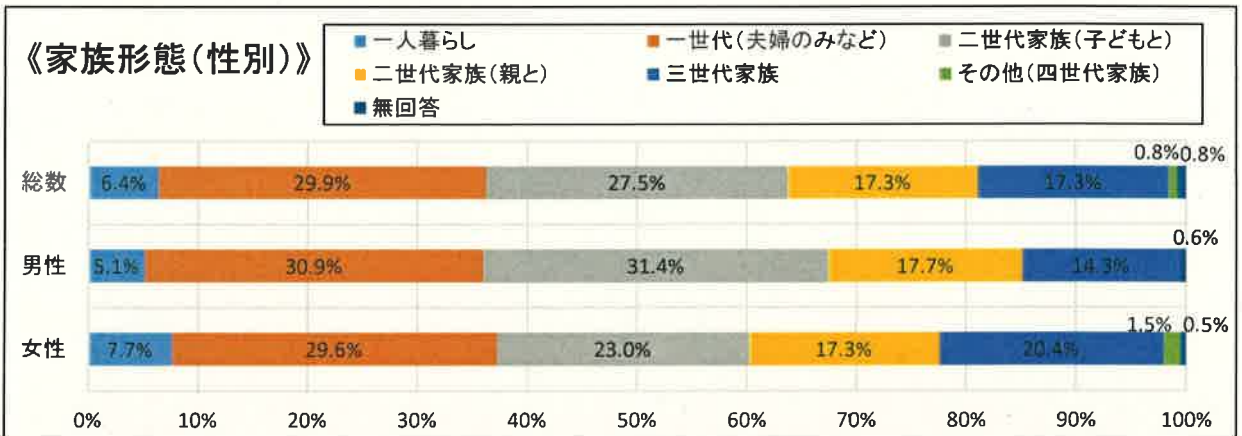
区分	女性								男性								性別無回答	合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計		
未婚	11	5	3	4	1	0	0	24	9	9	5	3	0	0	0	26	0	50
既婚	1	10	21	31	40	36	0	139	3	7	18	20	41	49	0	138	3	280
離別 又は死別	1	1	0	6	5	20	0	33	0	0	2	1	1	6	0	10	0	43
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2
計	13	16	24	41	46	56	0	196	12	16	25	24	42	56	0	175	4	375



(4) 家族形態

(人)

区分	女性								男性								性別無回答	合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計		
一人暮らし	1	0	1	0	5	8	0	15	3	0	1	0	0	5	0	9	0	24
一世代 (夫婦のみなど)	1	1	5	11	16	24	0	58	1	1	3	3	15	31	0	54	0	112
二世世代家族 (子どもと)	1	5	7	9	10	13	0	45	2	6	9	7	16	15	0	55	3	103
二世世代家族 (親と)	8	8	1	11	5	1	0	34	4	6	3	10	6	2	0	31	0	65
三世世代家族	2	1	9	9	10	9	0	40	2	3	9	4	5	2	0	25	0	65
その他 (四世代家族)	0	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
無回答	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
計	13	16	24	41	46	56	0	196	12	16	25	24	42	56	0	175	4	375

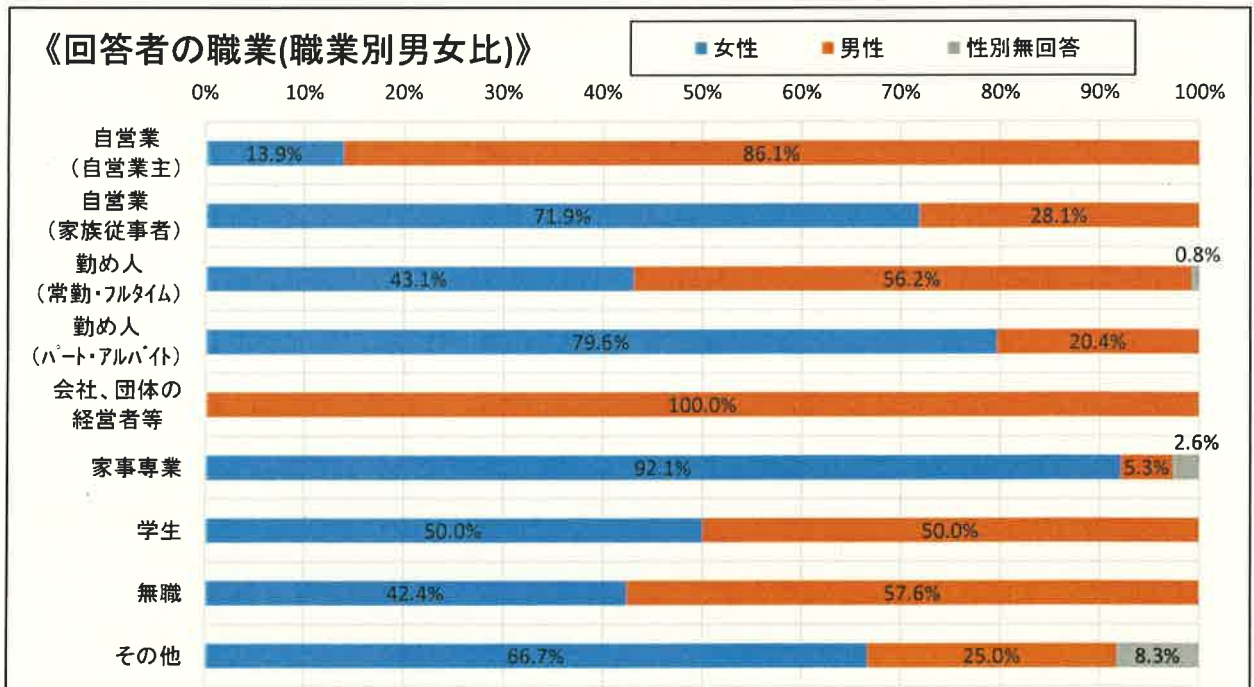
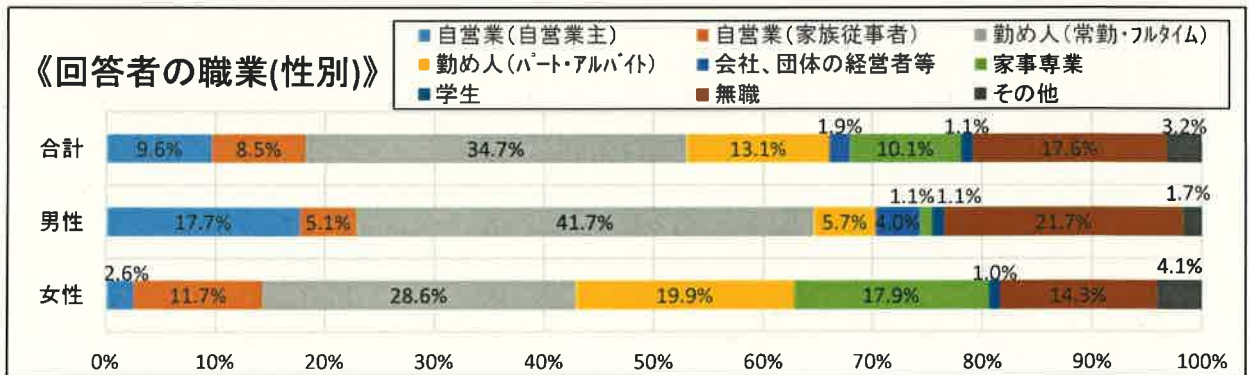




(5) 回答者の職業

(人)

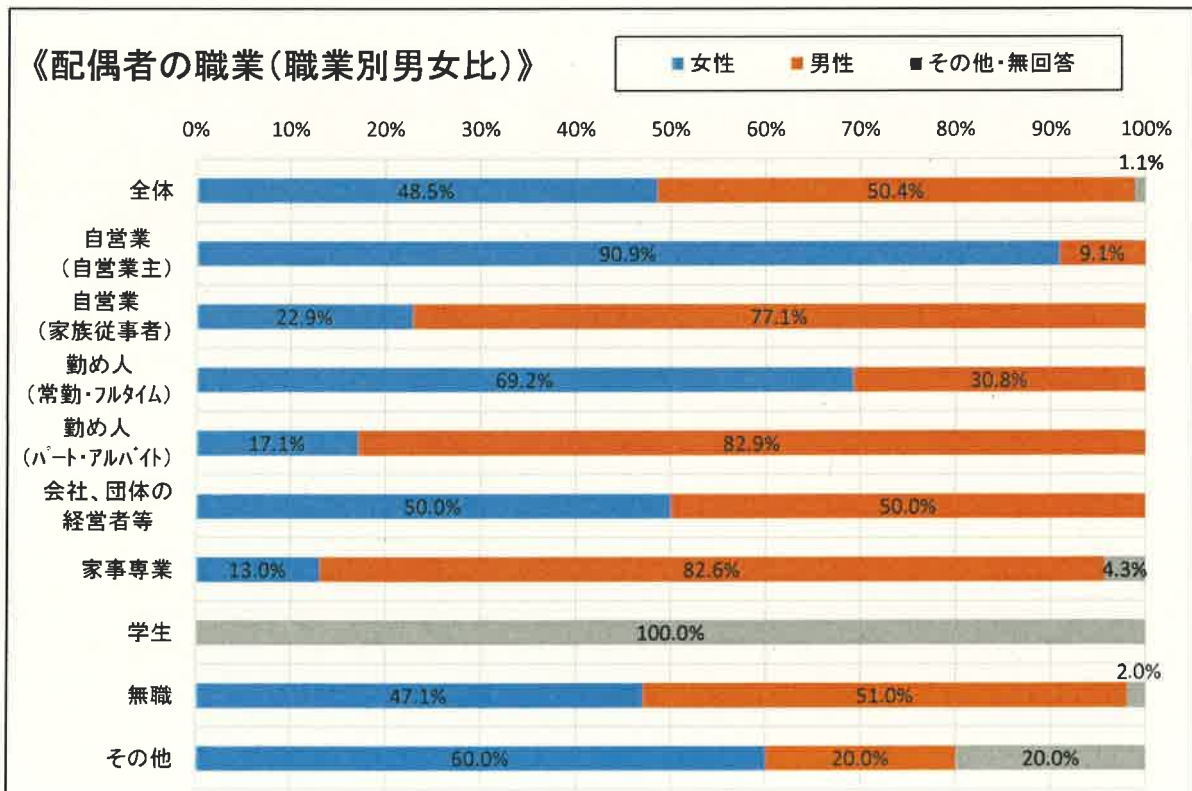
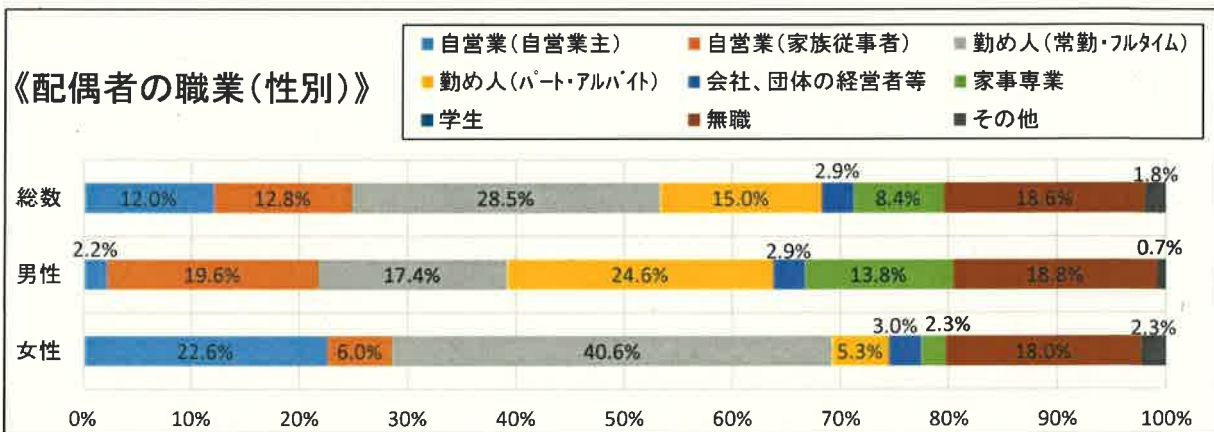
区分	女性								男性								性別無回答	合計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答	計		
自営業 (自営業主)	0	1	0	1	1	2	0	5	0	2	0	2	15	12	0	31	0	36
自営業 (家族従事者)	0	0	1	4	10	8	0	23	0	0	0	0	1	8	0	9	0	32
勤め人 (常勤・フルタイム)	9	11	10	20	6	0	0	56	9	12	21	20	11	0	0	73	1	130
勤め人 (パート・アルバイト)	1	4	12	10	9	3	0	39	0	1	0	1	3	5	0	10	0	49
会社、団体の 経営者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7	0	7
家事専業	1	0	0	5	13	16	0	35	0	0	0	0	1	1	0	2	1	38
学生	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	4
無職	0	0	1	0	6	21	0	28	1	1	0	0	9	27	0	38	0	66
その他	0	0	0	1	1	6	0	8	0	0	0	0	1	2	0	3	1	12
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	13	16	24	41	46	56	0	196	12	16	25	24	42	56	0	175	4	375



(6) 配偶者の職業

(人)

区分	回答者の性別			総数
	女性	男性	性別無回答	
自営業(自営業主)	30	3	0	33
自営業(家族従事者)	8	27	0	35
勤め人(常勤・フルタイム)	54	24	0	78
勤め人(パート・アルバイト)	7	34	0	41
会社、団体の経営者等	4	4	0	8
家事専業	3	19	1	23
学生	0	0	0	0
無職	24	26	1	51
その他	3	1	1	5
無回答	63	37	1	101
計	196	175	4	375



## 7 その他

- (1) 「無回答」、「答えたくない、その他」、「その他」などの回答項目について、他の項目と比較して標本数が著しく少ない場合は、本報告書ではグラフの表示やその他での記載内容を割愛させていただいた。
- (2) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。なお、調査の設問には、単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (3) 「2 ご意見ご要望」(124頁)については、原則、原文のまま記載した。また、男女共同参画との関連付けが難しいと判断される内容については、割愛させていただいた。
- (4) 本報告書で結果を引用した調査は次のとおり。

### 飯綱町調査

	(調査時期)	(対象者数)	(有効回答数)
28年度調査	平成28年12月	200人	119人

# 1 調査項目別結果

## 【1】世の中の男女平等感について（問1・2）

問1 今の世の中は男女平等になっていると思いますか。

●「男女平等になっている」「どちらかといえば平等になっている」と回答した割合が全体で42.1%で、「男女平等になっていない」と「どちらかといえば平等になっていない」と回答した割合が49.6%となっており、7.5ポイントの差で、平等になっていないほうが上回っている。（参考 28年度調査「男女平等になっている（どちらかといえば平等になっているを含む）」42.1% 「男女平等になっていない（どちらかといえば平等になっていないを含む）」52.1%）

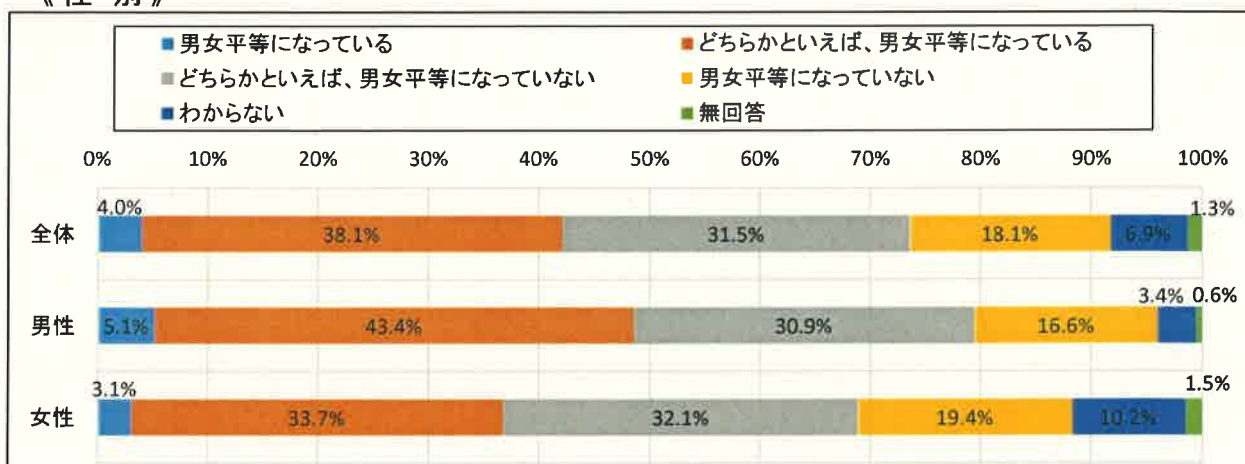
●性別回答では、「男女平等になっている」「どちらかといえば平等になっている」と回答した割合をみると、男性が48.5%、女性が36.8%で11.7ポイントの差で男性が上回っている。

●年代別回答では、「男女平等になっている」「どちらかといえば平等になっている」と回答した割合で最も高いのが20歳代で56.0%、最も低いのが60歳代で37.5%となっており18.5ポイントの差が生じている。

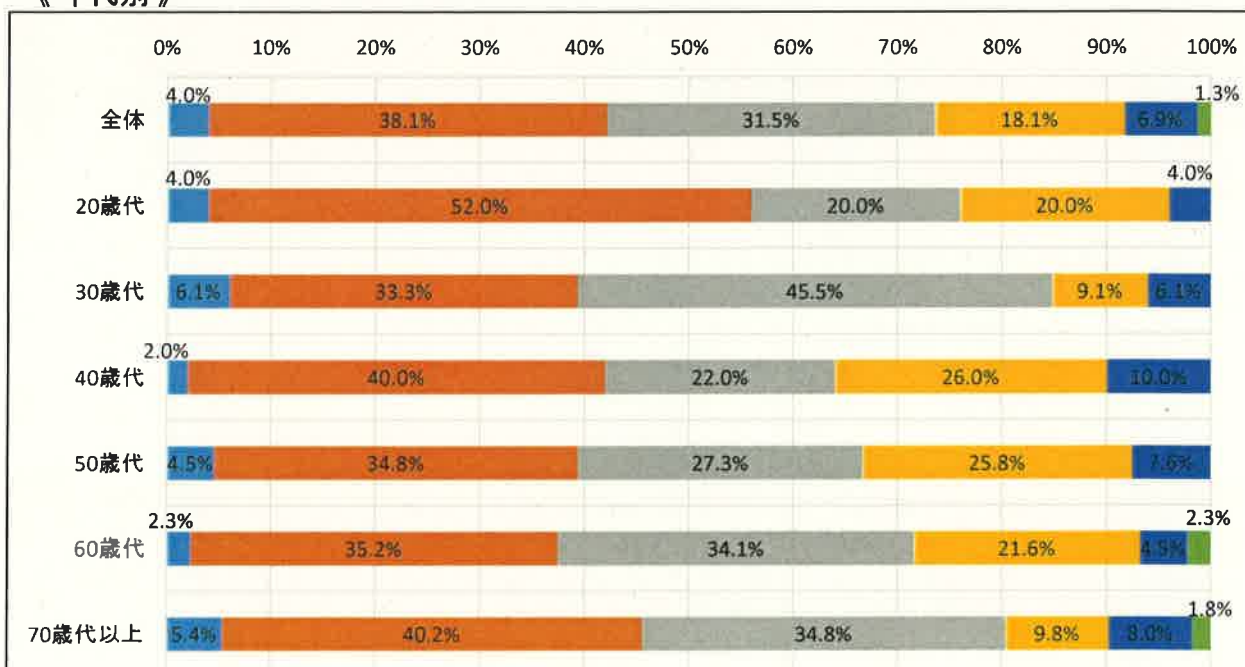
●婚姻状況別回答では、「男女平等になっている」「どちらかといえば平等になっている」と回答した割合が未婚では5割を超えているが、既婚、離別又は死別では5割に満たず、「男女平等になっていない」「どちらかといえば平等になっていない」と回答した割合の方が高くなっている。

●婚姻状況別回答では、自営業（自営業主）と学生以外は「男女平等になっている」「どちらかといえば平等になっている」と回答した割合より「男女平等になっていない」「どちらかといえば平等になっていない」と回答した割合のほうが高くなっている。

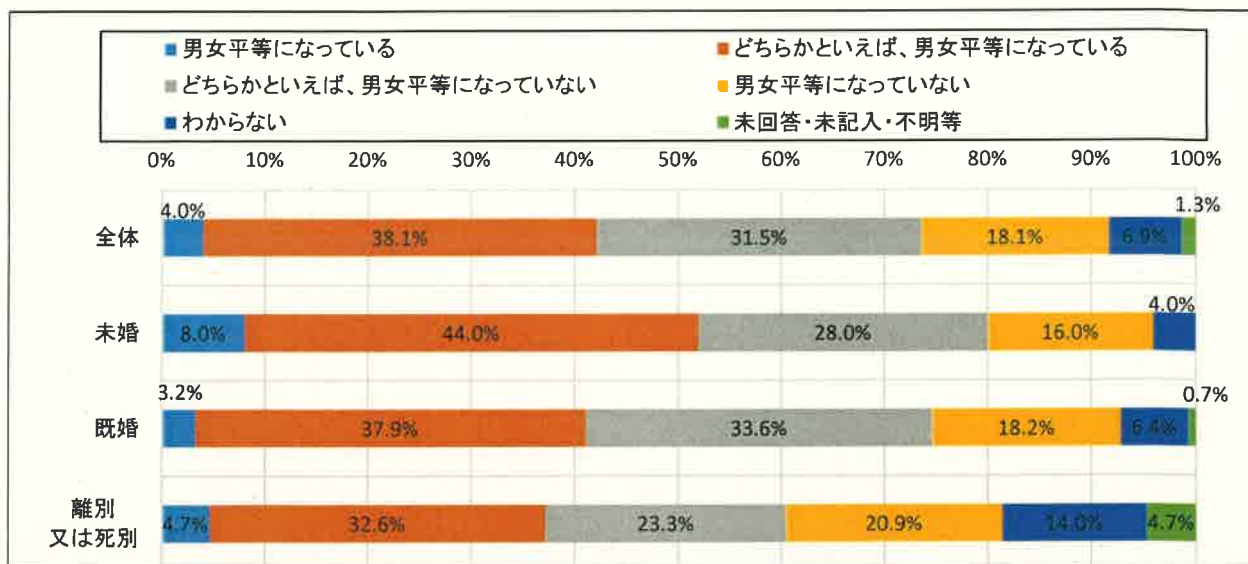
### 《性別》



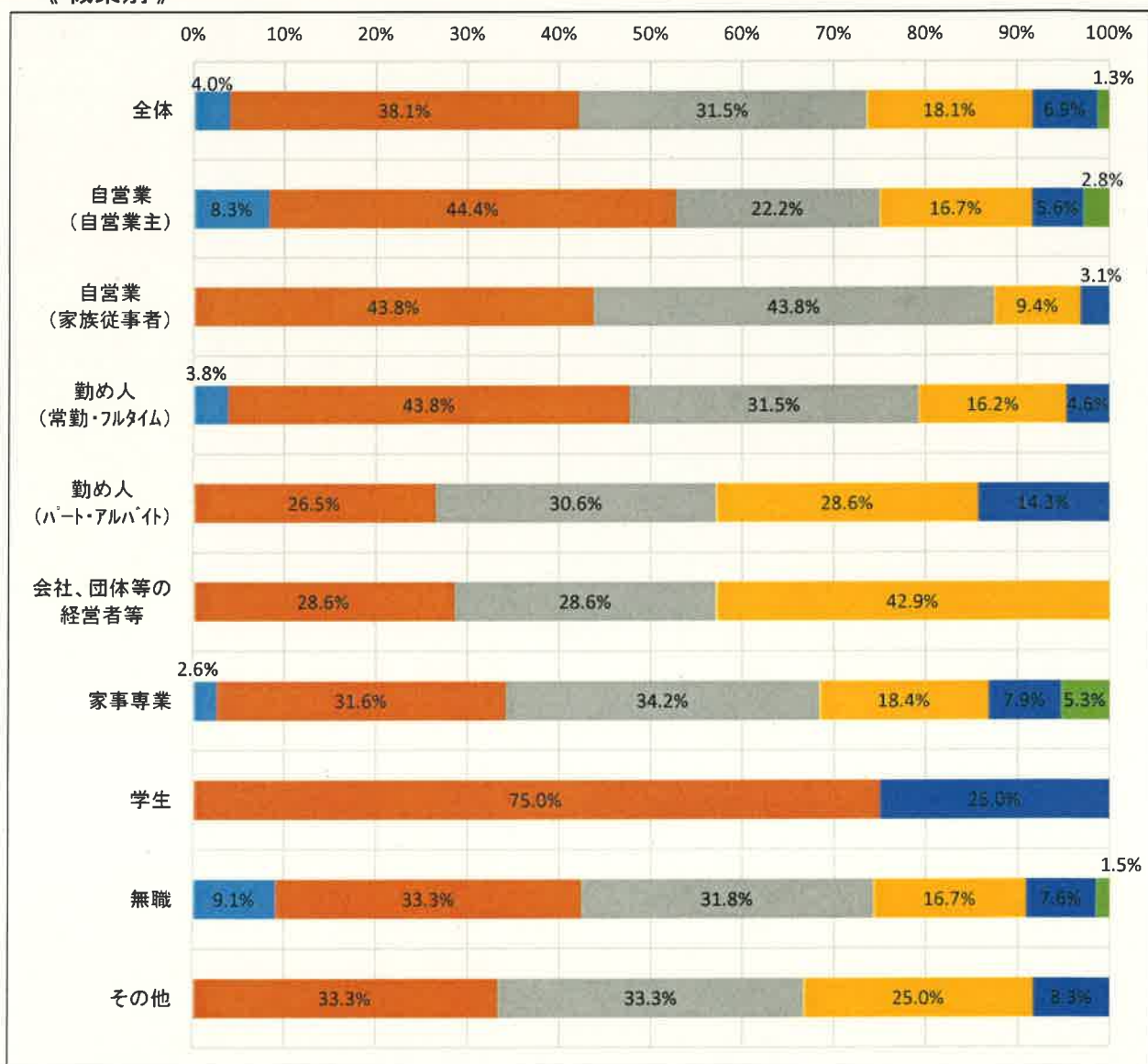
### 《年代別》



## 《婚姻状況別》



## 《職業別》

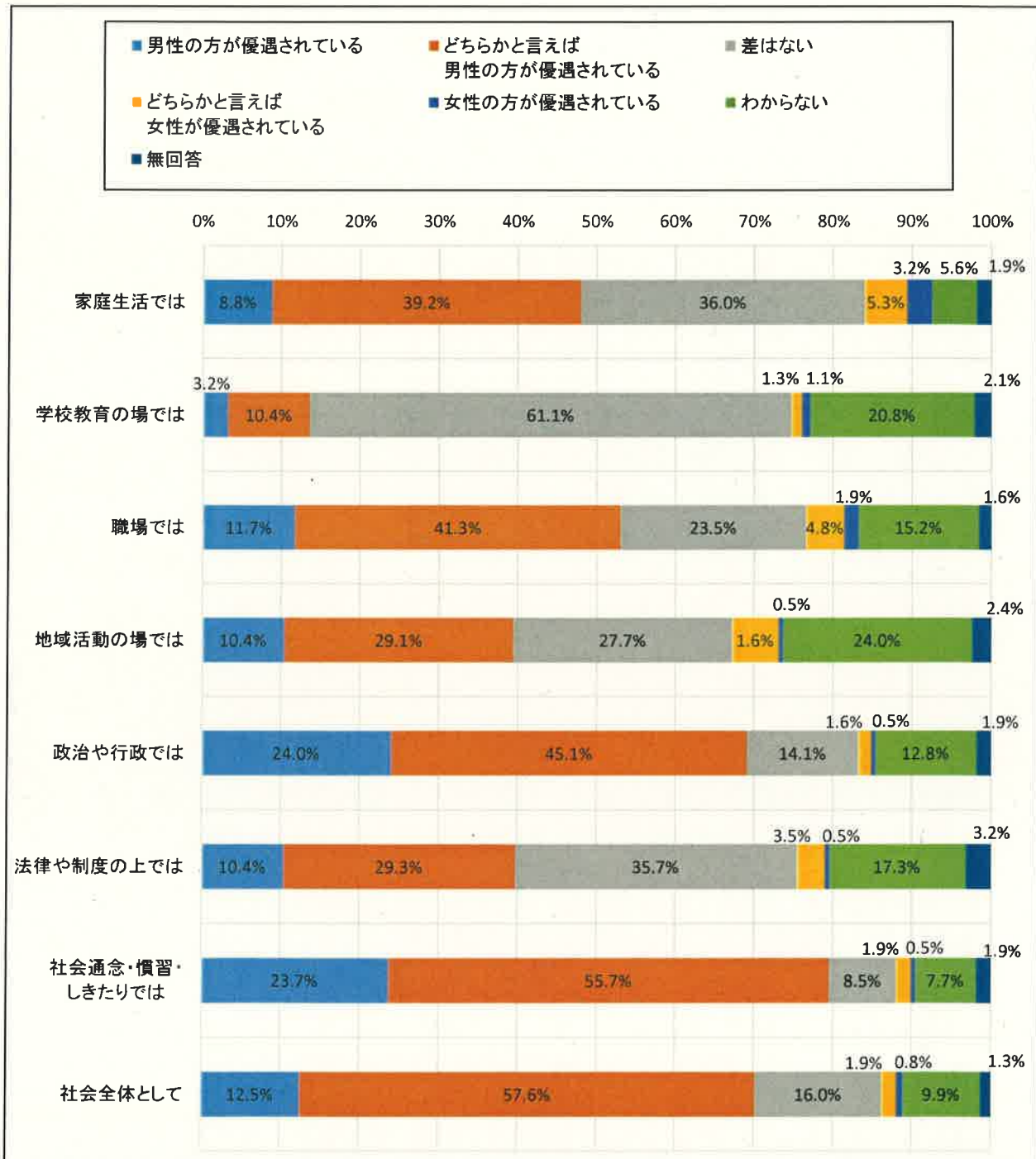


問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか

●「差はない」と回答した割合は、学校教育の場が61.1%で最も多く、以下、家庭生活で36.0%、法律や制度の上で35.7%、地域活動の場で27.7%、職場で23.5%、社会全体で16.0%、政治や行政で14.1%と続き、社会通念・慣習・しきたりが8.5%で最も少ない。

●職場、政治や行政、社会通念・慣習・しきたりでは、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が5割を超えており、「社会通念・慣習・しきたり」では79.4%で最も高くなっている。

●「社会全体」について「差はない」と回答した人の割合は、前回28年度調査では11.0%、今回調査では16.0%で5ポイント上昇している。



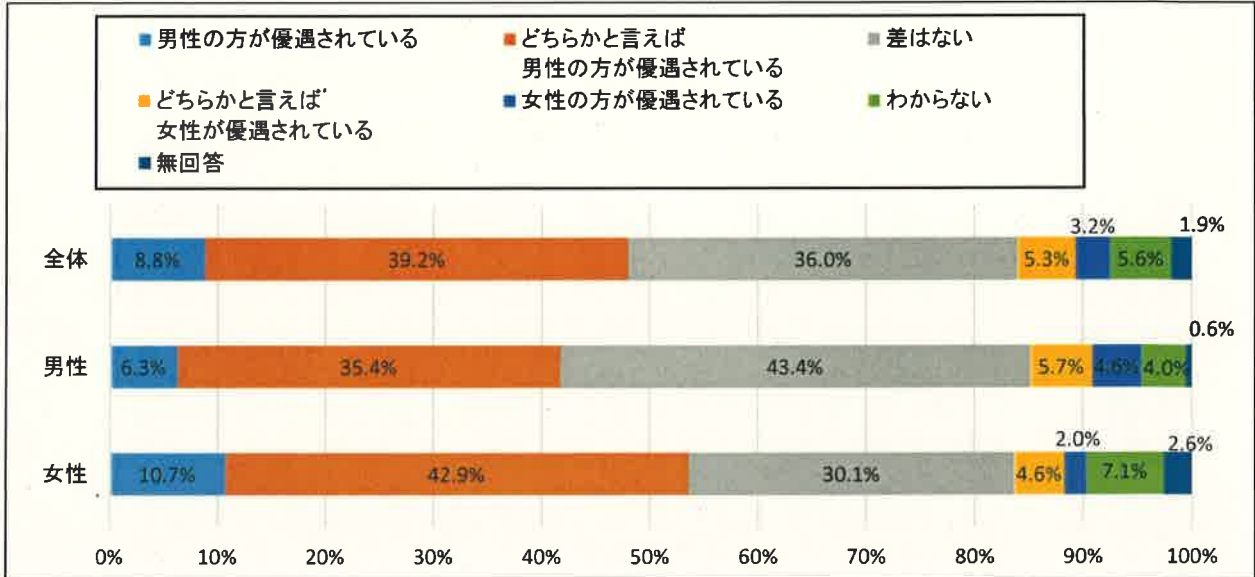
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(1)家庭生活

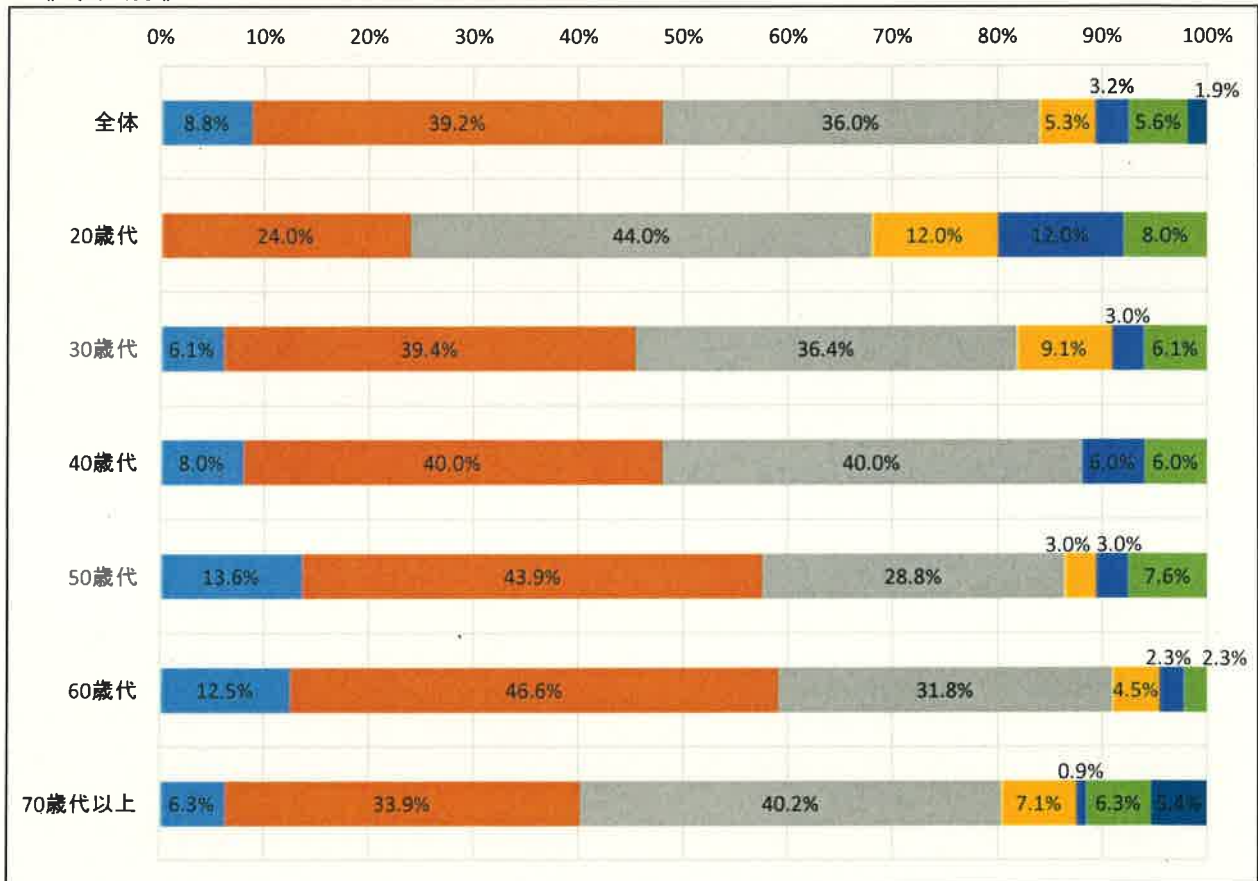
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」の回答割合は、全体では48.0%となっており、性別回答では、女性が53.6%、男性が41.7%で、11.9ポイントの差で女性が上回っている。(参考:28年度調査 全体で59.6%)

●年代別回答では、20歳代のみが「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合より「差はない」と回答した割合の方が多く、70歳代以上ではその割合が等しくなっている。

《性別》



《年代別》



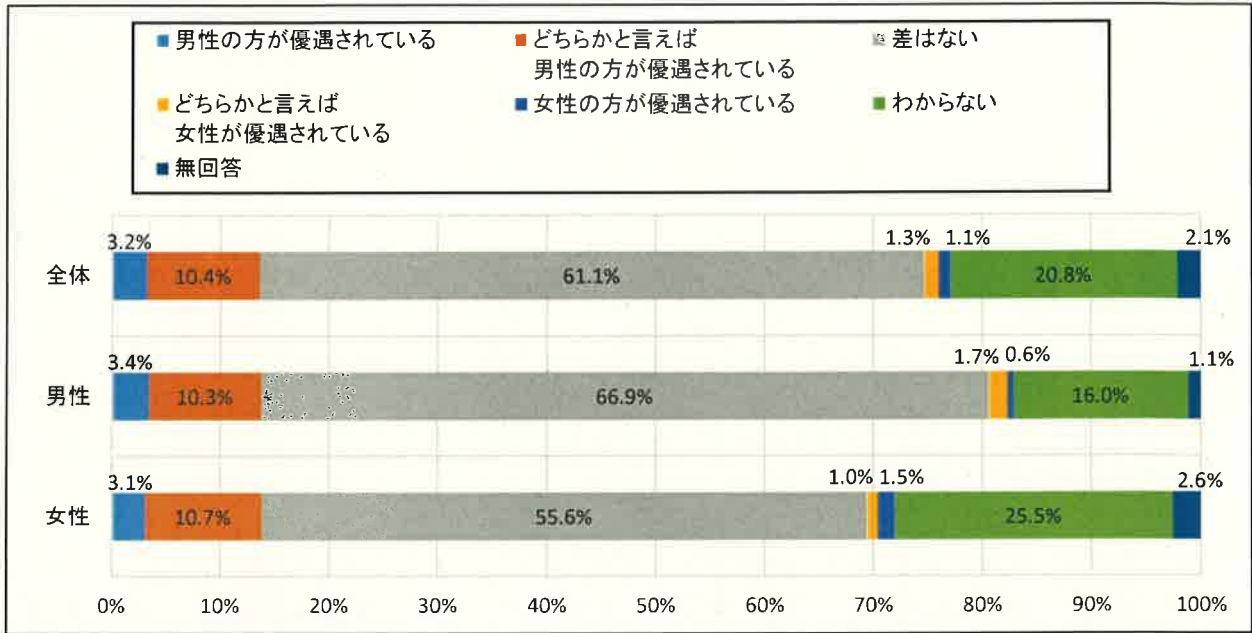
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(2) 学校教育の場

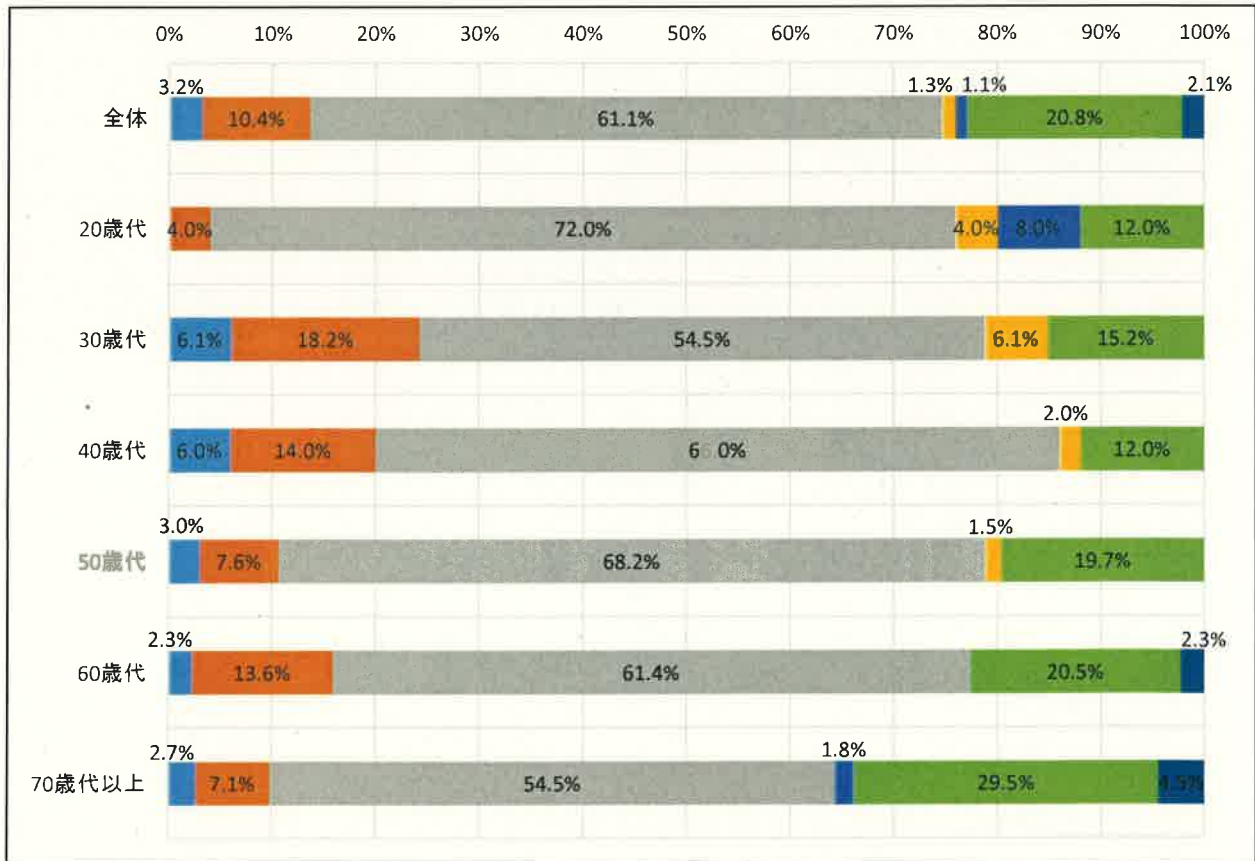
●「差はない」の回答割合は、全体で61.1%となっており、性別回答では、男性が66.9%、女性が55.6%で11.3ポイントの差で男性が上回っている。(参考:28年度調査 全体で69.8%)

●年代別回答では、20歳代で72.0%が「差はない」と回答しており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が他の年代と比べて低くなっている。

《性別》



《年代別》





問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

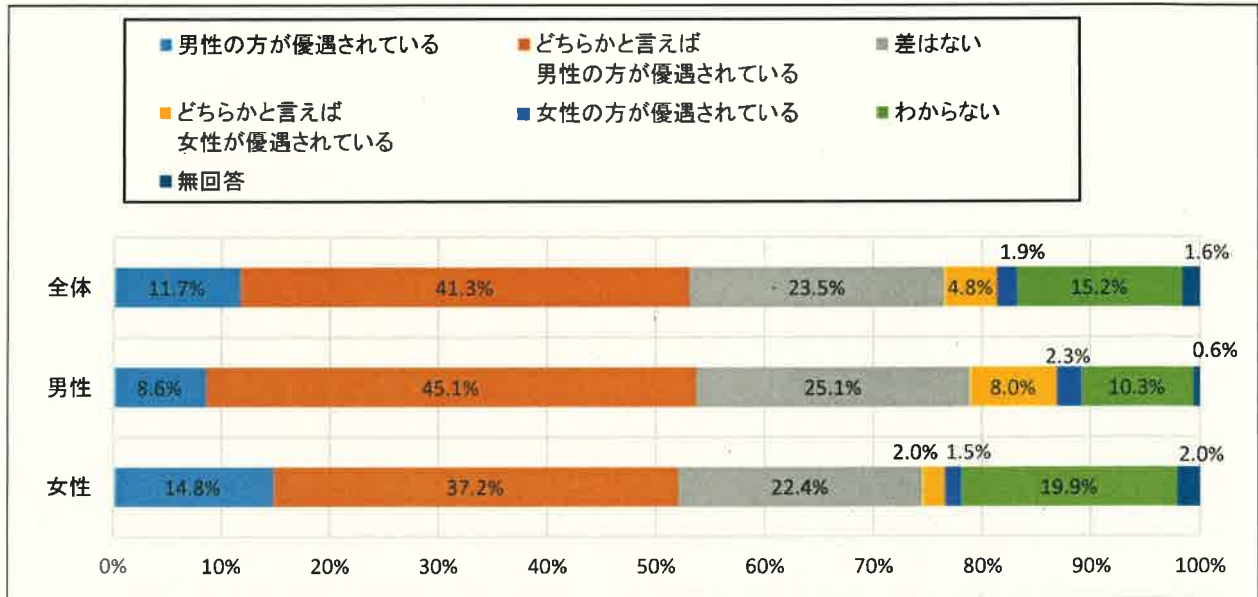
(3) 職場

●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で53.0%となっており、性別回答では男性が53.7%、女性が52.0%で、男女間の差はあまりない。(参考:28年度調査 全体で54.4%)

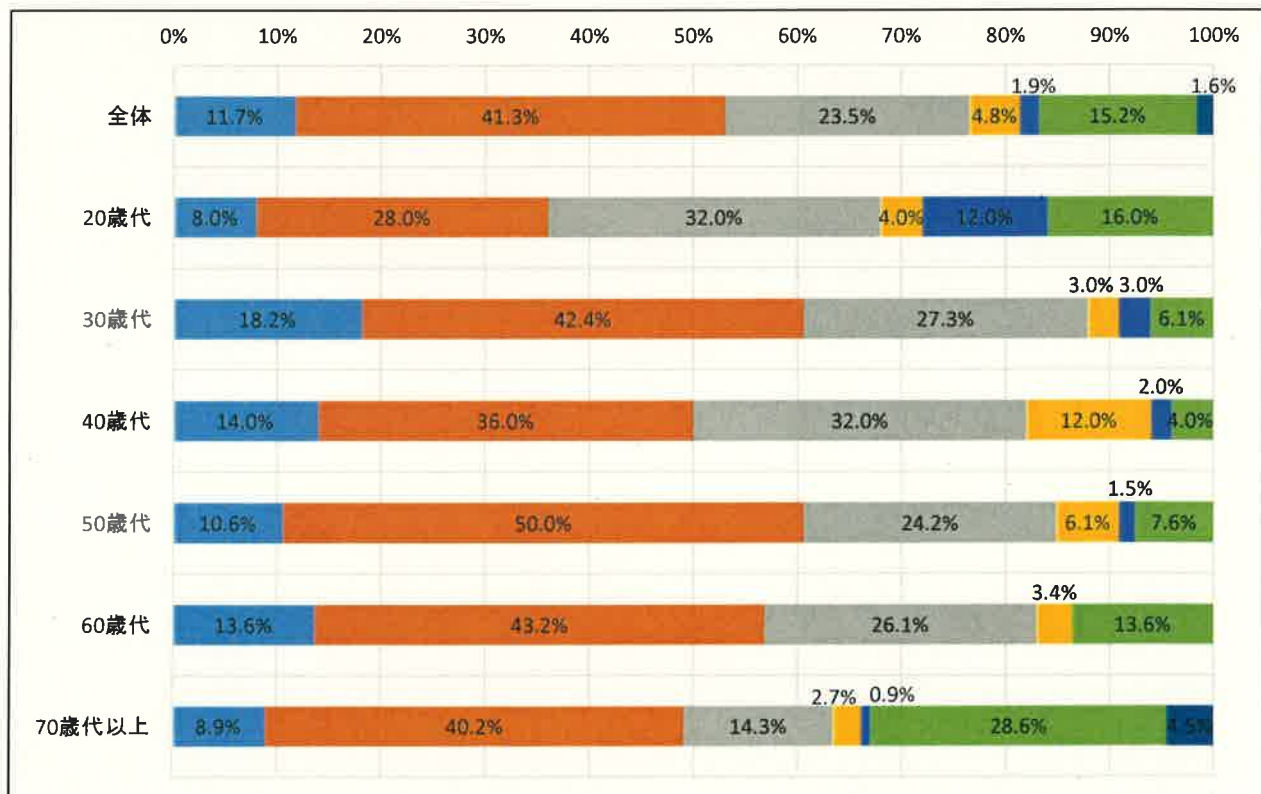
●年代別回答では、20歳代が「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も低く、「差がない」、「女性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高い。

●職業別回答では、「勤め人(常勤・フルタイム)」と「勤め人(パート・アルバイト)」で「差はない」と回答した割合が高くなっている。

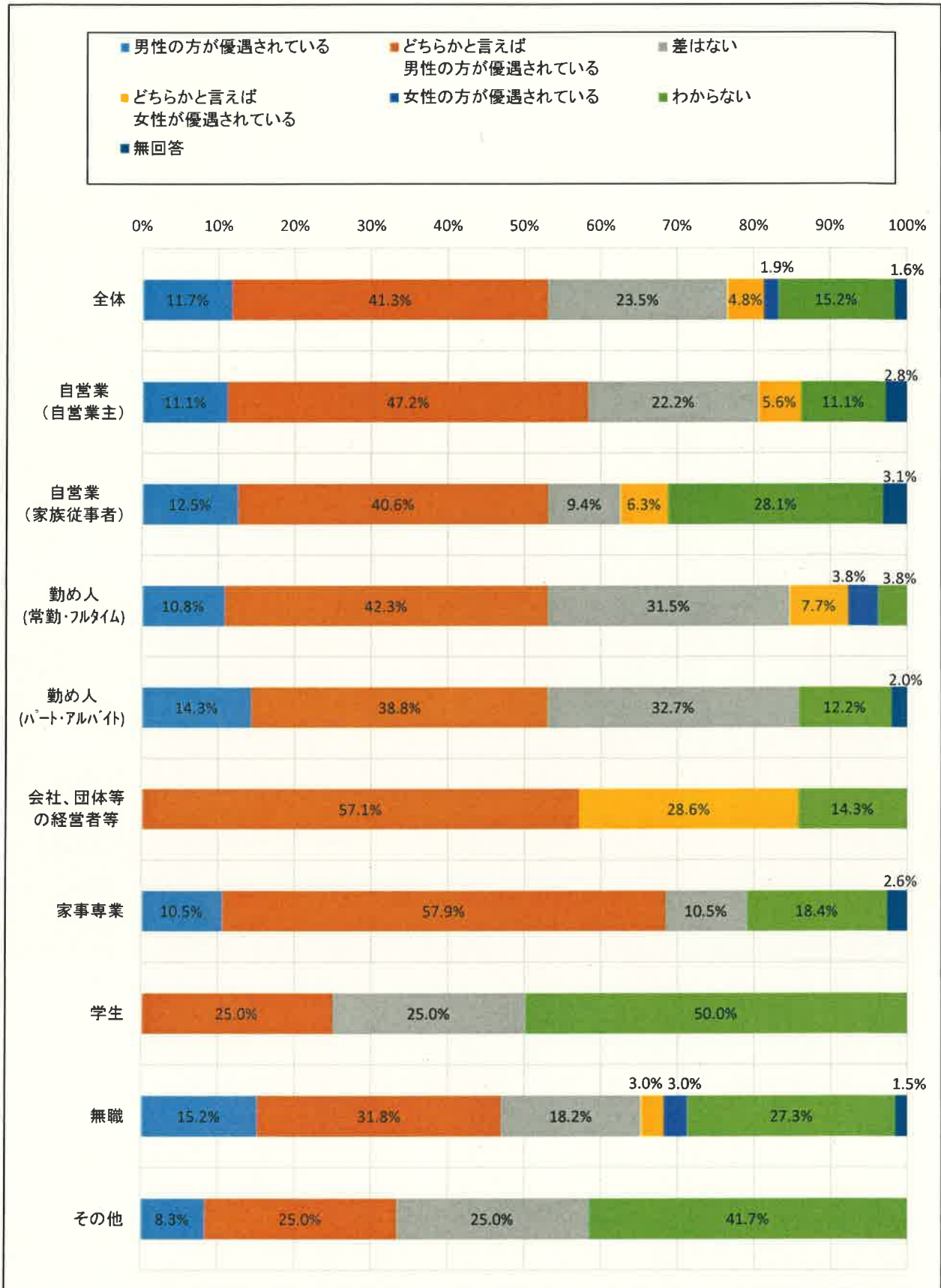
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



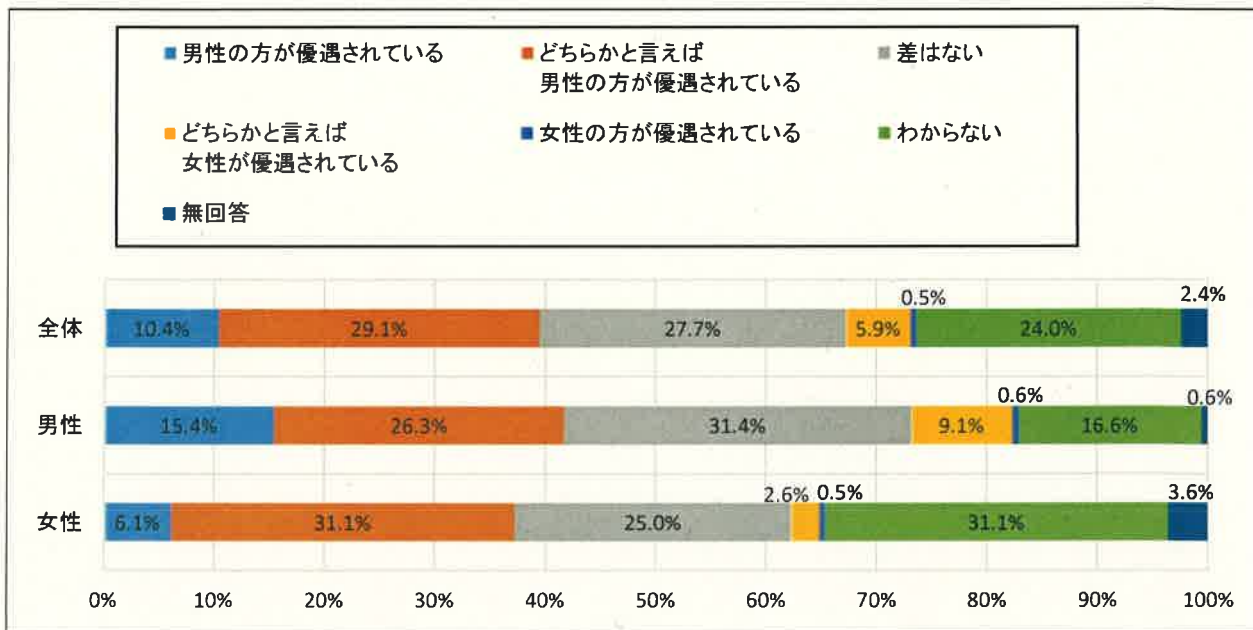
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(4) 地域活動の場

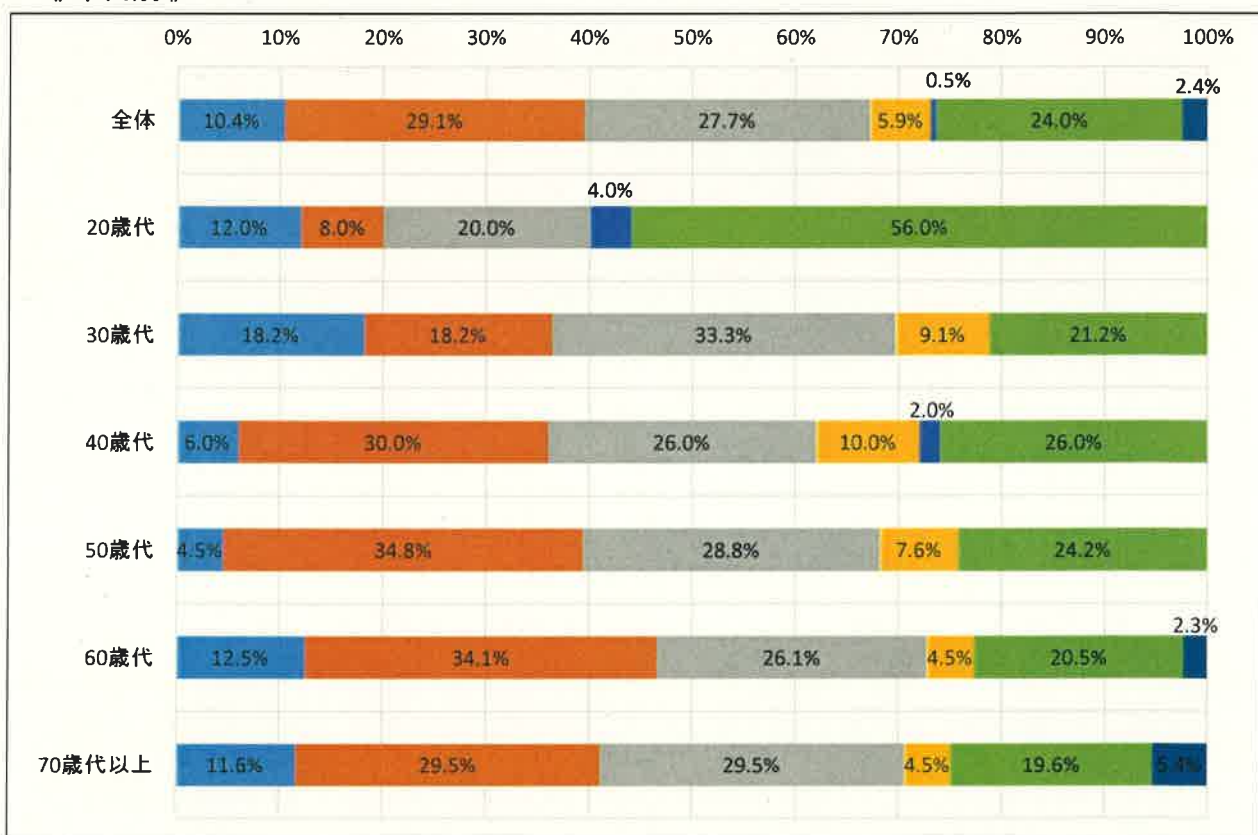
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で39.5%となっており、性別回答では男性が41.7%、女性が37.2%で4.5ポイントの差で男性の方が高くなっている。(参考: 28年度調査 全体で61.9%)

●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が30歳代で33.3%と最も高くなっている。また、20歳代では「わからない」と回答した割合が5割以上を占めており、「差はない」や「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、他の年代と比べて最も低くなっている。

《性別》



《年代別》



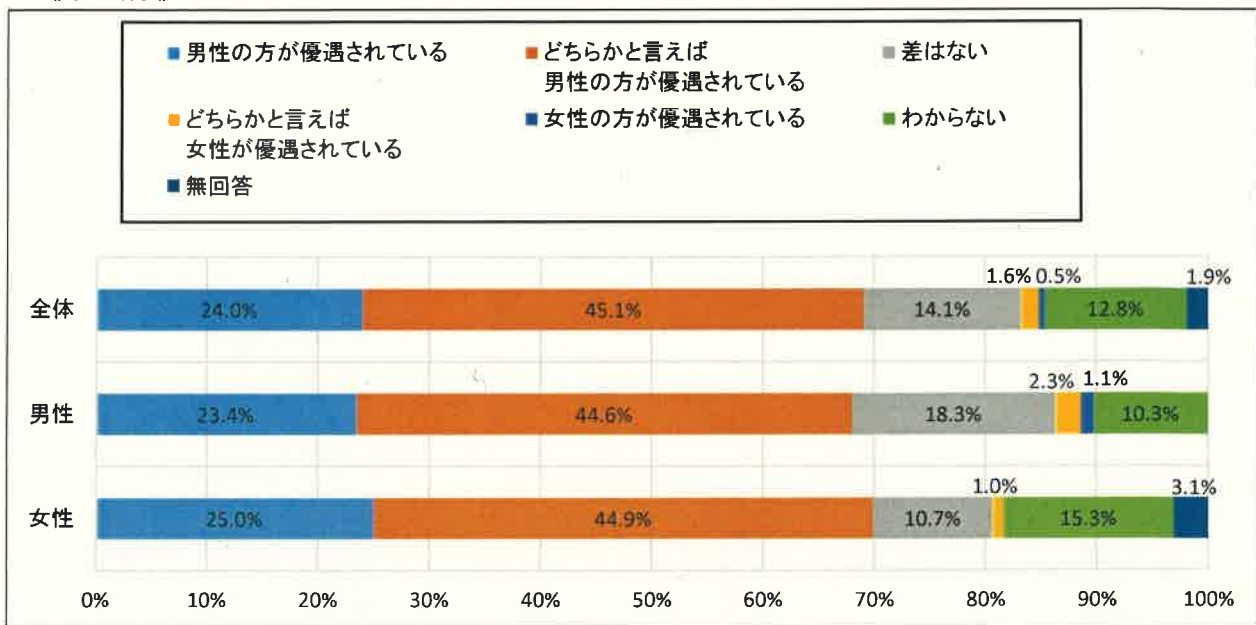
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(5) 政治や行政

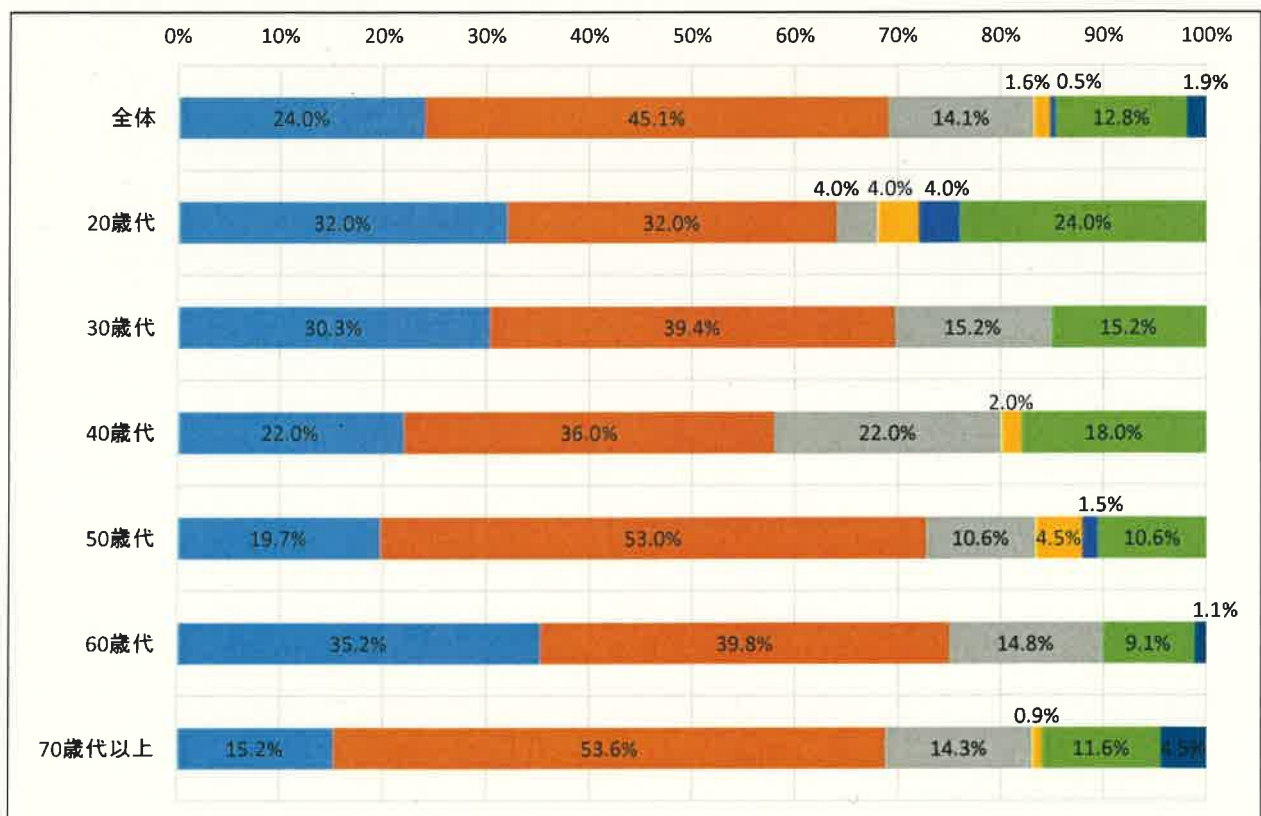
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で69.1%と7割近くを占めており、性別回答では、女性が69.9%、男性が68.0%で、男女間の差はあまりない。(参考:28年度調査 全体で74.6%)

●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が30歳代で33.3%と最も高くなっている。また、20歳代では「わからない」と回答した割合が5割以上を占めており、「差はない」や「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、他の年代と比べて最も低くなっている。

《性別》



《年代別》



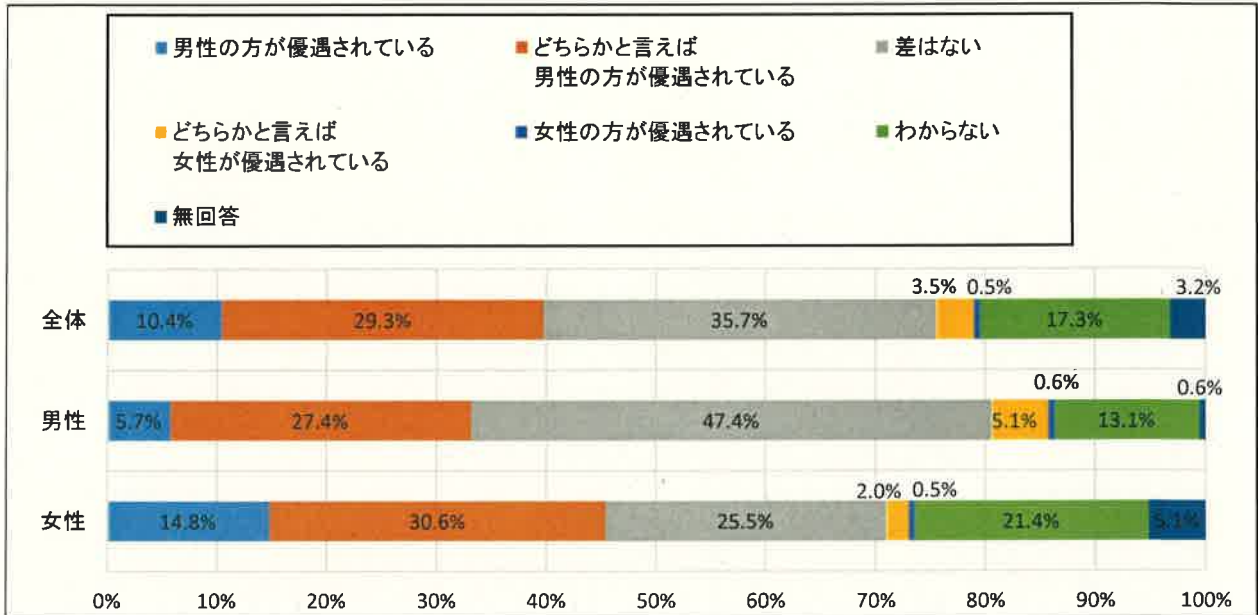
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(6) 法律や制度の上

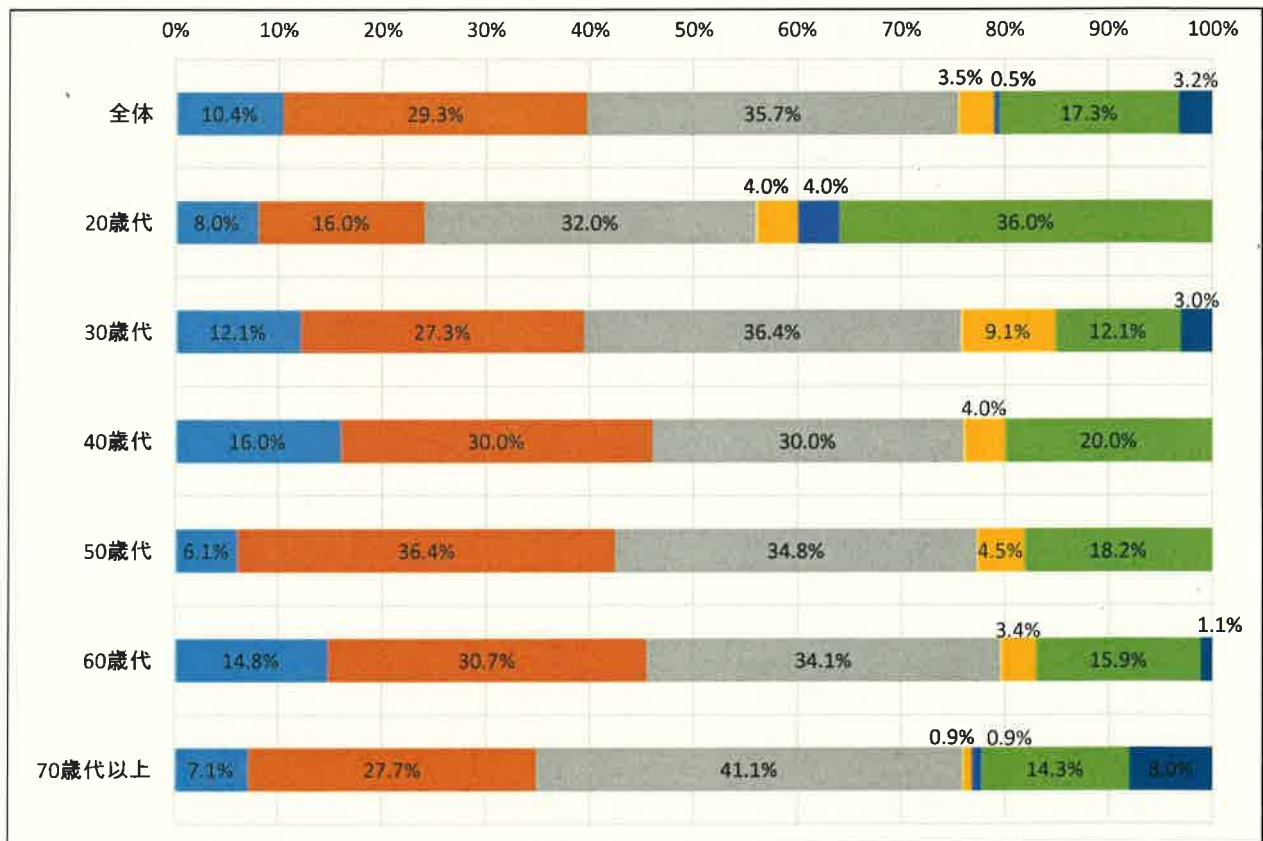
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で39.7%となっており、性別回答では、女性が45.4%、男性が33.1%で12.3ポイントの差で女性が高くなっている。  
(参考:28年度調査 全体で46.6%)

●年代別では、20歳代のみが「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合より、「差はない」と回答した割合の方が多くなっている。

《性別》



《年代別》



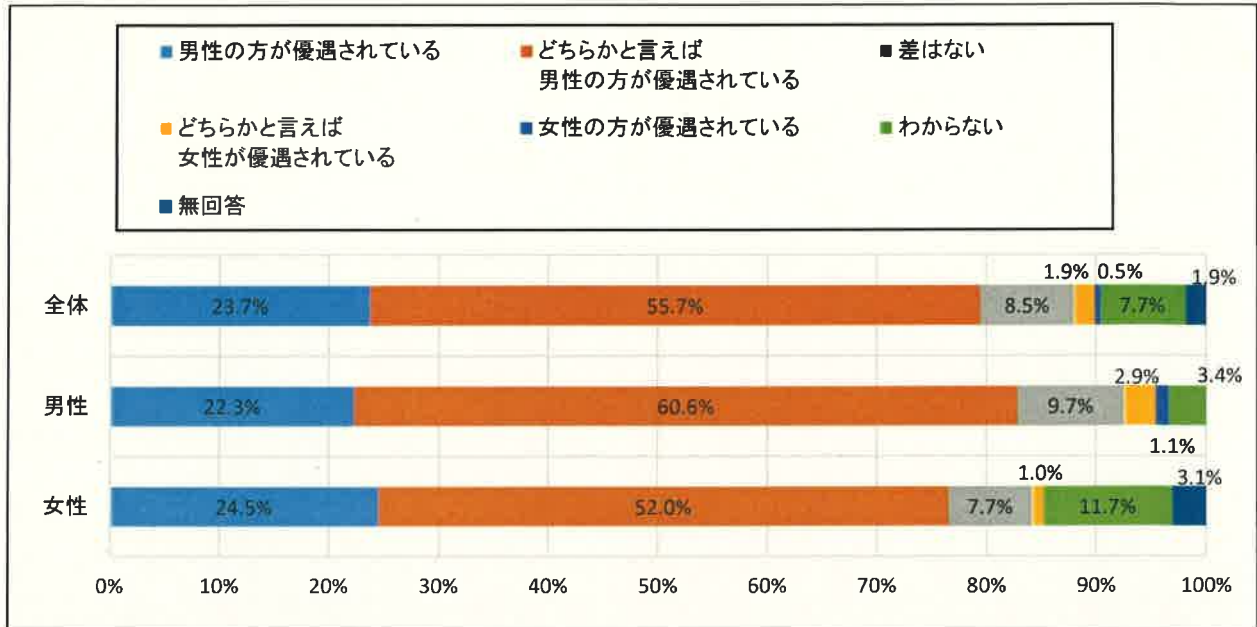
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(7) 社会通念・慣習・しきたり

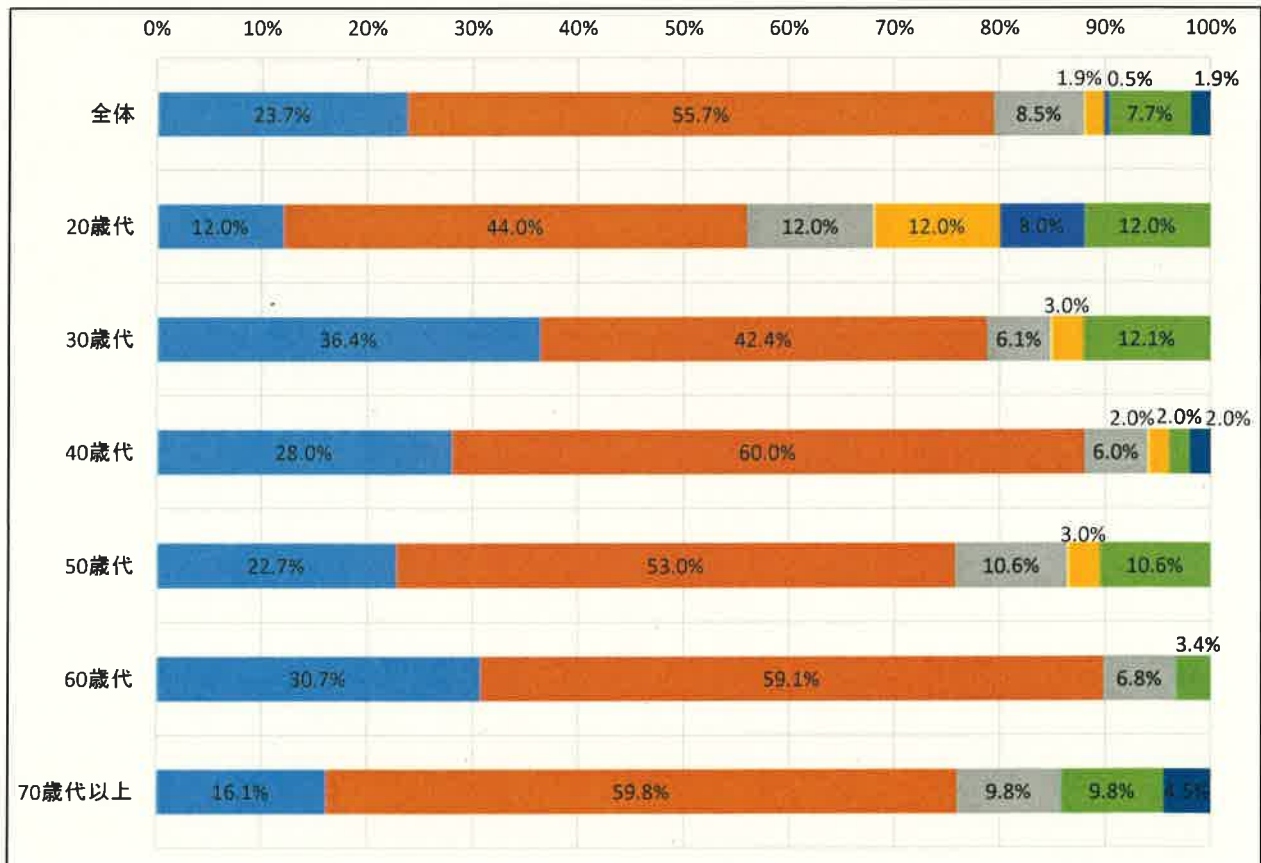
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で79.4%と8割近くを占めており、性別回答では、男性が82.9%、女性が76.5%で6.4ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で75.4%)

●年代別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、20歳代以外は全て7割を超えて高くなっている。

《性別》



《年代別》



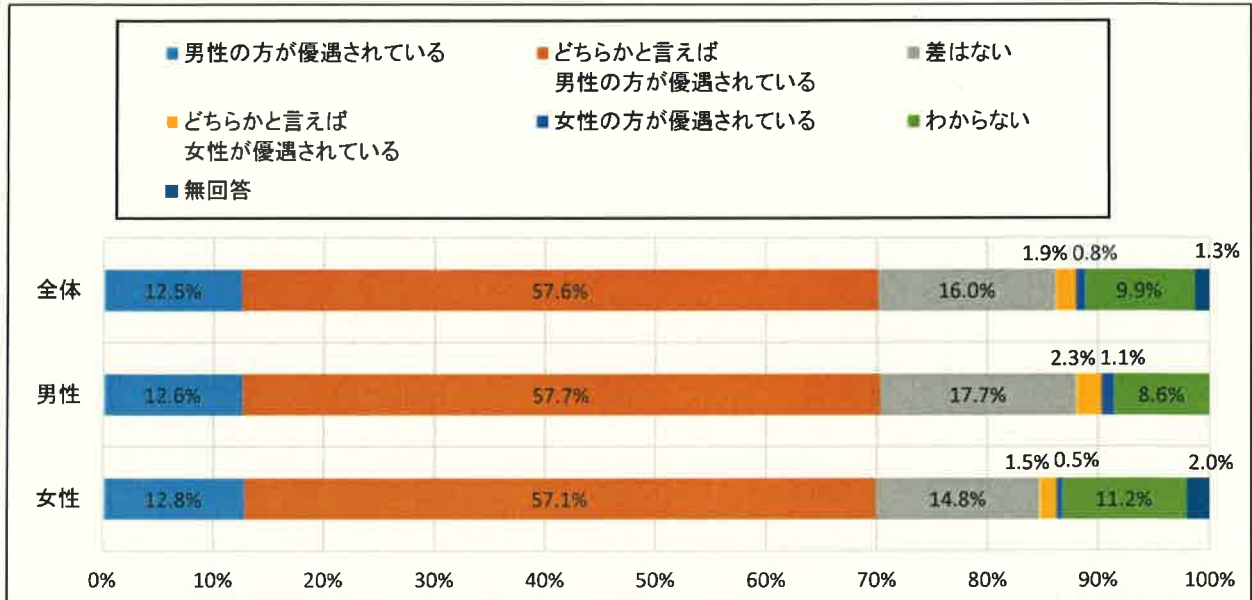
問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて男女の地位に差があると思いますか。

(8) 社会全体

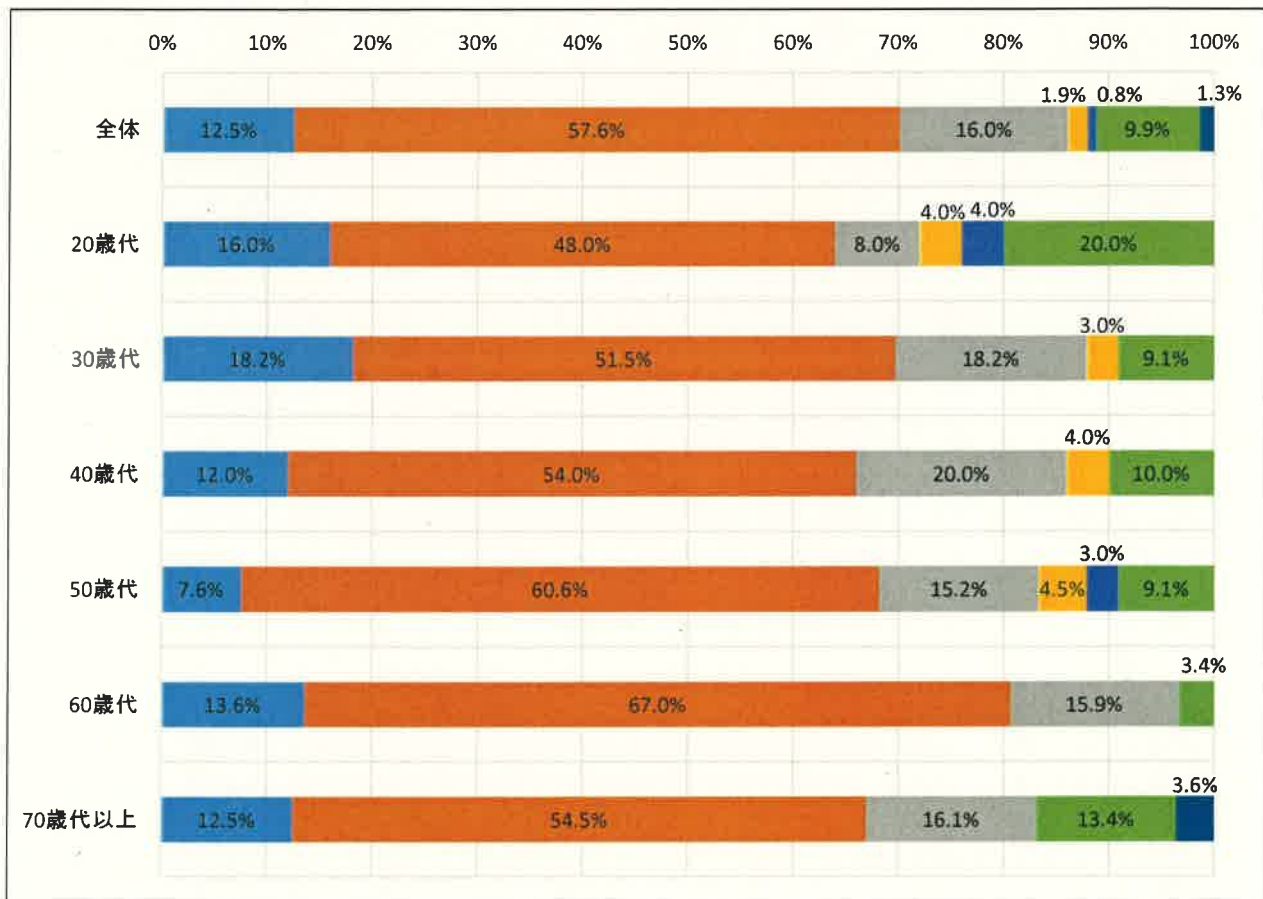
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で70.1%となっており、性別回答では、男性が70.3%、女性が69.9%で男女間の差はあまりない。(参考:28年度調査 全体:78.8%)

●年代別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、60歳代で80.6%と最も高く、20歳代が64.0%で最も低くなっている。

《性別》



《年代別》



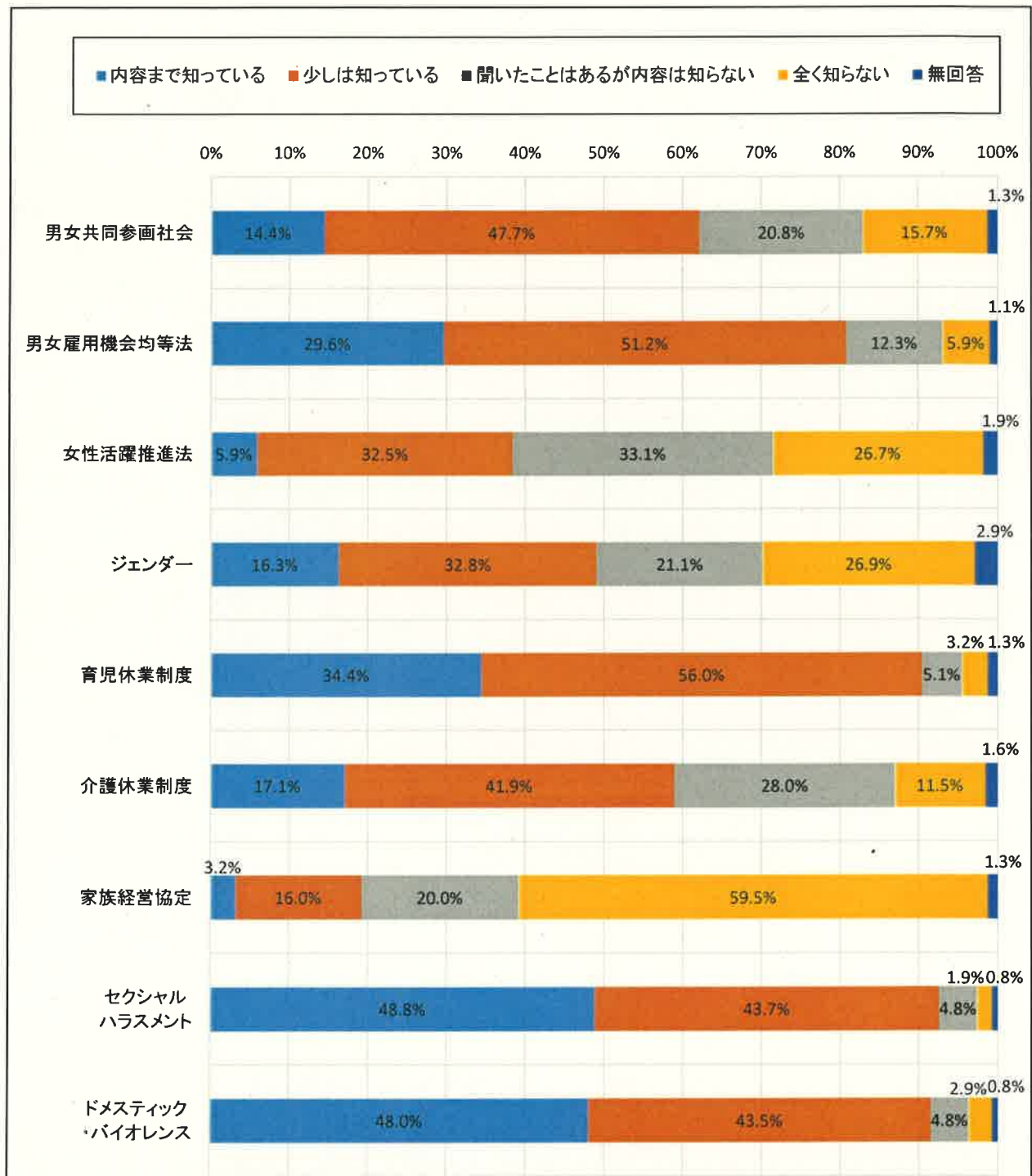
## 【2】用語や制度の認知度について（問3）

問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合は、「セクシャルハラスメント」が92.5%で最も多く、以下、「ドメスティックバイオレンス(DV)」で91.5%、「育児休業制度」で90.4%、「男女雇用機会均等法」で80.8%、「男女共同参画社会」で62.1%、「介護休業制度」で59.0%、「ジェンダー」で49.1%、「女性活躍推進法」で38.4%と続き、「家族経営協定」が19.2%で最も少ない。

●「全く知らない」と回答した割合では「家族経営協定」が59.5%で最も多く、「ジェンダー」26.9%、「女性活躍推進法」26.7%も他の項目と比較して高くなっている。

●「男女共同参画社会」について「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合は、前々回調査では54.1%、前回調査では60.5%となっており、徐々に増えている傾向にある。





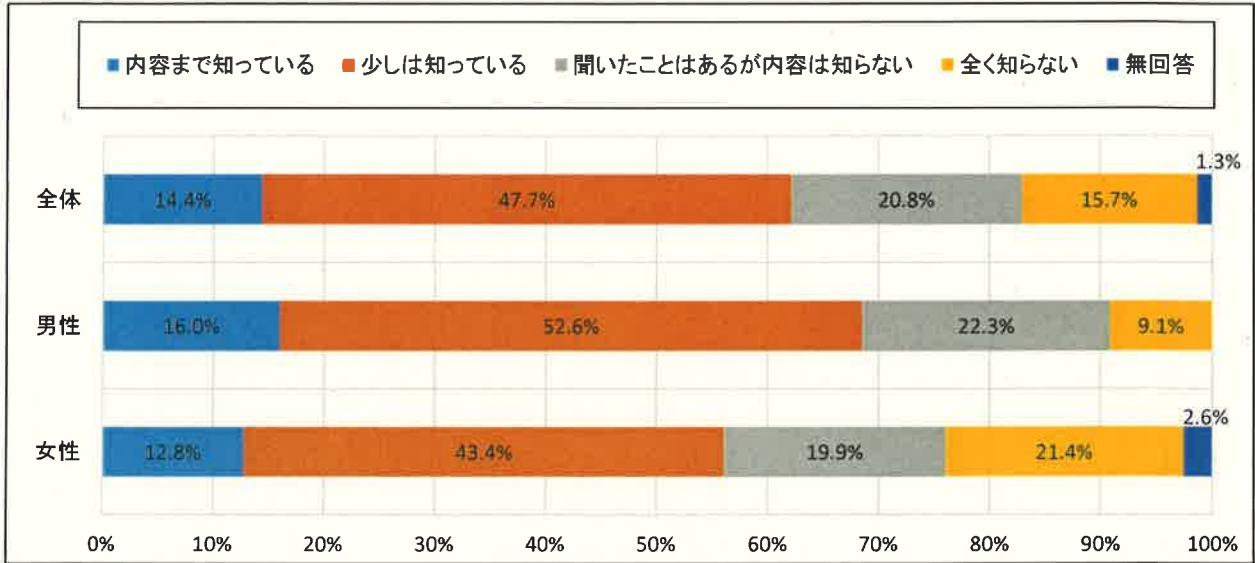
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(1) 男女共同参画社会

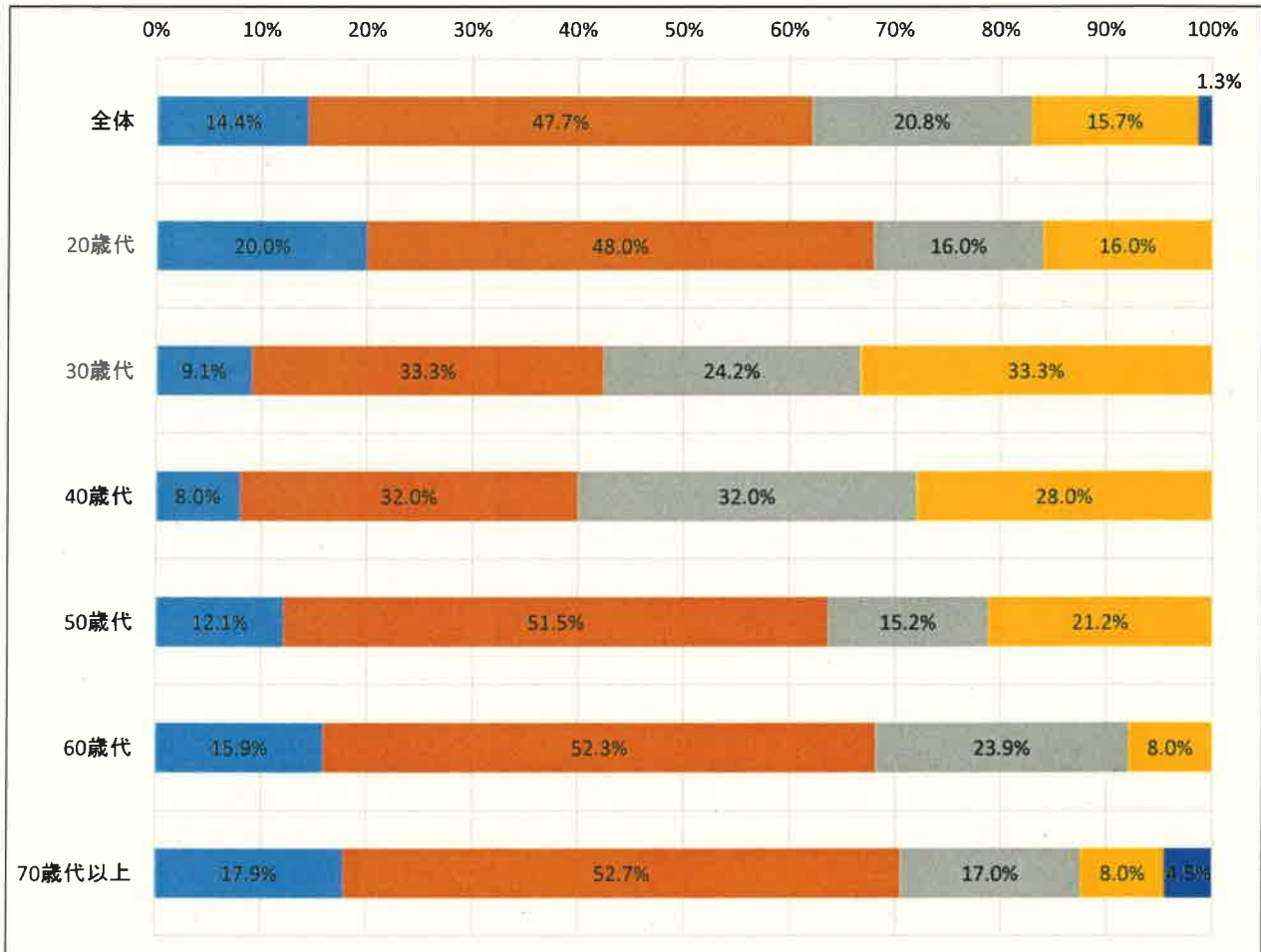
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合は全体で62.1%となっており、性別回答では男性が68.6%、女性が56.2%で12.4ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で60.5%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、30、40歳代で、他の年代よりも低くなっており、「全く知らない」と回答した割合が比較的高くなっている。

《性別》



《年代別》



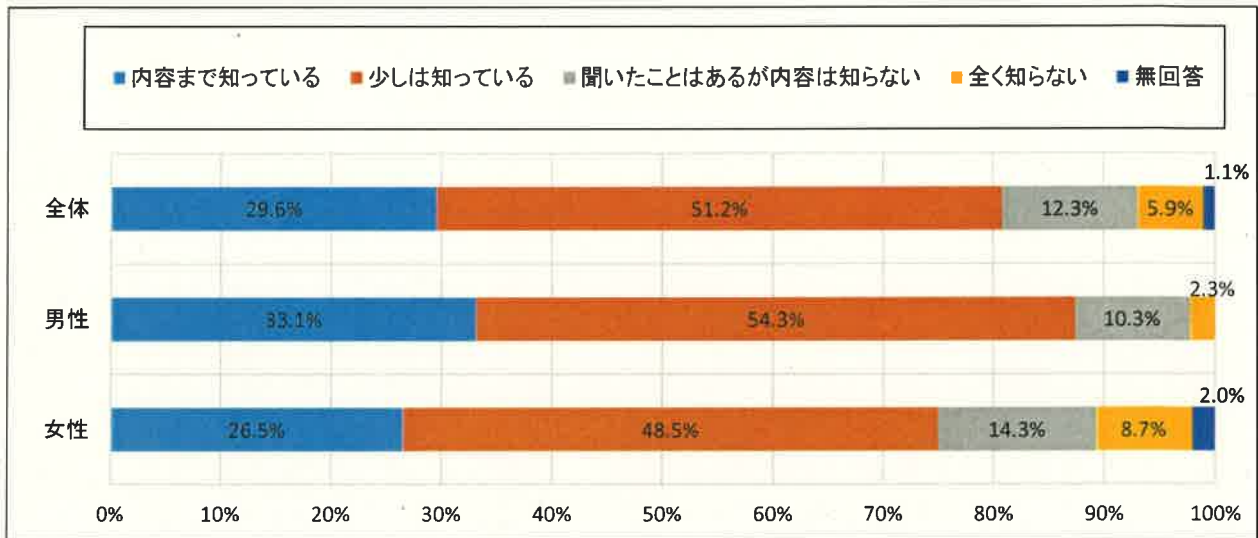
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(2) 男女雇用機会均等法

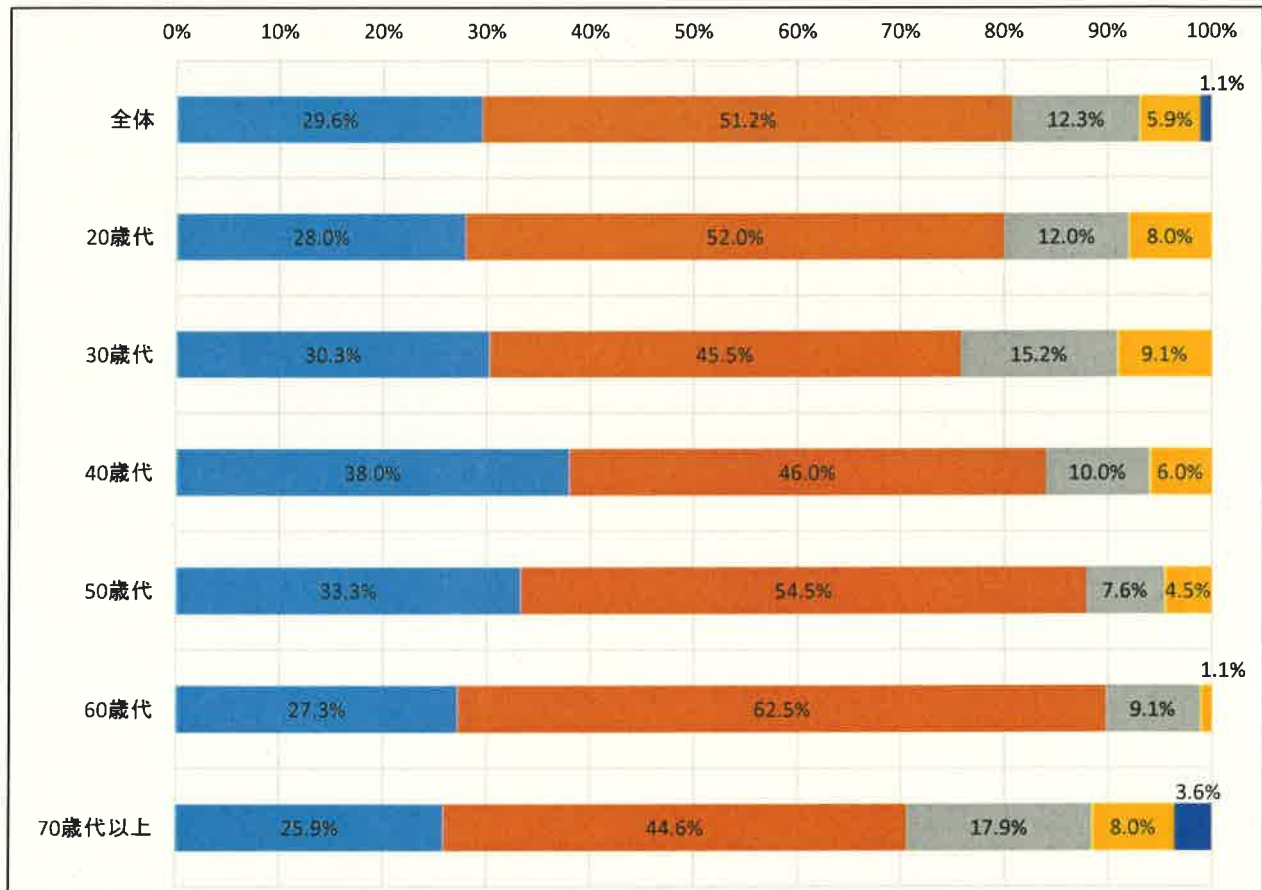
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で80.8%となっており、性別回答では男性が87.4%、女性が75.0%となっており、12.4ポイントの差で男性が高くなっている。(参考: 28年度調査 全体で86.5%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、30、70歳代以上で、他の年代よりも比較的低くなっている。

《性別》



《年代別》



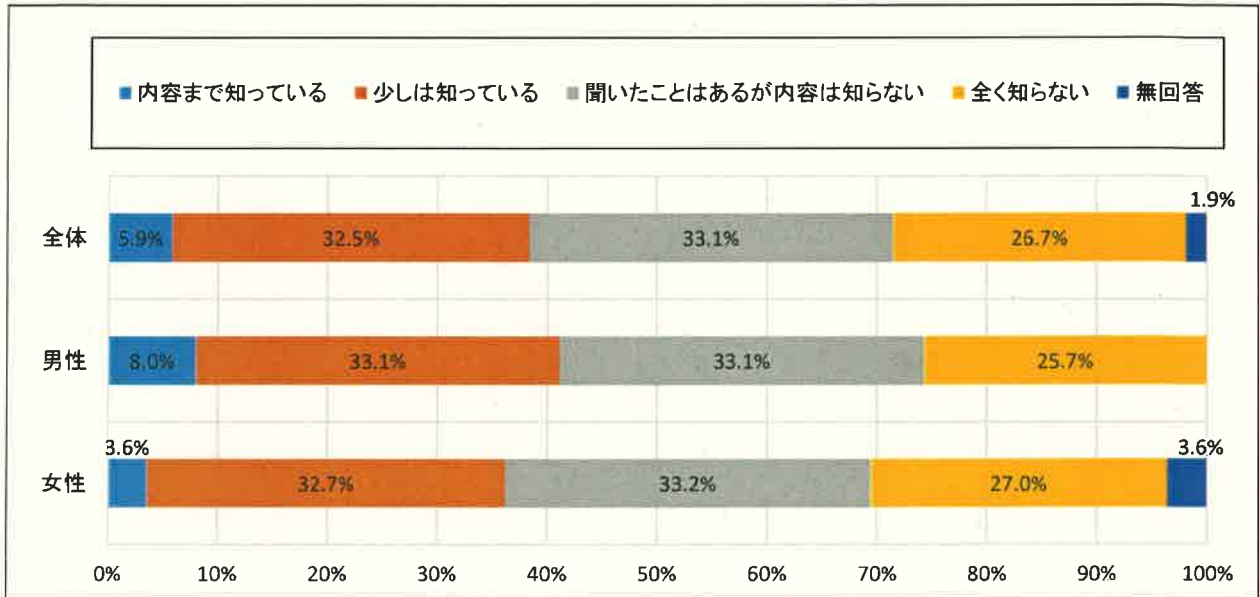
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(3) 女性活躍推進法

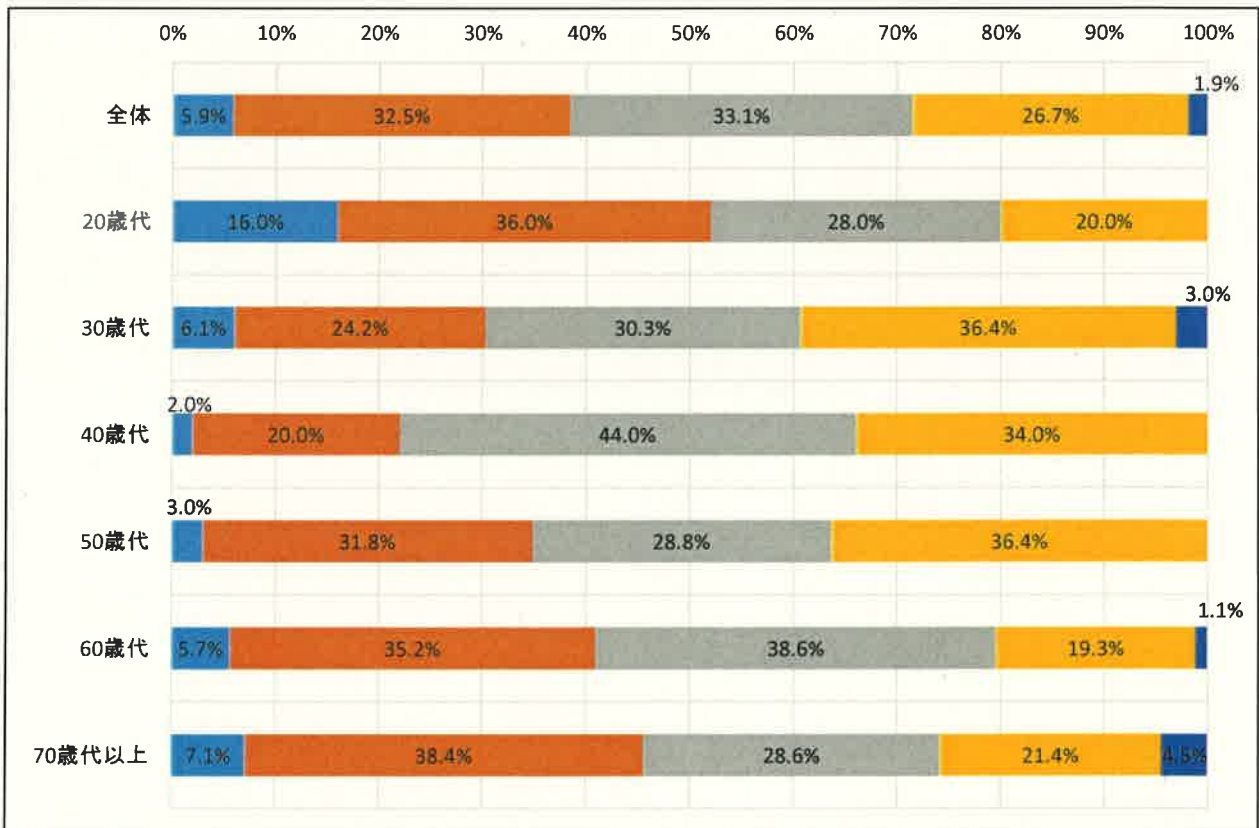
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で38.4%となっており、性別回答では男性が41.1%、女性が36.3%で4.8ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で30.3%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、30、40、50歳代で、他の年代よりも比較的低くなっており、「全く知らない」と回答した割合を下回っている。

《性別》



《年代別》



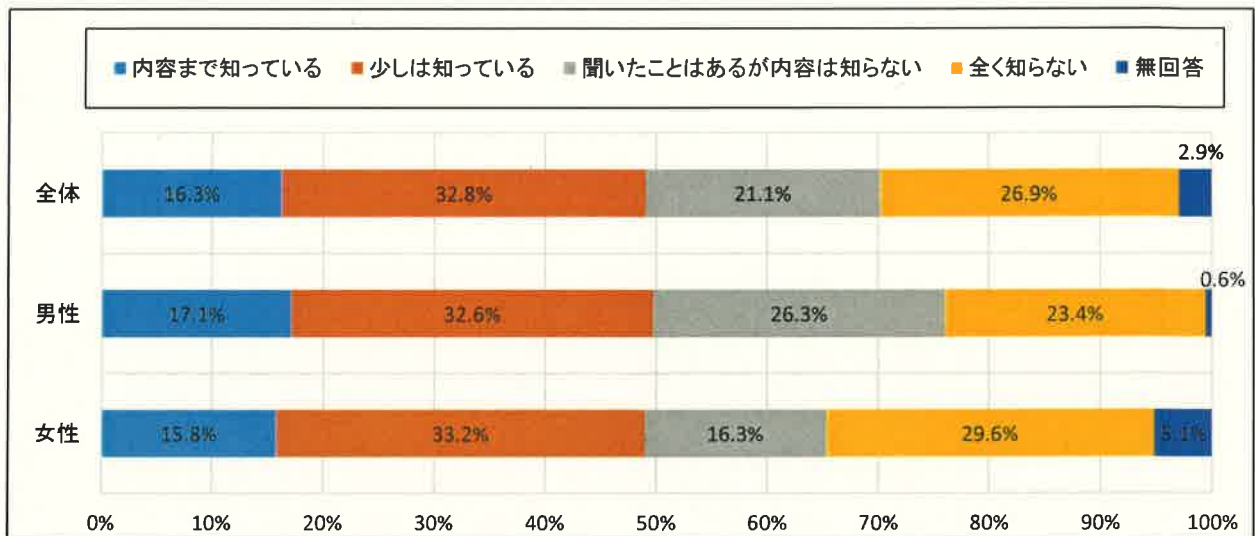
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(4)ジェンダー(社会的・文化的に作られた性別)

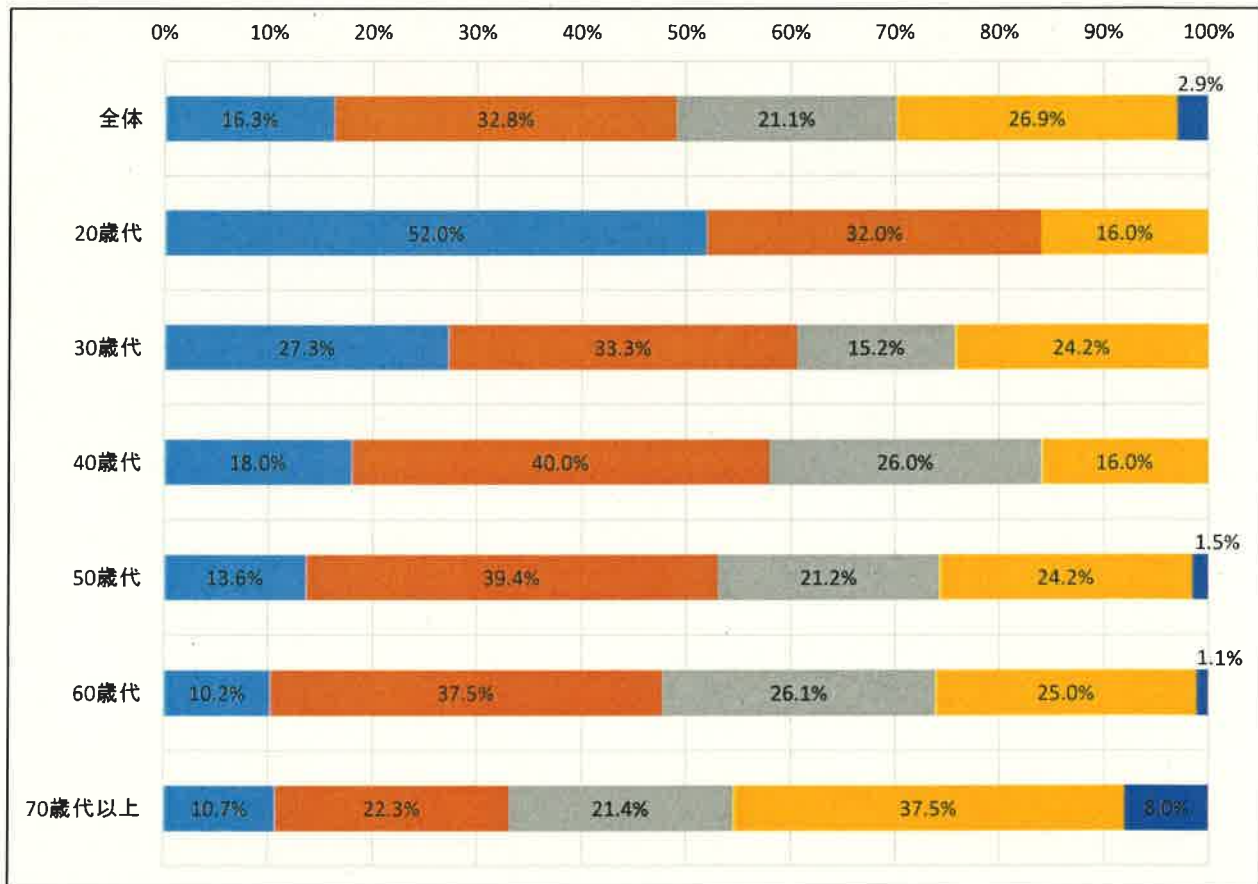
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で49.1%となっており、性別回答では男性が49.7%、女性が49.0%で、男女の差はあまりない。(参考:28年度調査 全体で32.7%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が20歳代で84.0%と最も多く、年代を経るごとに、その割合が低くなっている。

《性別》



《年代別》



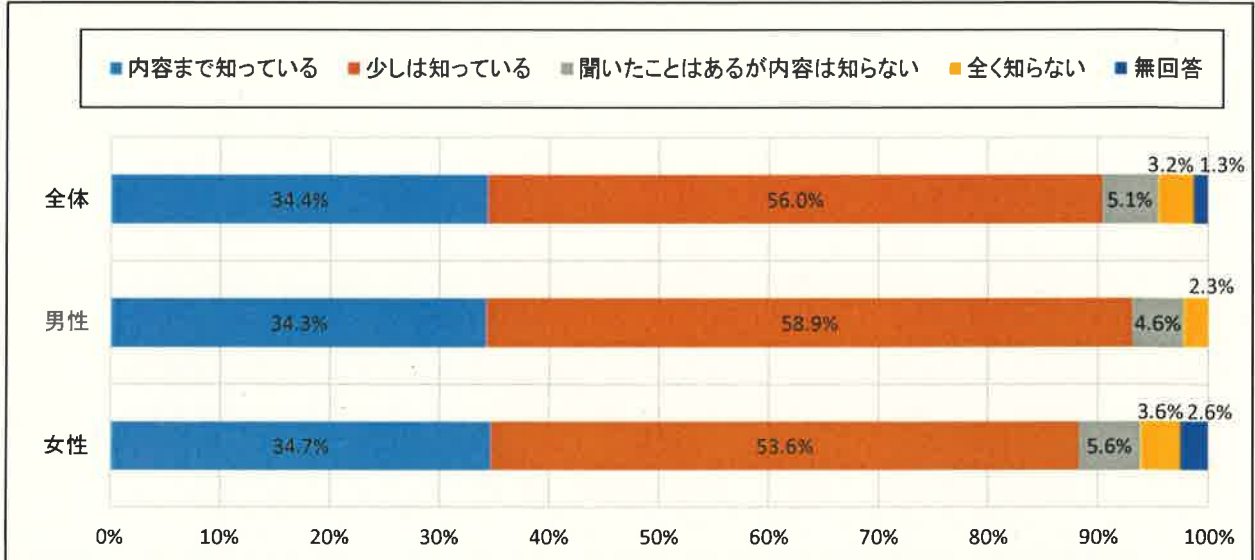
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(5) 育児休業制度

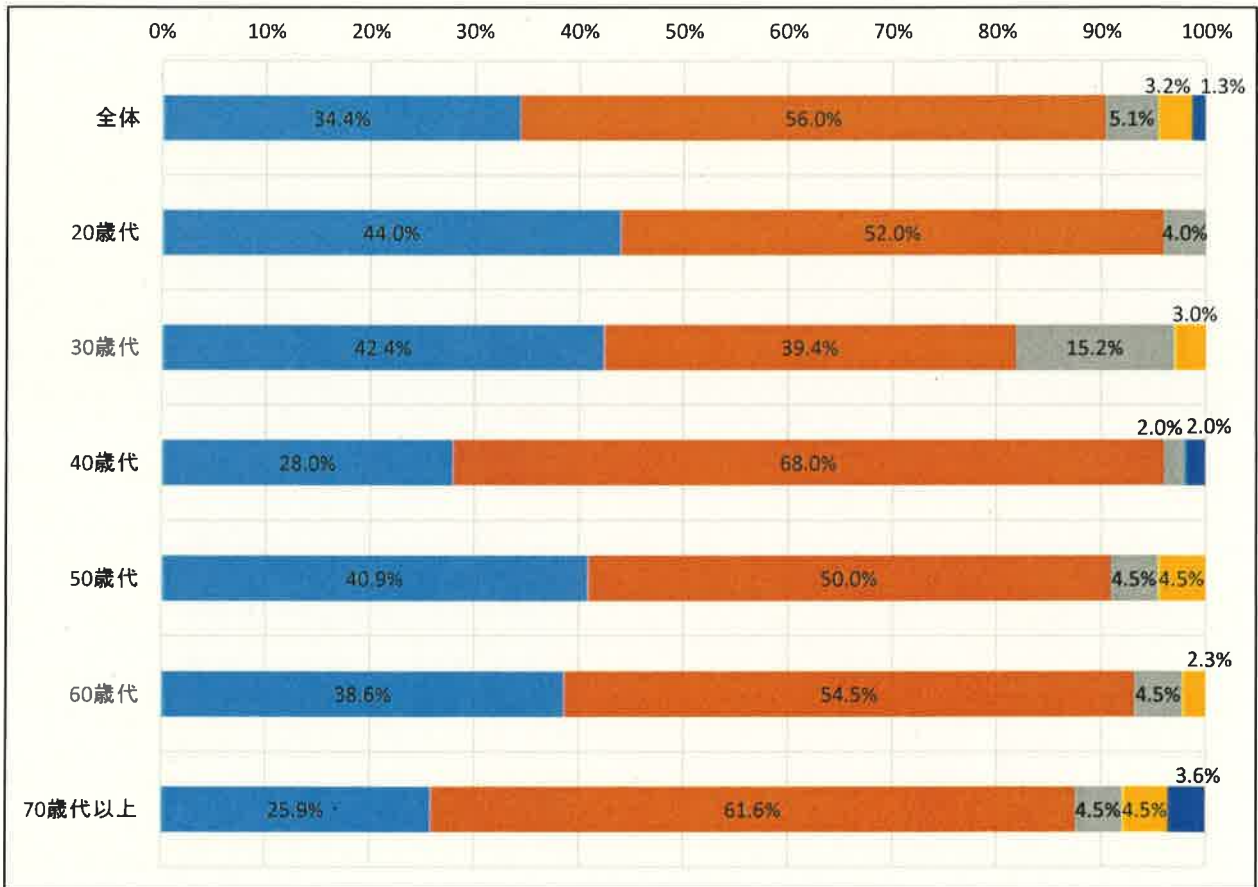
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で90.4%となっており、性別回答では男性が93.2%、女性が88.3%で4.9ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で93.2%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、30歳代、70歳代以上で、他の年代よりも比較的低くなっている。

《性別》



《年代別》



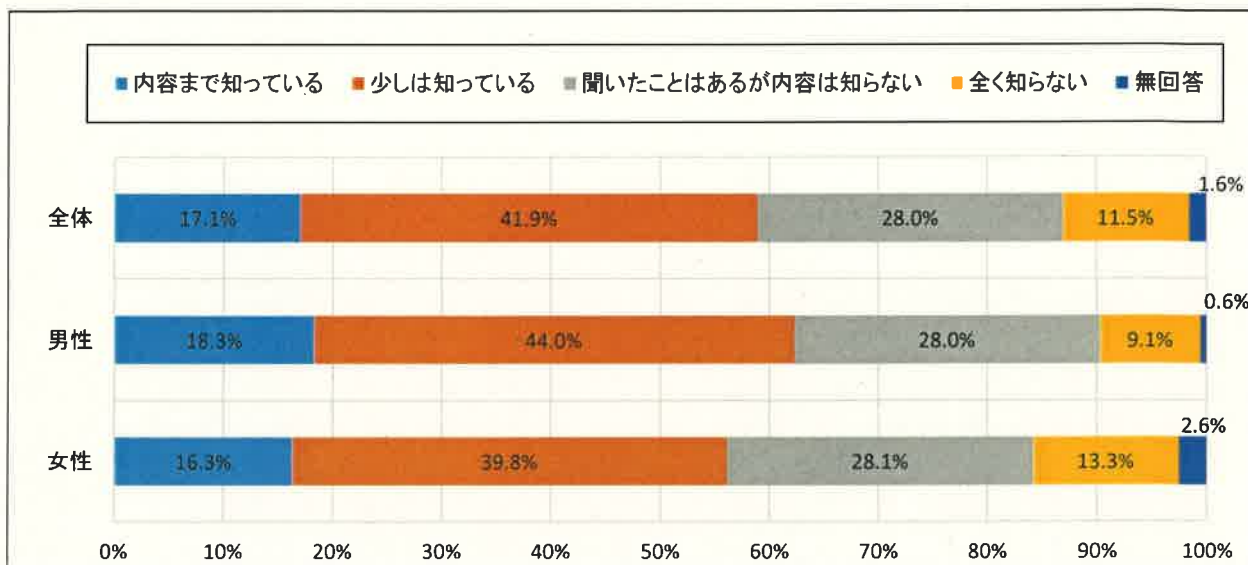
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(6) 介護休業制度

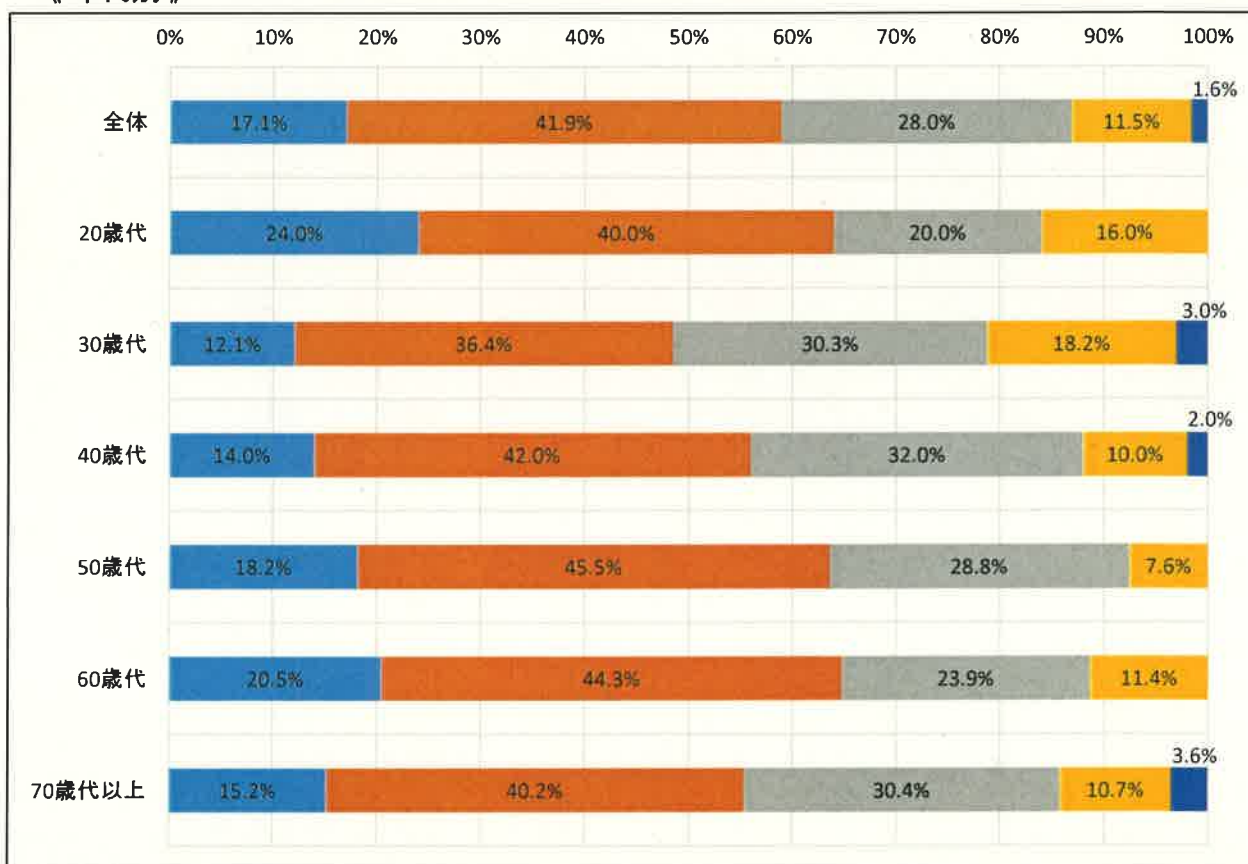
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で59.0%となっており、性別回答では男性が62.3%、女性が56.1%で、6.2ポイントの差で男性が高くなっている。(参考: 28年度調査 全体で68.6%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、30歳代で5割に満たず、他の年代よりも比較的低くなっている。

《性別》



《年代別》



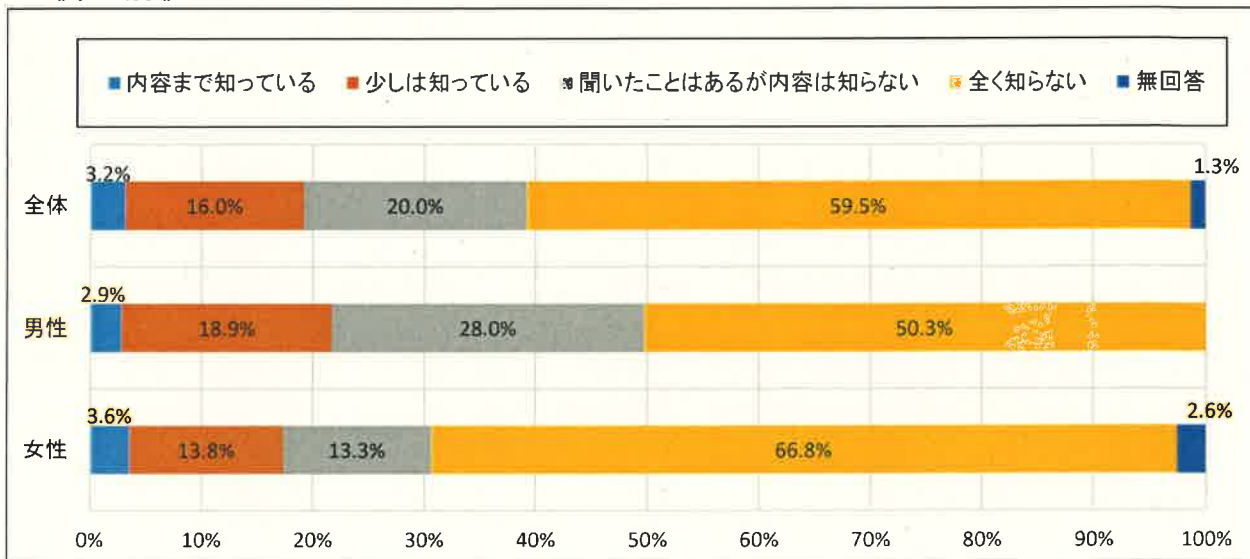
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(7) 家族経営協定

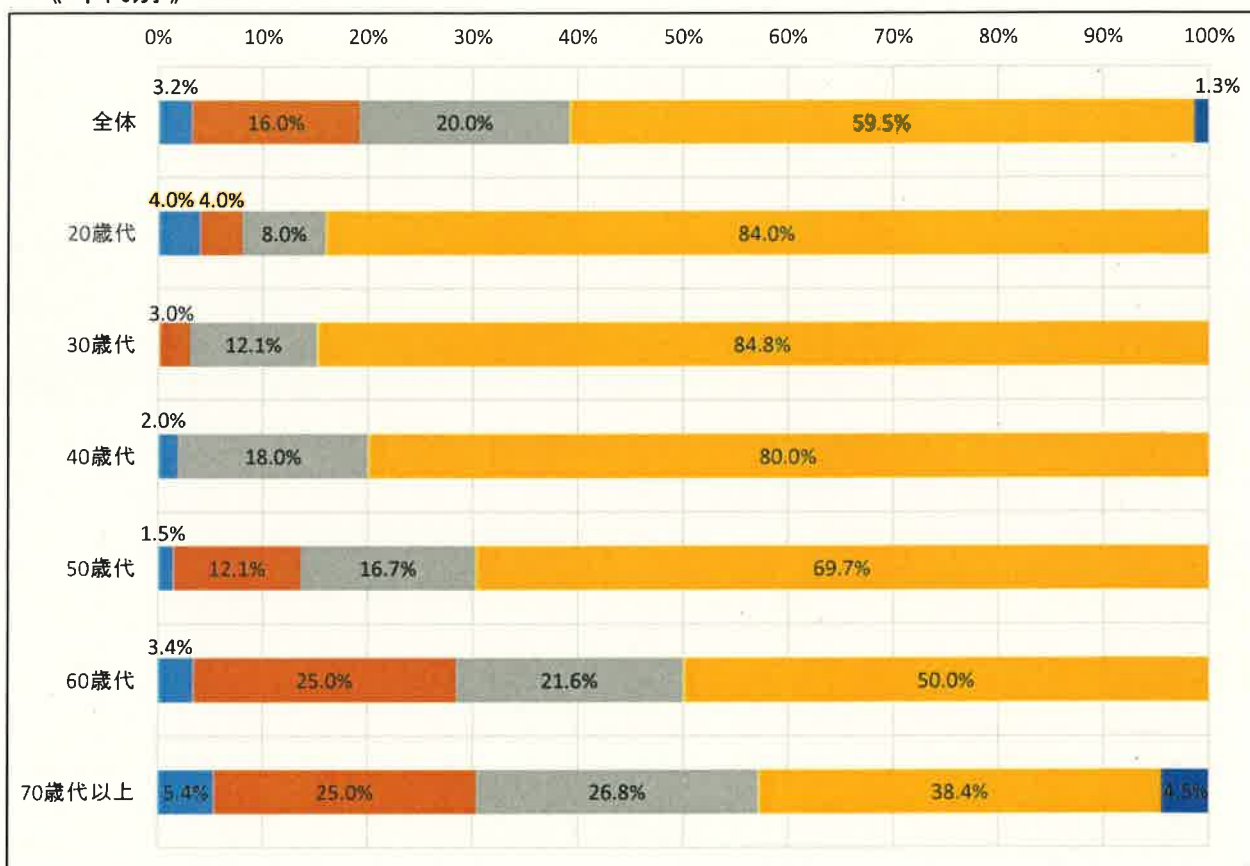
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で19.2%と2割に届いておらず、性別回答では男性が21.8%、女性が17.4%で4.4ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で21.2%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が、20、30、40歳代で、他の年代よりも低くなっており、1割を満たしておらず、「全く知らない」と回答した割合は8割を超えている。

《性別》



《年代別》



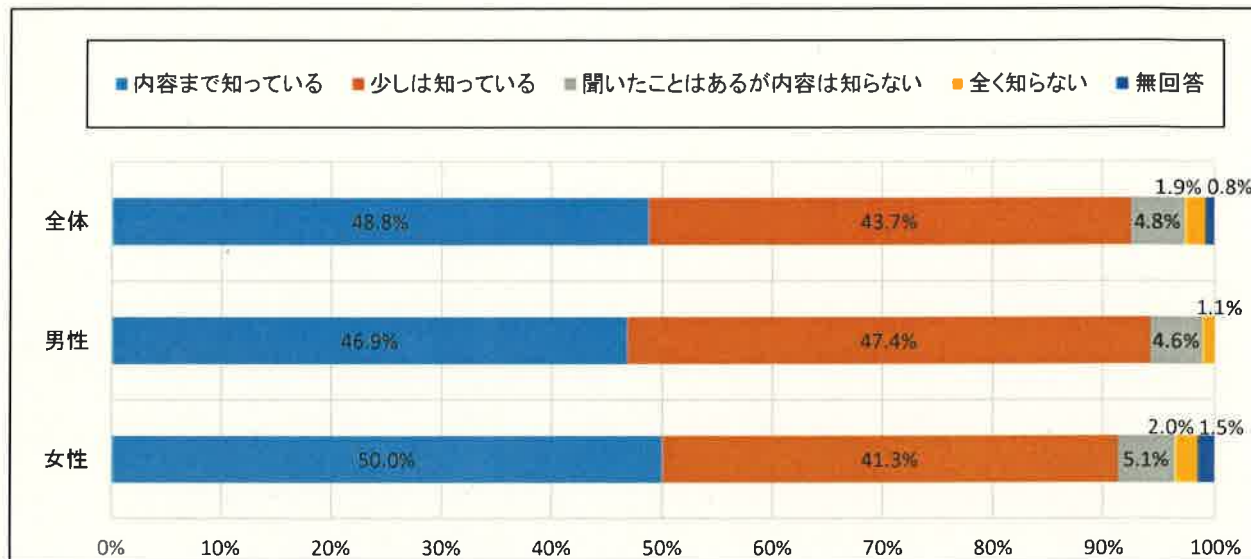
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(8) セクシャル・ハラスメント(セクハラ・性的嫌がらせ)

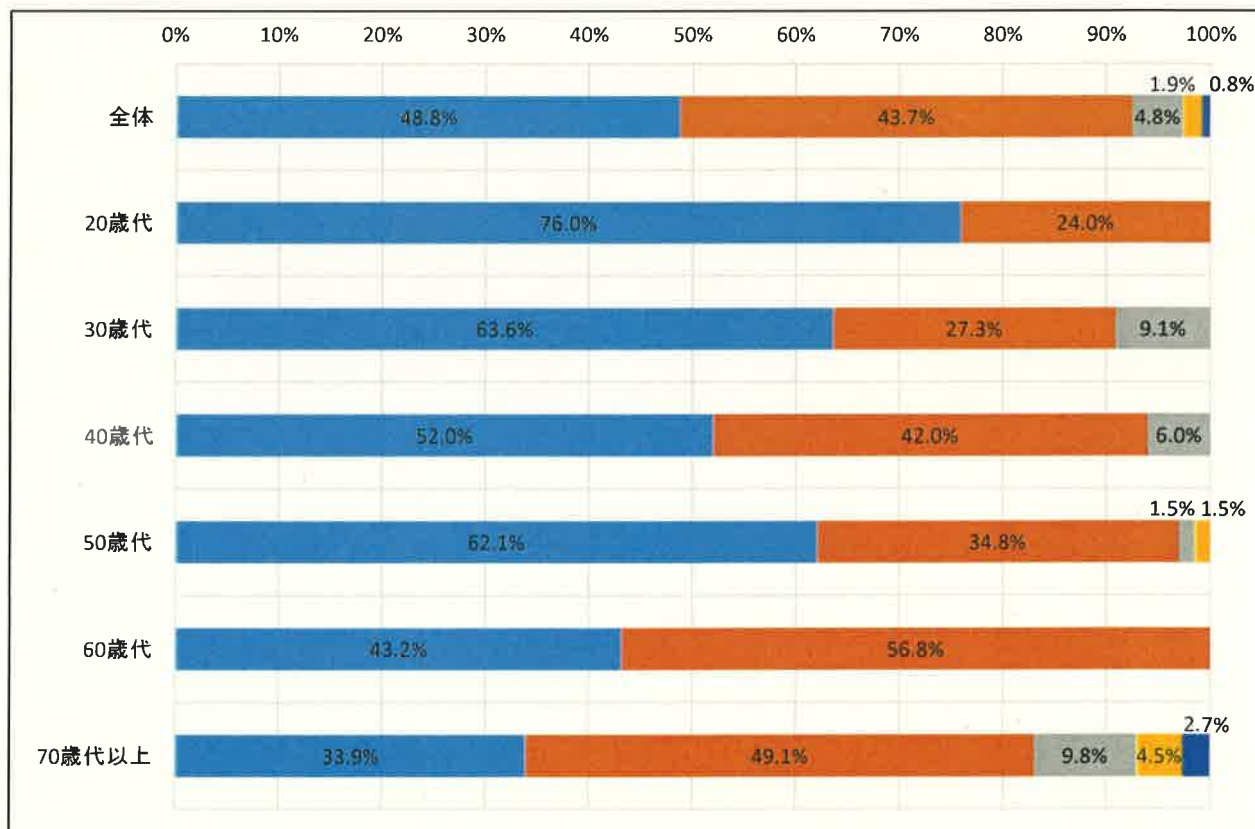
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で92.5%となっており、20歳代と60歳代では100.0%となっている。また、性別回答では男性が94.3%、女性が91.3%で3.0ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で97.4%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」と回答した割合が20歳代で76.0%と最も多く、年代を経るごとに、その割合が低くなる傾向にある。

《性別》



《年代別》





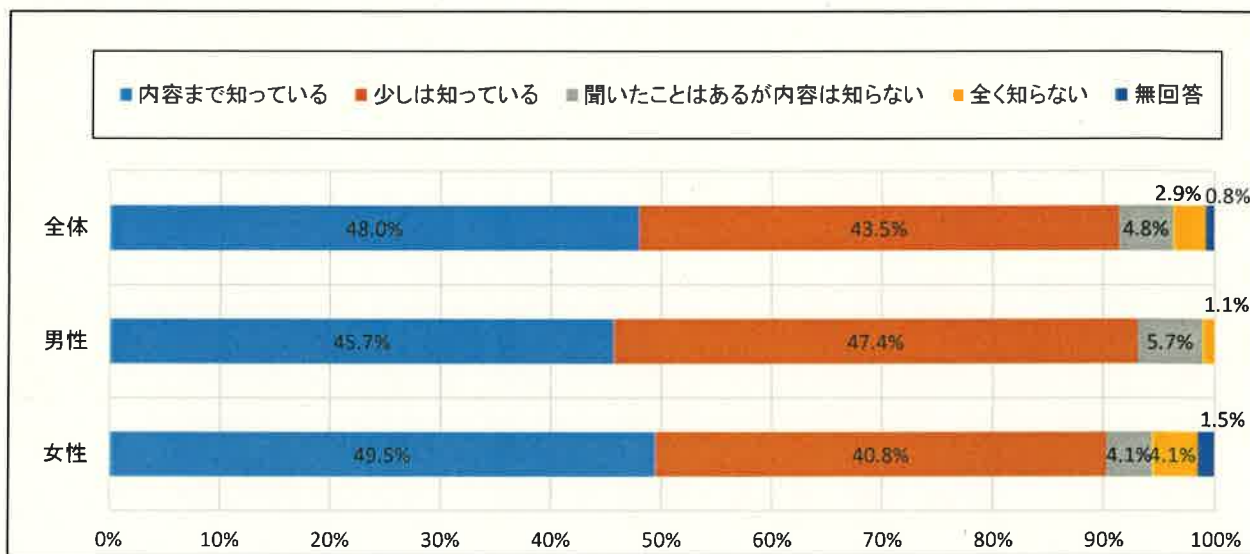
問3 あなたは次の法律、制度やことばをご存知ですか。

(9)ドメスティック・バイオレンス(DV・配偶者、恋人等からの暴力)

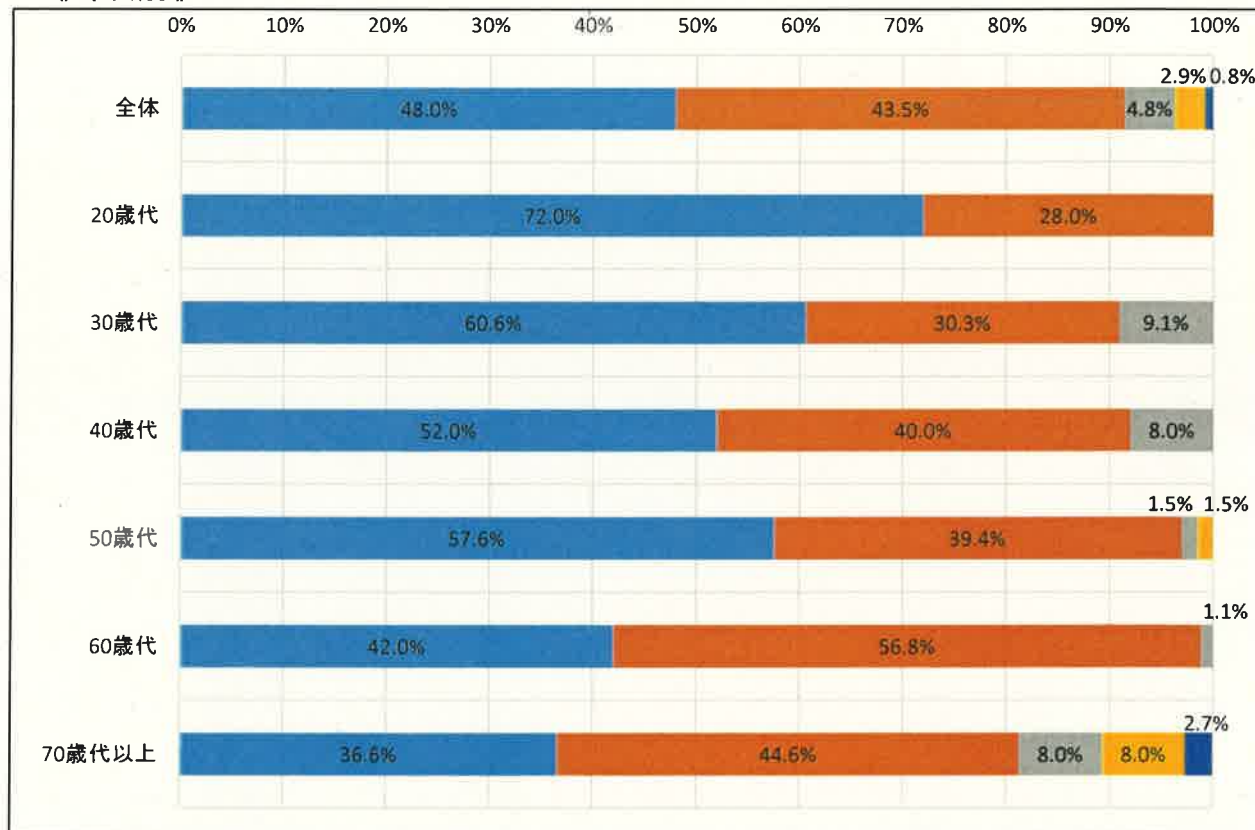
●「内容まで知っている」、「少しは知っている」と回答した割合が全体で91.5%となっており、20歳代では100.0%となっている。また、性別回答では男性が94.1%、女性が90.3%で3.8ポイントの差で男性が高くなっている。(参考:28年度調査 全体で97.4%)

●年代別回答では、「内容まで知っている」と回答した割合が20歳代で72.0%と最も多く、年代を経るごとに、その割合が低くなる傾向にある。

《性別》



《年代別》



### 【3】性別役割分担意識について（問4・5・6）

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思われますか。

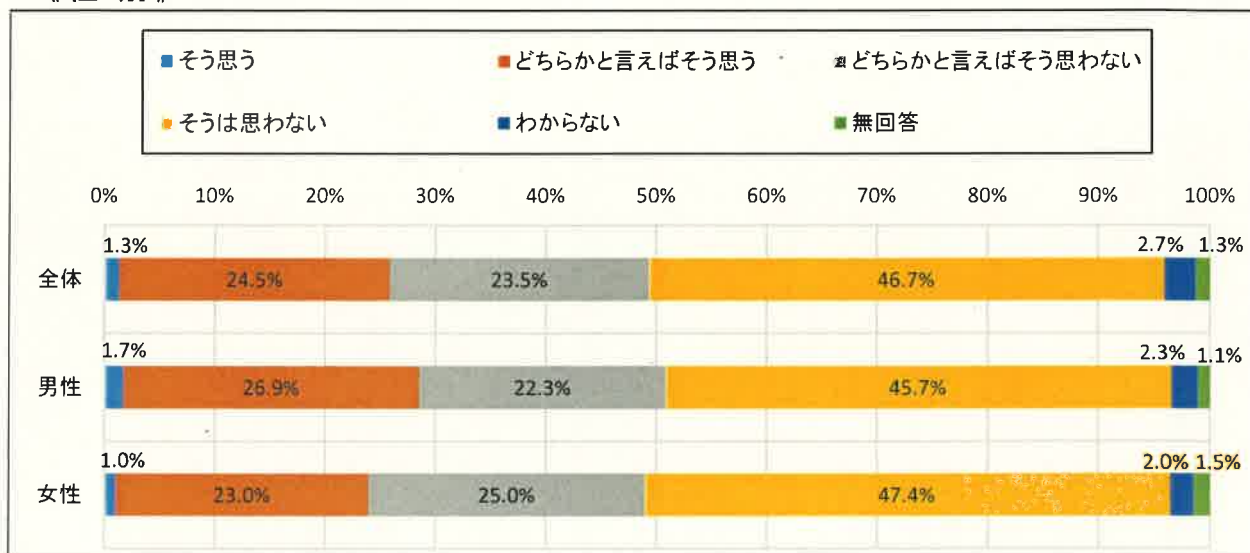
●「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が全体で70.2%となっており、性別回答では女性が72.4%、男性が68.0%で4.4ポイントの差で女性が高くなっている。（参考：28年度調査 全体で60.5%）

●年代別回答では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が、60歳代、70歳代以上で、3割を超えており他の年代と比較して高くなっている。

●婚姻状況別回答では、「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が、未婚や離別又は死別よりも既婚の方が低くなっている。

●職業別回答では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が、自営業（事業主・家族従事者）と無職で3割を超えており、他の職業と比較して高くなっている。

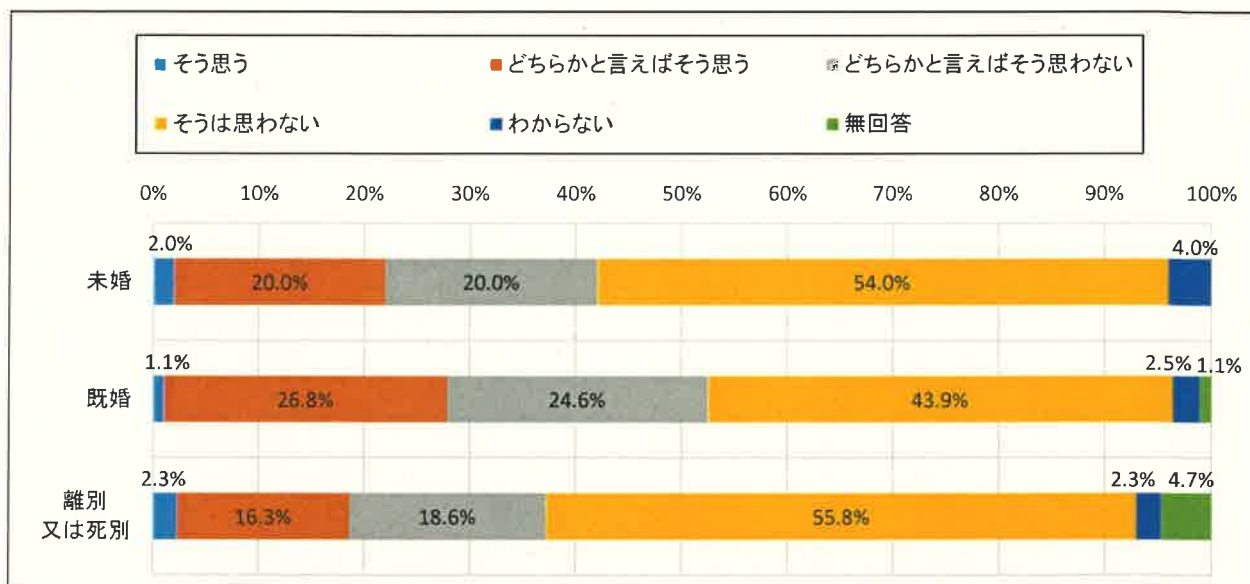
#### 《性別》



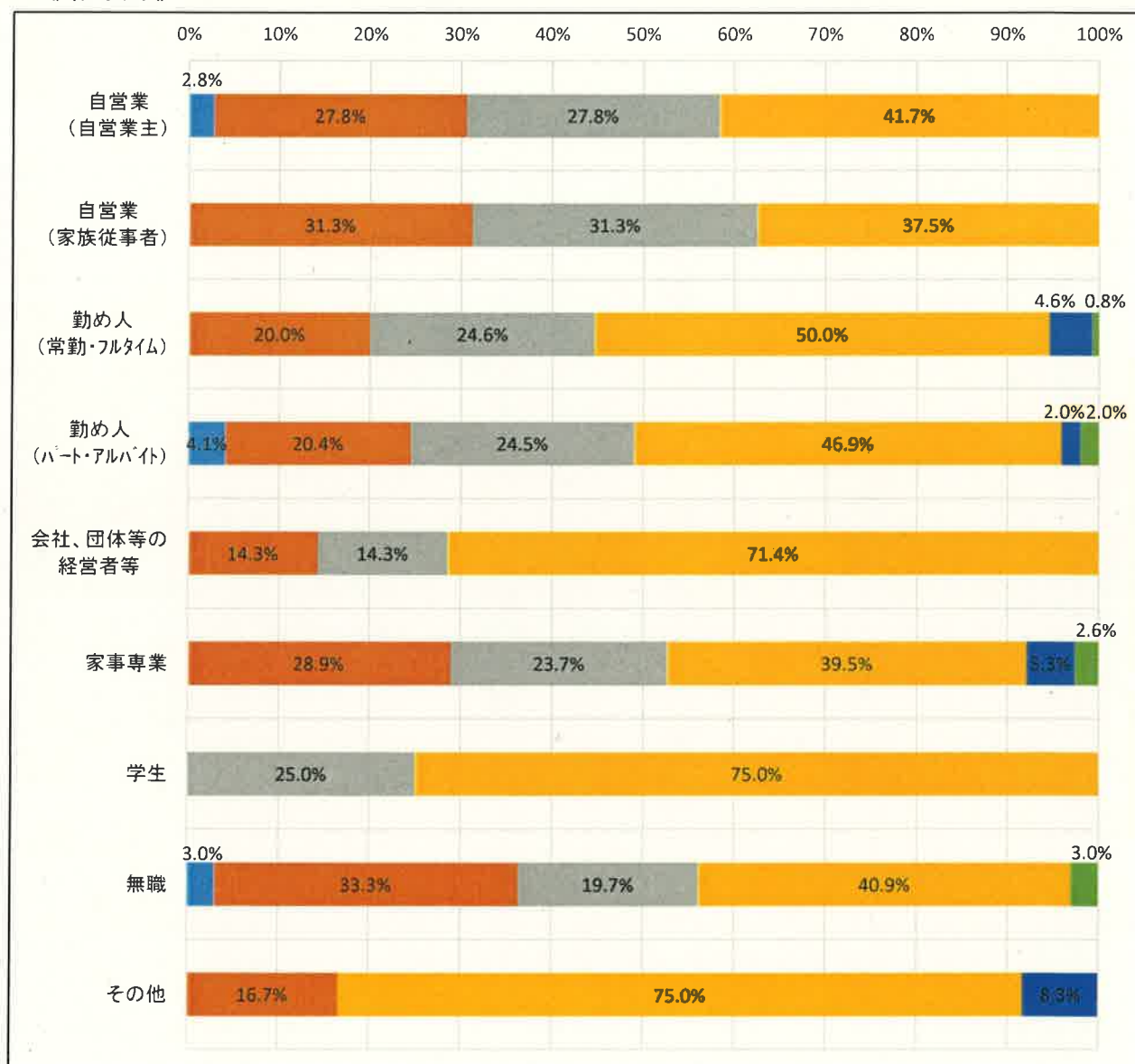
#### 《年代別》



## 《 婚姻状況別 》



## 《 職業別 》



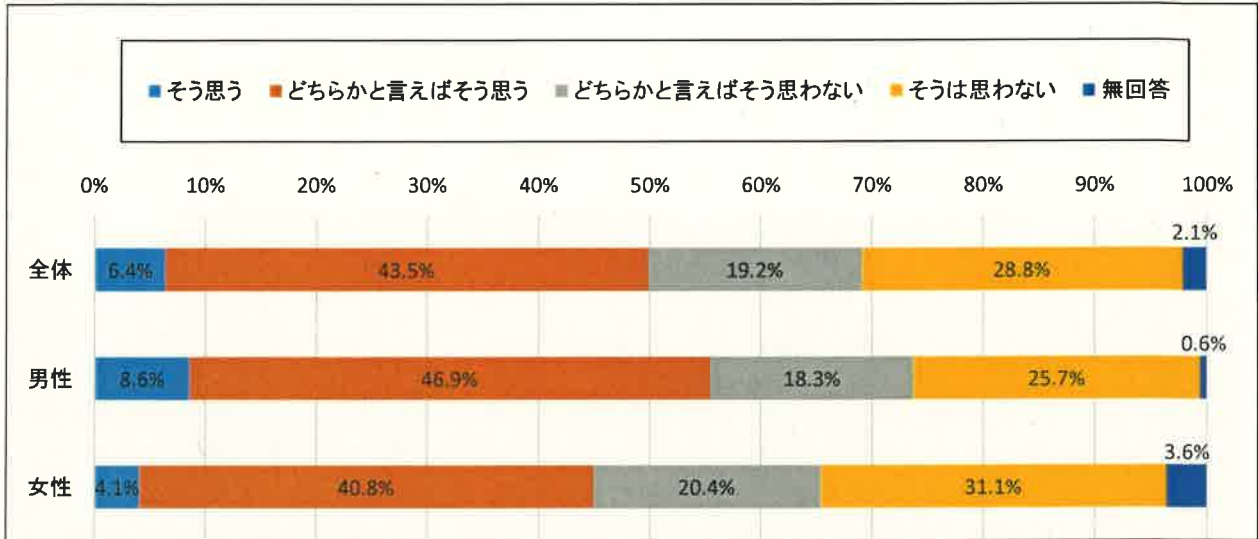
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(1) 男性は外の仕事、女性は家事・子育て・介護に向いている

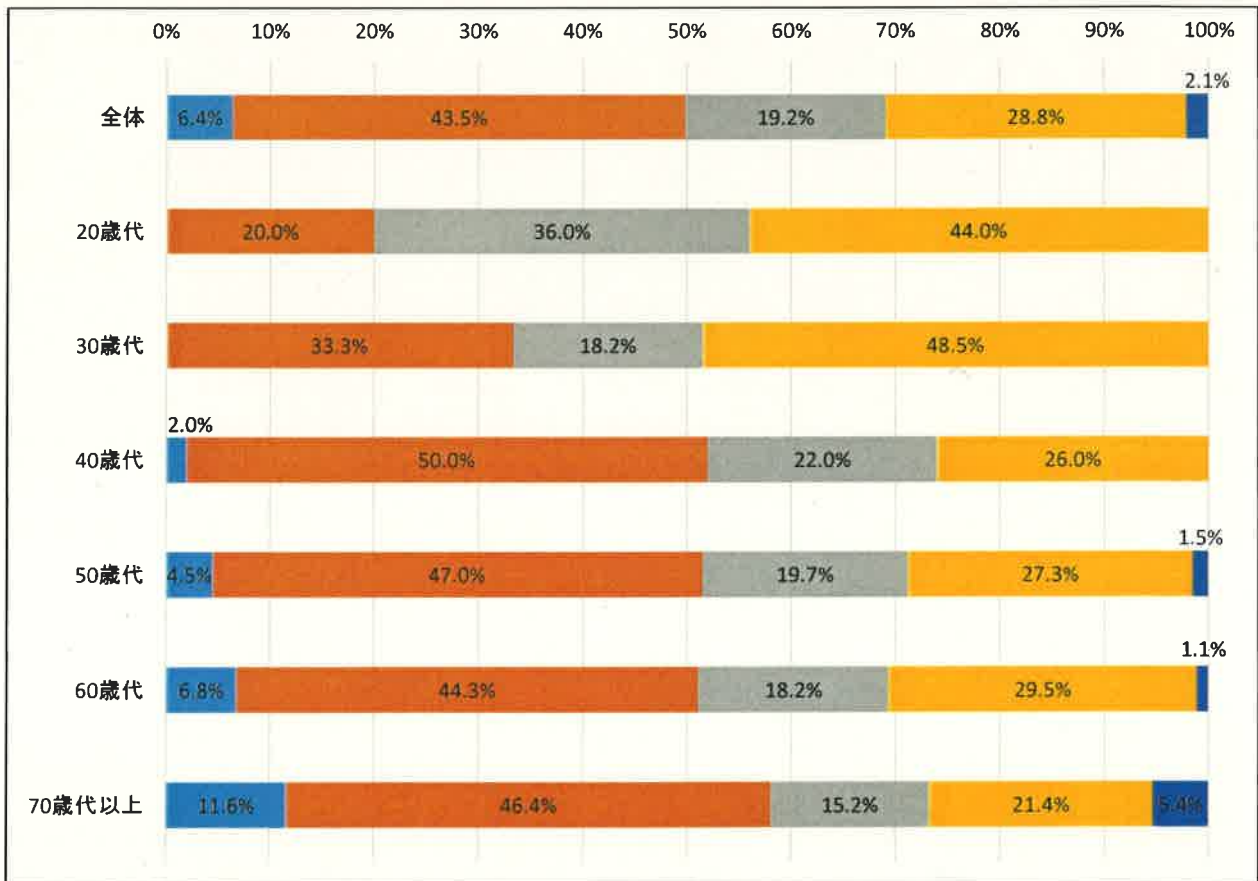
●「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が全体で48.0%となっており、性別回答では女性が51.5%、男性が44.0%で7.5ポイントの差で女性が高くなっている。

●年代別回答では、40歳代以上で「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合を上回っている。

《性別》



《年代別》



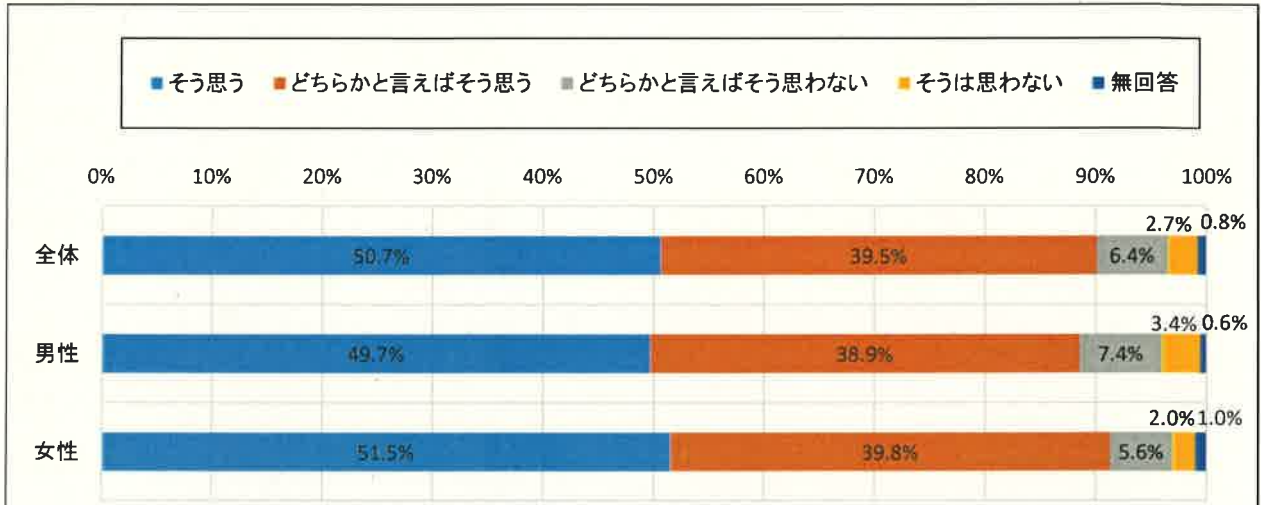
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(2) 男女とも仕事をもったほうがよい

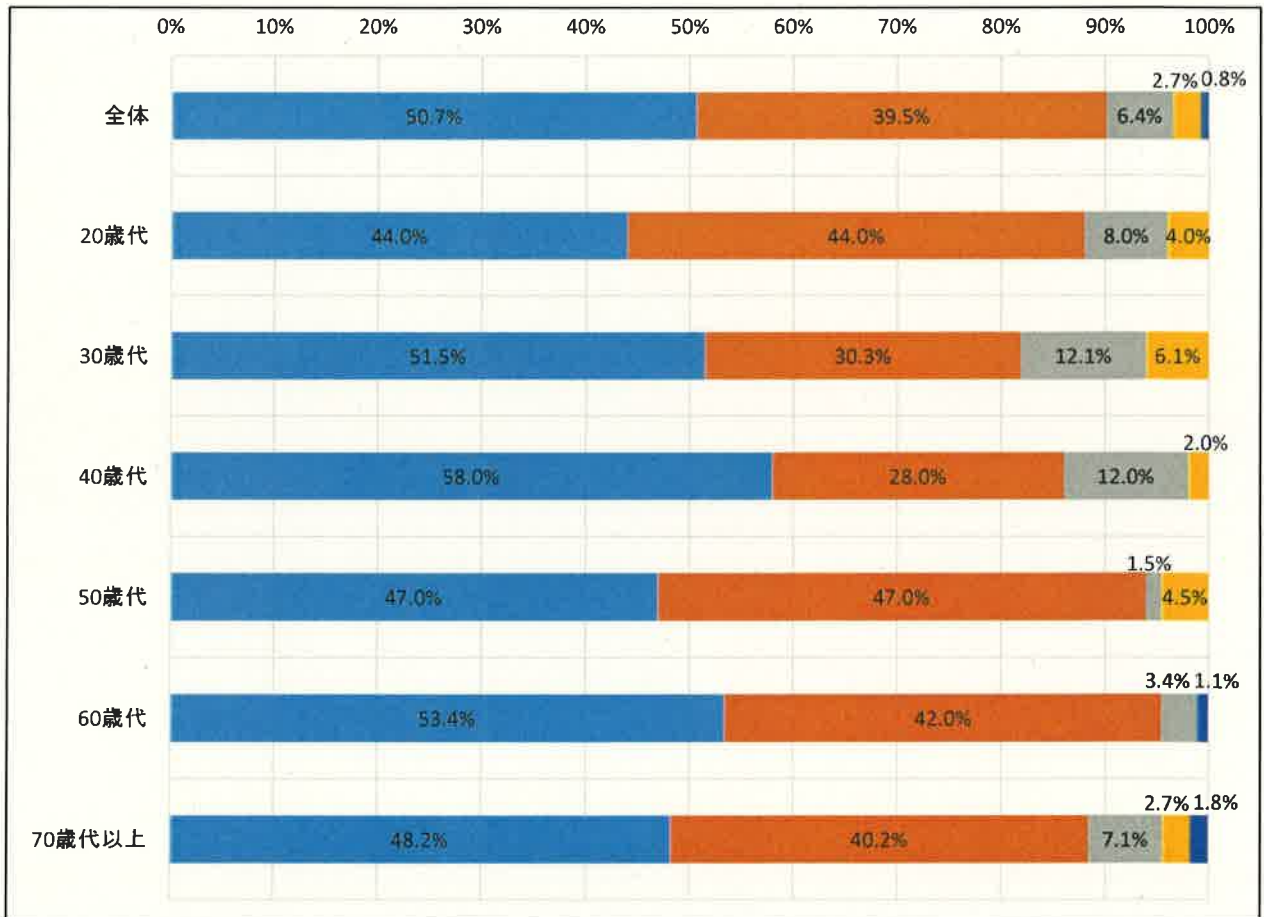
●「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が全体で90.2%となっており、性別回答では女性が91.3%、男性が88.6%で2.7ポイントの差で女性が高くなっている。

●年代別回答では、20、30、40歳代で「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が、他の年代と比較して高くなっている。

《性別》



《年代別》



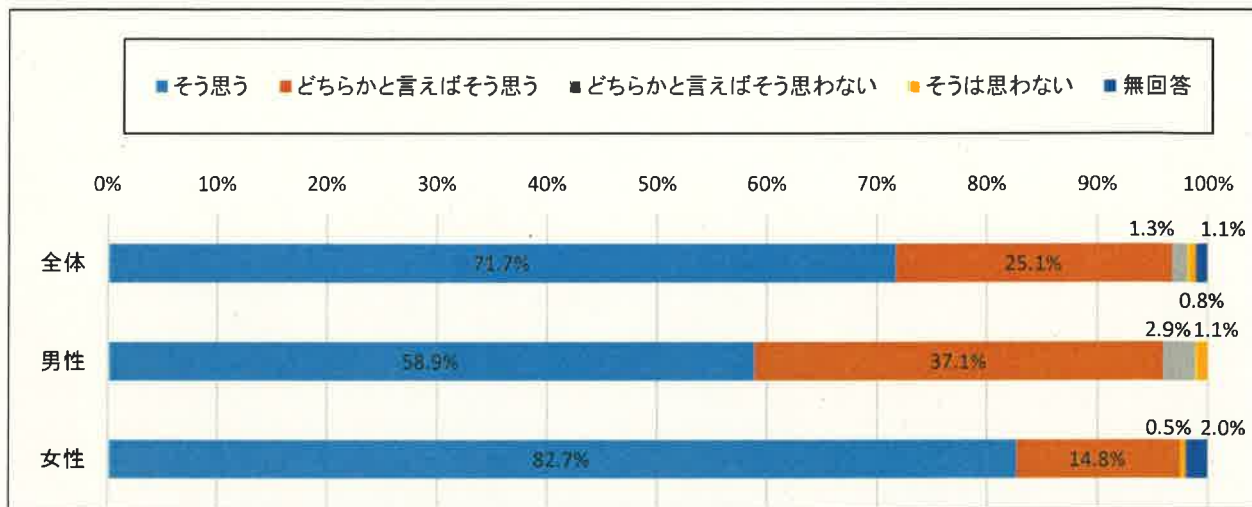
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(3)家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ

●「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が全体で96.8%となっており、性別回答では女性が97.5%、男性が96.0%で、あまり差は見られないが、「そう思う」だけを見ると女性が82.7%、男性が58.9%で23.8ポイントの大きな差となっている。

●年代別回答では、「そう思う」と回答した割合が、20歳代で92.0%と最も高く、年代を経るごとに低くなっている。

《性別》



《年代別》



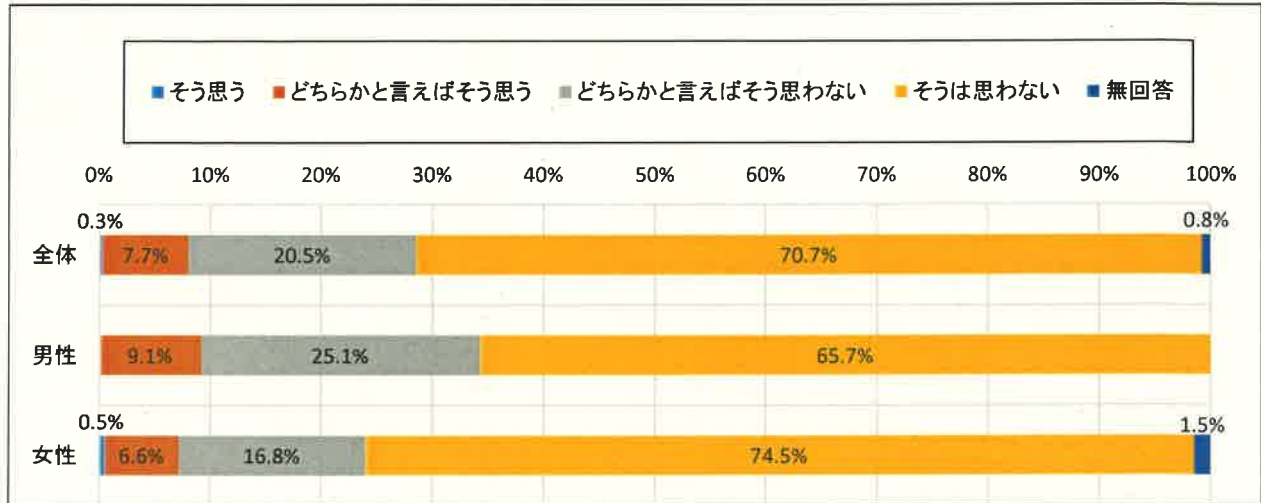
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(4) 子どものしつけや教育は母親の責任である

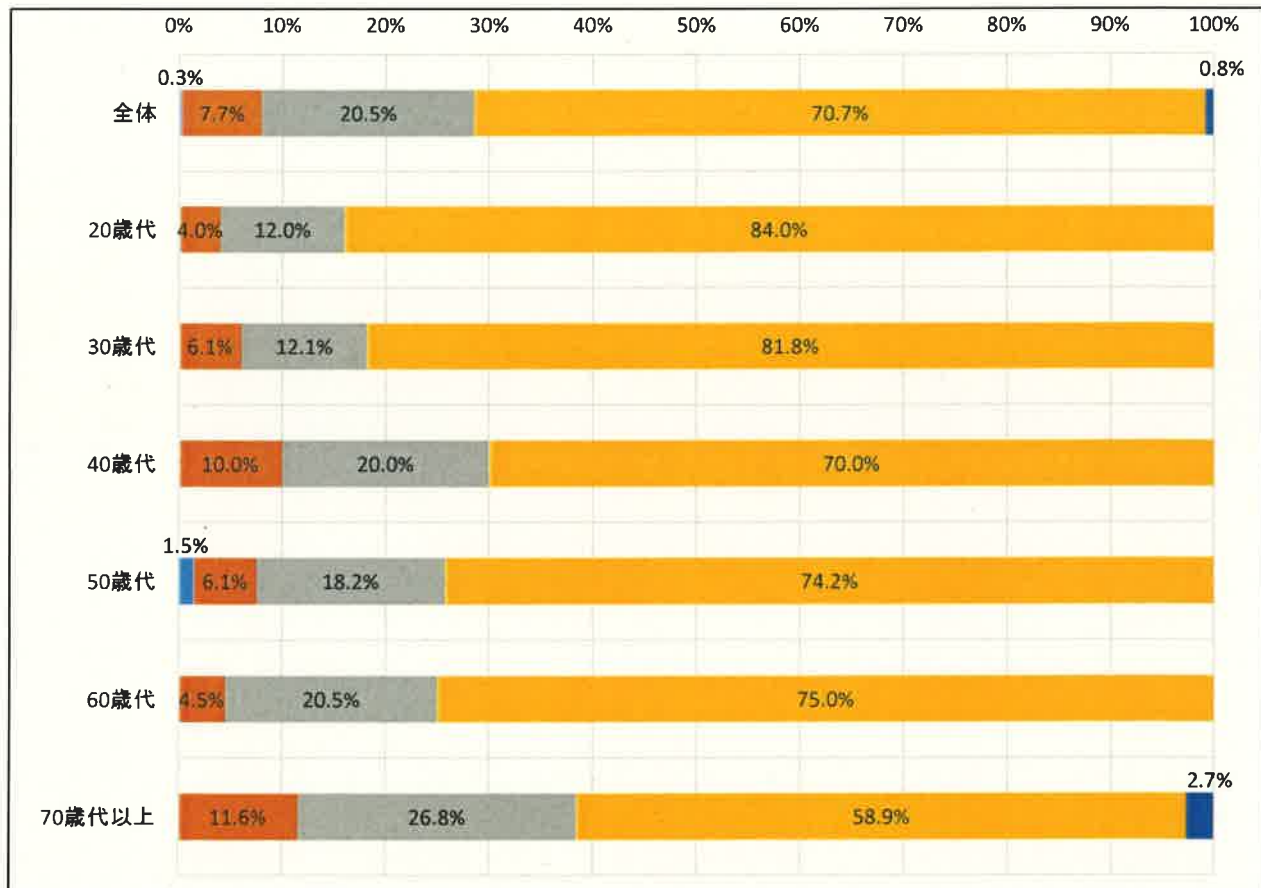
●「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が全体で91.2%となっており、性別回答では女性が91.3%、男性90.8%で0.5ポイントの差で女性の方が高くなっている。また、「そうは思わない」のみで割合を比較すると女性が74.5%、男性が65.7%で8.8ポイントの差で女性の方が高くなっている。

●年代別回答では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が、40歳代と70歳代以上で1割以上となっており、他の年代よりも高くなっている。

《性別》



《年代別》



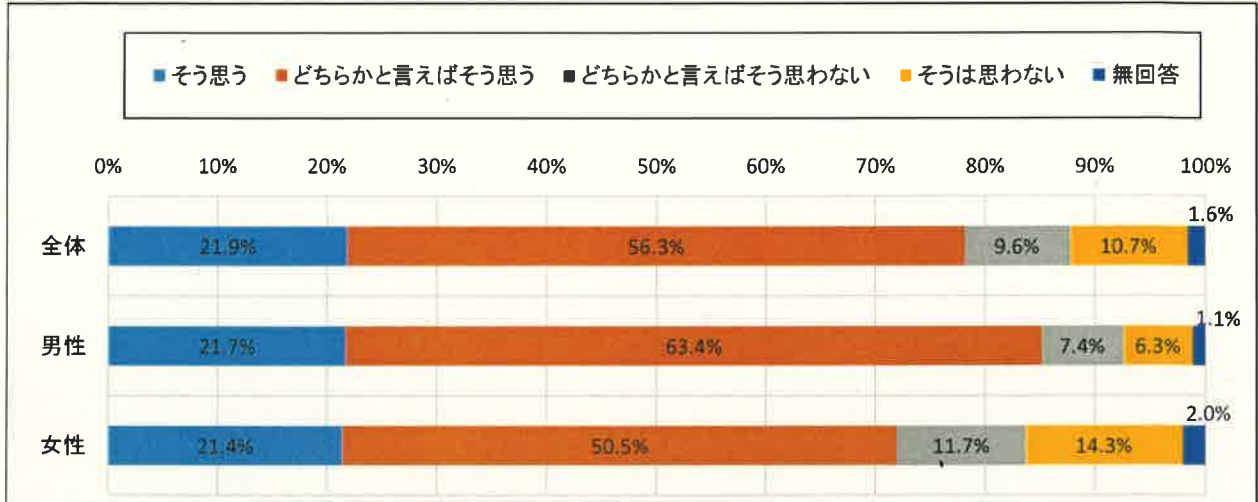
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(5) 子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい

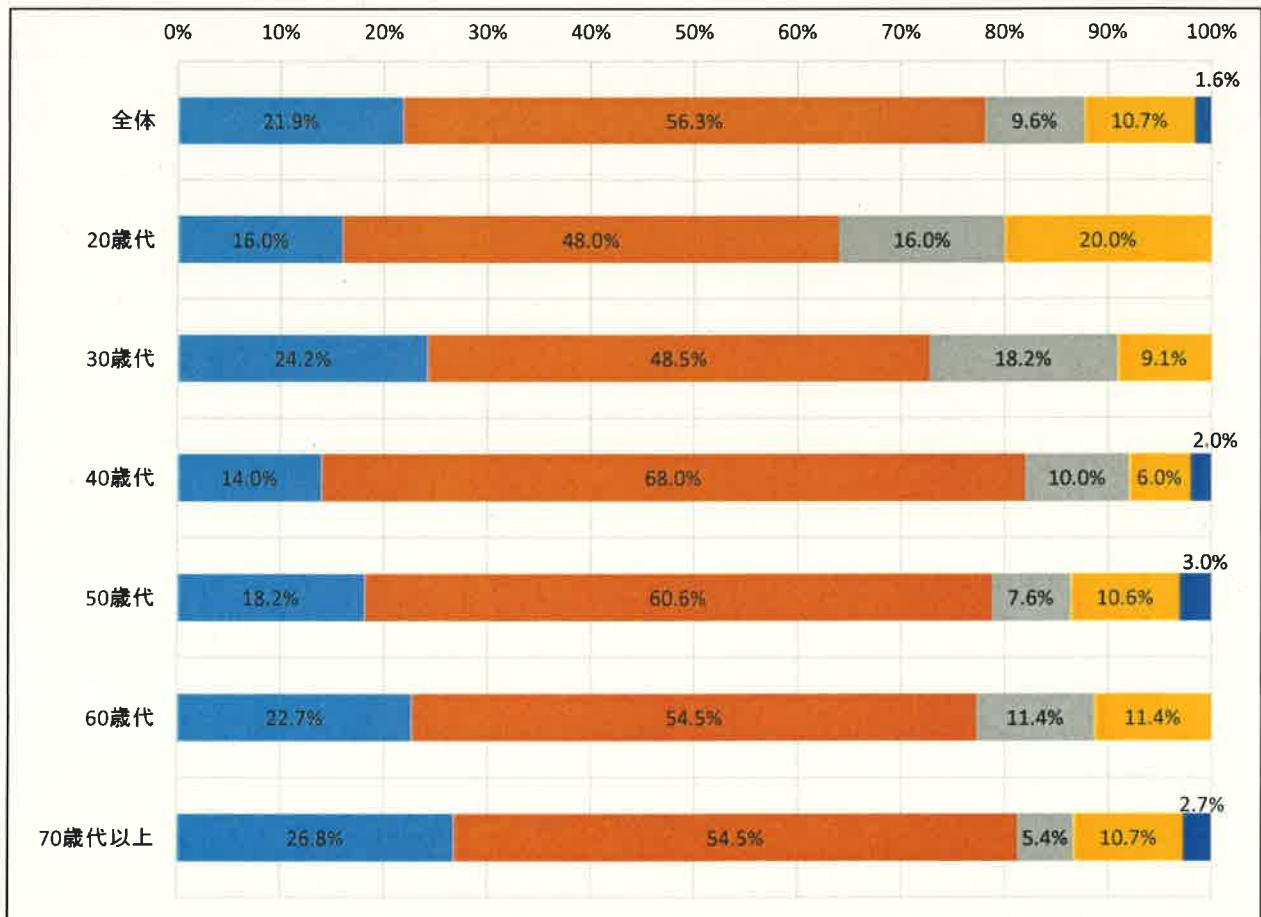
●「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合が全体で78.2%となっており、性別回答では男性85.1%、女性71.9%で13.2ポイントの差で男性の方が高くなっている。

●年代別回答では、「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が、20、30歳代と70歳代以上で2割を超えており、他の年代よりも高くなっている。

《性別》



《年代別》





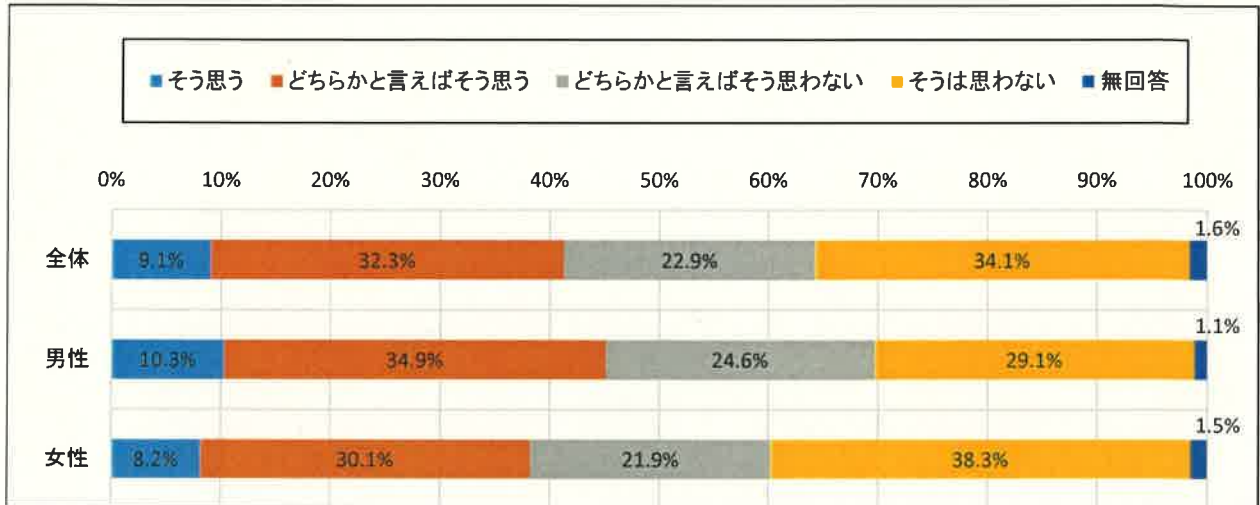
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(6) 子どもは、女の子は優しく、男の子はたくましく育てた方がよい

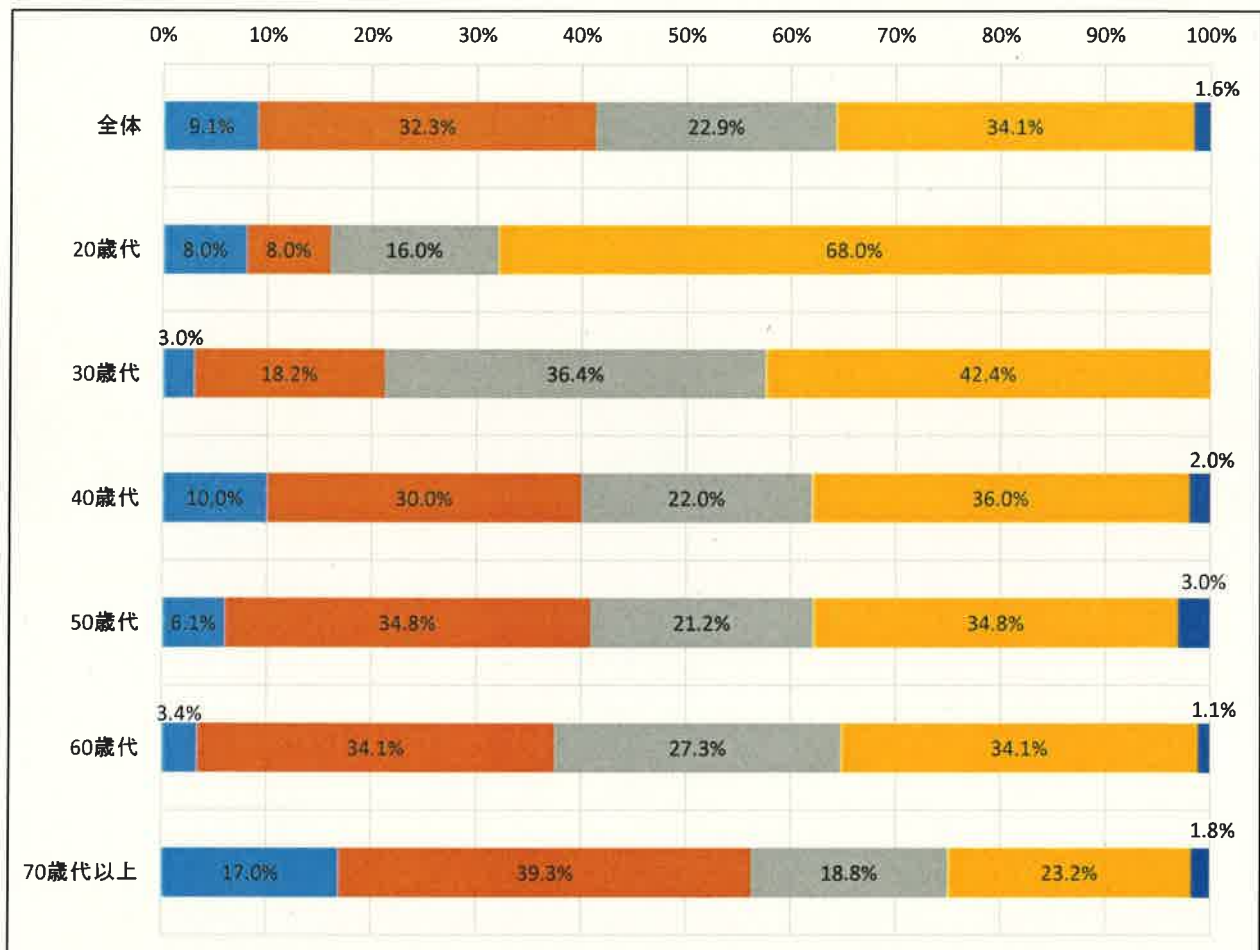
●「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合が全体で57.0%となっており、性別回答では女性60.2%、男性53.7%で6.5ポイントの差で女性の方が高くなっている。

●年代別回答では、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合が、20歳代で84.0%、30歳代で78.8%となっており、他の年代よりも高くなっている。

《性別》



《年代別》



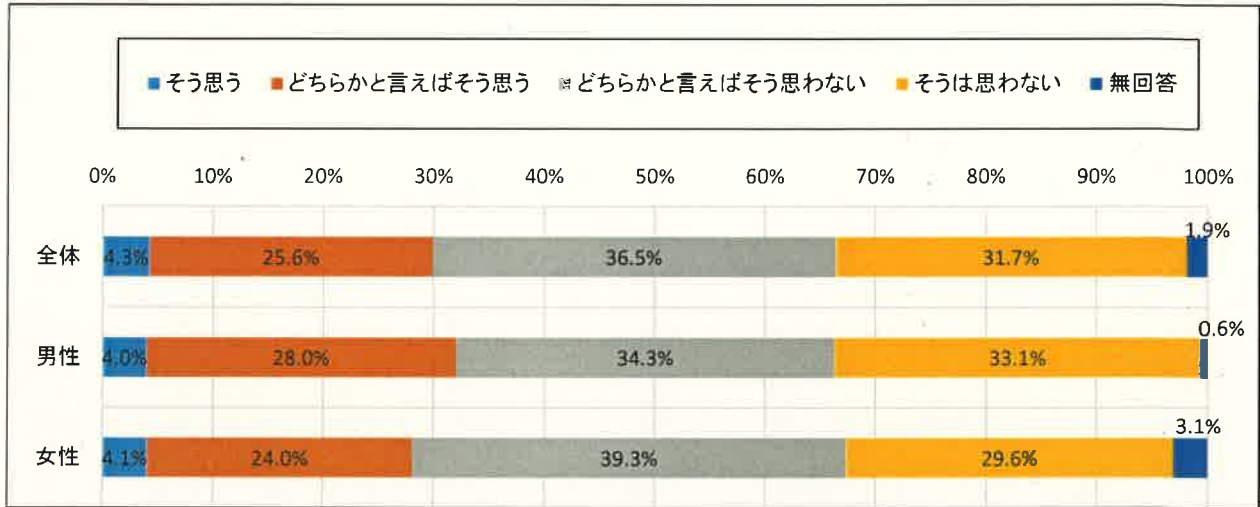
問5 次の考え方について、どう思いますか。

(7)しきたりや慣習は、自分が嫌だ、時代に合わないと思っても守るべきだ

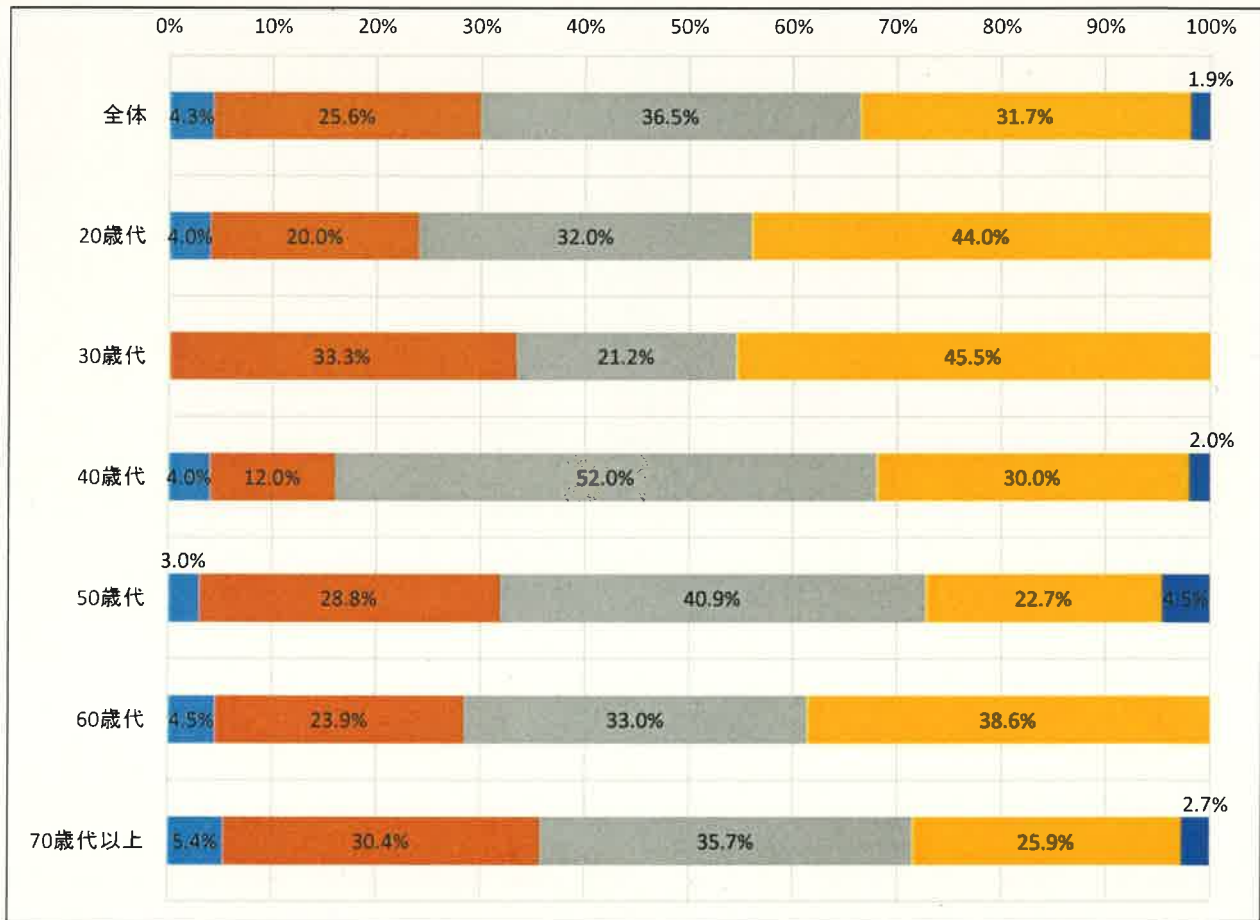
●「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が全体で68.2%となっており、性別回答では女性が68.9%、男性が67.4%で1.5ポイント女性が高くなっている。

●年代別回答では、「どちらかと言えばそう思わない」、「そうは思わない」と回答した割合が40歳代(82.0%)、20歳代(76.0%)、60歳代(71.6%)で他の年代よりも比較的高くなっている。

《性別》



《年代別》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(1) 家庭における重大問題の決定

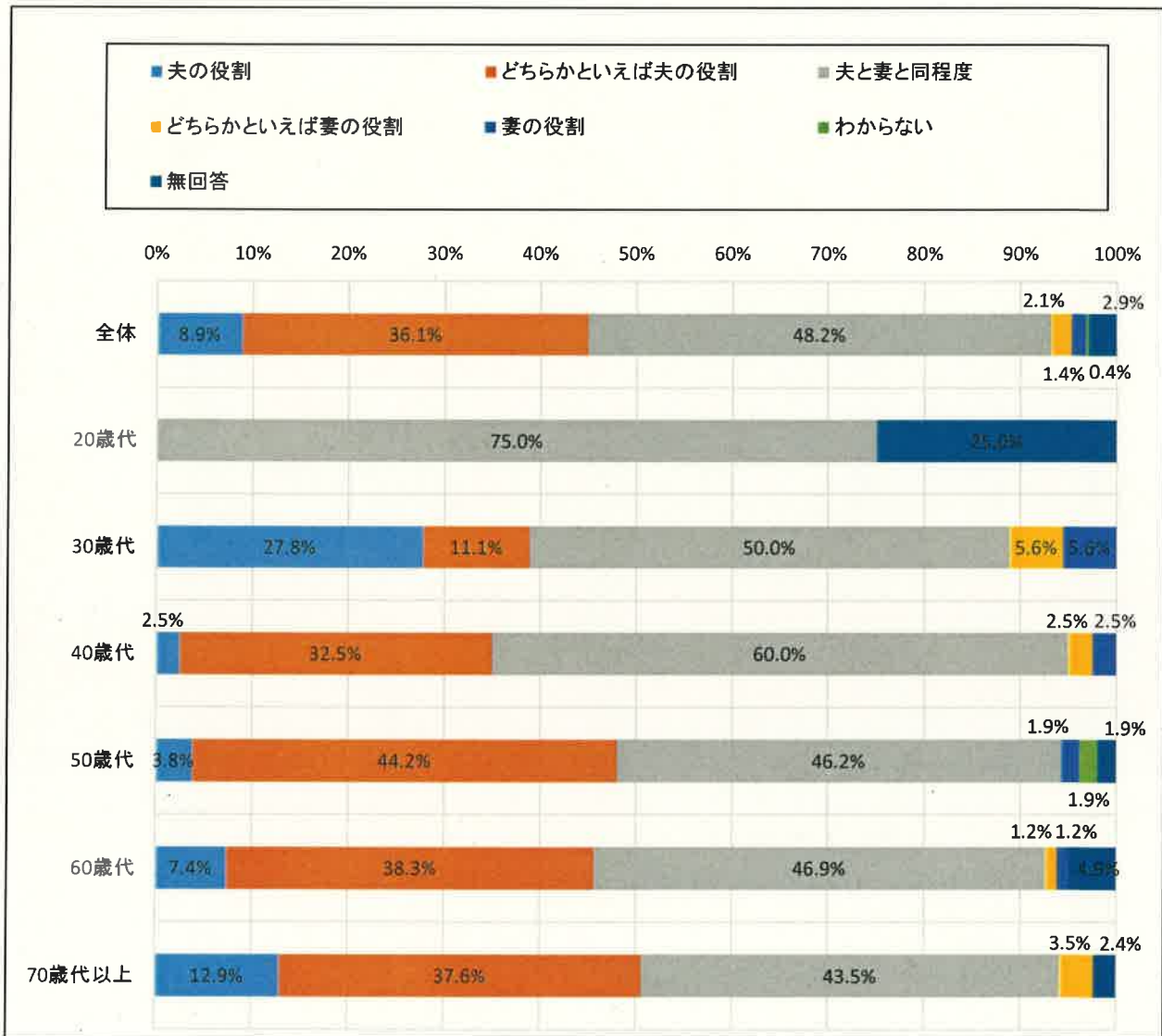
●「夫と妻と同程度」と回答した割合が全体で48.2%と最も高くなっており、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合45.0%に3.2ポイントの差で上回っている。(参考: 28年度調査 全体で42.5%、「夫の役割」と「どちらかと言えば夫の役割」で54.0%)

●年代別回答では、「夫と妻と同程度」と回答した割合が、20、30、40歳代で5割以上となっており、他の年代と比較して高くなっている。

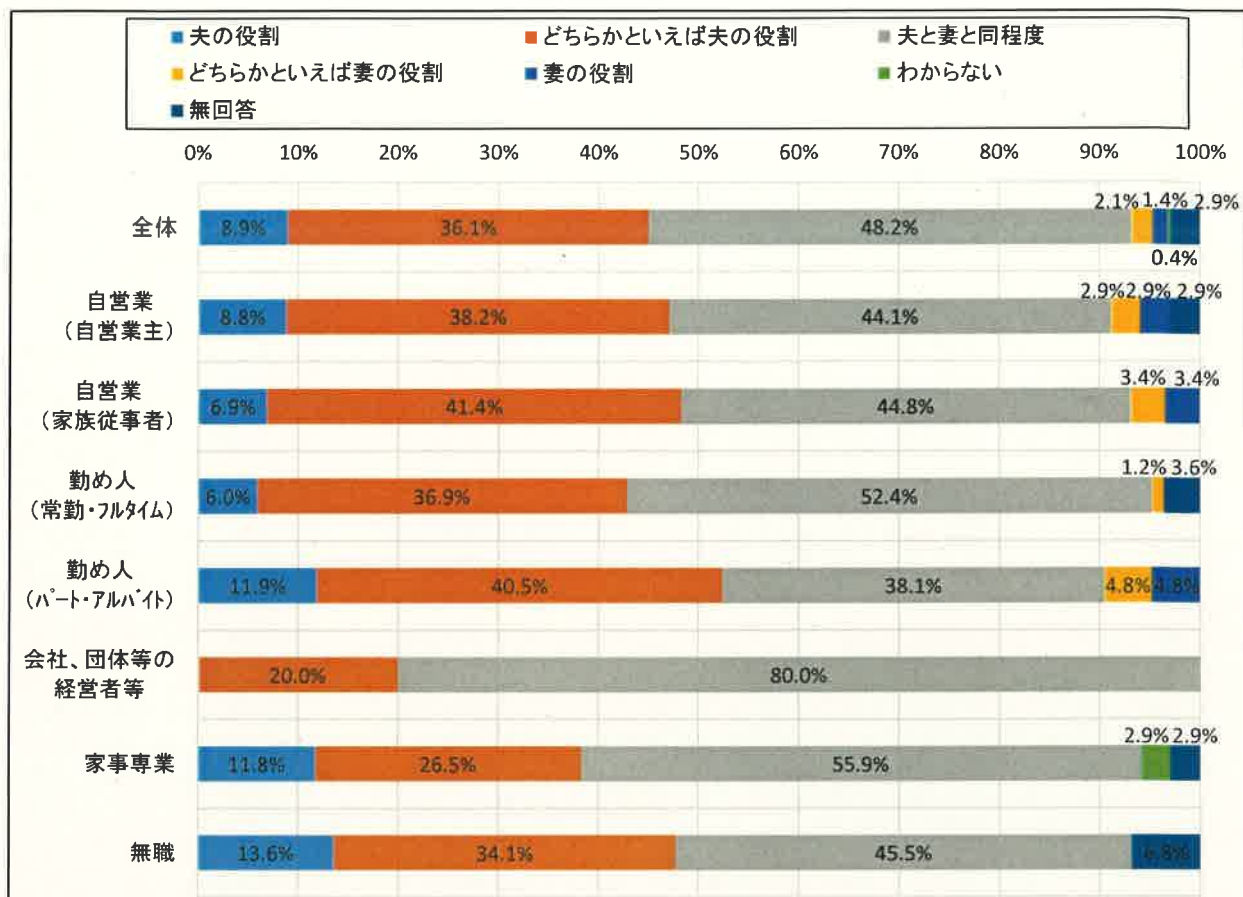
●職業別回答では、「夫と妻と同程度」と回答した割合が、「勤め人(常勤・フルタイム)」、「会社、団体等の経営者等」、「家事専業」で5割以上となっており、他の職業と比較して高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合が、「自営業(家族従事者)」と「勤め人(パート・アルバイト)」で5割以上となっており、他の職業と比較して高くなっている。

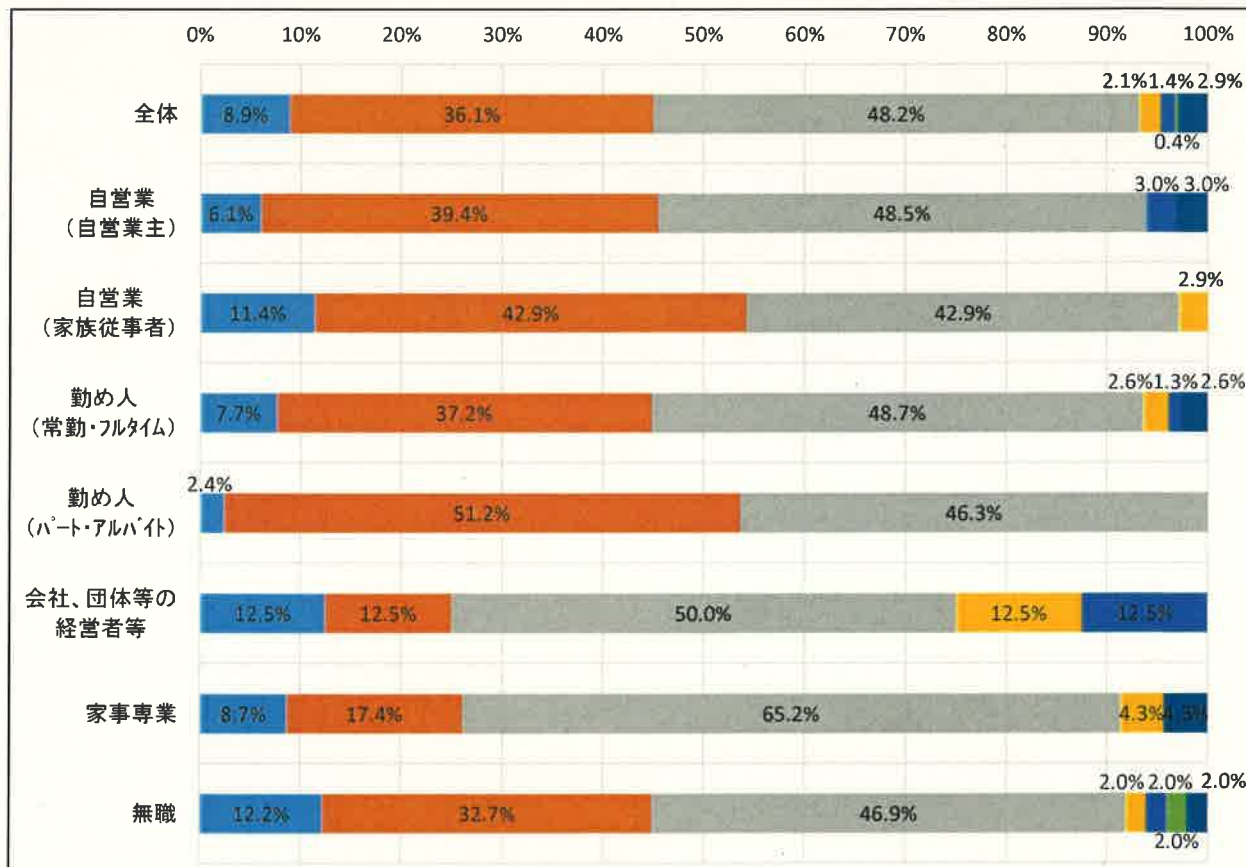
《 年代別 》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(2) 家計の管理

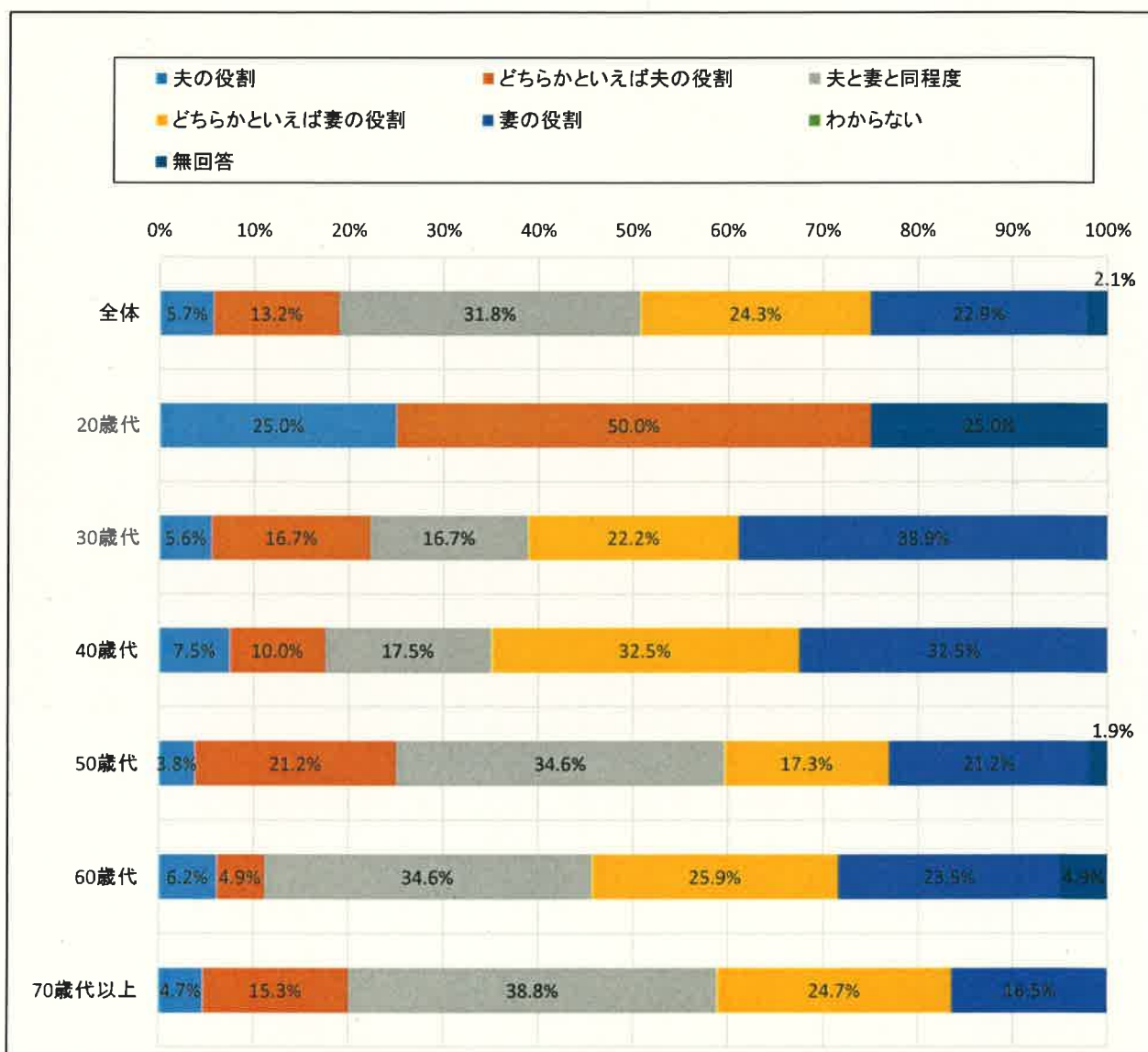
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で47.2%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合31.8%と15.4ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」48.7%、「夫と妻と同程度」31.0%)

●年代別回答では、20歳代を除く全ての年代において、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、「夫と妻と同程度」と回答した割合を上回っている。

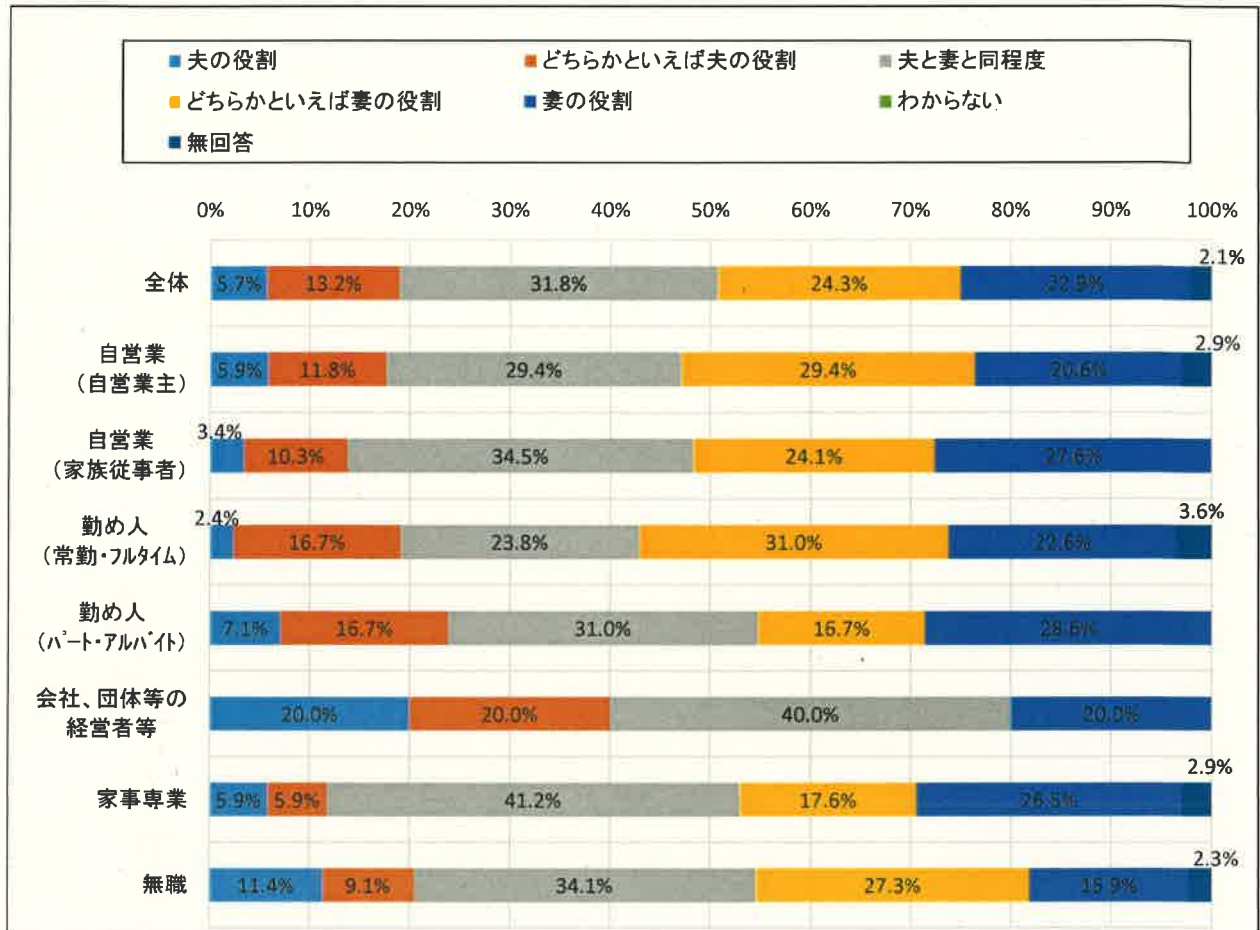
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(自営業主)が50.0%、自営業(家族従事者)が51.7%、勤め人(常勤・フルタイム)が53.6%で、5割を超えており比較的高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(家族従事者)が51.4%、勤め人(常勤・フルタイム)が51.2%、会社、団体等の経営者等が62.5%、家事専業が52.2%で5割を超えており比較的高くなっている。

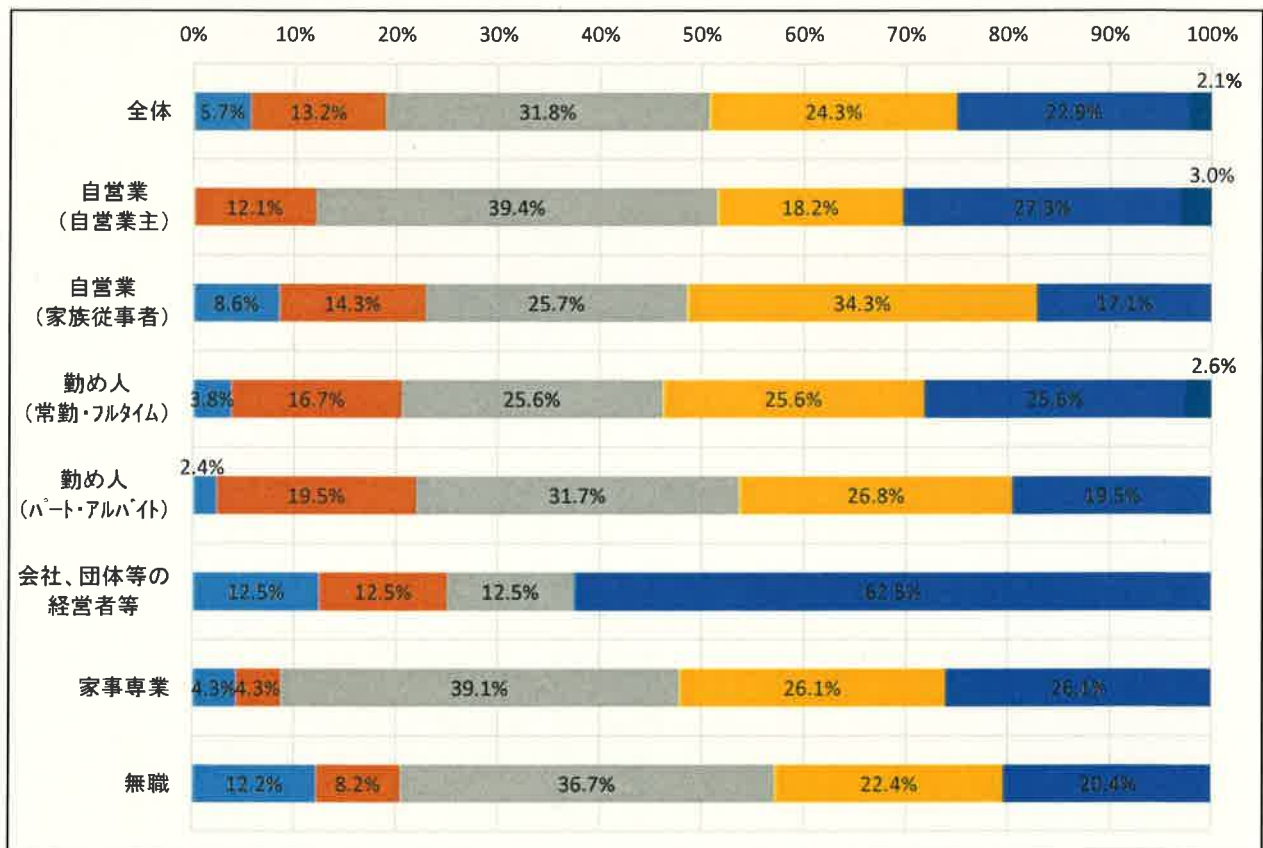
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》

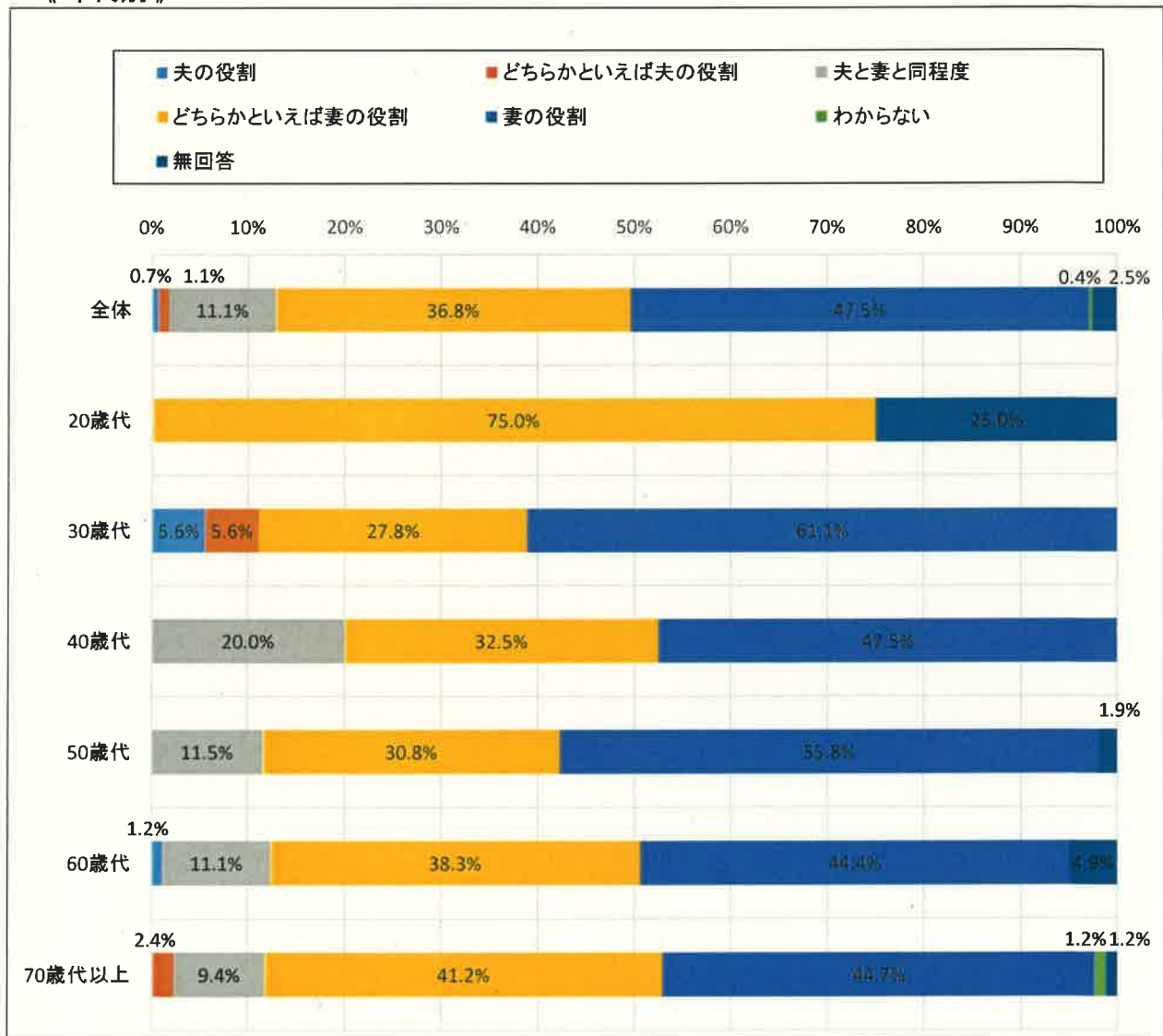


問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きします。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

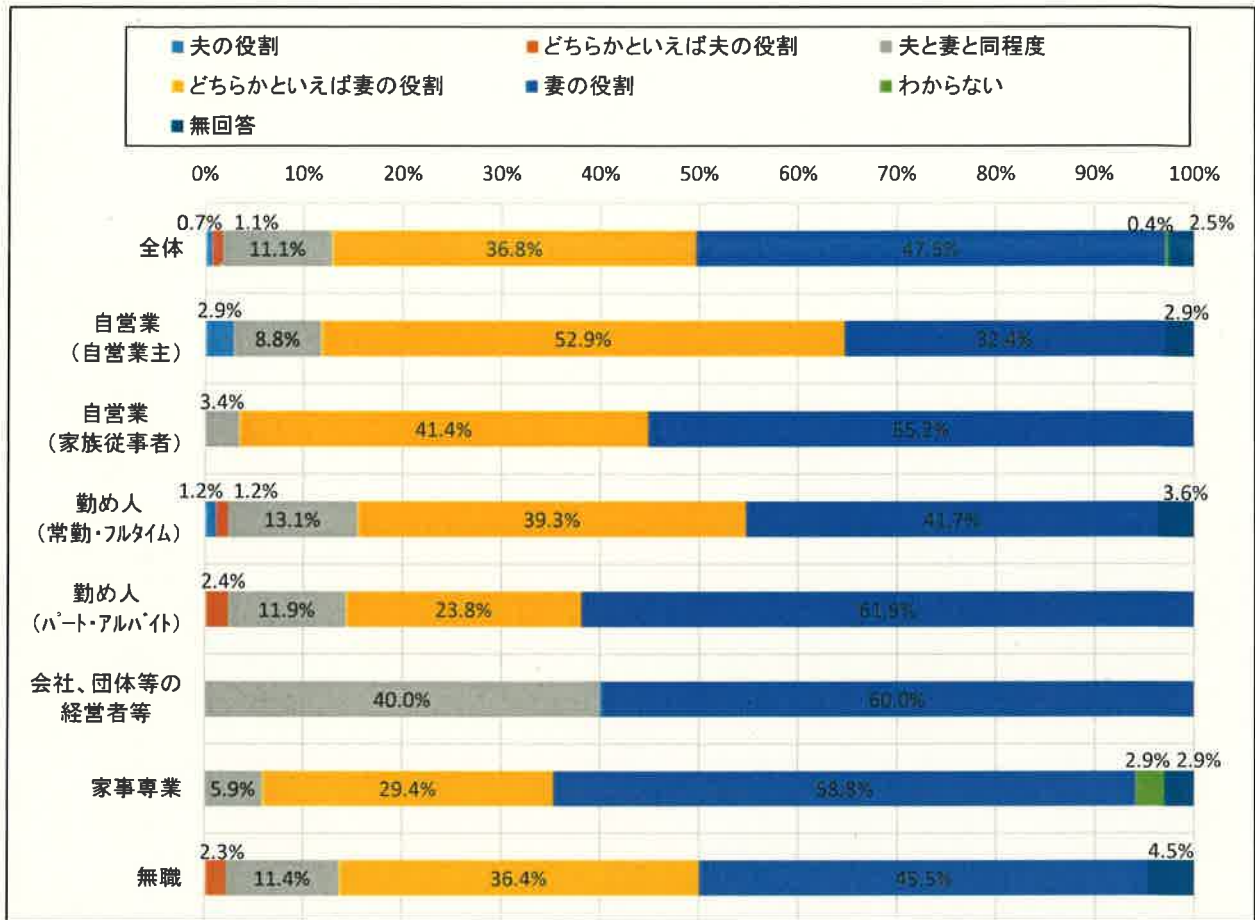
(3) 食事づくり

- 「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で84.3%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合11.1%と73.2ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」94.7%、「夫と妻と同程度」3.6%)
- 年代別回答では、全ての年代において「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が8割以上となっている。
- 職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、会社、団体等の経営者等を除いて全て8割以上となっている。
- 配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が82.1%、勤め人(パート・アルバイト)が82.9%、会社、団体等の経営者等が75.0%で他の職業と比較して低い傾向にある。

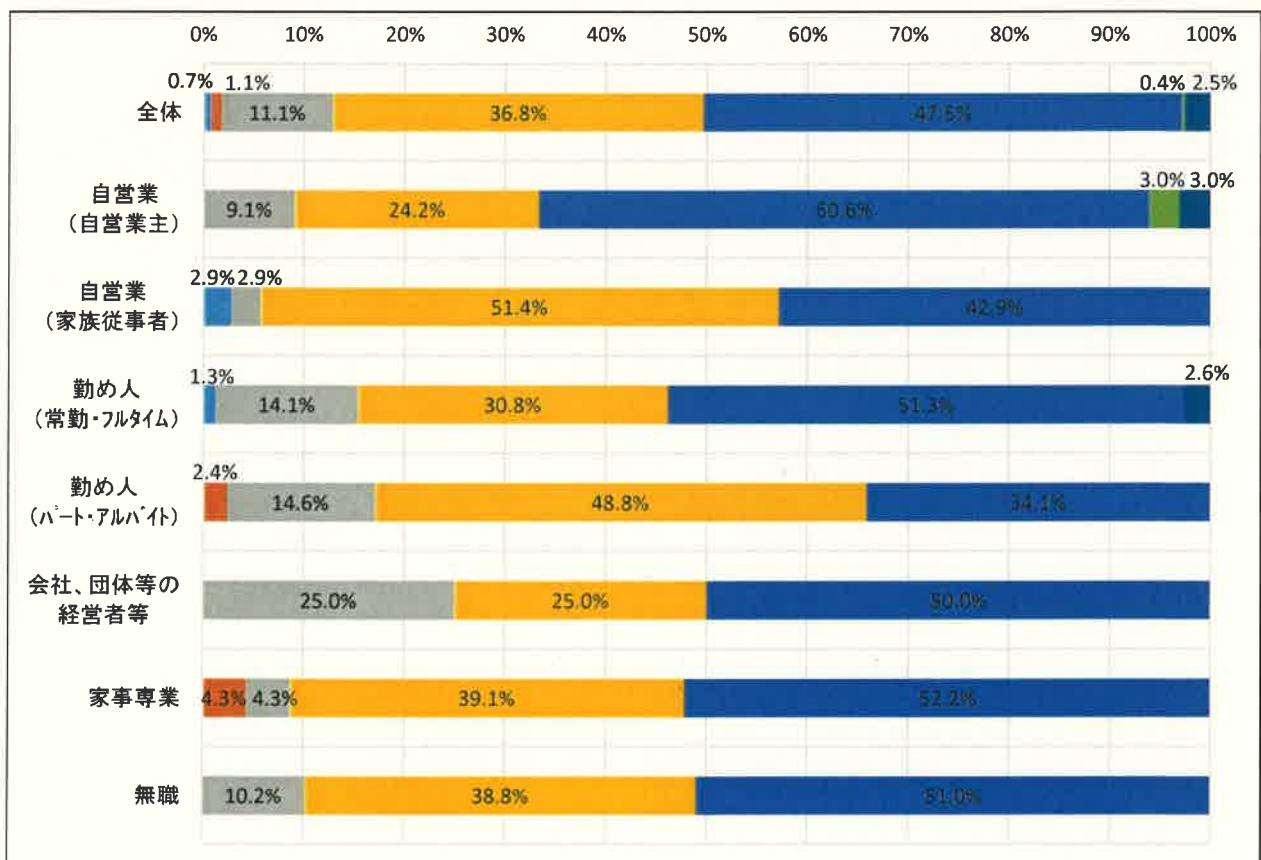
《年代別》



### 《 職業別 》



### 《 配偶者の職業別 》





問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(4) 食事の後片付け

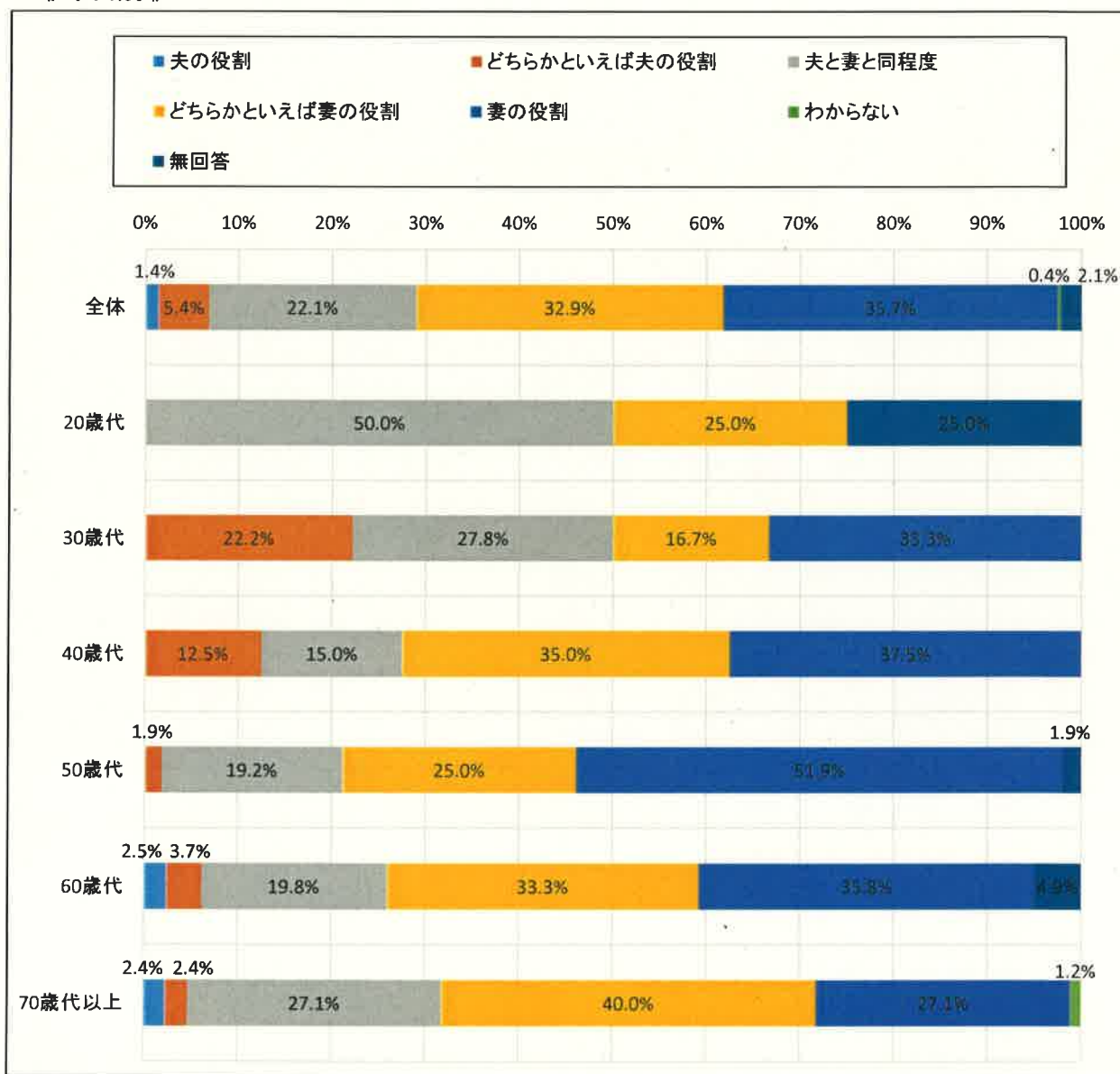
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で68.6%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合22.1%と46.5ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」80.4%、「夫と妻と同程度」14.3%)

●年代別回答では、40、50歳代において「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が7割を超えおり比較的高くなっている。

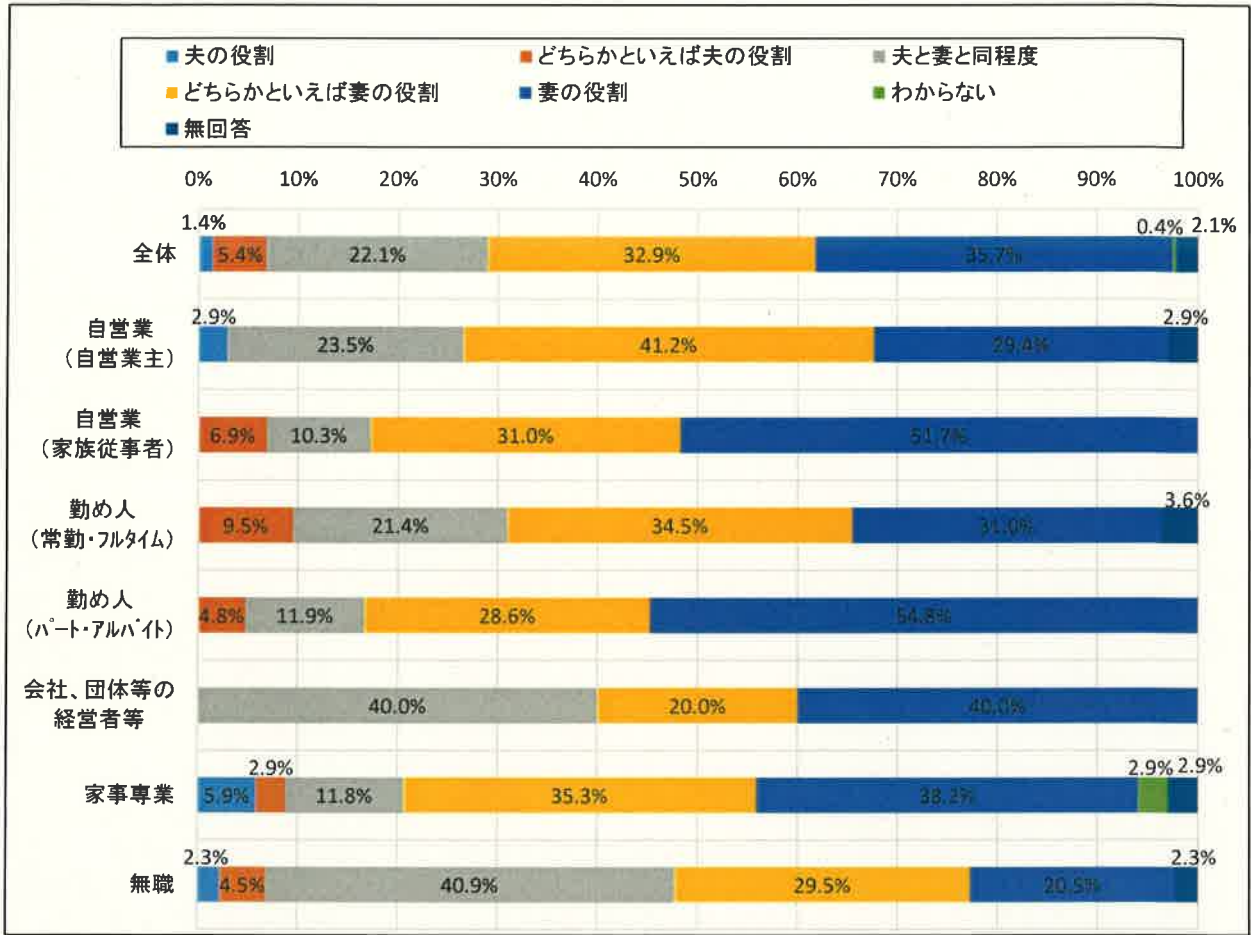
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)と自営業(家族従事者)で8割を超えており比較的高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(事業主)と自営業(家族従事者)で8割を超えており比較的高くなっている。

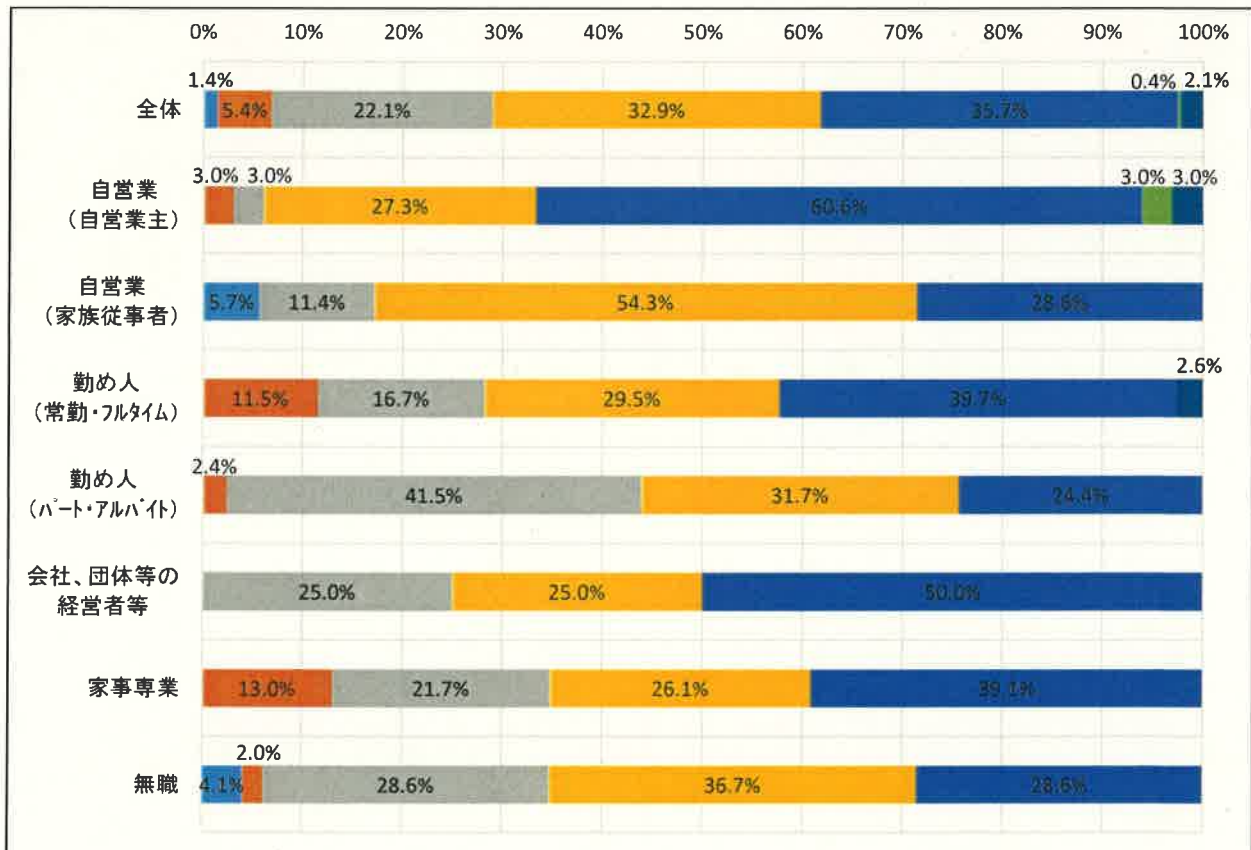
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きします。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(5) 掃除

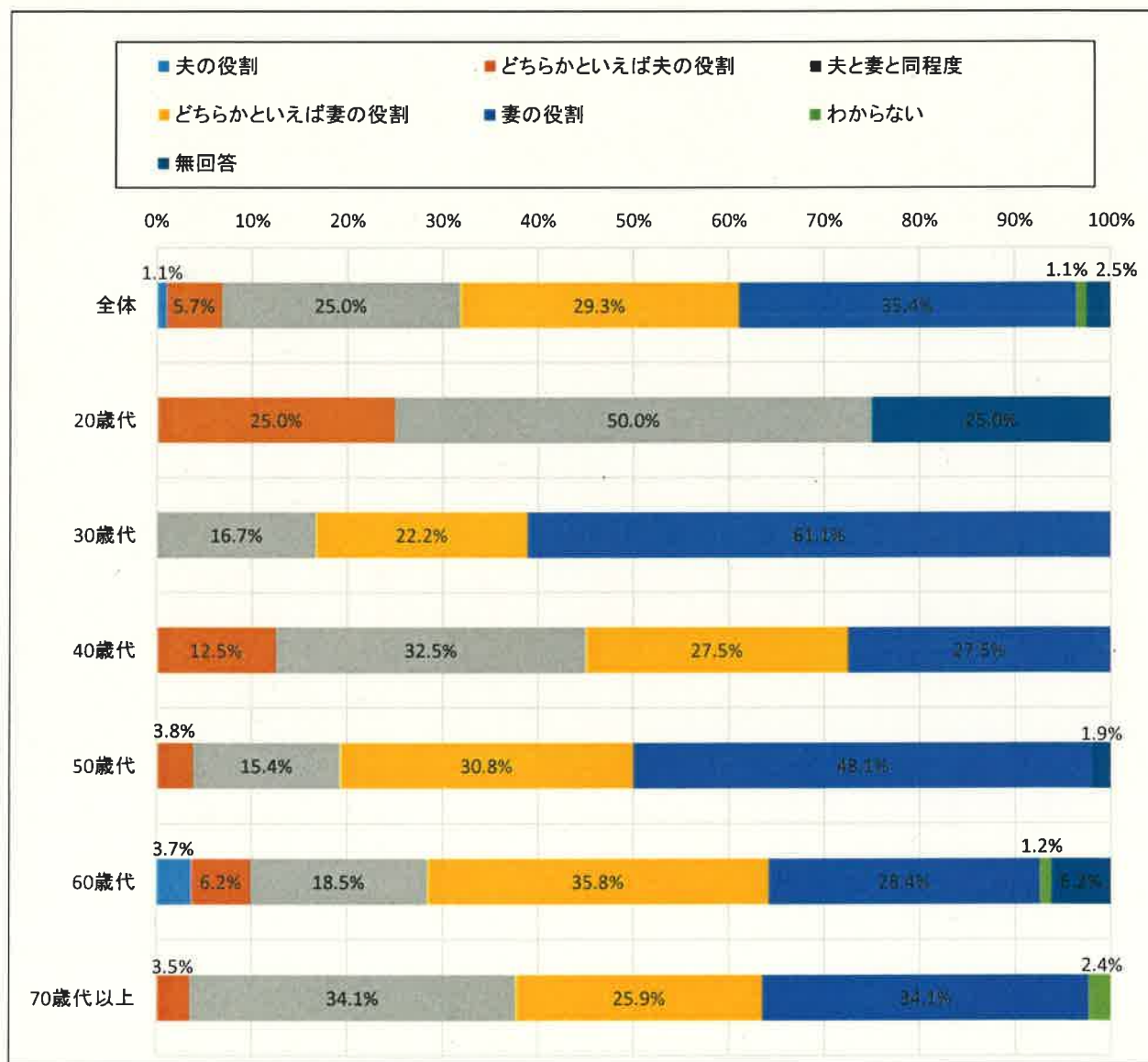
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で64.7%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合25.0%と39.7ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」76.1%、「夫と妻と同程度」17.7%)

●年代別回答では、30、50歳代において「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が7割を超えており比較的高くなっている。

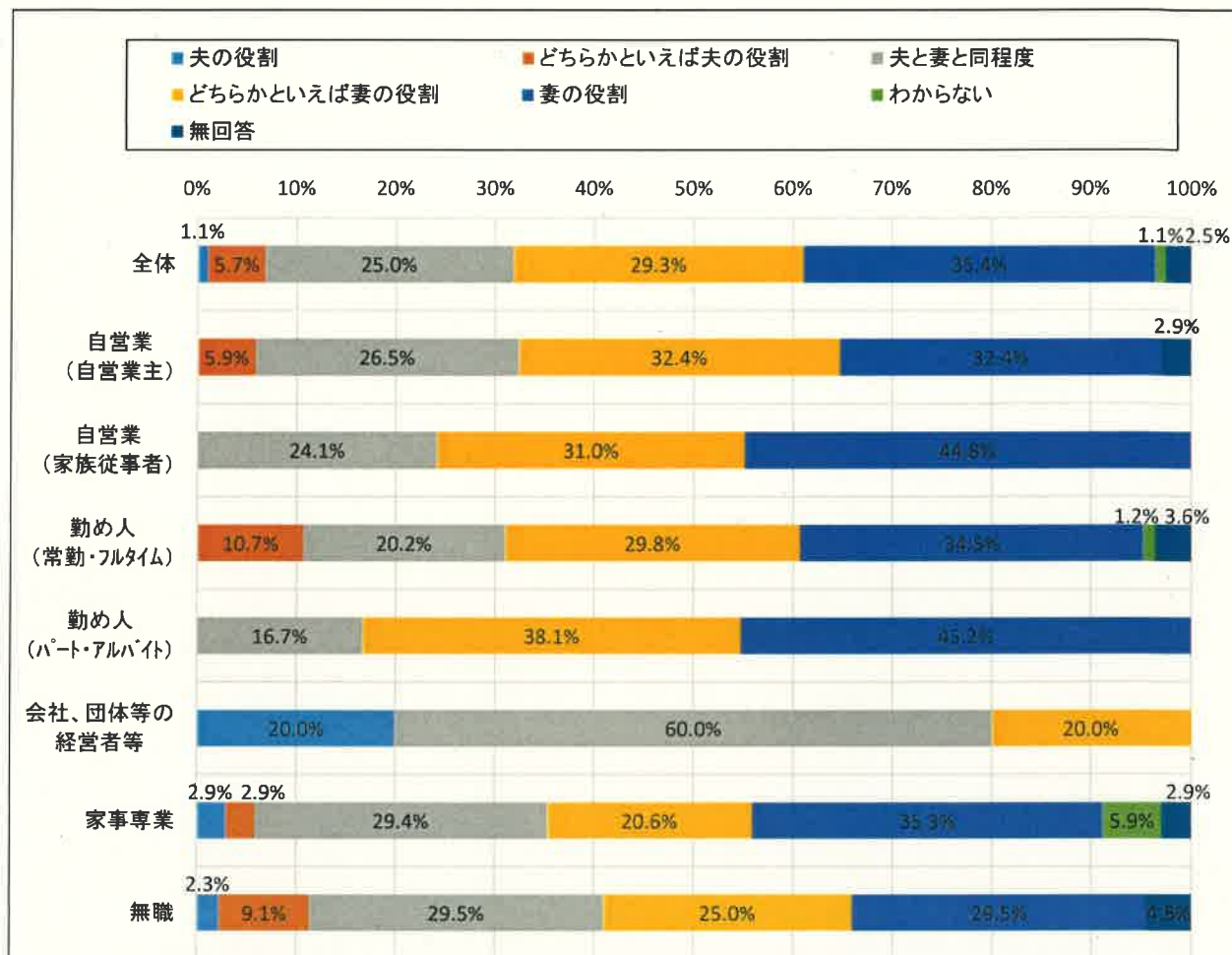
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)が8割、自営業(家族従事者)が7割を超えており比較的高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(自営業主)と会社、団体等の経営者等で7割を超えており比較的高くなっている。

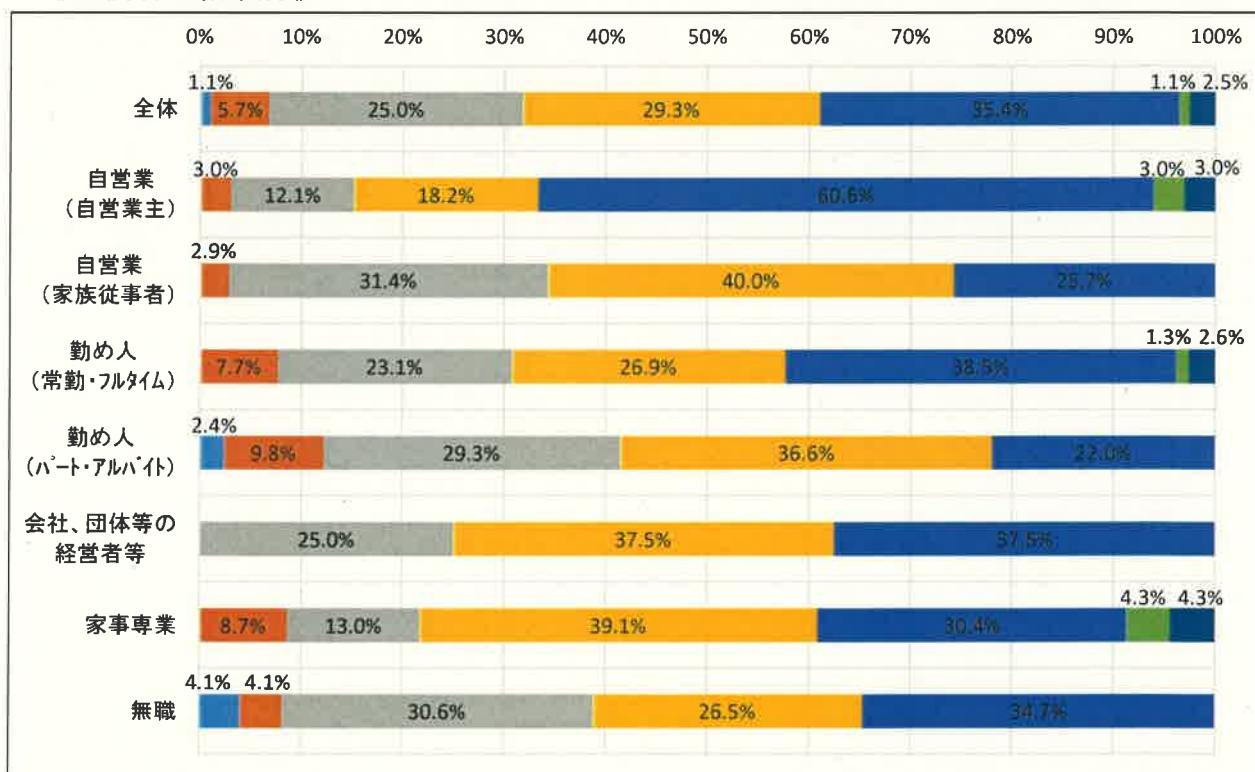
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(6) 洗濯

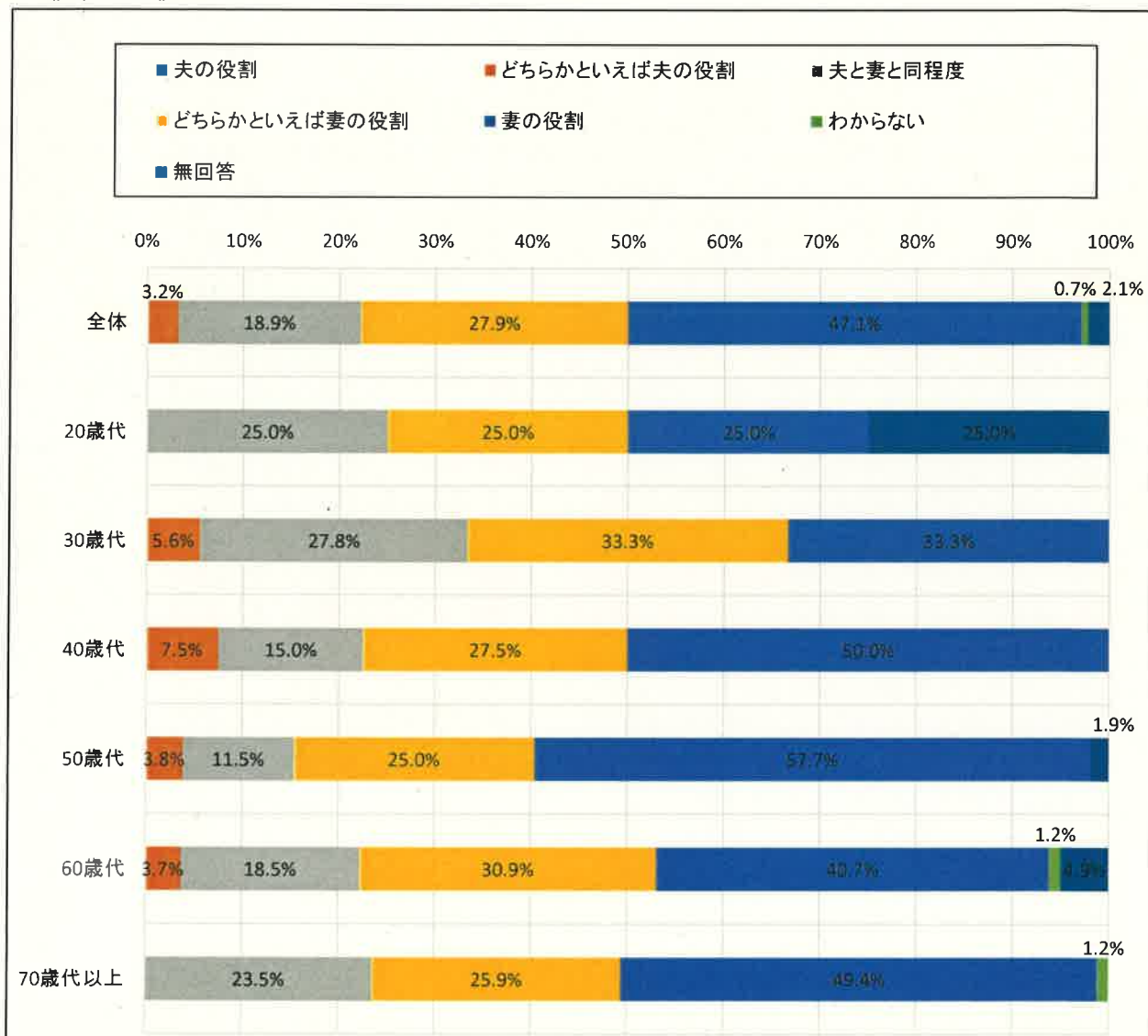
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で75.0%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合18.9%と56.1ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」80.5%、「夫と妻と同程度」13.3%)

●年代別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が40歳代以上の年代で7割を超え高くなっている。

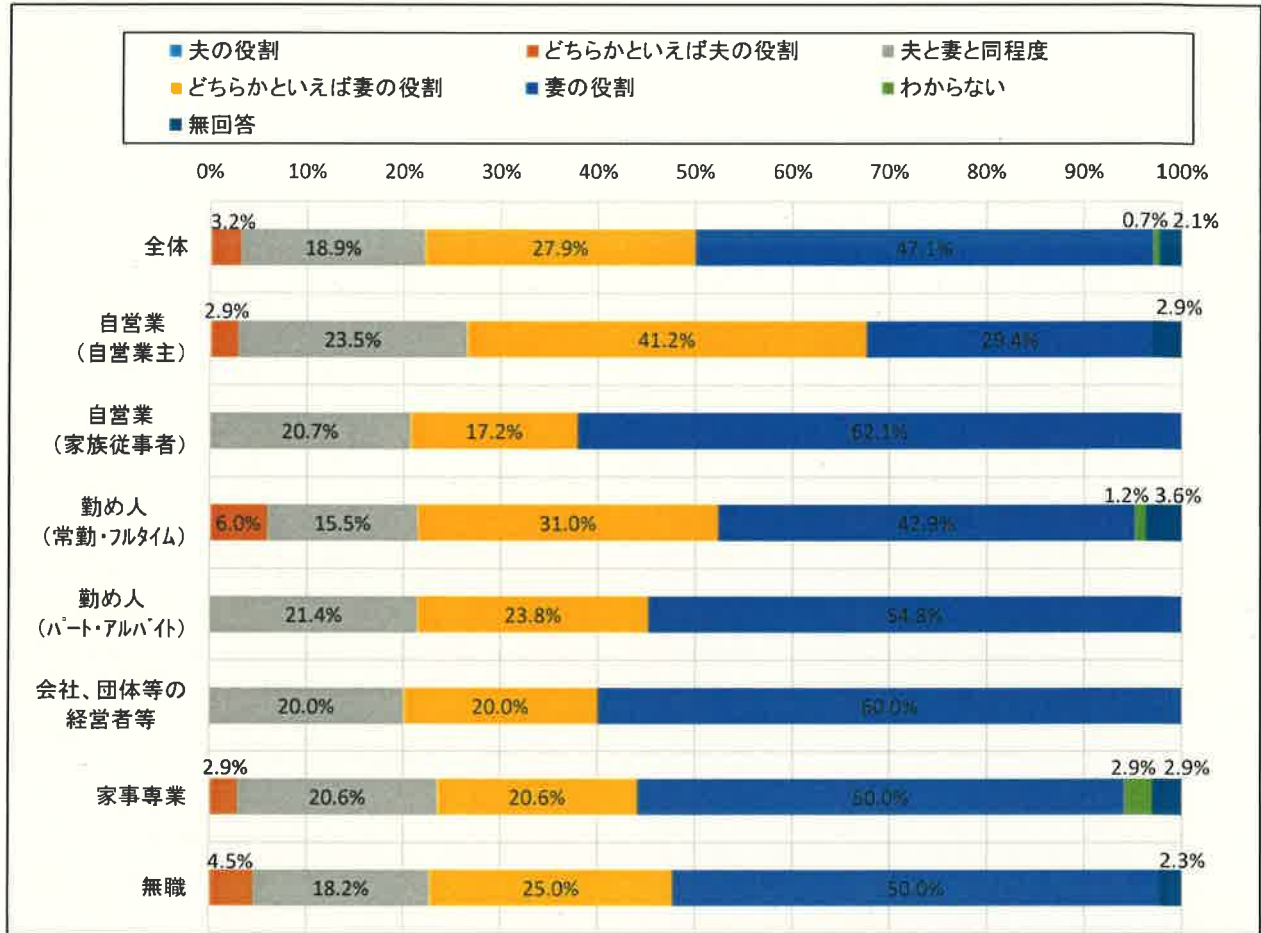
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全ての職業で7割を超えて高くなっているが、自営業(自営業主)と勤め人(常勤・フルタイム)ではわずかに「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合がみられる。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、会社、団体等の経営者等・家事専業・無職で、8割を超え高くなっている。

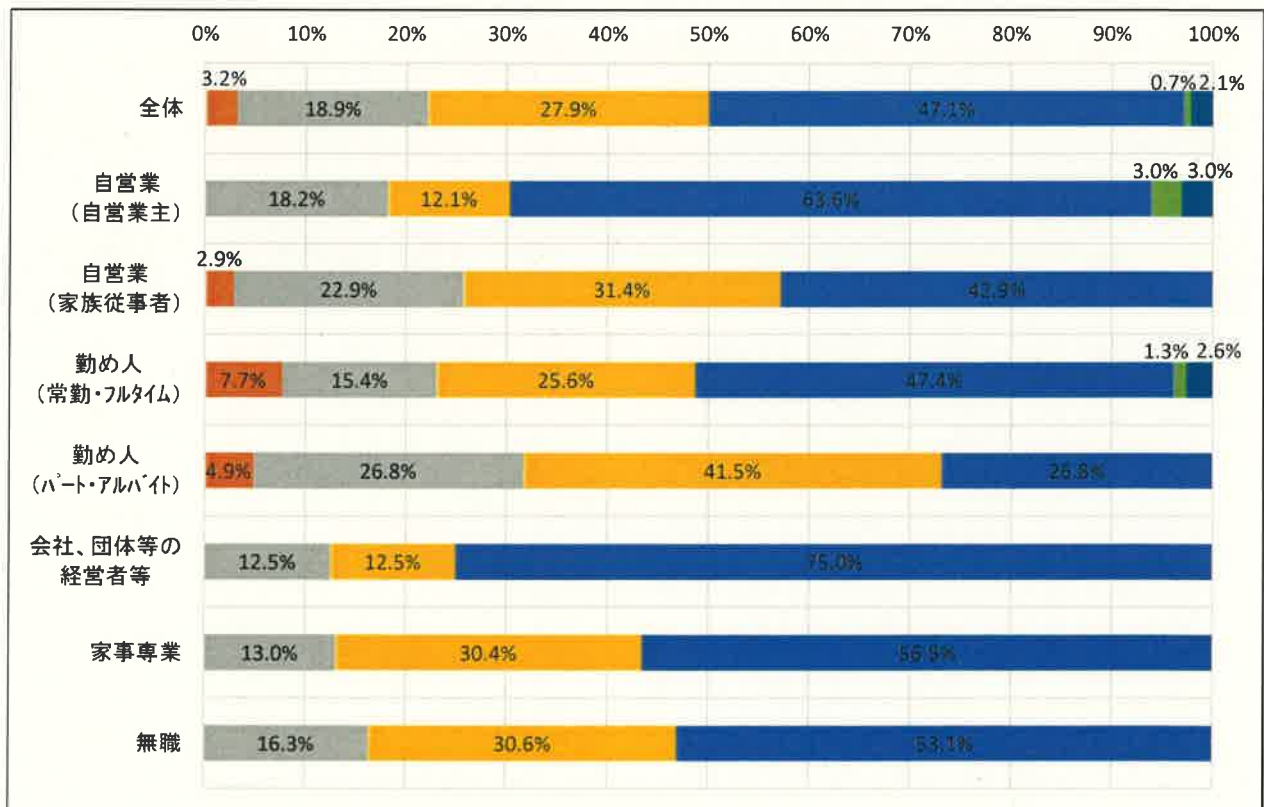
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(7) 買い物

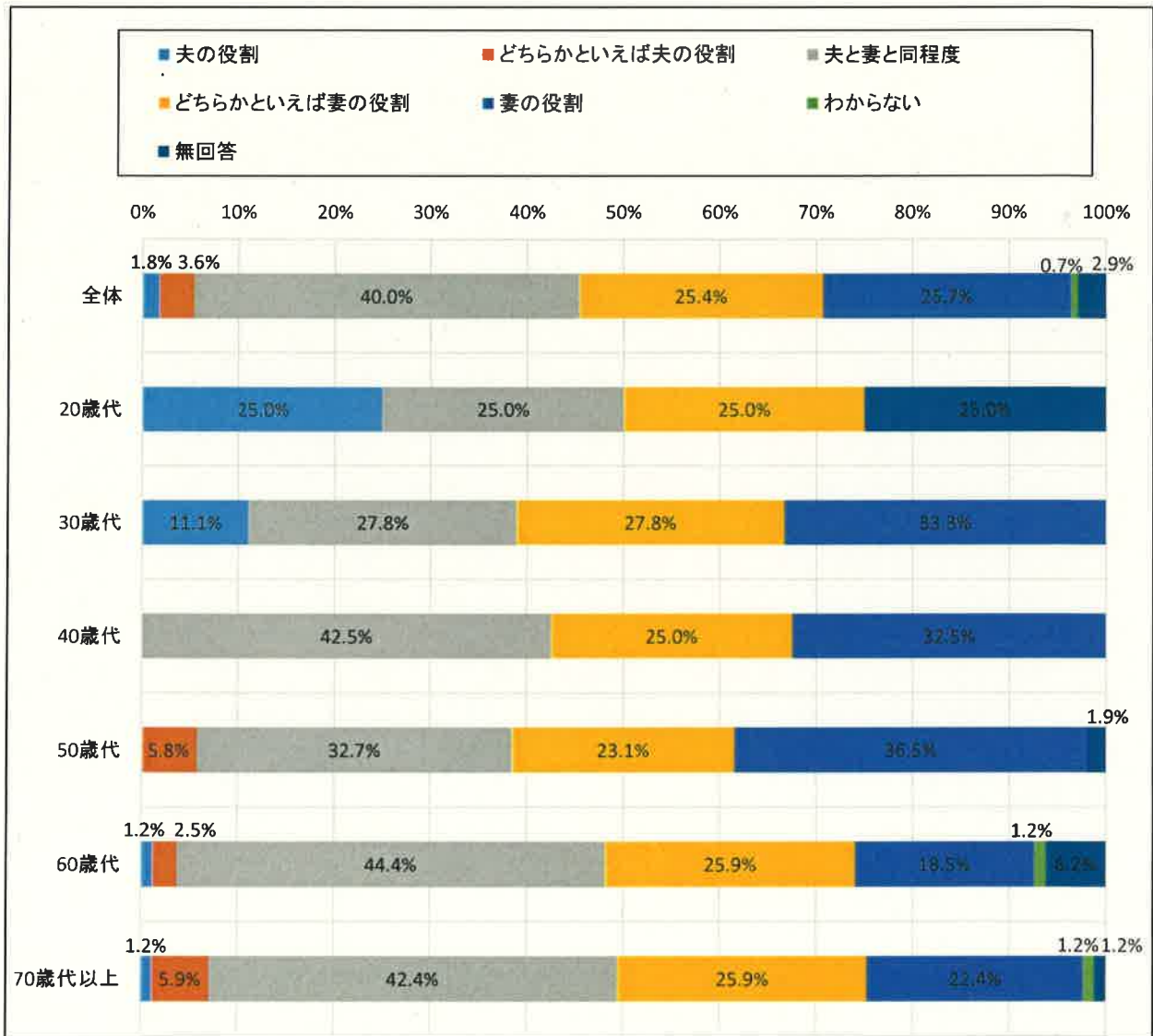
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で55.1%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合40.0%と15.1ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」69.3%、「夫と妻と同程度」27.9%)

●年代別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、20、60歳代、70歳代以上で5割以下となっており他の年代よりも低くなっている。

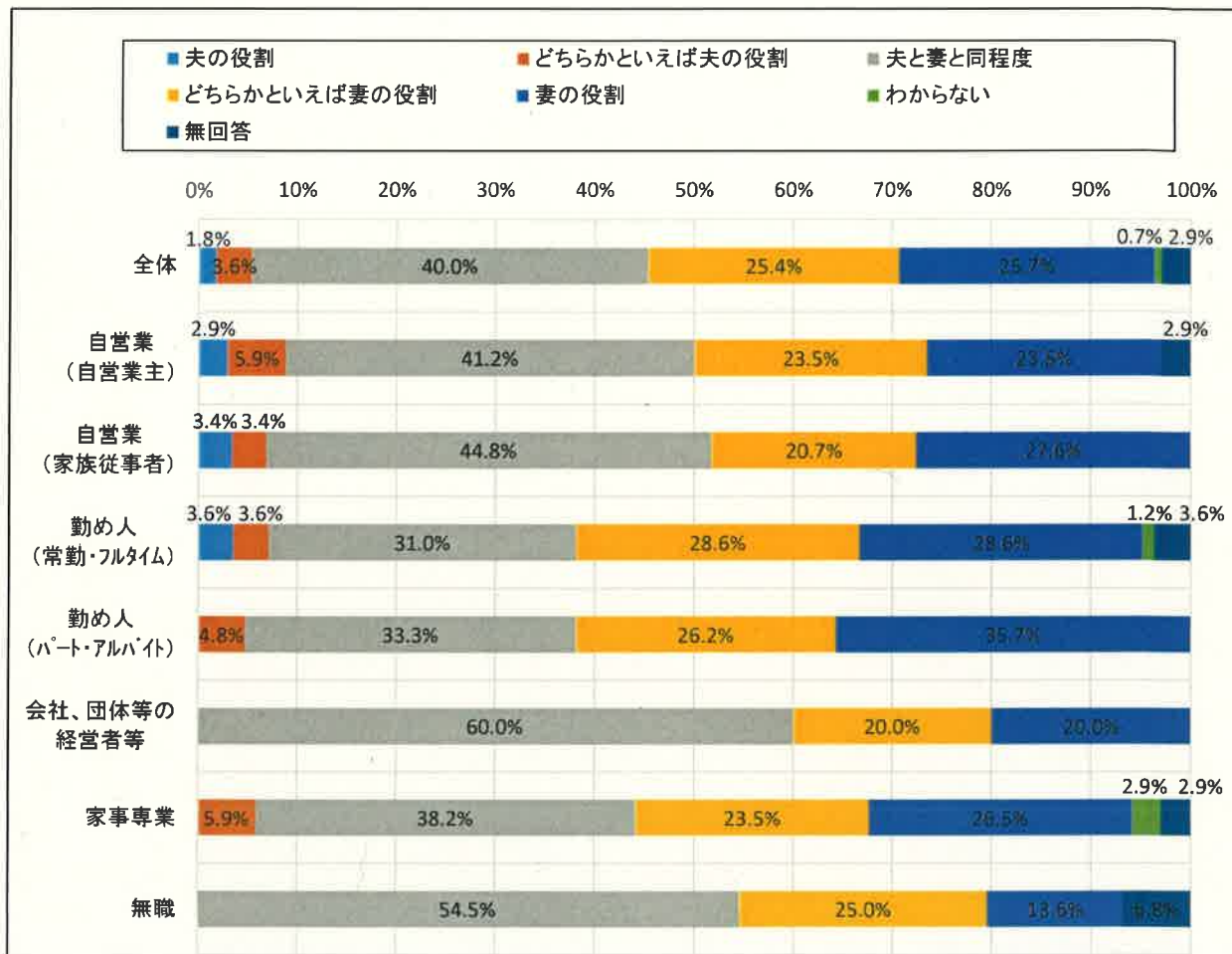
●職業別回答では、「夫と妻と同程度」と回答した割合が、会社、団体等の経営者等と無職で「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合を上回っている。

●配偶者の職業別回答では、「夫と妻と同程度」と回答した割合が、無職と勤め人(パート・アルバイト)で「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合を上回っている。

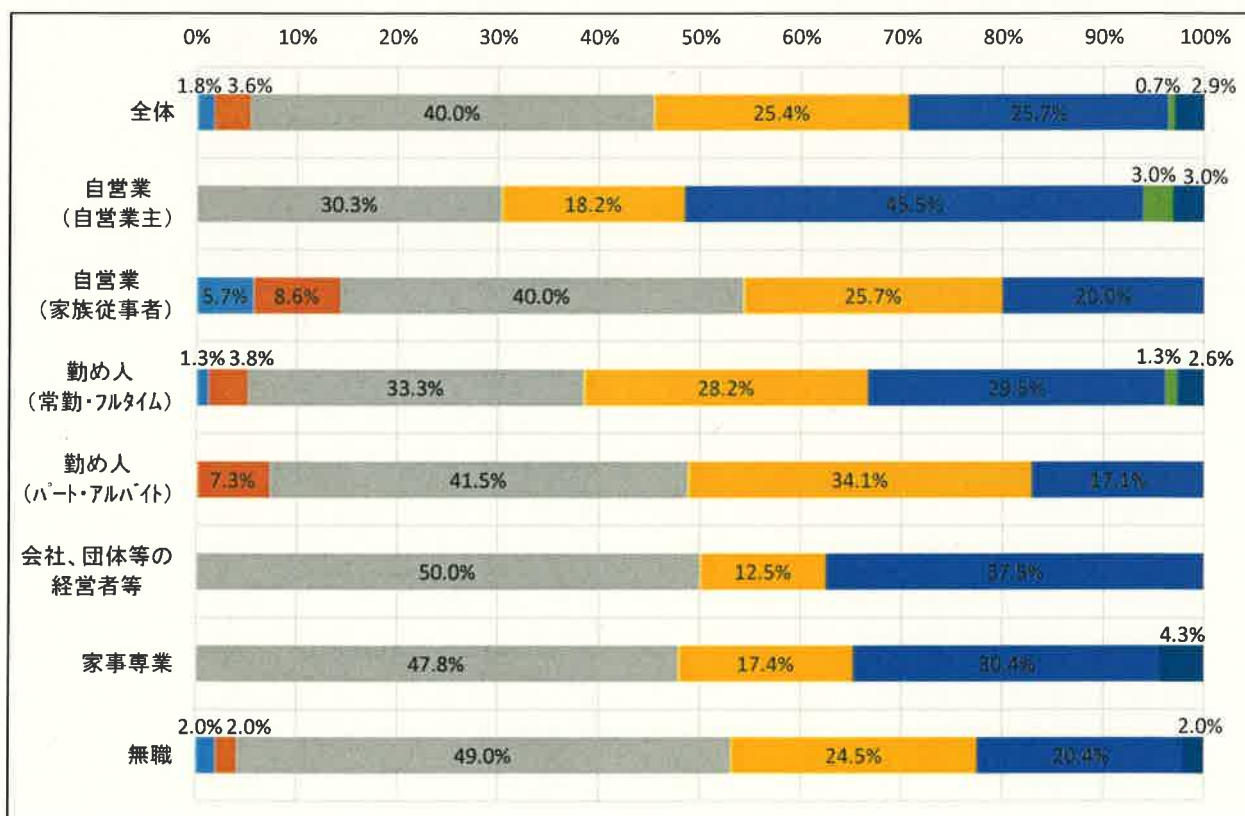
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 配偶者の職業別 》





問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(8)ゴミだし

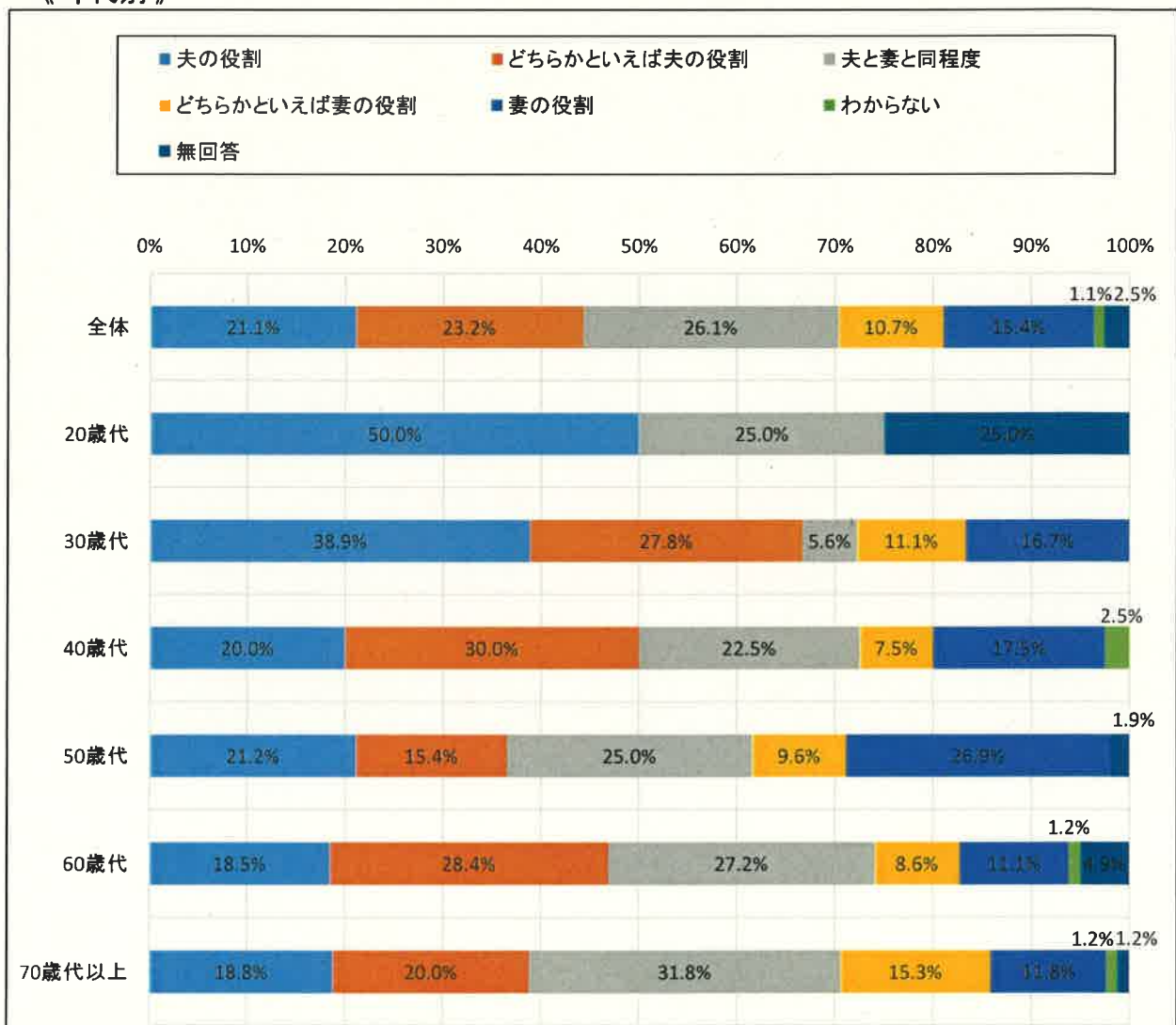
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で26.1%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合と同じになっている。また、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合は44.3%となっており、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合と18.2ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」30.3%、「夫と妻と同程度」28.3%、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」41.1%)

●年代別回答では、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合が、20、30、40歳代で5割以上となっている。

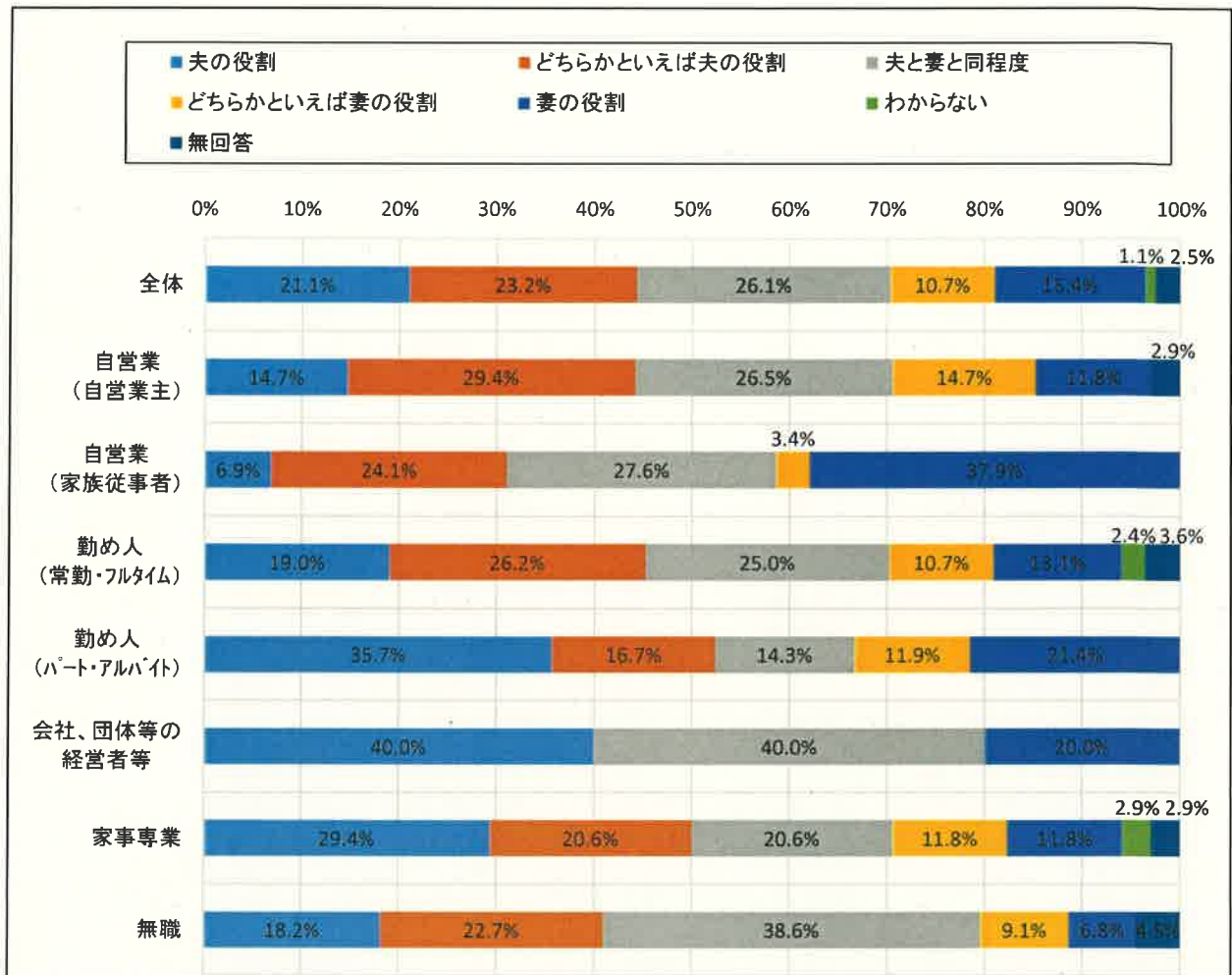
●職業別回答では、自営業(家族従事者)のみが、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合よりも「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合のほうが上回っている。

●配偶者の職業別回答では、自営業(自営業主)のみが、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合よりも「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合のほうが上回っている。

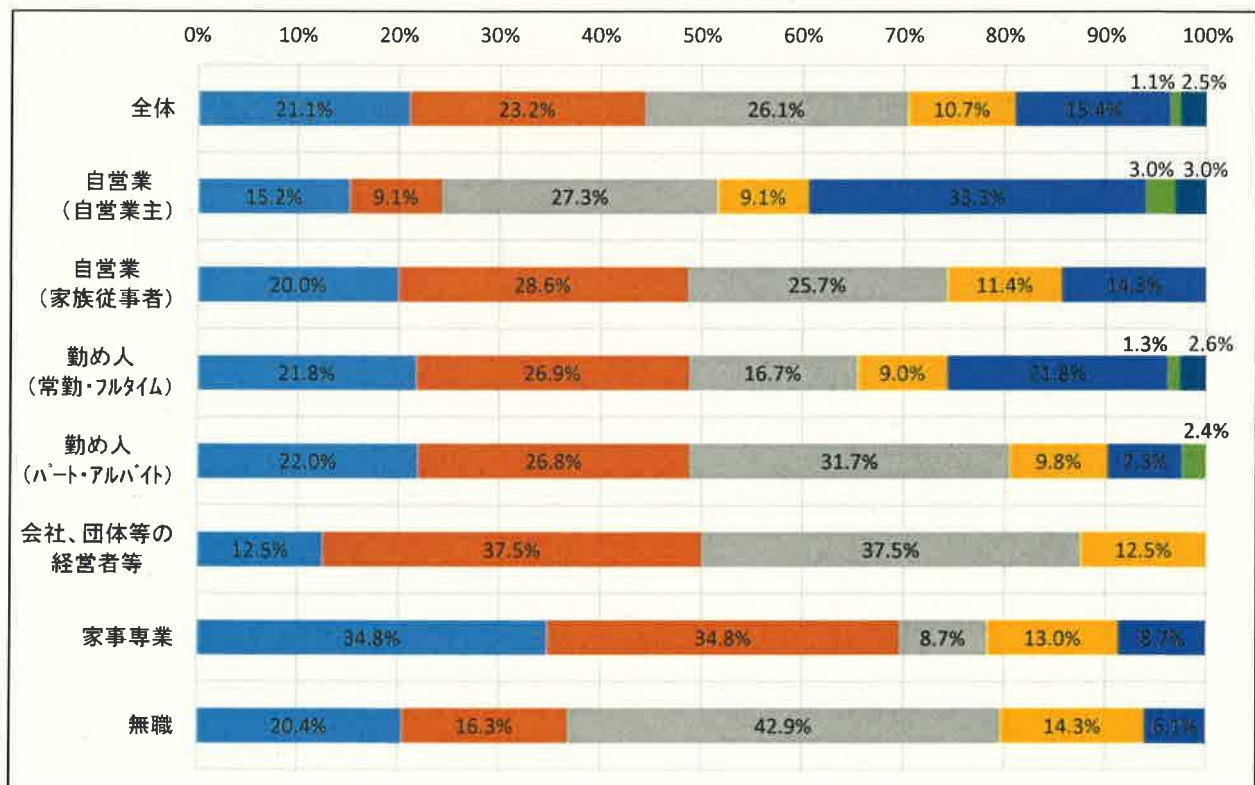
《年代別》



### 《 職業別 》



### 《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(9)子どものしつけ 家庭教育

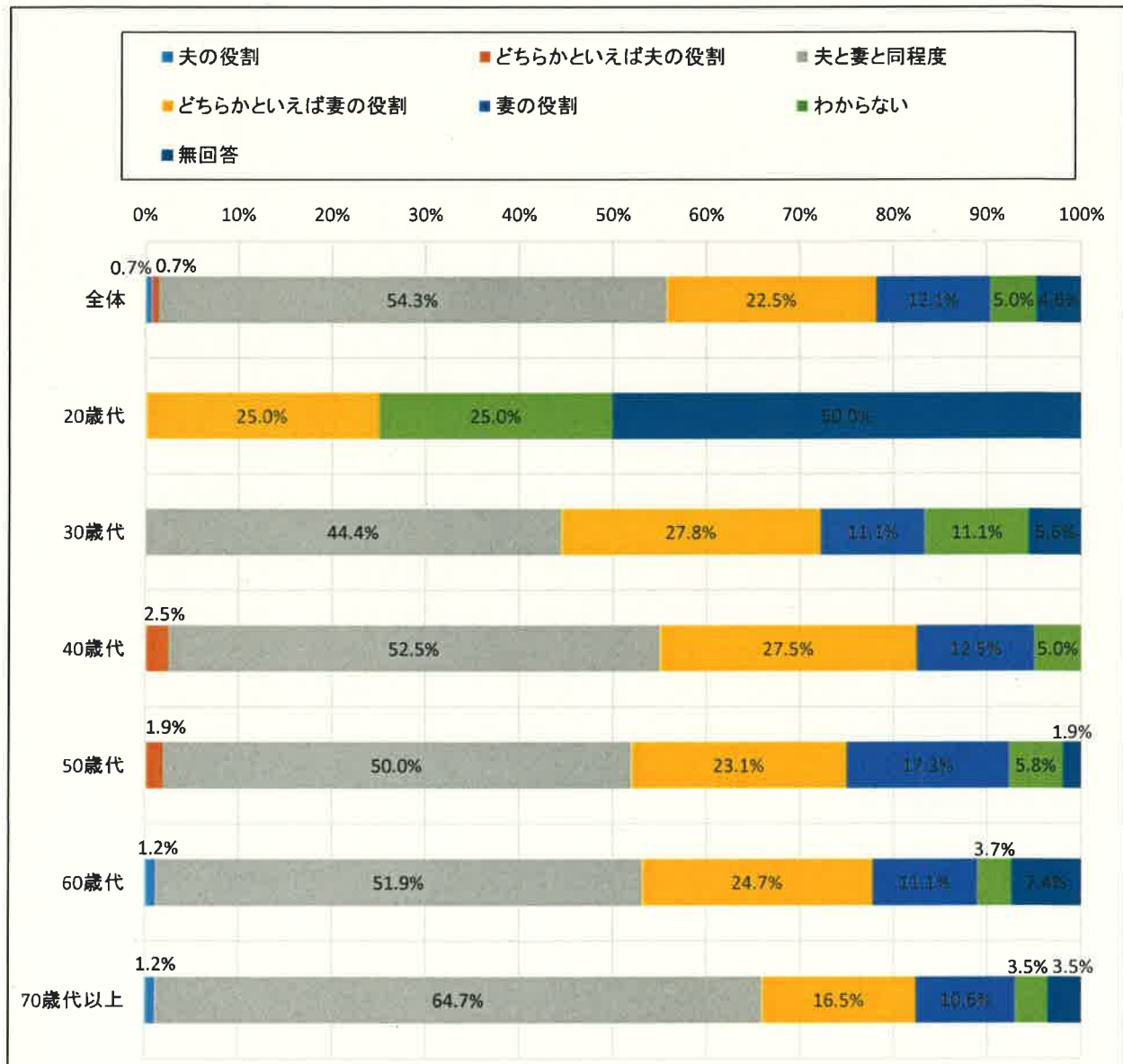
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で34.6%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合54.3%と19.7ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」38.9%、「夫と妻と同程度」58.4%)

●年代別回答では、40歳代以上で「夫と妻と同程度」と回答した割合が5割以上となっている。

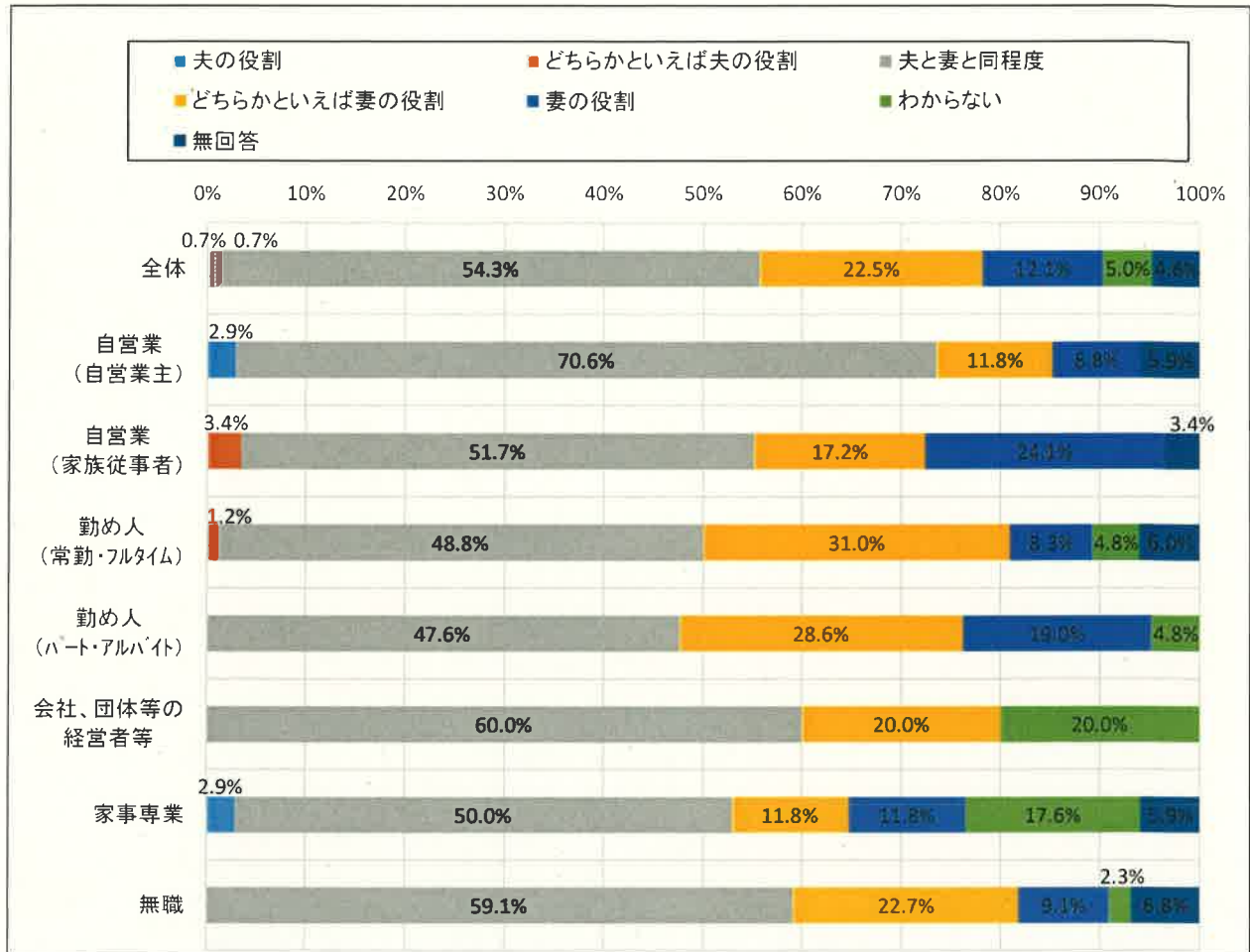
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)と自営業(家族従事者)で4割を超えており比較的高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(自営業主)で5割、勤め人(常勤・フルタイム)で4割を超えており比較的高くなっている。

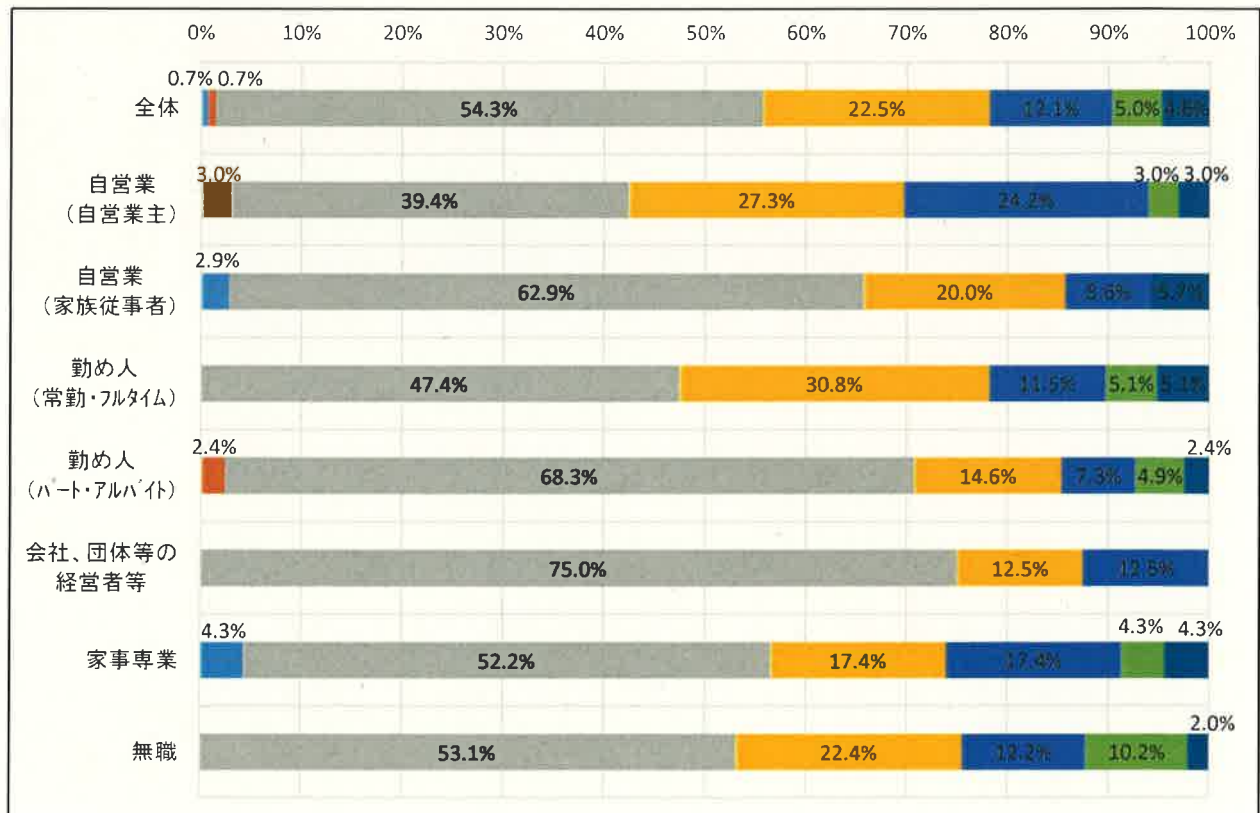
《年代別》



《 職業別 》



《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きます。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。

(10) 家族の介護

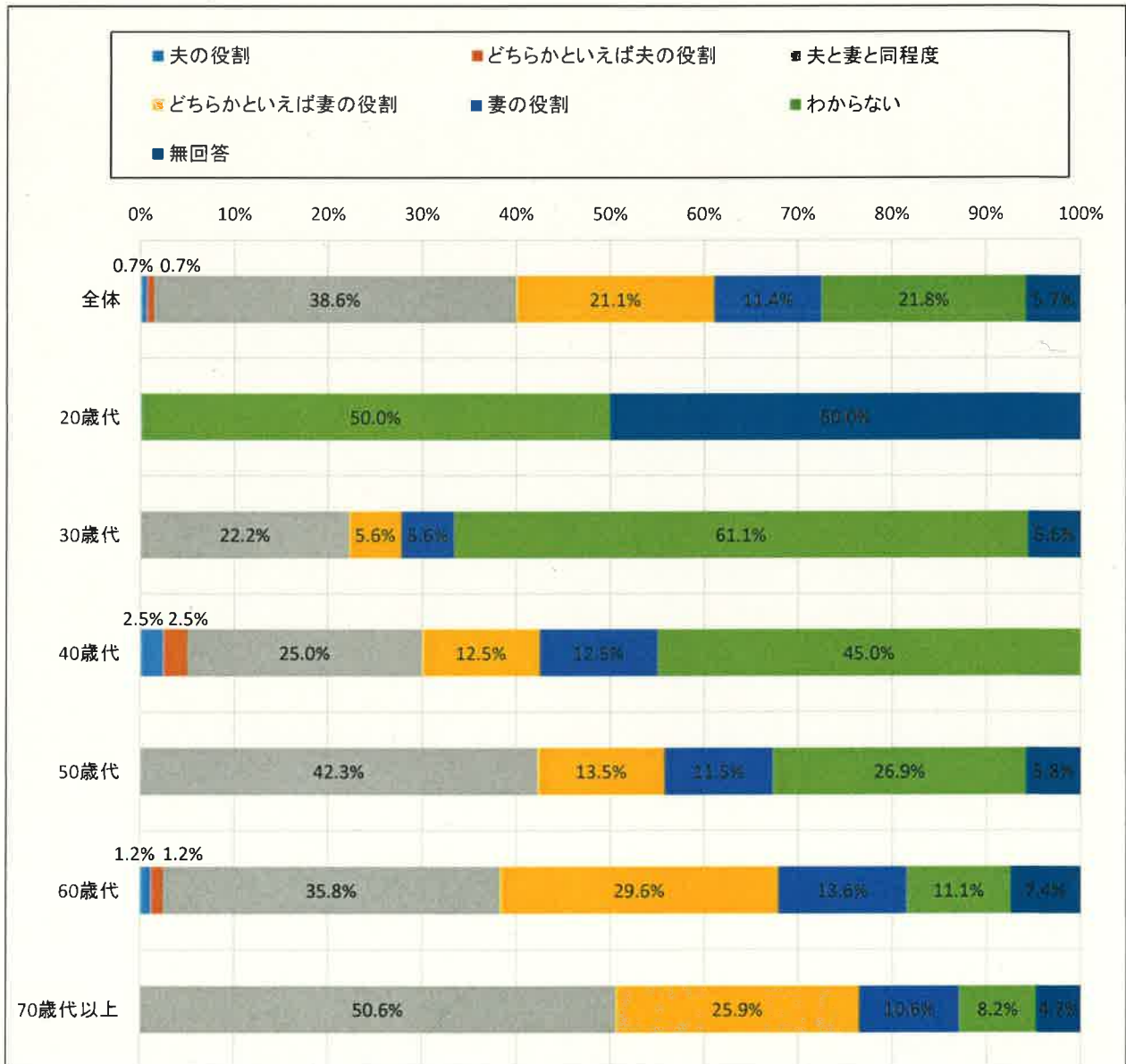
●「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が全体で32.5%となっており、「夫と妻と同程度」と回答した割合38.6%と6.1ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」42.7%、「夫と妻と同程度」28.2%)

●年代別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」及び「夫と妻と同程度」と回答した割合が、年代を経るごとに高くなる傾向となっている。

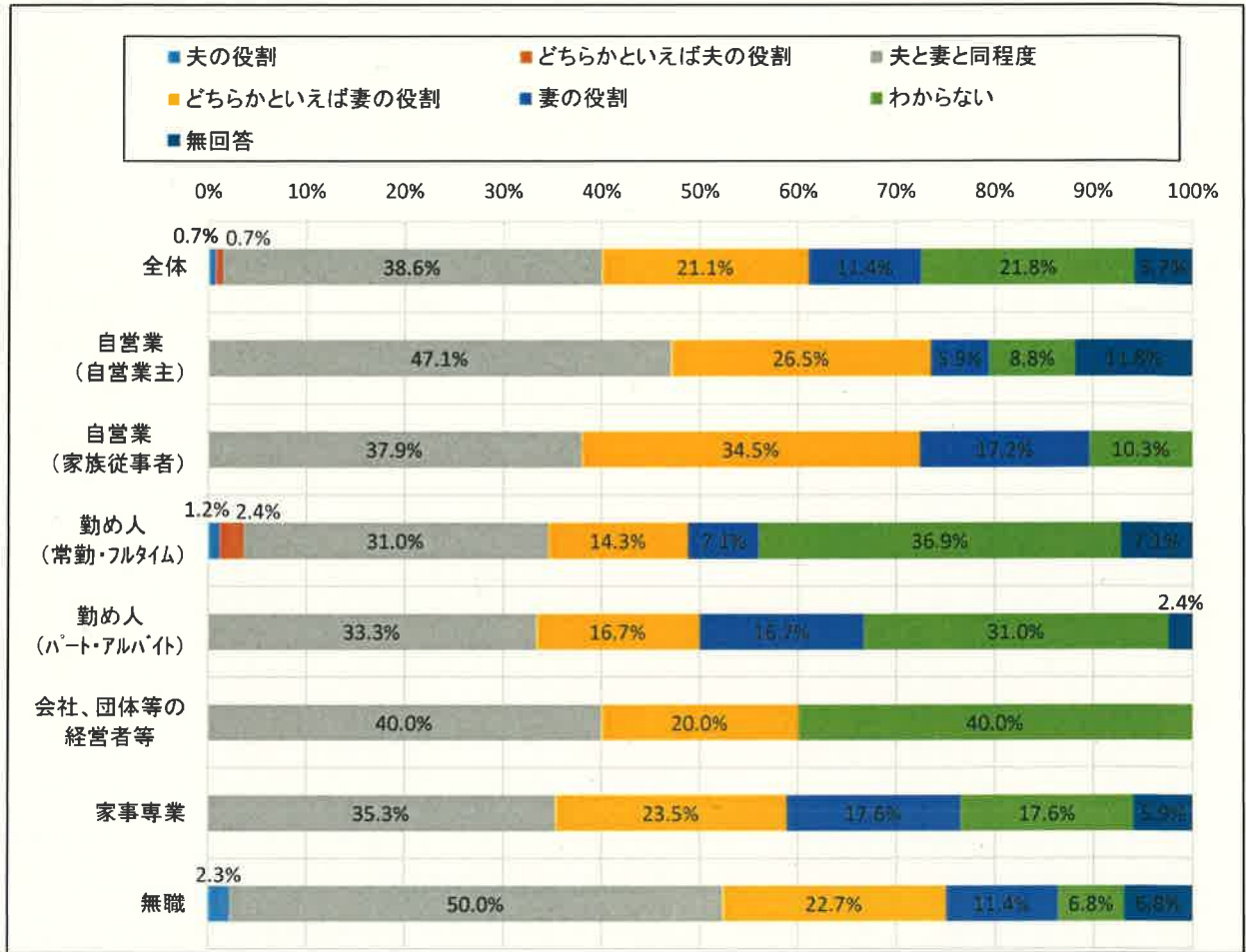
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(家族従事者)で5割、家事専業で4割を超えており比較的高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(自営業主)で5割を超えており比較的高くなっている。

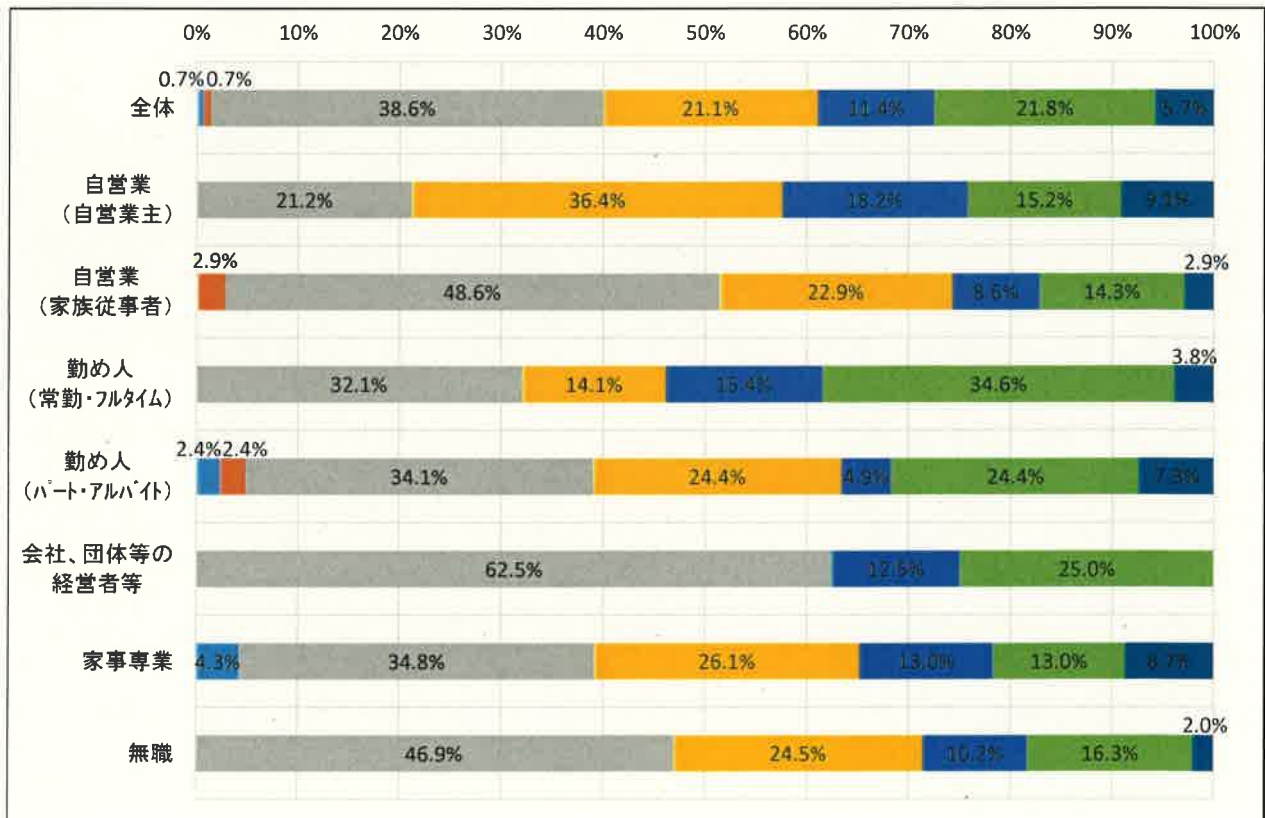
《年代別》



《 職業別 》



《 配偶者の職業別 》



問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きします。家庭生活での家事などの分担はどのようになっていますか。

(10) 自治会等地域でのつきあい

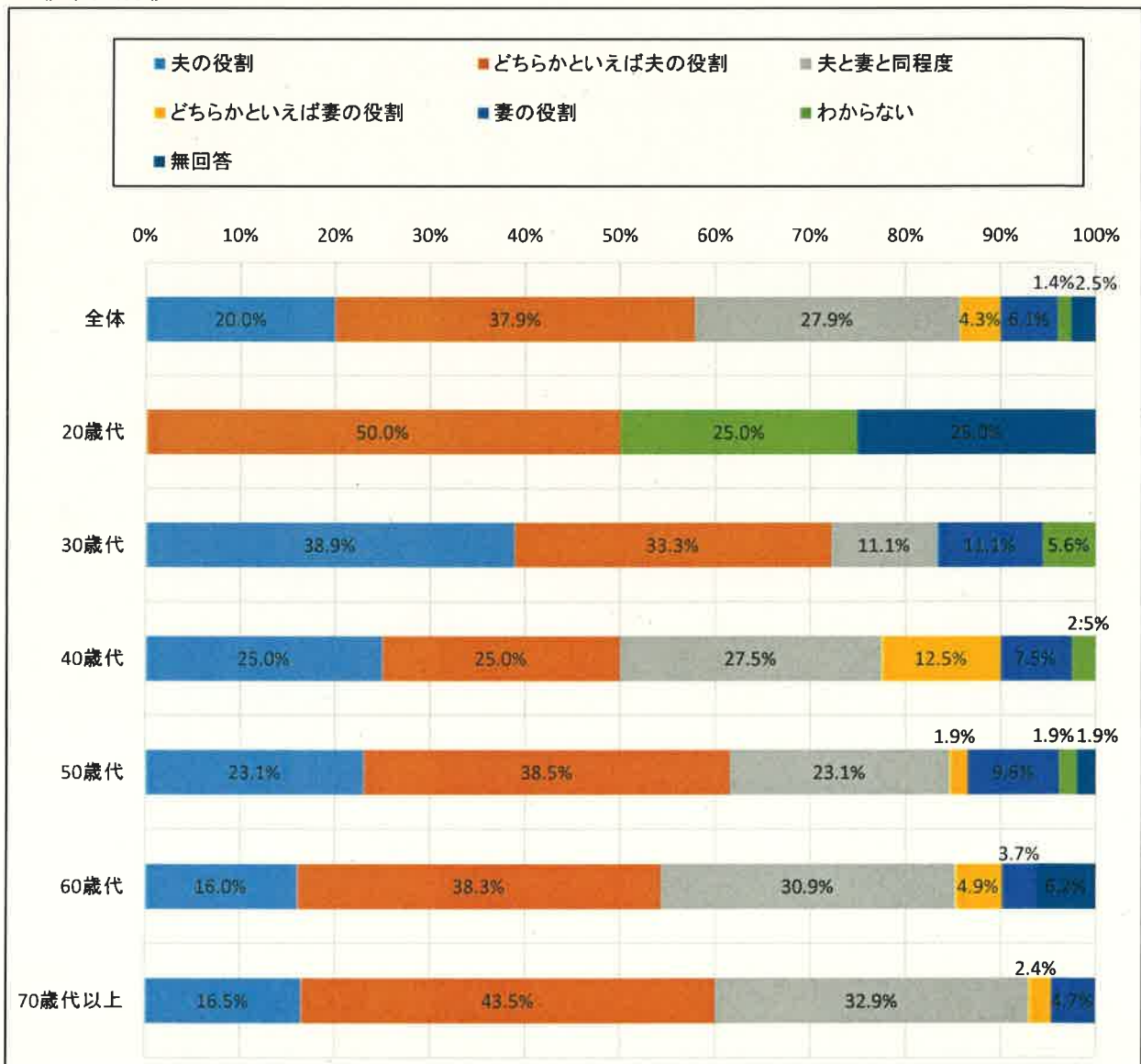
●「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合が全体で57.9%となっており、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合10.4%と47.5ポイントの差となっている(参考:28年度調査「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」2.6%、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」72.6%)

●年代別回答では、全ての年代において、「夫の役割」、「どちらかと言えば夫の役割」と回答した割合が5割以上となっている。また、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が最も高いのは40歳代の20.0%である。

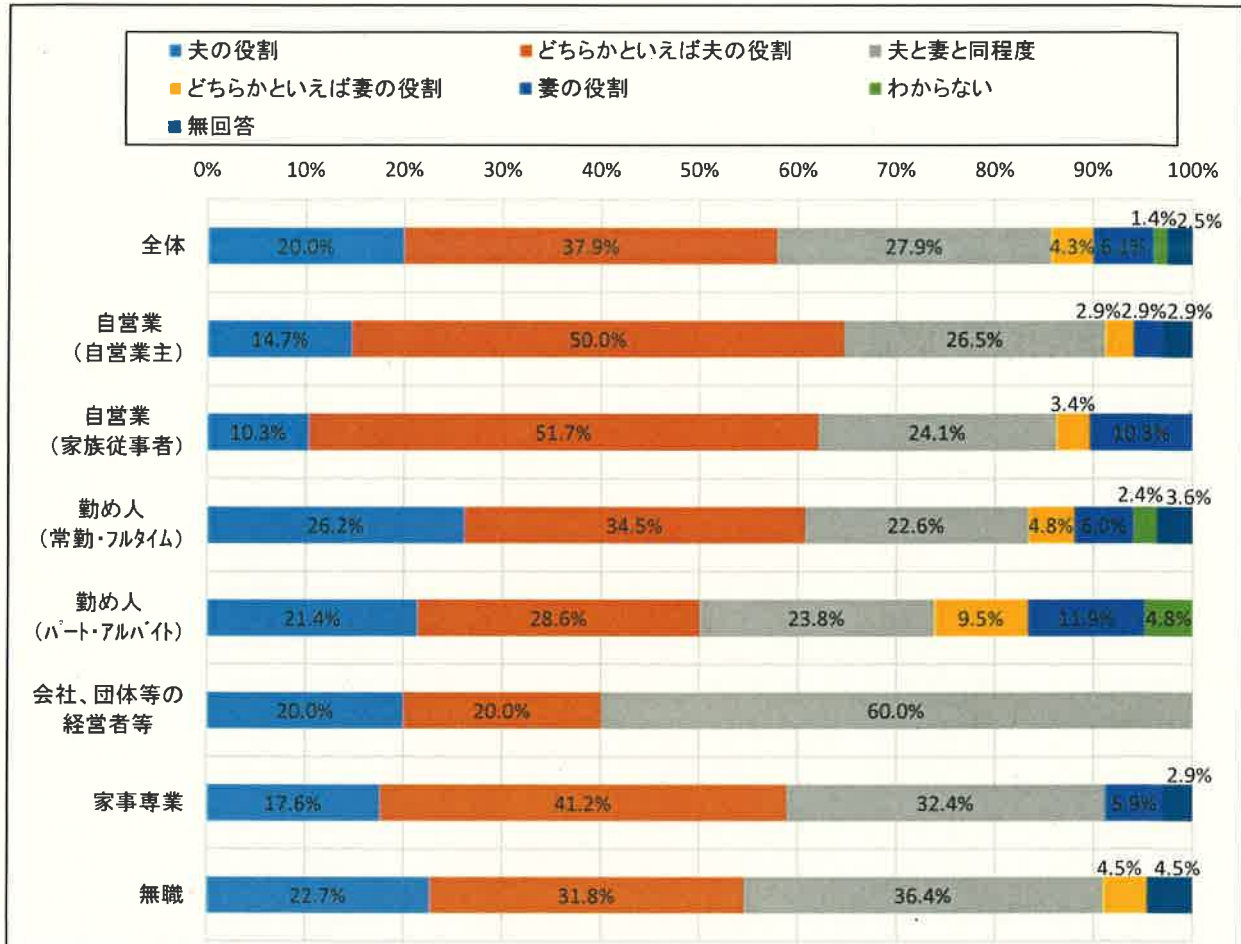
●職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)で20.4%と最も高くなっている。

●配偶者の職業別回答では、「妻の役割」、「どちらかと言えば妻の役割」と回答した割合が、自営業(自営業主)で27.3%と最も高くなっている。

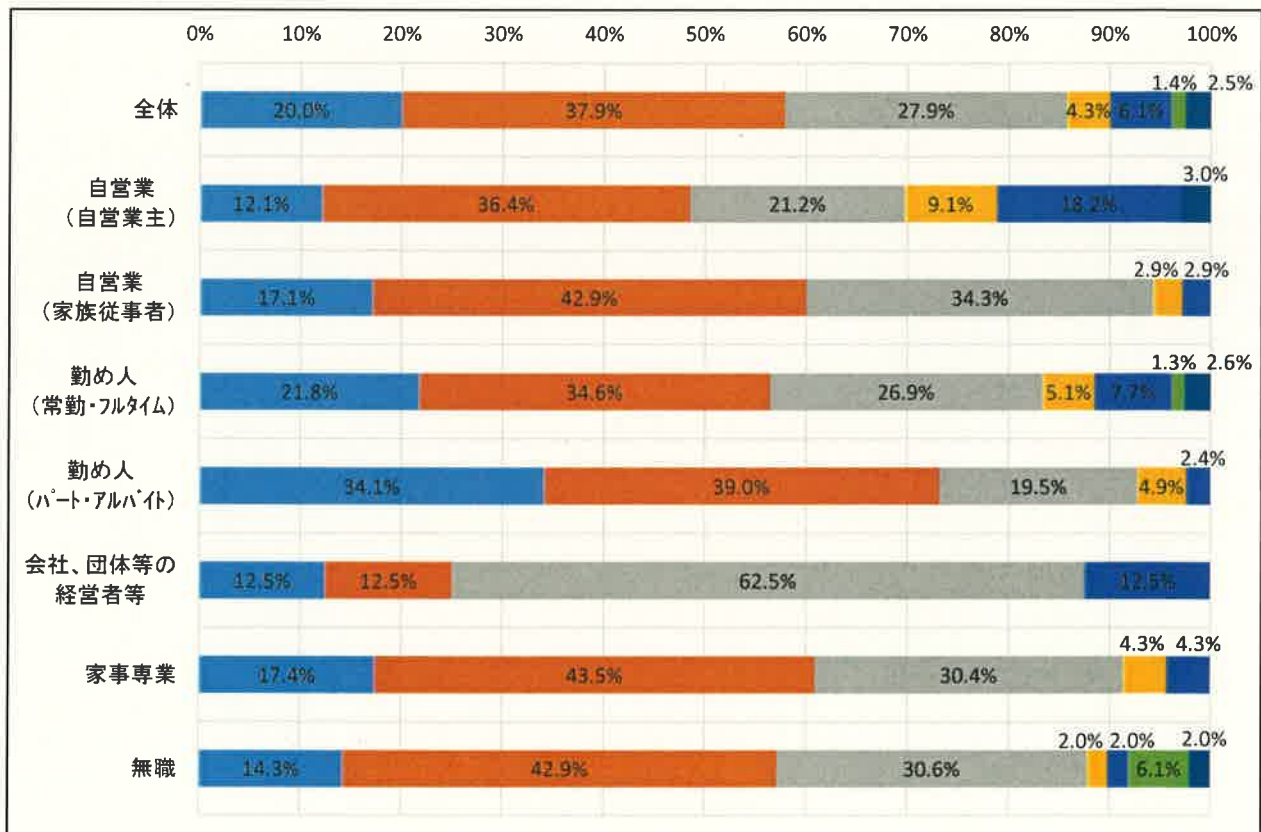
《年代別》



《 職業別 》



《 配偶者の職業別 》



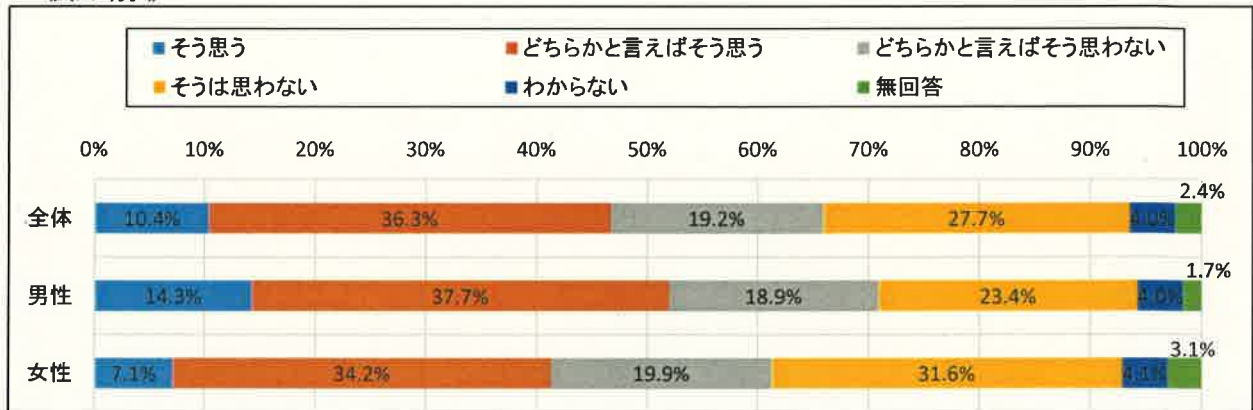


#### 【4】子育て・教育について（問7・8・9）

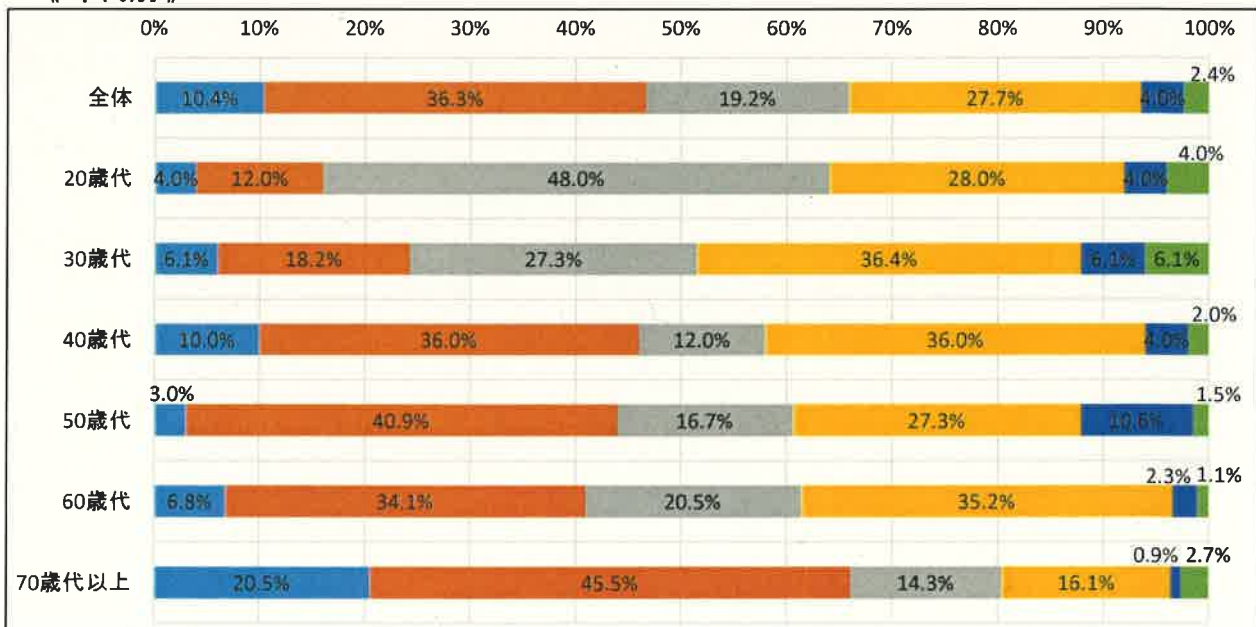
問7 「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく」という育て方についてどのように思いますか。

- 「そうは思わない」、「どちらかと言えばそうは思わない」と回答した割合が全体で46.9%となっており、性別回答では女性が51.5%、男性が42.3%で9.2ポイントの差となっている。（参考：28年度調査 全体で30.2%）
- 年代別回答では、「そうは思わない」、「どちらかと言えばそうは思わない」と回答した割合が、20歳代で76.0%と最も高く、70歳代以上で30.4%と最も低くなっている。
- 婚姻状況別回答では、「そうは思わない」、「どちらかと言えばそうは思わない」と回答した割合が、未婚で68.0%、既婚で43.6%となっており、24.4ポイントの差となっている。

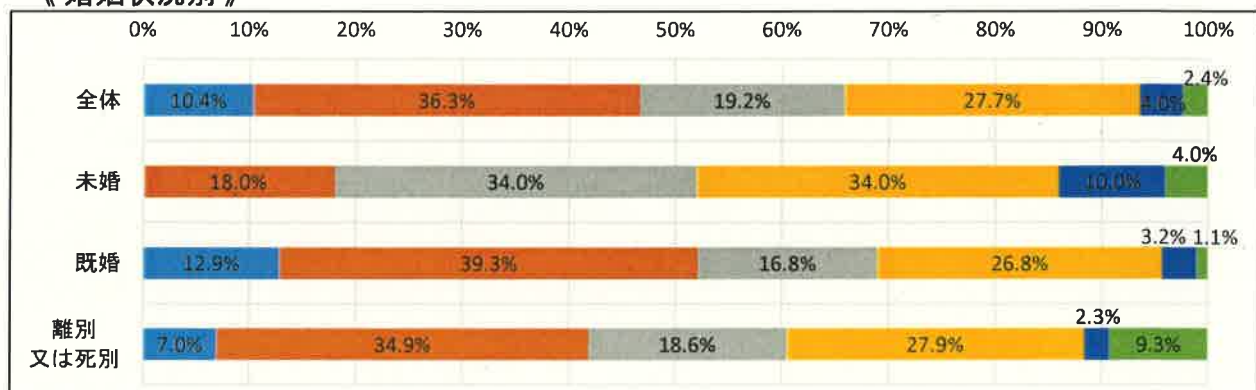
##### 《性別》



##### 《年代別》



##### 《婚姻状況別》

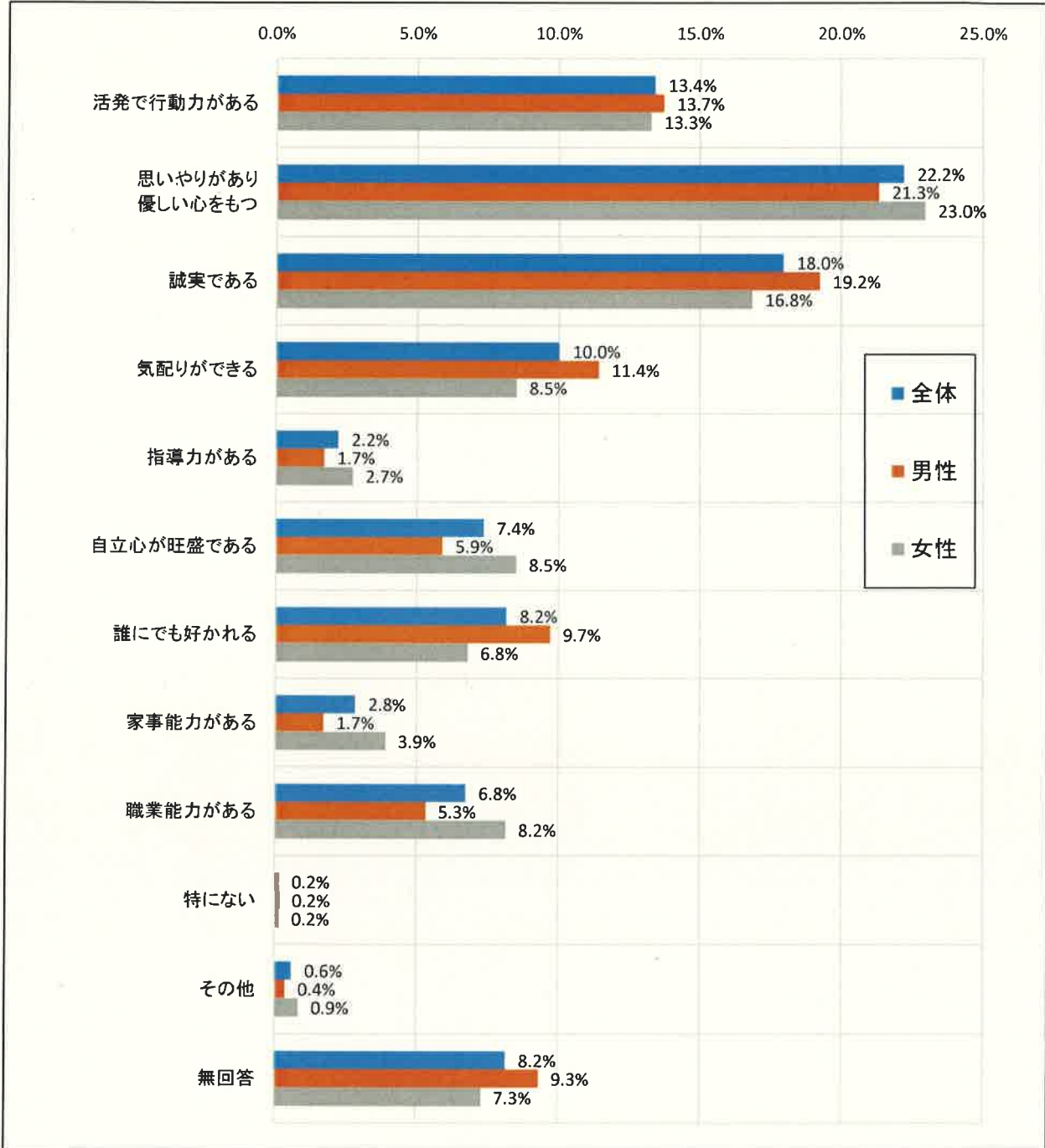


問8 お子さんをどのように育てたいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。お子さんがおられない場合は、お子さんがいると仮定してお答えください。

(1) 男の子の場合

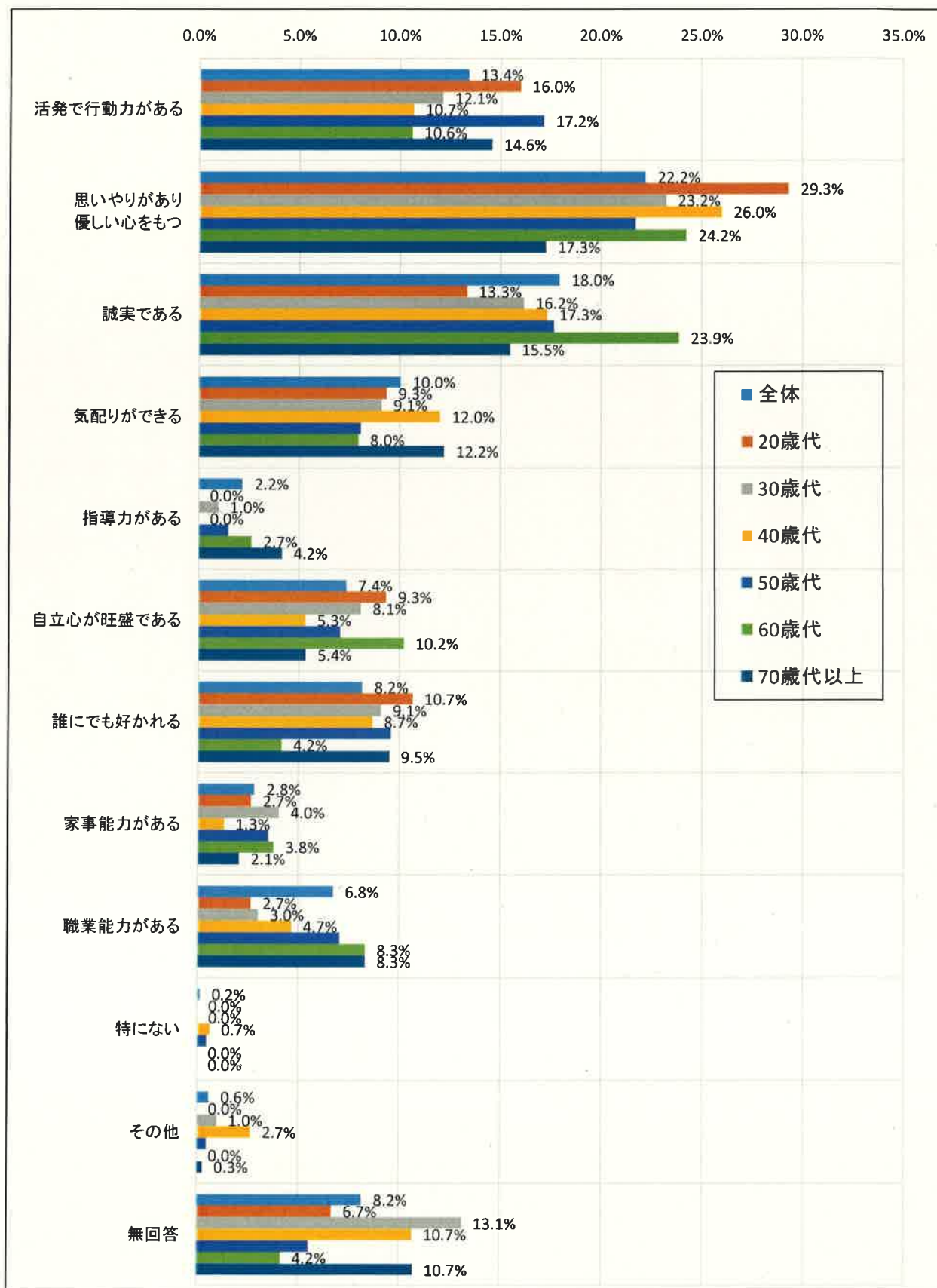
●全体の回答割合を見ると「思いやりがあり優しい心を持つ」が22.0%で最も高く、2番目に「誠実である」で18.0%、3番目に「活発で行動力がある」で13.4%となっており、性別回答でも同じ順位となっている。(参考:28年度調査 全体割合 「思いやりがあり優しい心を持つ」25.9%、「誠実である」22.9%、「活発で行動力がある」17.3%で今回と同順位)

《性別》



## 《年代別》

●20歳代の回答割合では「思いやりがあり優しい心を持つ」が29.3%で最も高く、2番目に「活発で行動力がある」で16.0%、3番目に「誠実である」で13.3%となっており、また、40歳代では「思いやりがあり優しい心を持つ」が26.0%で最も高く、2番目に「誠実である」で17.3%、3番目に「気配りができる」で12.0%となっており、全体及び他年代との回答割合と異なる順位となっている。

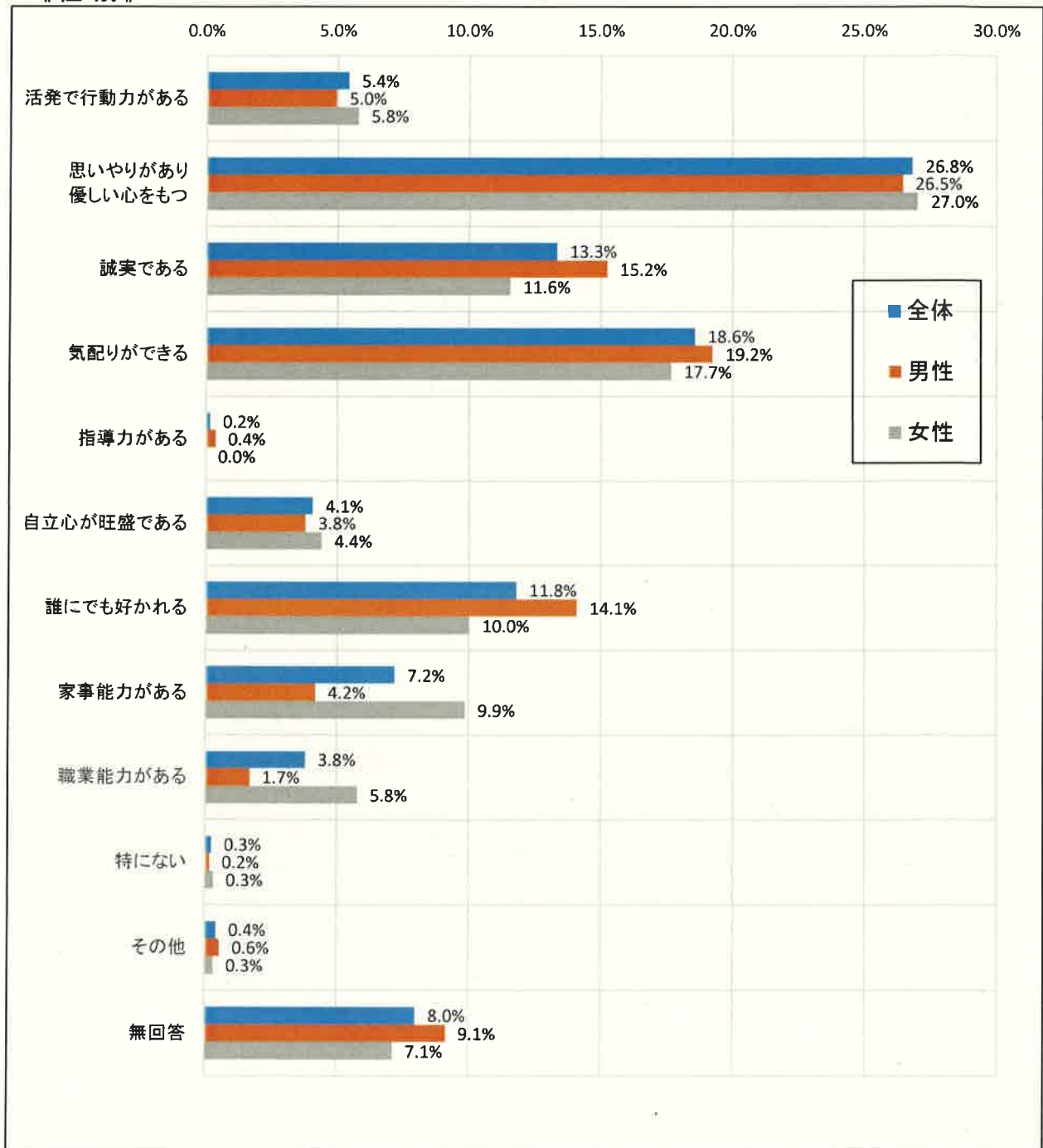


問8 お子さんをどのように育てたいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。お子さんがおられない場合は、お子さんがいると仮定してお答えください。

(2)女の子の場合

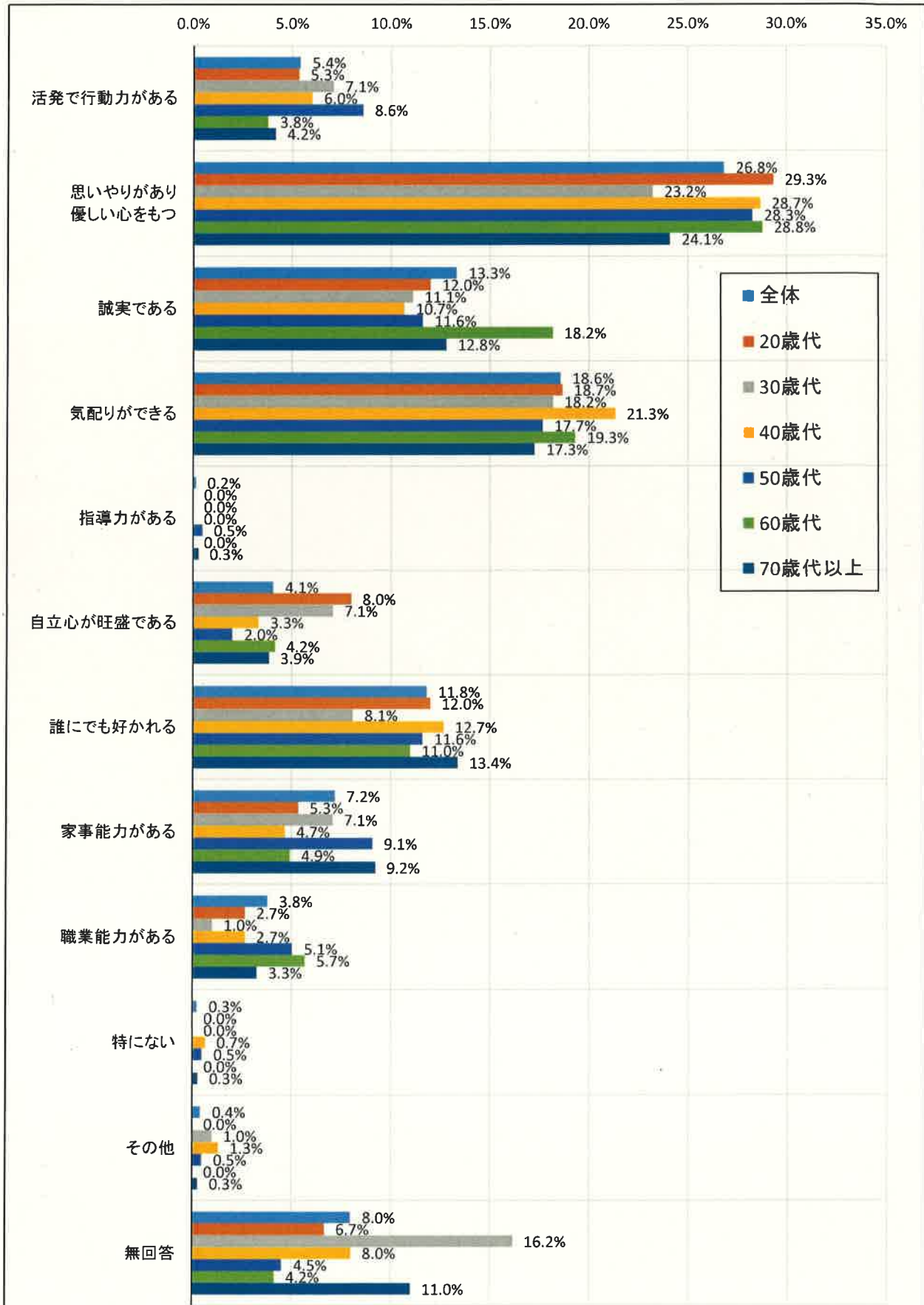
●全体の回答割合を見ると「思いやりがあり優しい心を持つ」が26.8%で最も高く、2番目に「気配りができる」で18.6%、3番目に「誠実である」で13.3%となっており、性別回答でも同じ順位となっている。(参考:28年度調査 全体割合「思いやりがあり優しい心を持つ」28.5%、「気配りができる」21.2%、「誠実である」14.4%で、今回と同順位)

《性別》



《年代別》

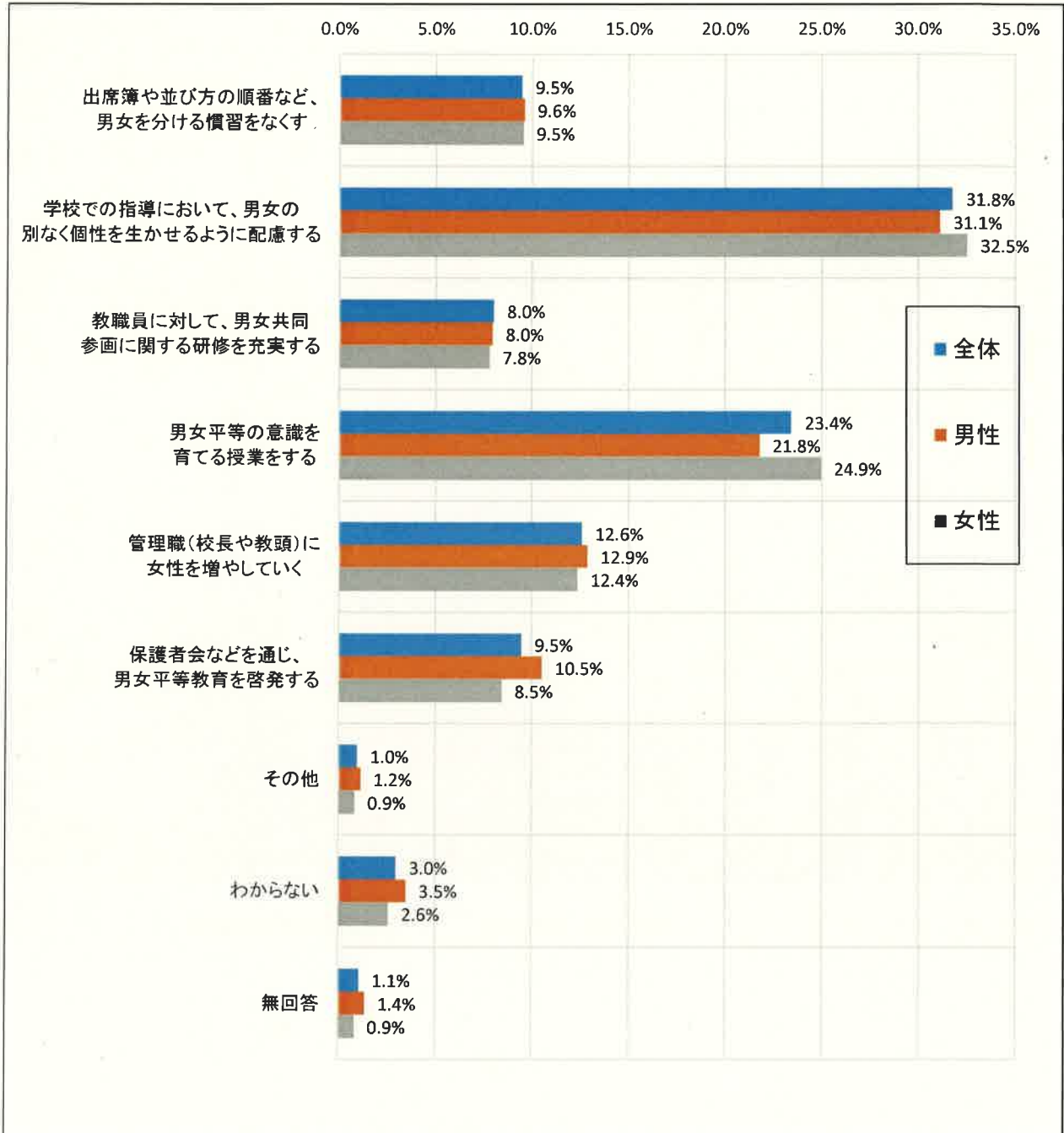
●40歳代、70歳代以上の回答割合では、「思いやりがあり優しい心を持つ」が最も高く、2番目に「気配りができる」、3番目に「誰にでも好かれる」となっており、全体及び他年代との回答割合と異なる順位となっている。



問9 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

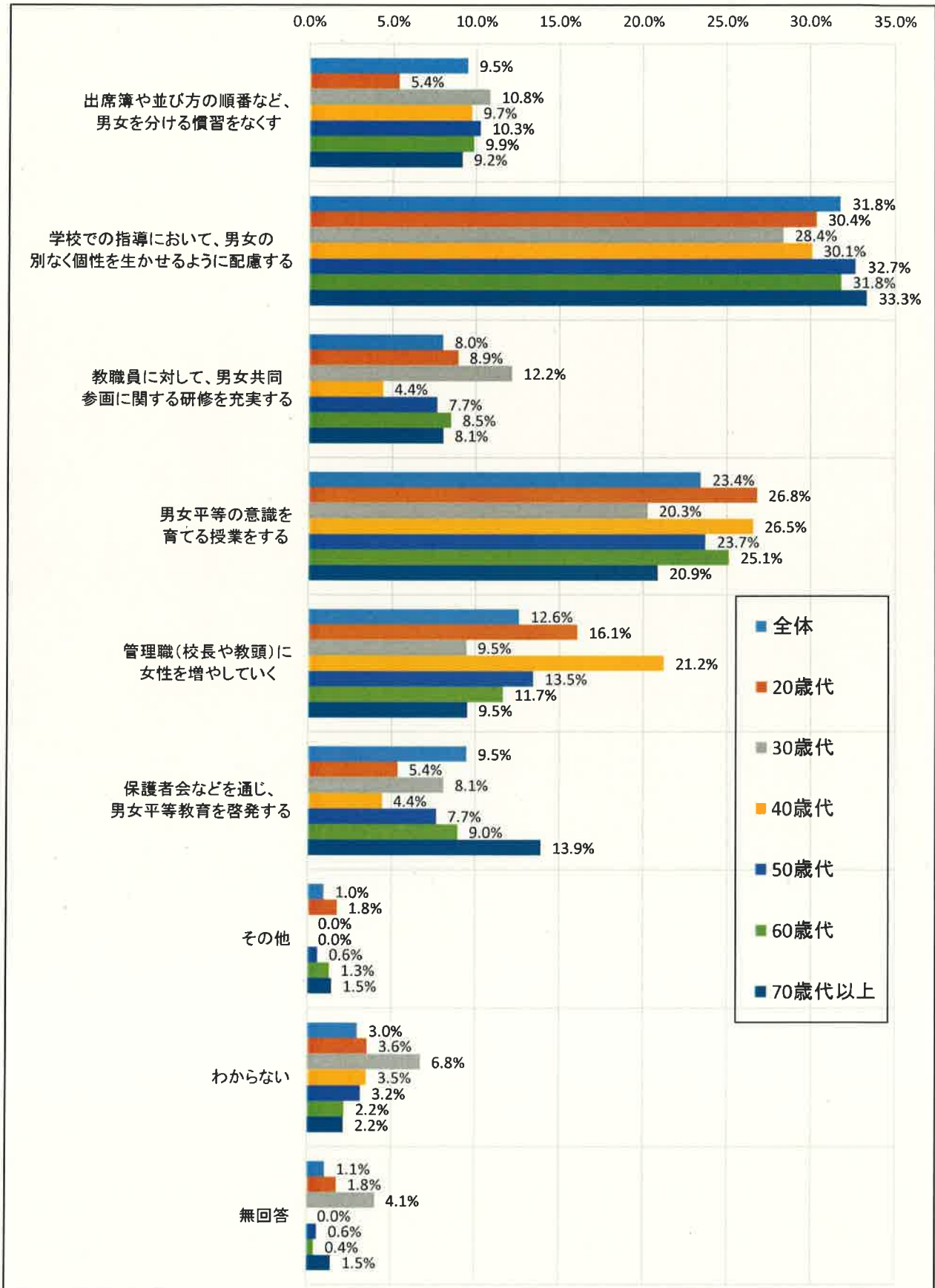
●全体の回答割合を見ると「学校での指導において、男女の別なく個性を生かせるように配慮する」が31.8%で最も高く、2番目に「男女平等の意識を育てる授業をする」で23.4%、3番目に「管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく」で12.6%となっており、性別回答でも同じ順位となっている。(参考:28年度調査 全体割合「学校での指導において、男女の別なく個性を生かせるように配慮する」33.1%、「男女平等の意識を育てる授業をする」22.2%、「管理職(校長や教頭)に女性を増やしていく」13.7%で今回と同順位)

《性別》



《年代別》

●30歳代の回答割合では、「学校での指導において、男女の別なく個性を生かせるように配慮する」が最も高く、2番目に「男女平等の意識を育てる授業をする」、3番目に「教職員に対して、男女共同参画に関する研修を充実する」となっており、全体及び他年代との回答割合と異なる順位となっている。



## 【5】仕事について（問10・11・12・13）

問10 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。仕事をする上でどのような不安・不満や悩みがありますか。

●全体の割合をみると「賃金が安い」と回答した割合が29.3%で最も高く、続いて「ない」と回答した割合が25.5%となっている。（参考：28年度調査 全体で「賃金が安い」28.0%、「ない」26.9%）

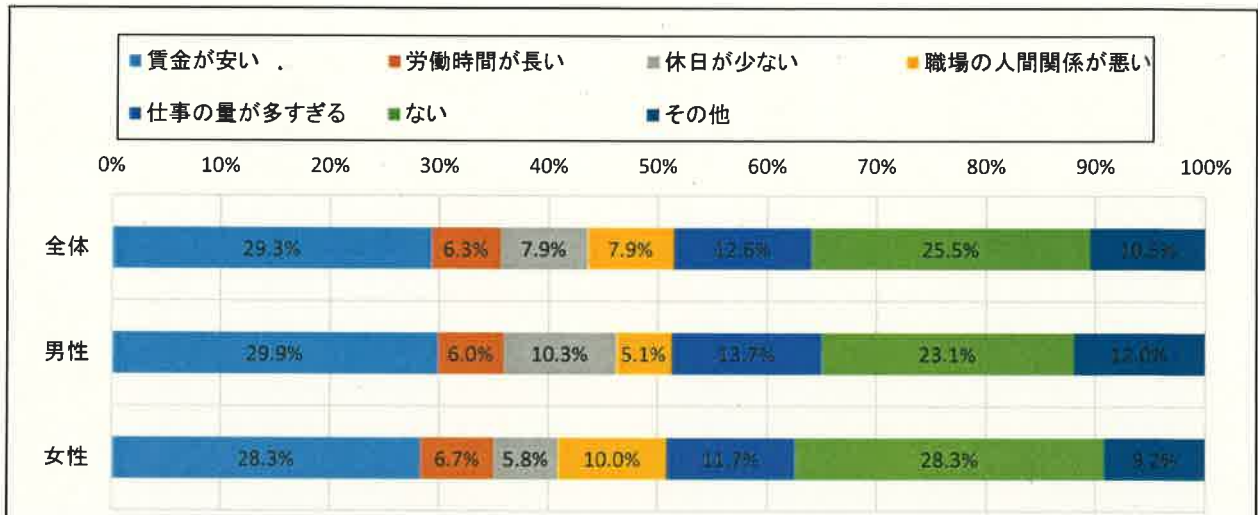
●性別回答では、「休日が少ない」と回答した割合が、女性より男性の方が4.5ポイントの差で高く、「ない」、「職場の人間関係が悪い」と回答した割合は、男性より女性の方が、5.2ポイント、4.9ポイントの差で高くなっている。

●年代別回答では、「賃金が安い」と回答した割合が、20歳代で最も高く、70歳代以上で最も低くなっており、「ない」とした回答では70歳代以上が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

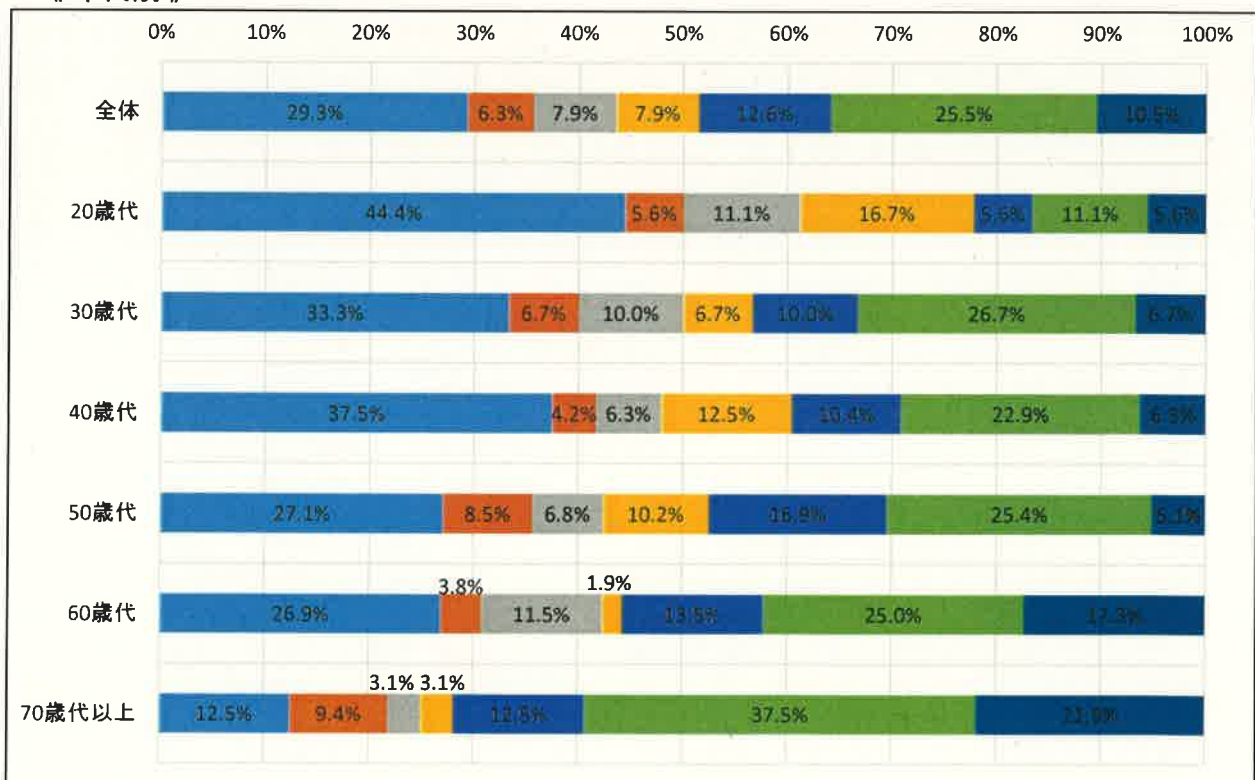
●職業別回答では、「ない」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)が42.9%、勤め人(常勤・フルタイム)が17.9%で25.0ポイントの差となっている。

●婚姻状況別回答では、「ない」と回答した割合が、既婚28.2%、未婚15.4%で12.8ポイントの差となっている。

### 《性別》

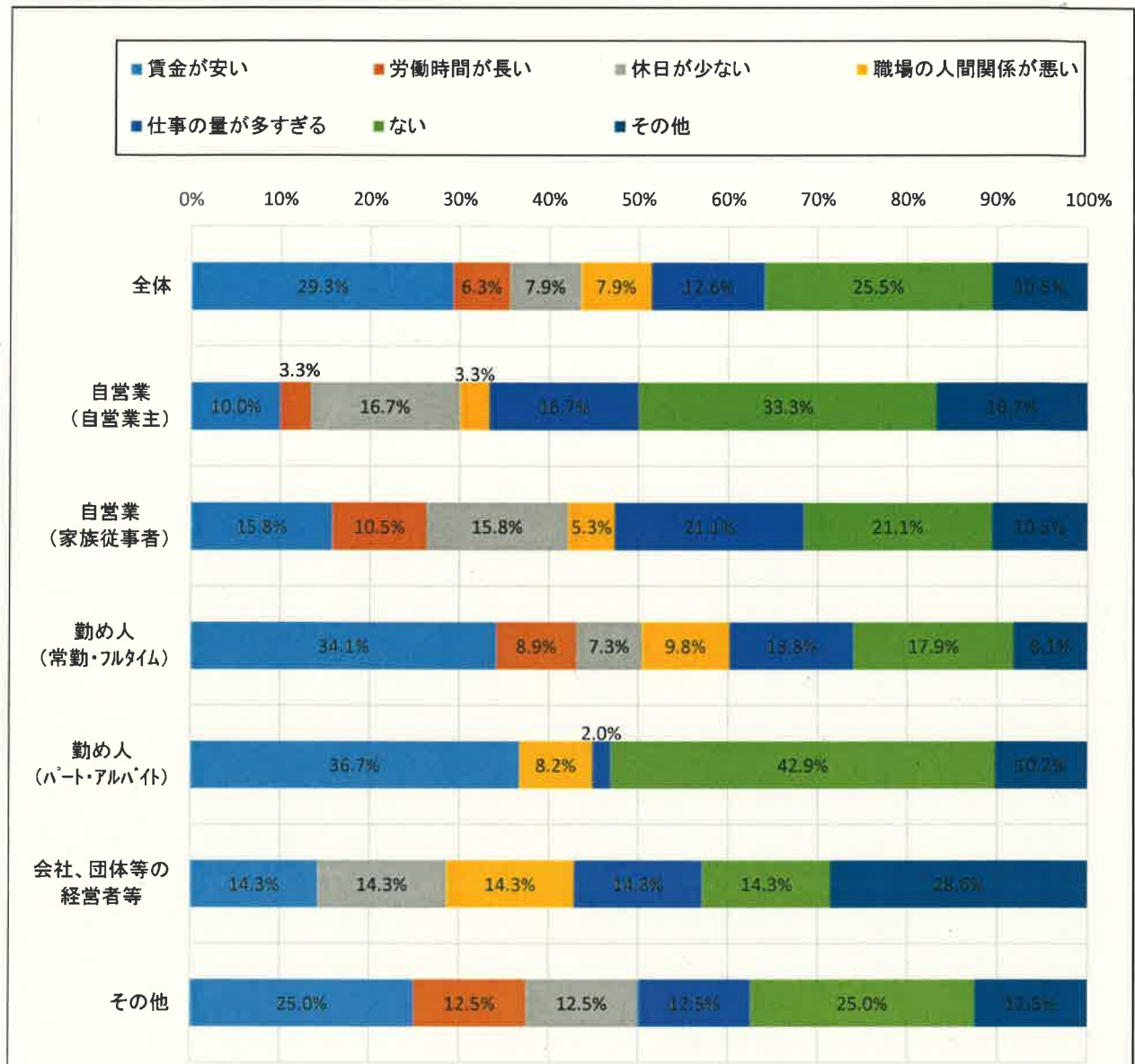


### 《年代別》





## 《 職業別 》



## 《 婚姻状況別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きします。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(1) 募集や採用

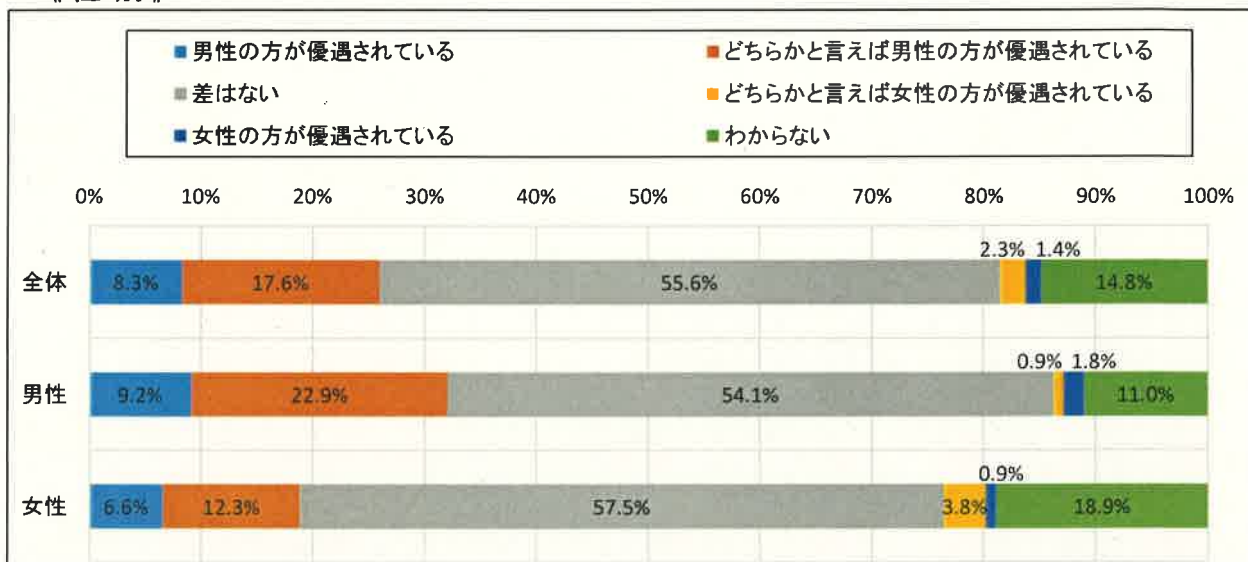
●「差はない」と回答した割合が全体で55.6%と最も高くなっており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が25.9%で、29.7ポイントの差となっている(参考: 28年度調査「差はない」52.9%、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」38.8%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が女性57.5%、男性54.1%で、女性の方が3.4ポイント高くなっている。

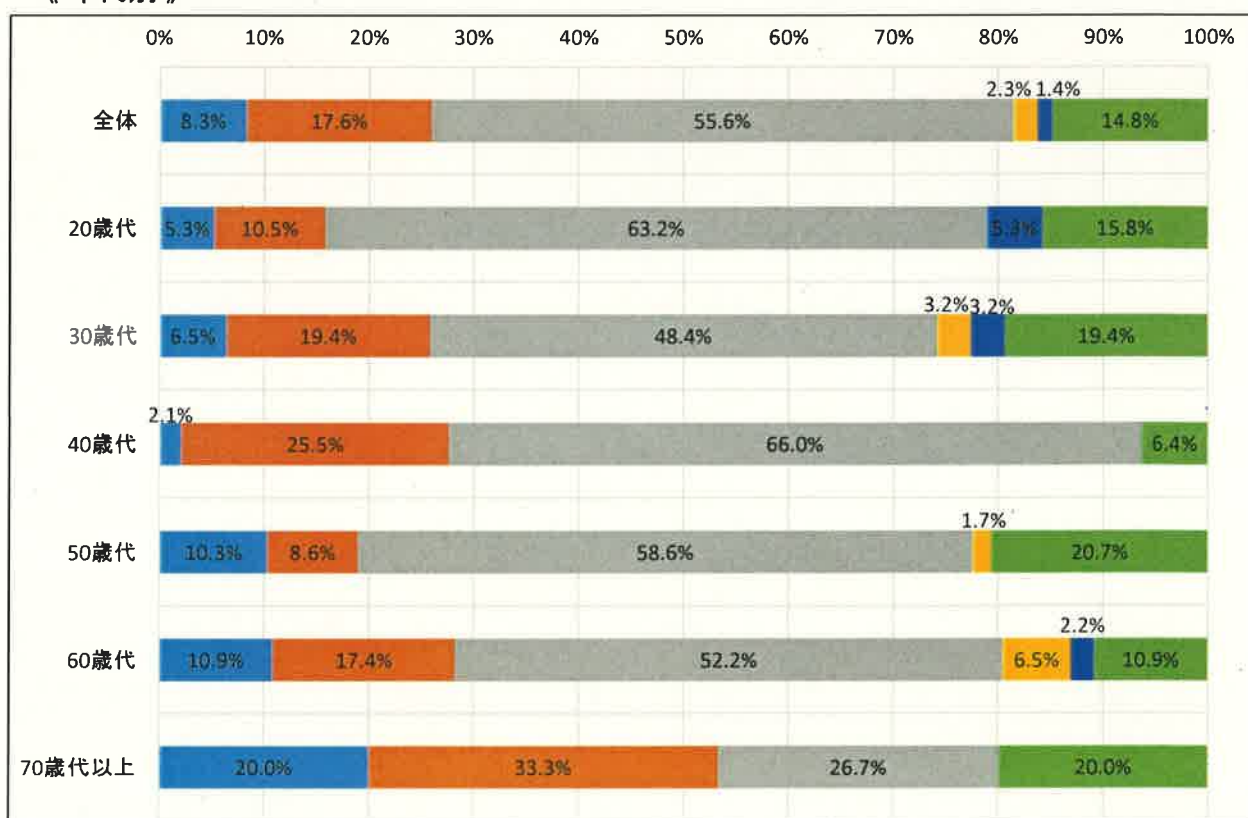
●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が、20、40歳代で6割を超えて比較的高くなっており、70歳代以上が26.7%で最も低くなっている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が61.4%、勤め人(パート・アルバイト)が47.8%で13.6ポイントの差となっている。

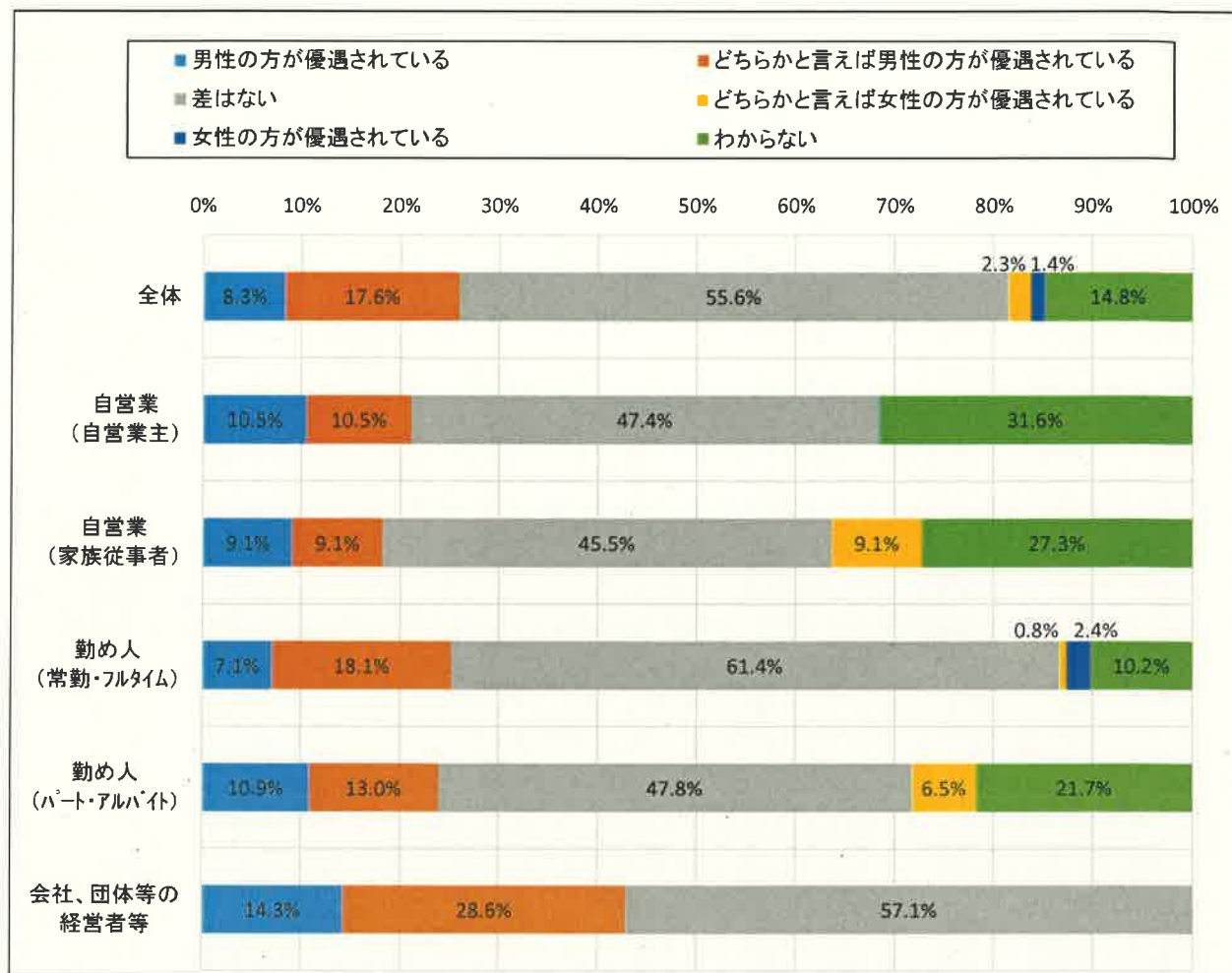
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(2)賃金

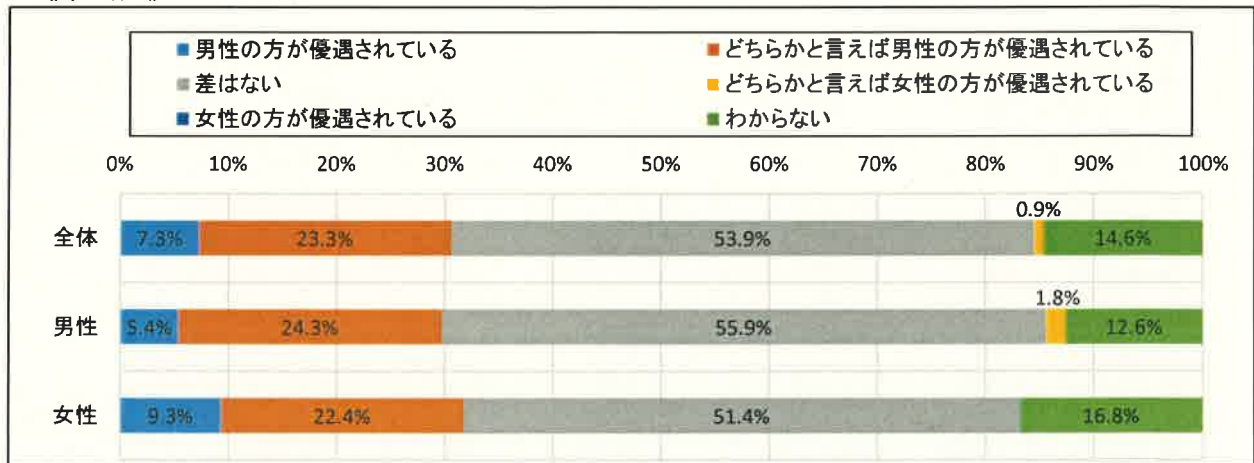
●「差はない」と回答した割合が全体で53.9%と最も高くなっており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が30.6%で23.3ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」51.7%、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」41.4%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が男性55.9%、女性51.4%で、男性の方が4.5ポイント高くなっている。

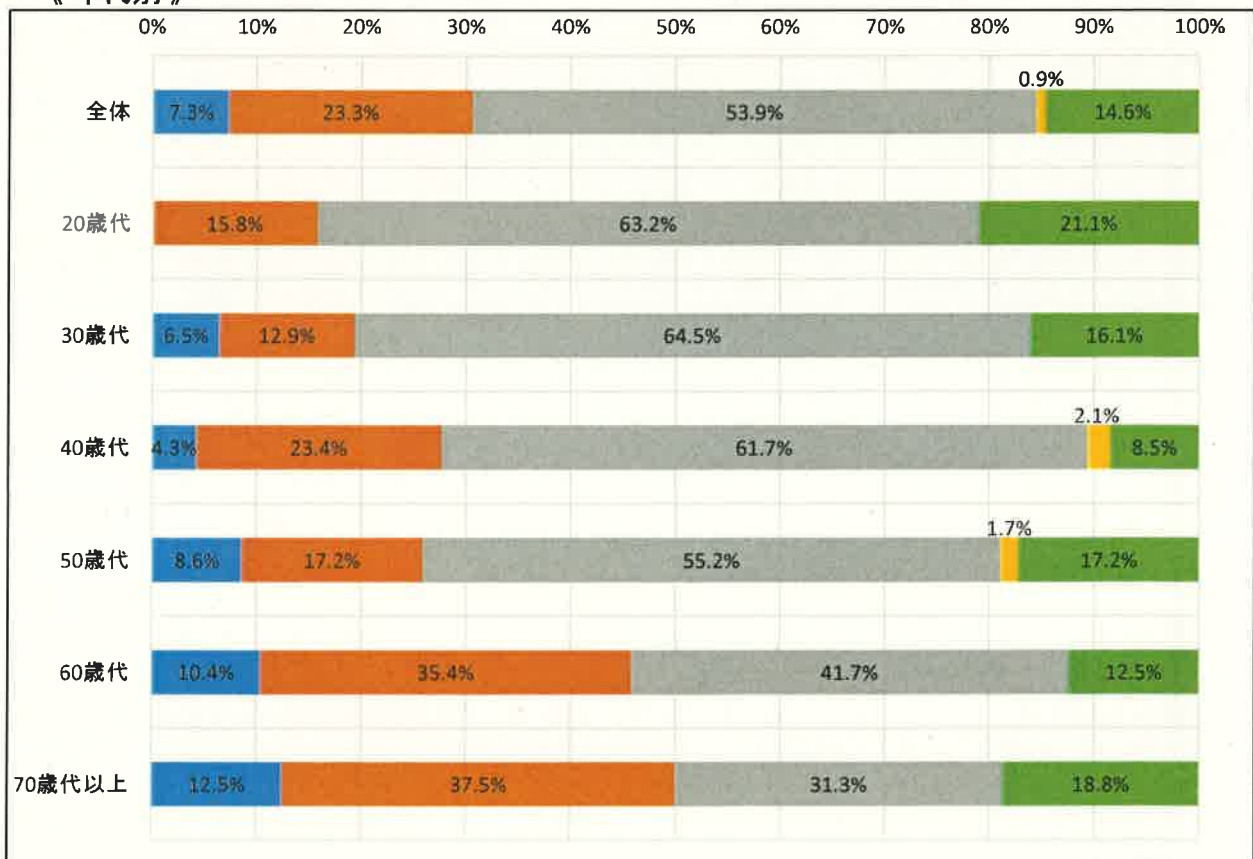
●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が、20、30、40歳代で6割を超えて比較的高くなっており、70歳代以上が31.3%で最も低くなっている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が60.9%、勤め人(パート・アルバイト)が45.7%で15.2ポイントの差となっている。

《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(3)昇進・昇格

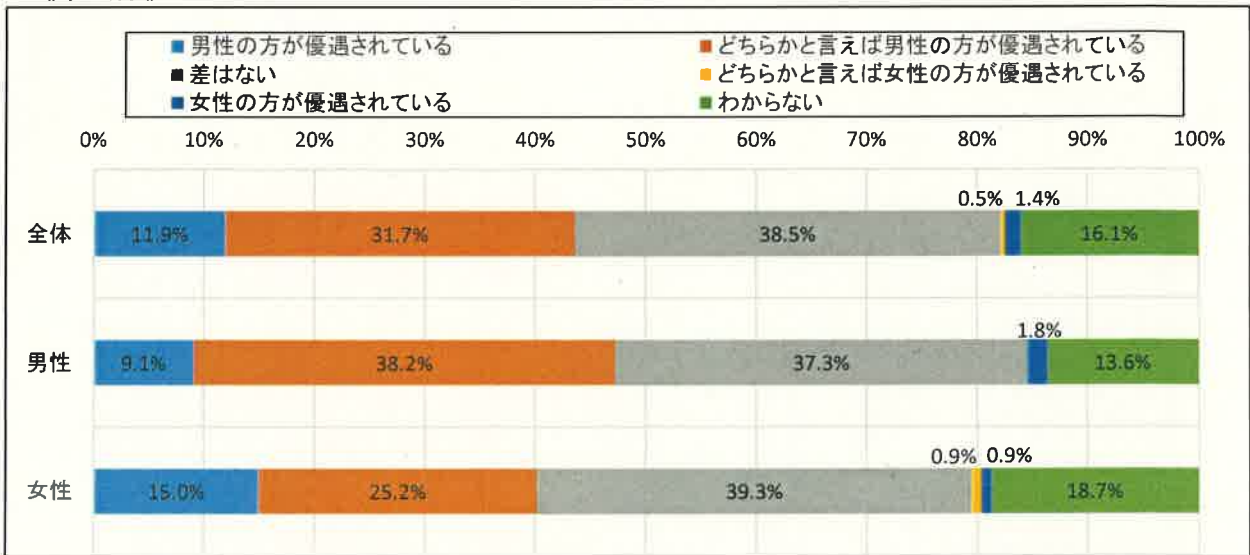
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で43.6%となっており、「差はない」と回答した割合38.5%と5.1ポイントの差となっている(参考:28年度調査「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」52.4%、「差はない」36.0%、)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が女性39.3%、男性37.3%で、女性の方が2.0ポイント高くなっている。

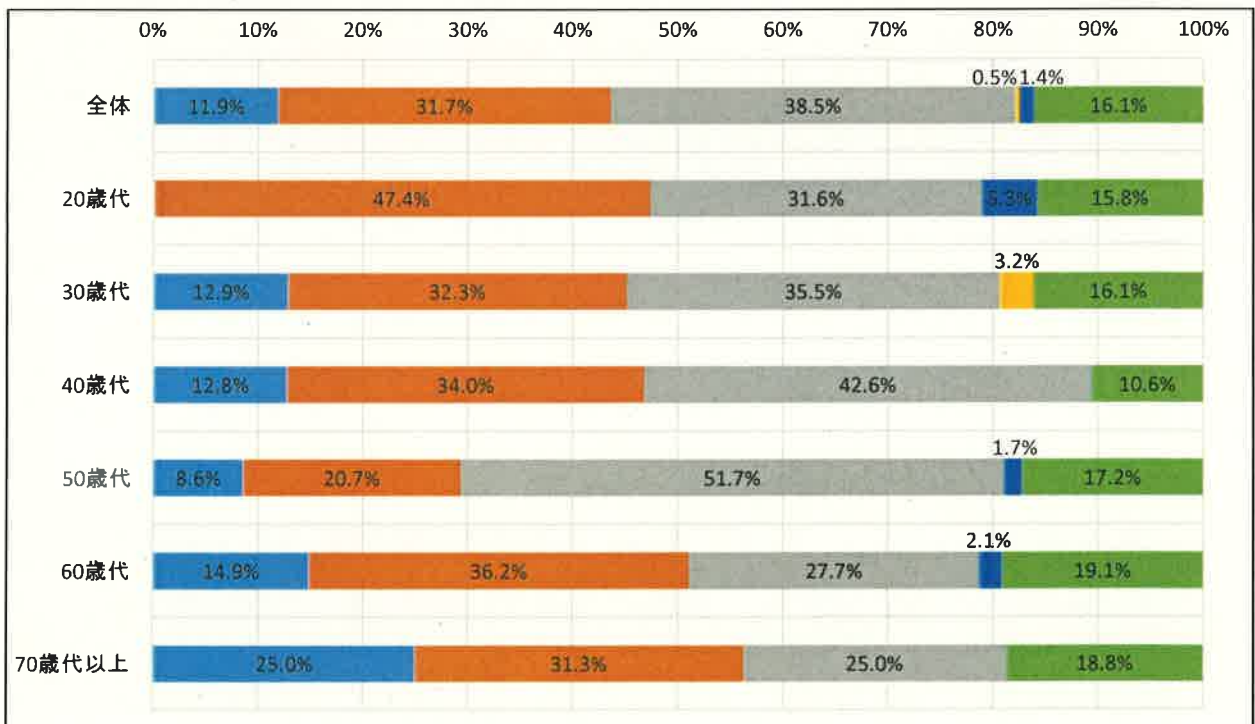
●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が、50歳代で51.7%、40歳代で42.6%と比較的高くっており、70歳代以上が25.0%で最も低くなっている。

●職業別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が47.6%、勤め人(パート・アルバイト)が34.8%で12.8ポイントの差となっている。

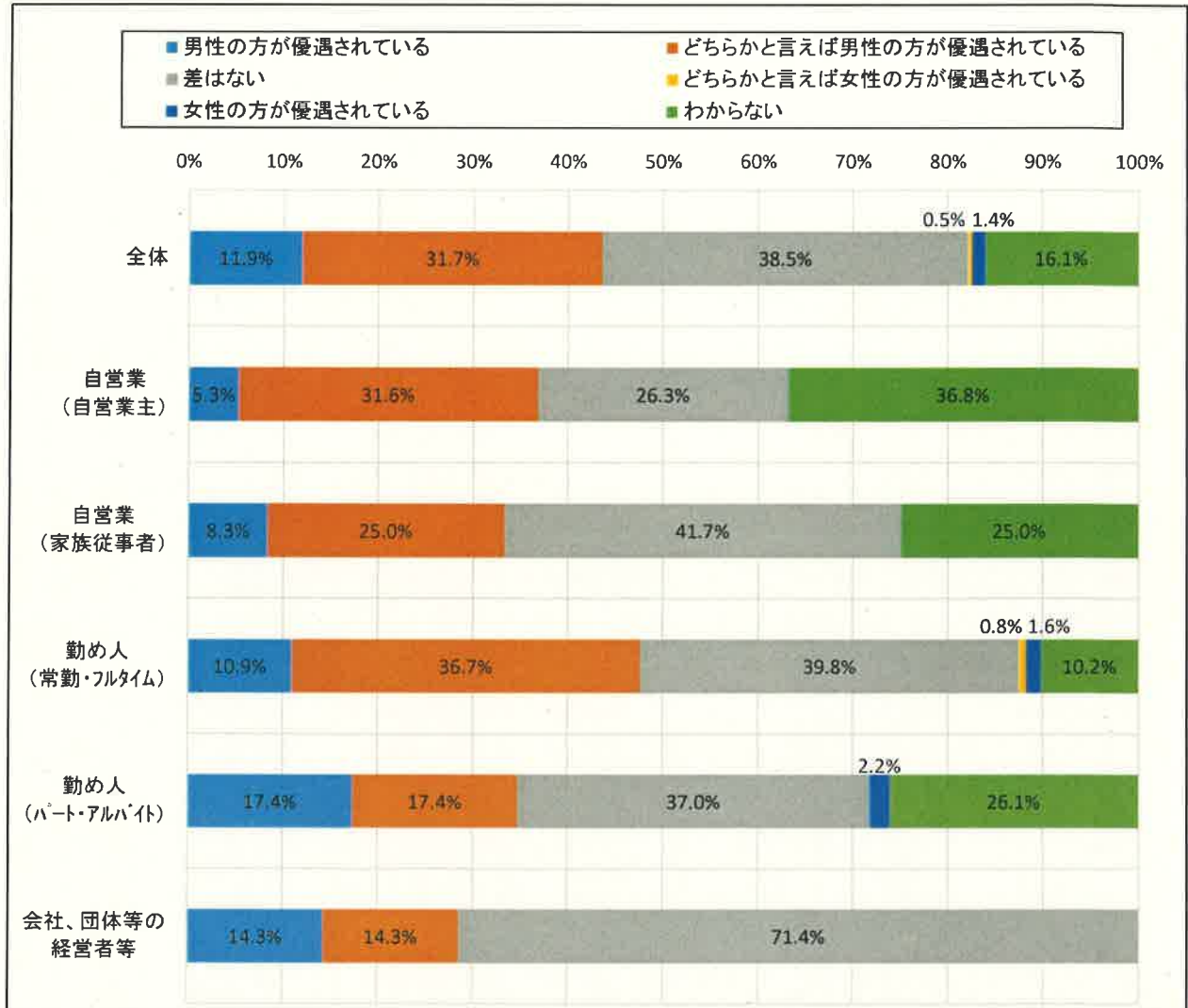
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(4) 幹部への登用

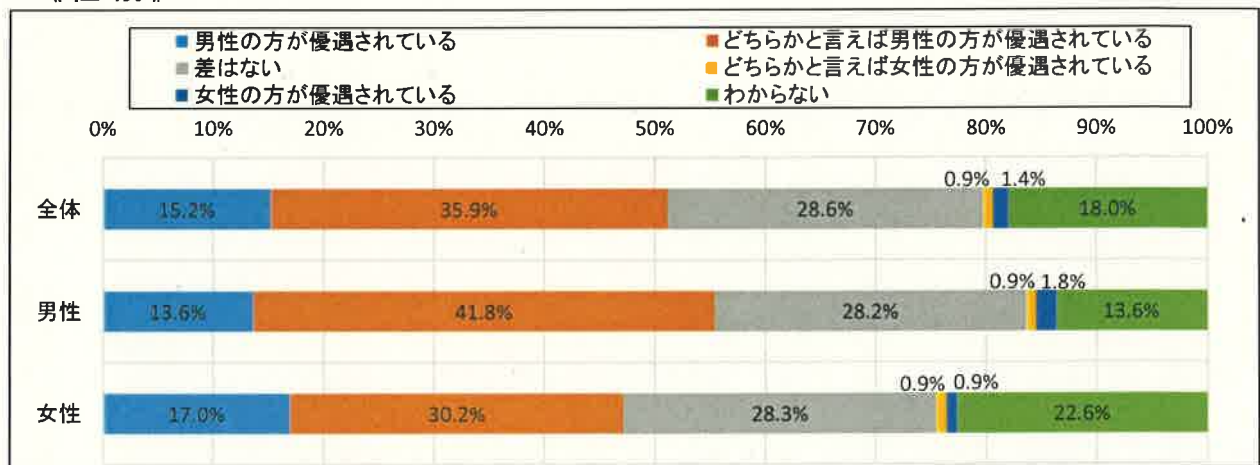
●「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が全体で51.1%となっており、「差はない」と回答した割合28.6%と22.5ポイントの差となっている(参考:28年度調査「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」65.5%、「差はない」24.1%)

●性別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が男性55.4%、女性47.2%で、男性の方が8.2ポイント高くなっている。

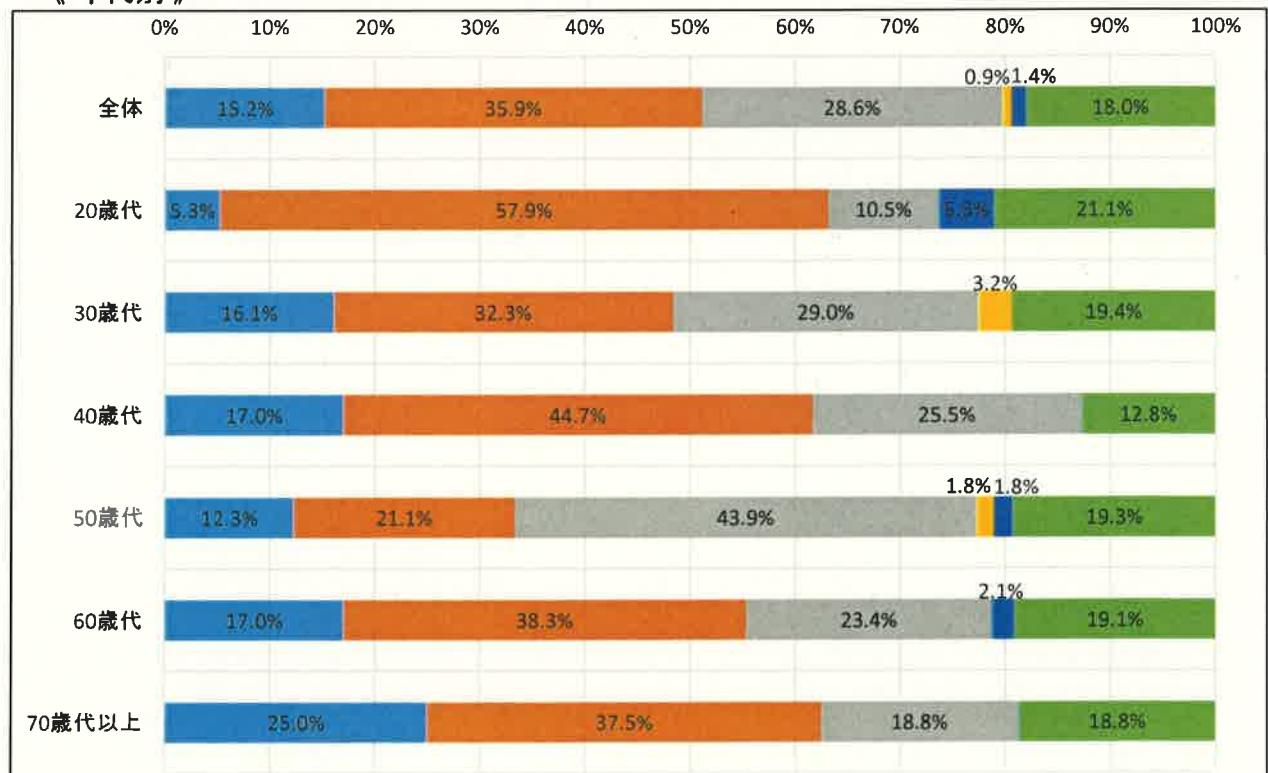
●年代別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、20、40歳代、70歳代以上で6割を超えて比較的高くなっており、50歳代が33.4%で最も低くなっている。

●職業別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が57.0%、勤め人(パート・アルバイト)が39.2%で17.8ポイントの差となっている。

《性別》

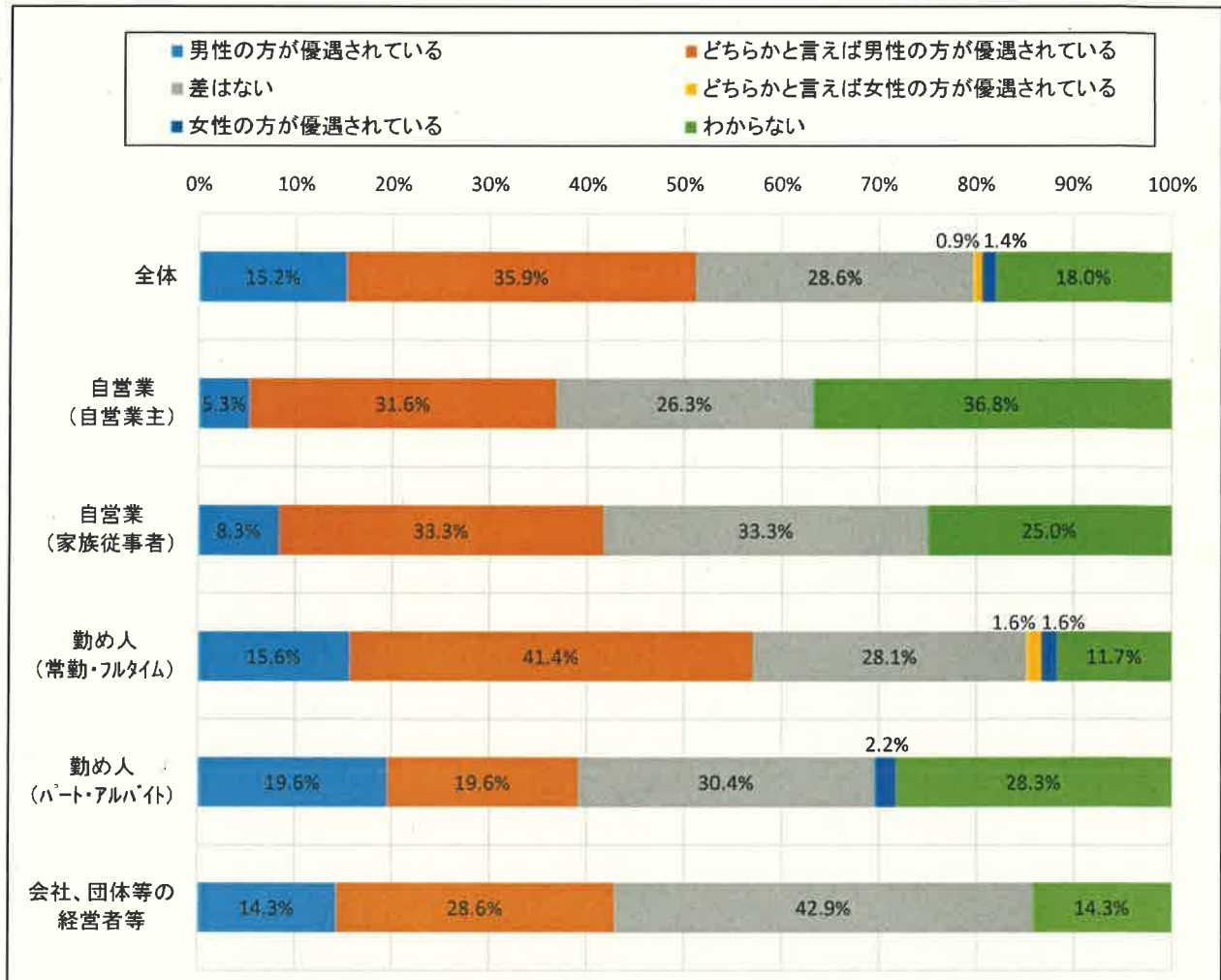


《年代別》





《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(5) 仕事の内容

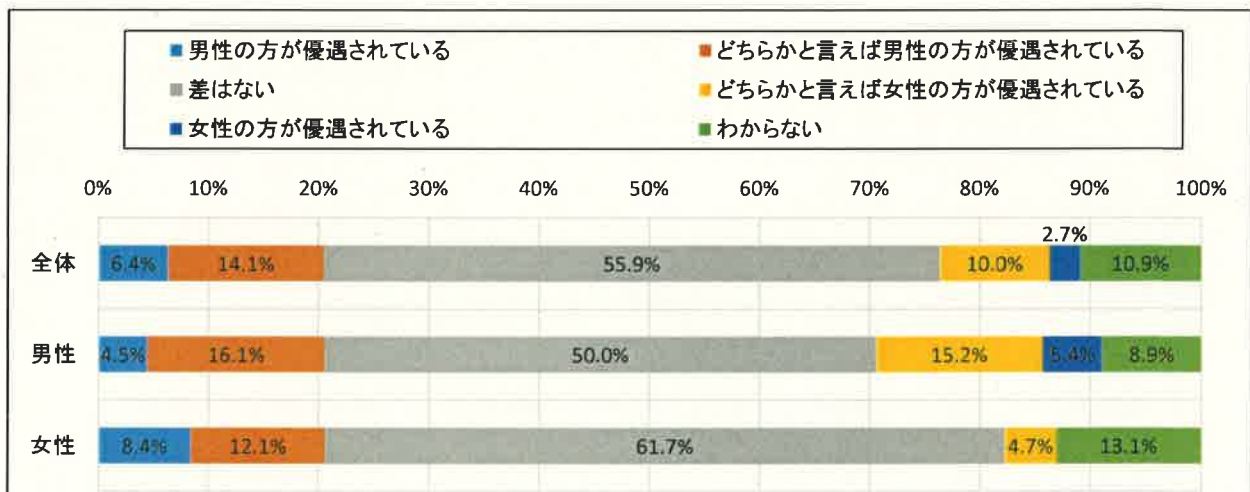
●「差はない」と回答した割合が全体で55.9%と最も高くなっており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が20.5%で35.4ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」43.0%、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」37.2%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が女性61.7%、男性50.0%で、女性の方が11.7ポイント高くなっている。

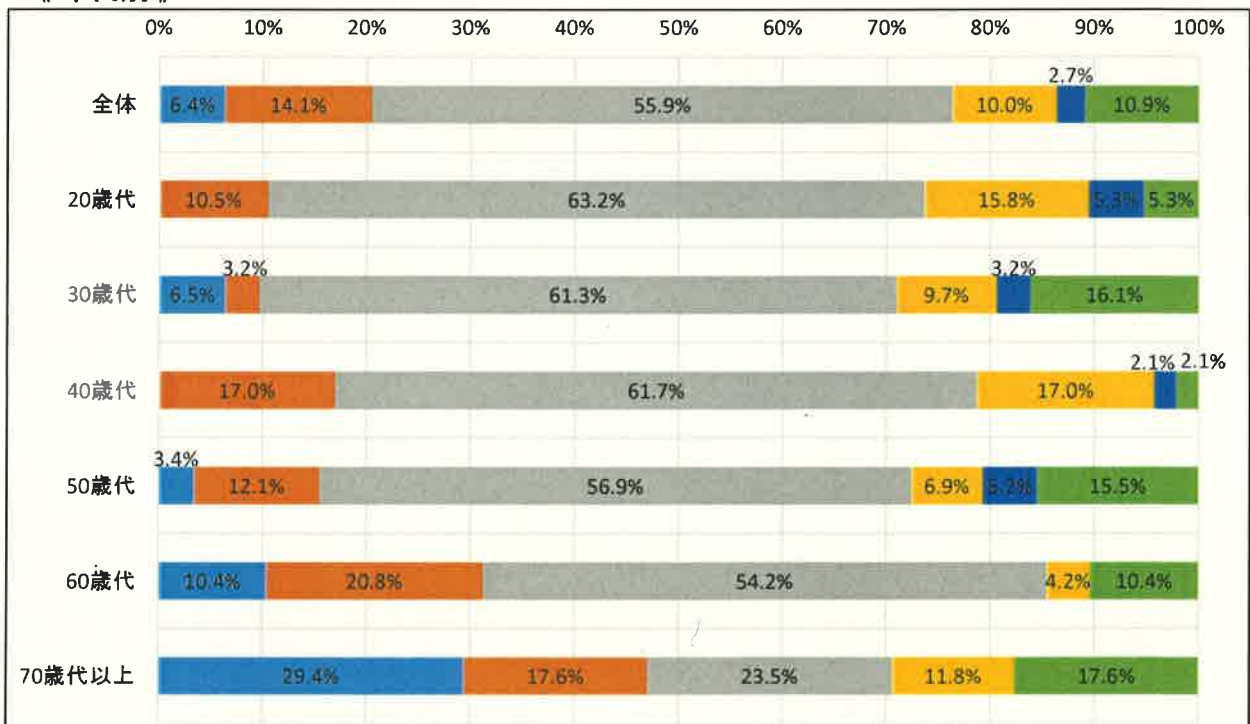
●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が、20、30、40歳代で6割を超えて比較的高くなっており、70歳代以上が23.5%で最も低くなっている。また、20、30歳代では「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と回答した割合が「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合を上回っている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、勤め人(パート・アルバイト)が63.8%、勤め人(常勤・フルタイム)が57.8%で6.0ポイントの差となっている。

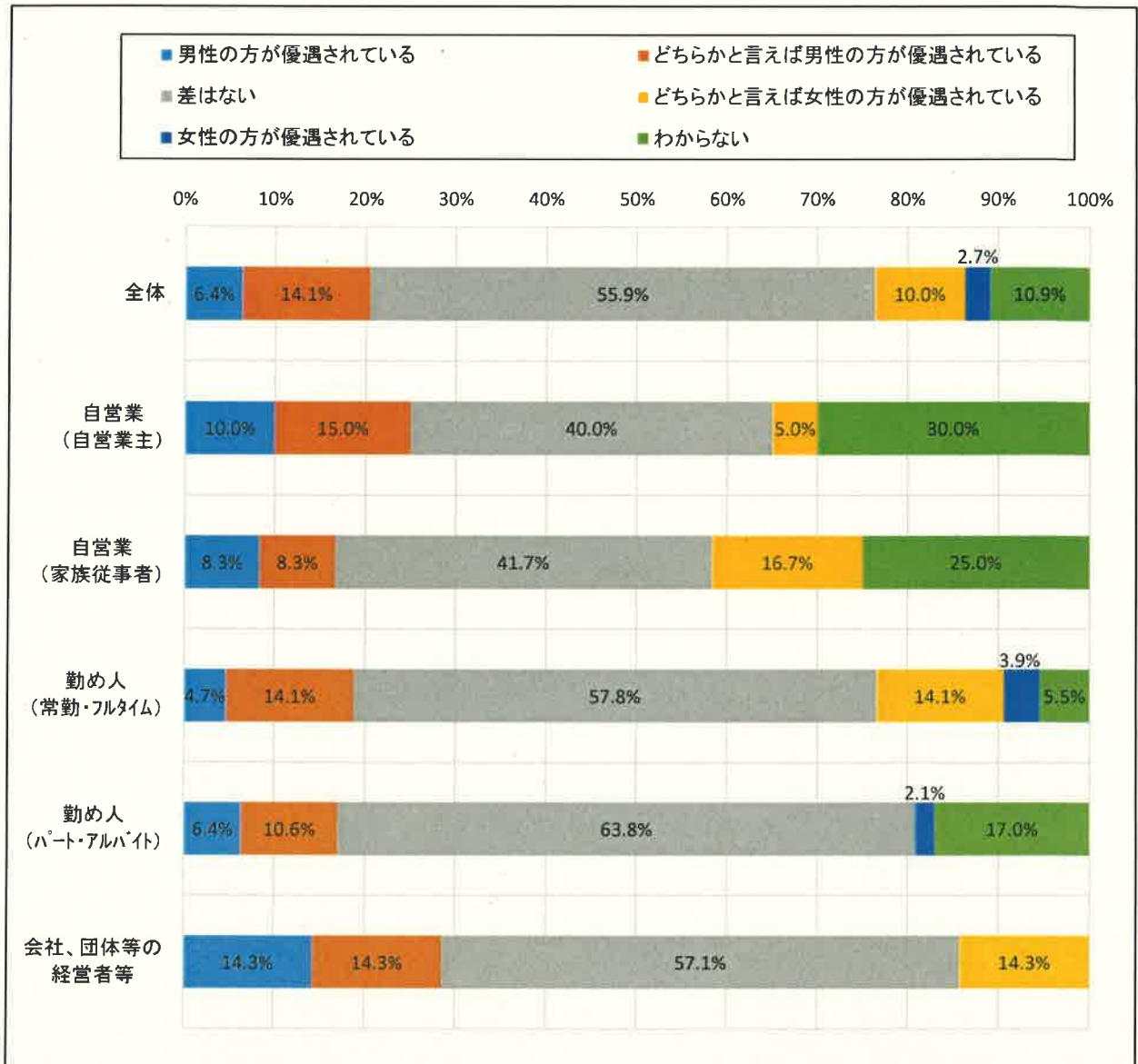
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(6)教育訓練・研修

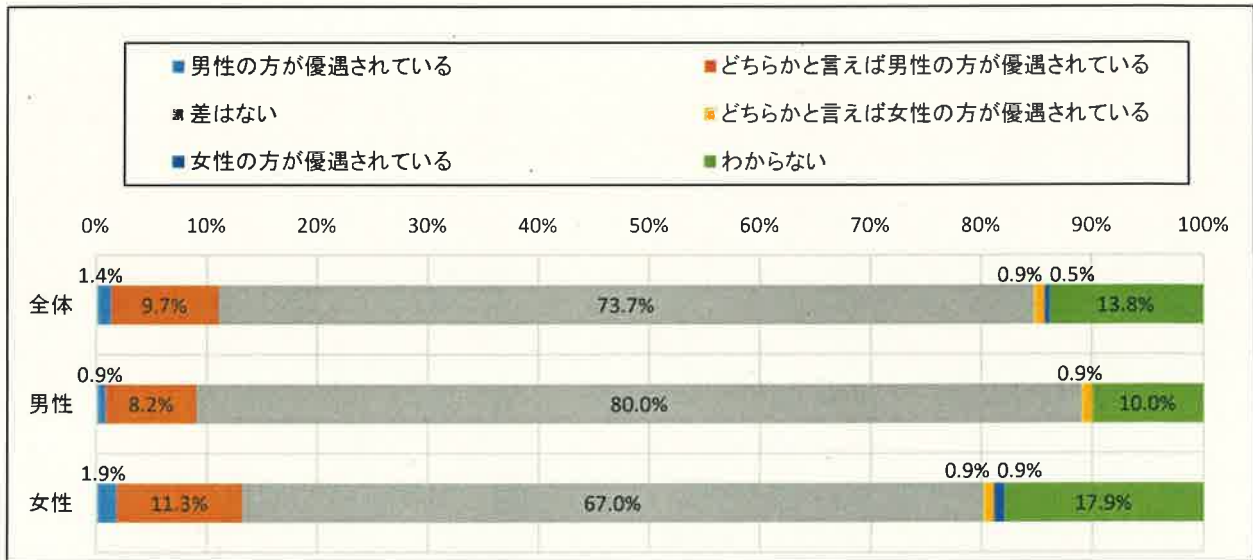
●「差はない」と回答した割合が全体で73.7%と最も高くなっており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が11.1%で62.6ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」70.5%、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」19.4%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が男性80.0%、女性67.0%で、男性の方が13.0ポイント高くなっている。

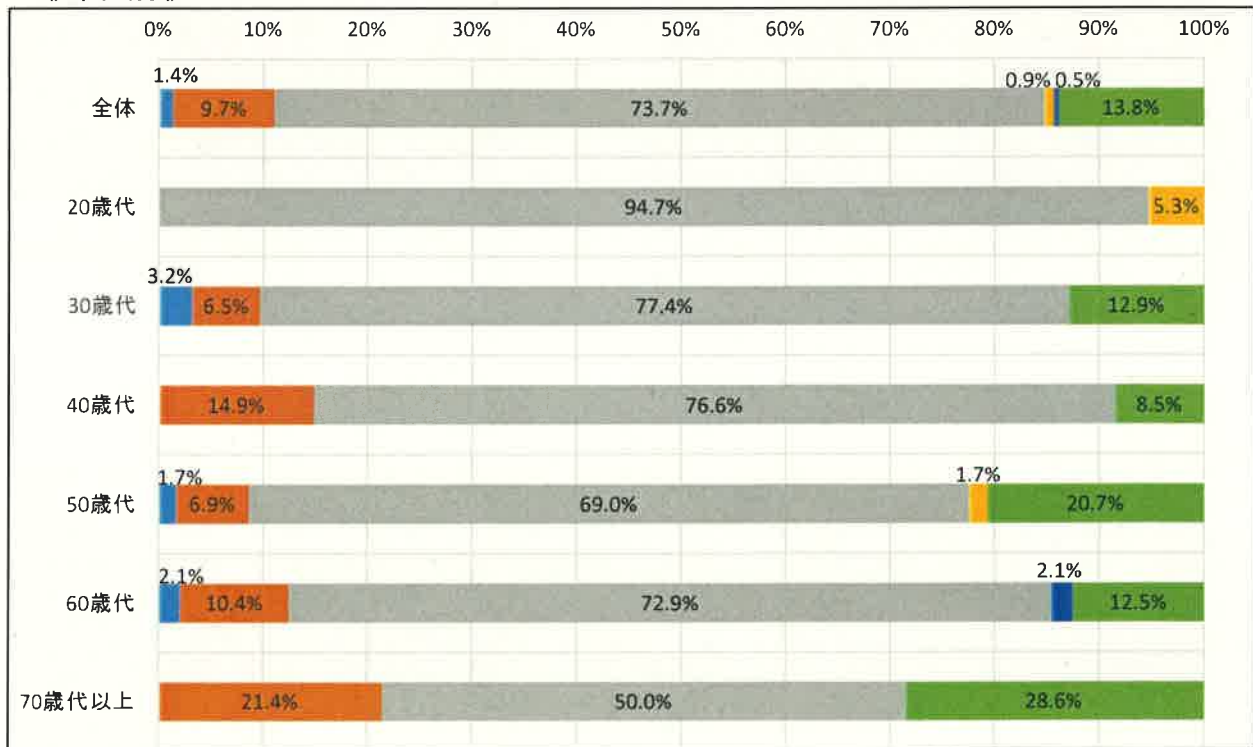
●年代別回答では、「差はない」と回答した割合が、20歳代で9割を超えて最も高くなっており、70歳代以上が50.0%で最も低くなっている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、会社・団体等の経営者等と勤め人(常勤・フルタイム)との比較において8割を超えており他の職業と比較して高くなっている。

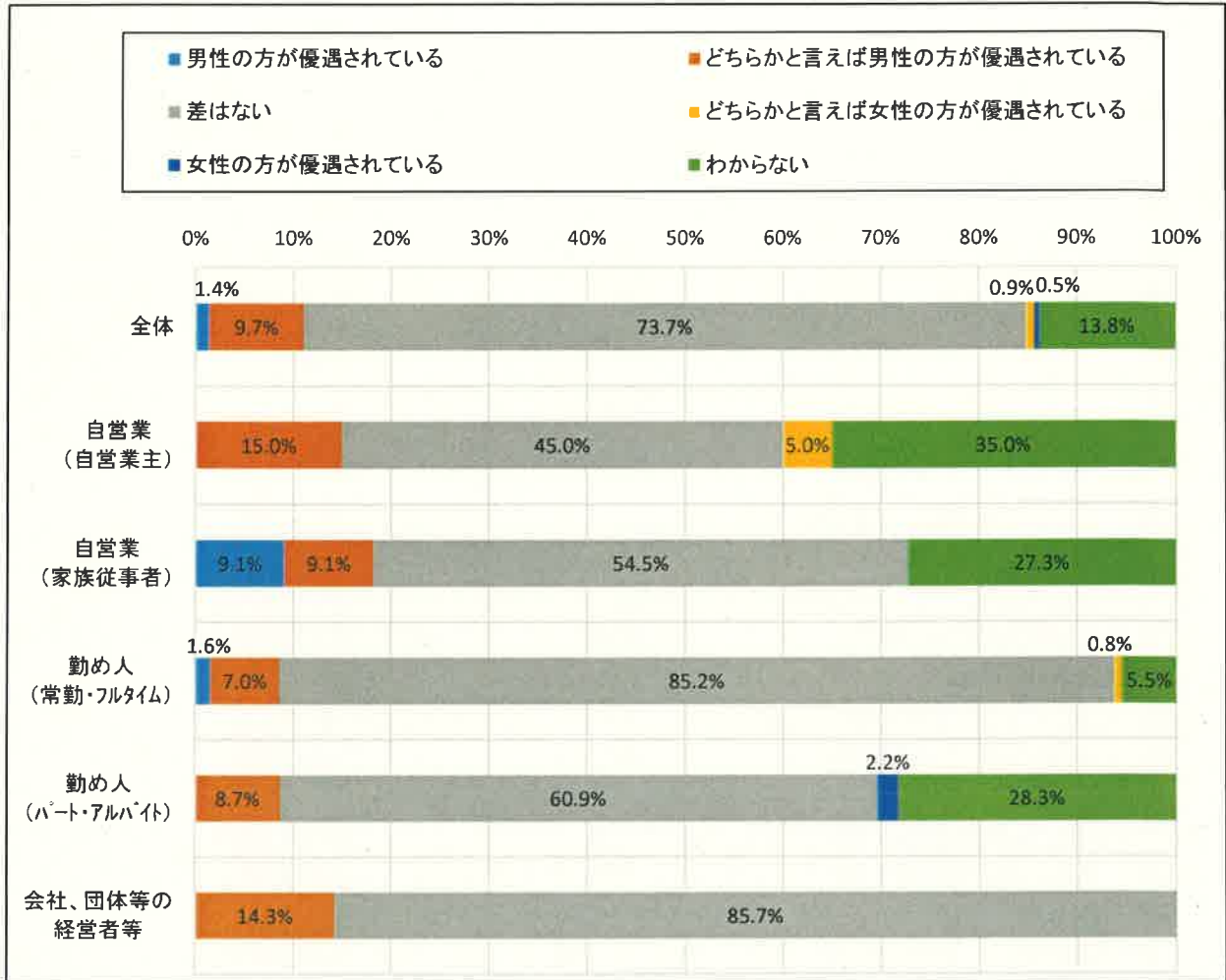
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(7)退職・解雇

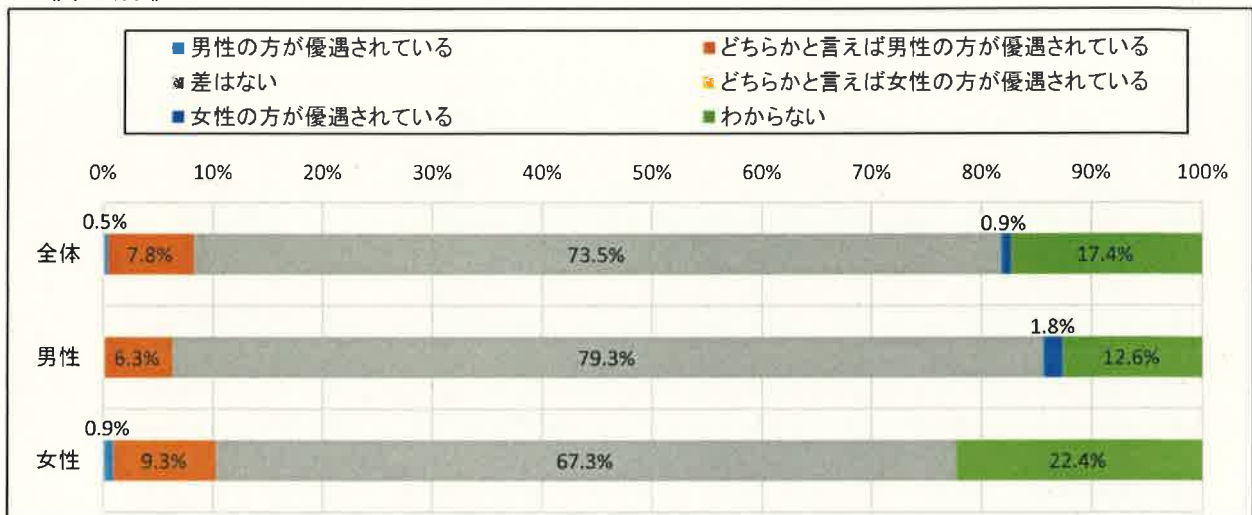
●「差はない」と回答した割合が全体で73.5%と最も高くなっており、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が8.3%で65.2ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」69.8%、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」18.7%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が男性79.3%、女性67.3%で、男性の方が12.0ポイント高くなっている。

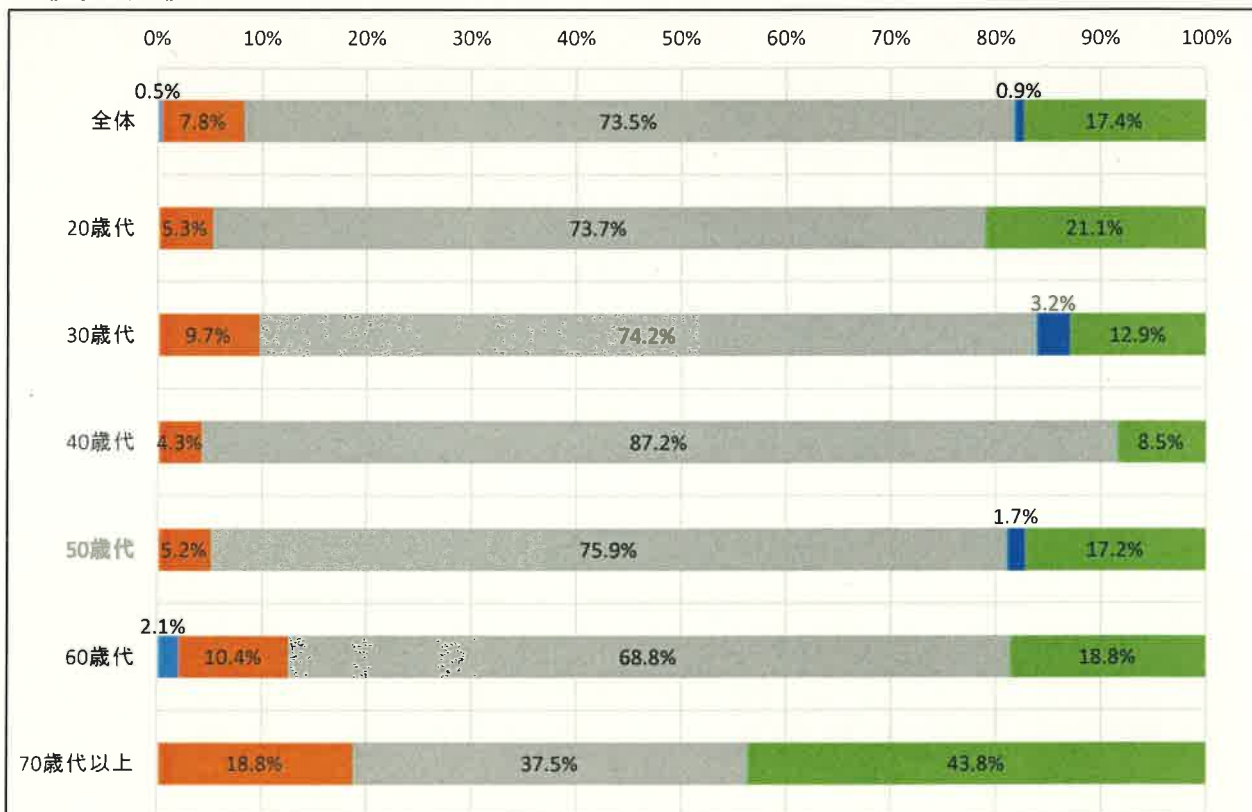
●年代別回答では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合が、60歳代以上で1割を超えており他の年代と比較して高くなっている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、会社、団体等の経営者等と勤め人(常勤・フルタイム)で8割を超えており他の職業と比較して高くなっている。

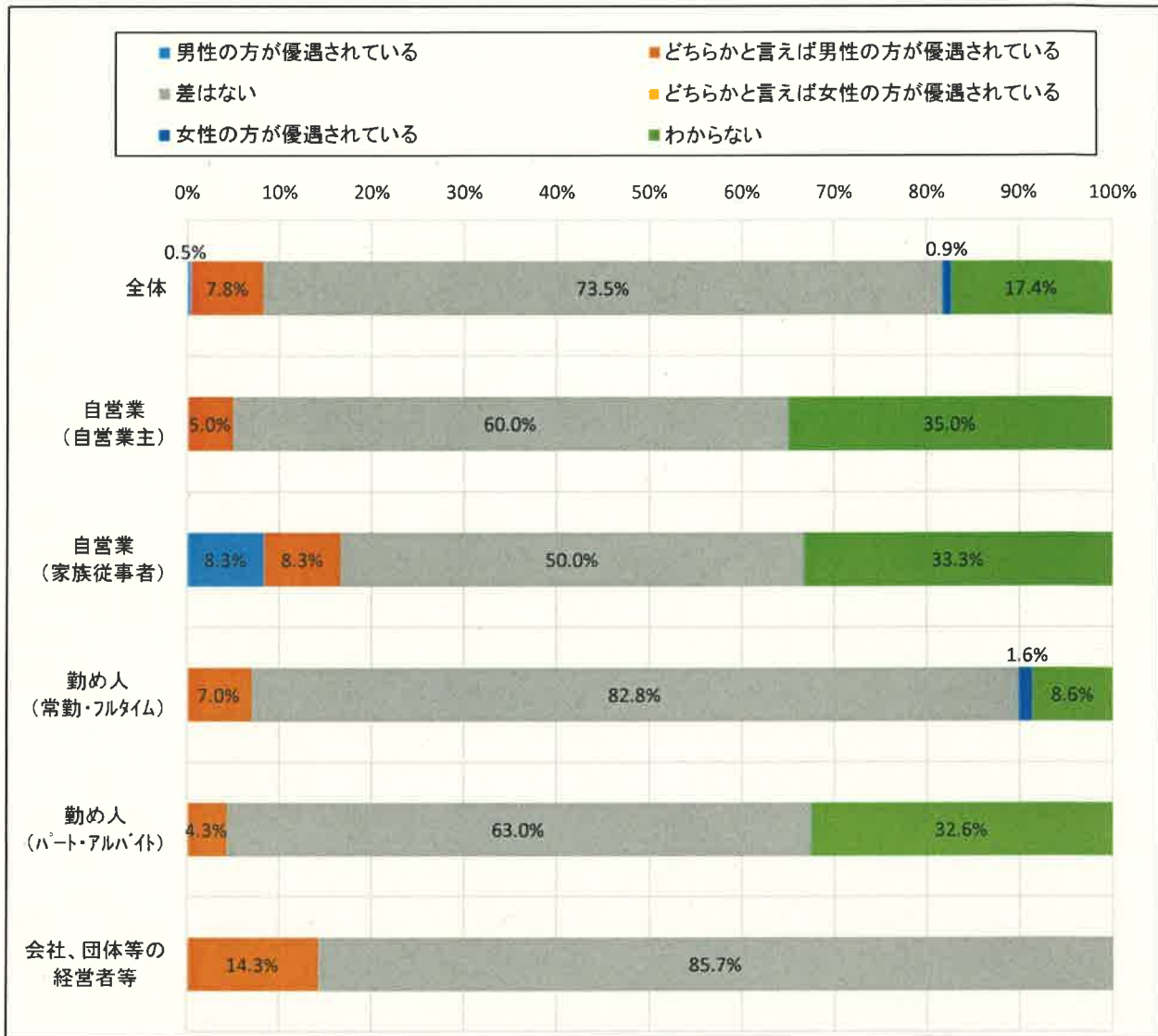
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きします。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(8) 福利厚生

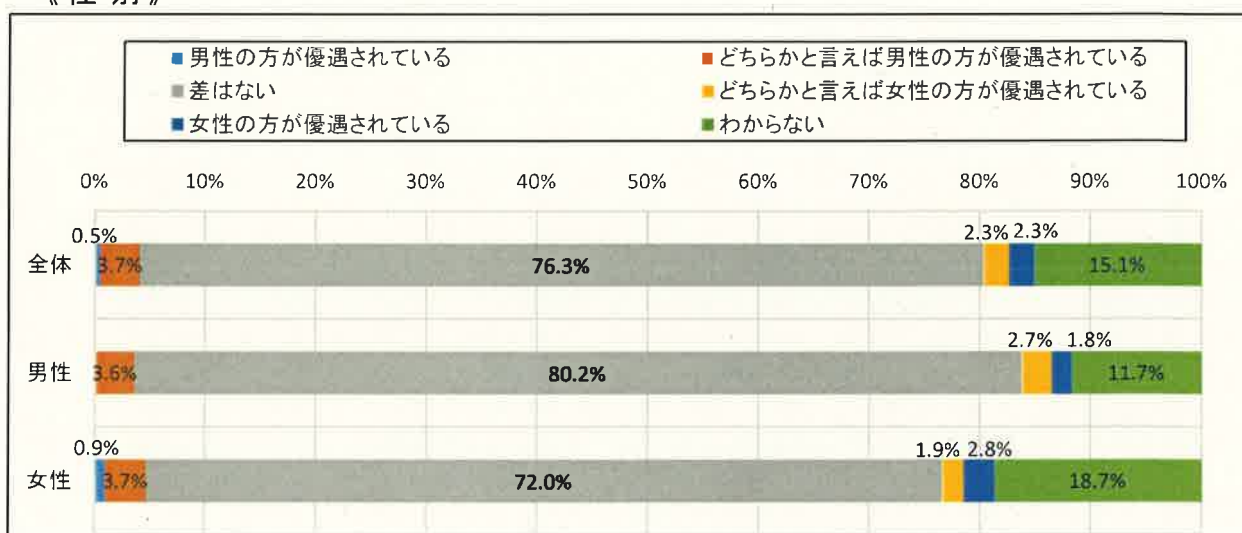
●「差はない」と回答した割合が全体で76.3%と最も高くなっており、「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と回答した割合が4.6%で71.7ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」75.9%、「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」4.6%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が男性80.2%、女性72.0%で、男性の方が8.2ポイント高くなっている。また、男性は女性の方が、女性は男性の方が、「優遇されている」「どちらかと言えば優遇されている」と回答した割合が高い。

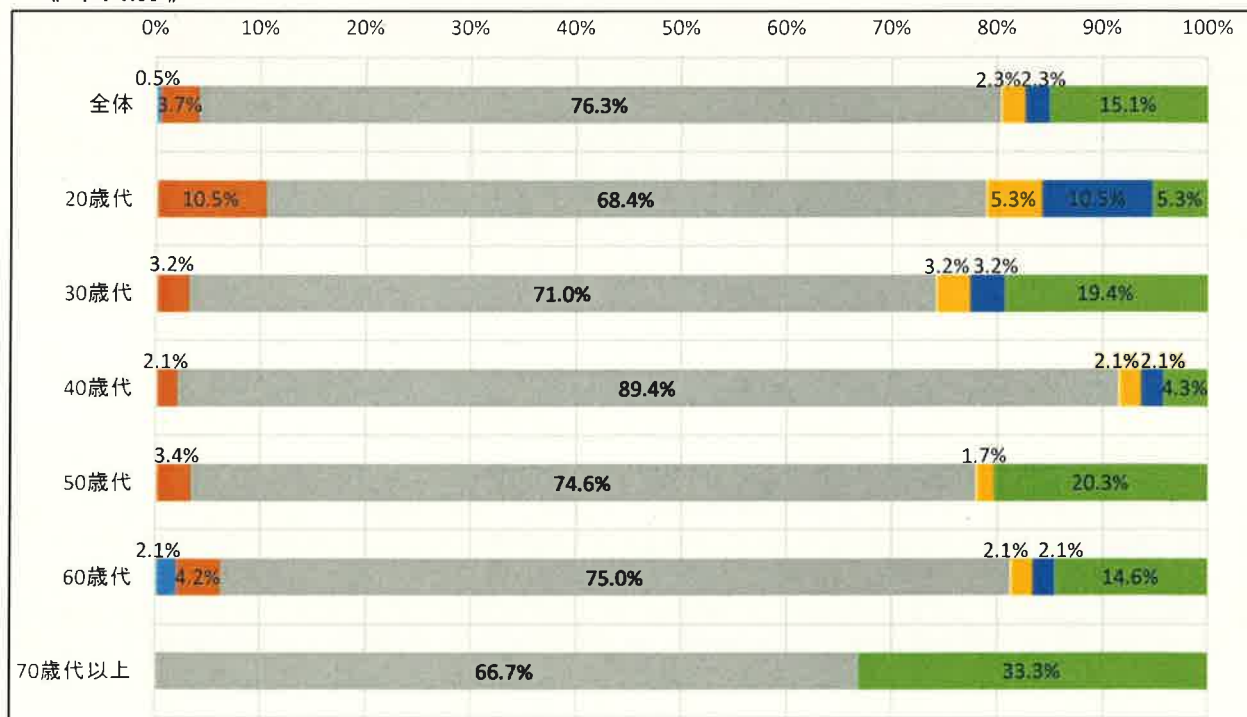
●年代別回答では、20、30、40歳代で、「男性の方が優遇されている」「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合よりも、「女性の方が優遇されている」「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と回答した割合の方が高くなっている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、会社、団体等の経営者等が100.0%、勤め人(常勤・フルタイム)が82.8%となっており、他の職業と比較して高くなっている。

《性別》

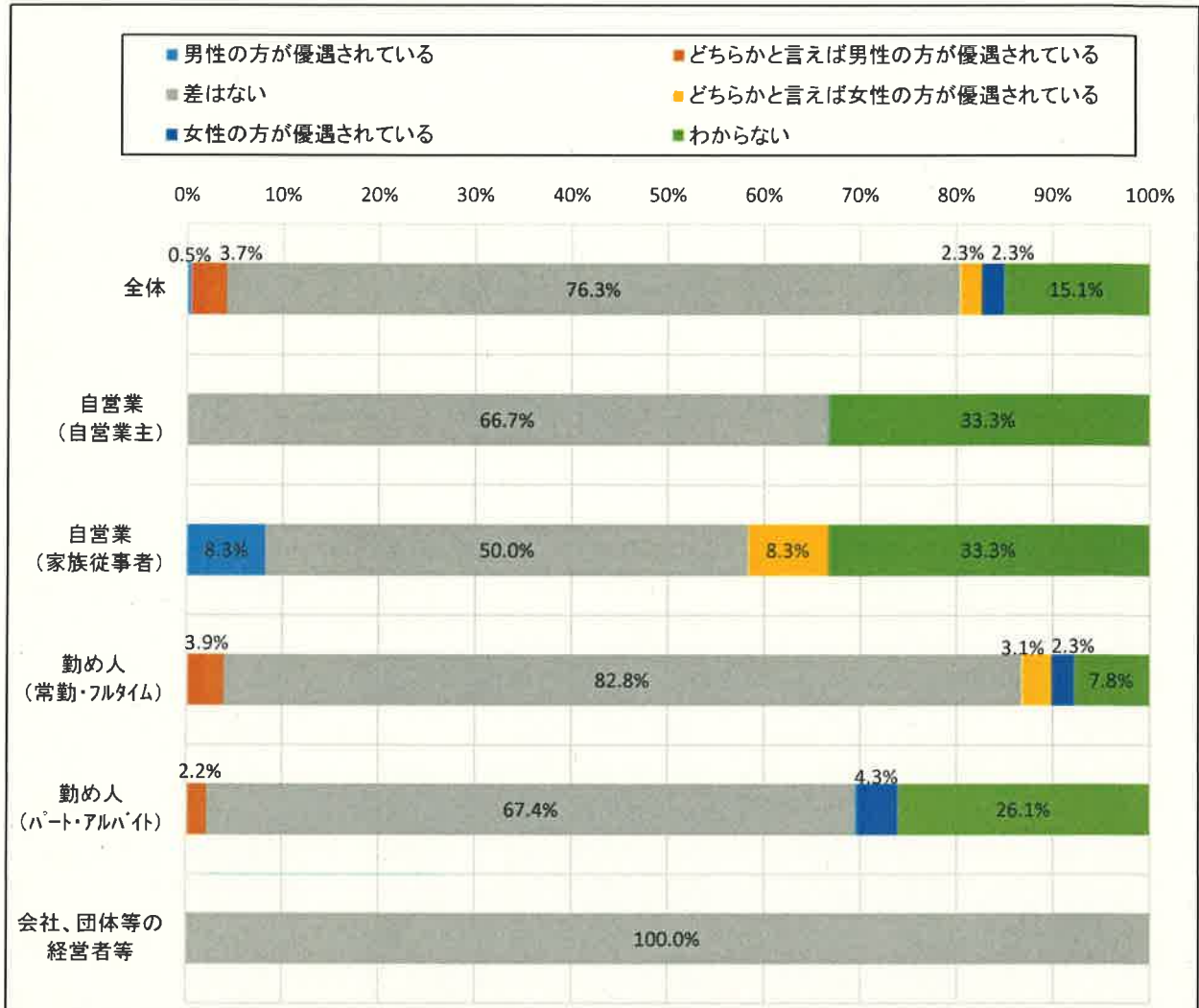


《年代別》





《 職業別 》



問11 現在、職業をお持ちの方にお聞きます。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。

(9) 休暇の取得

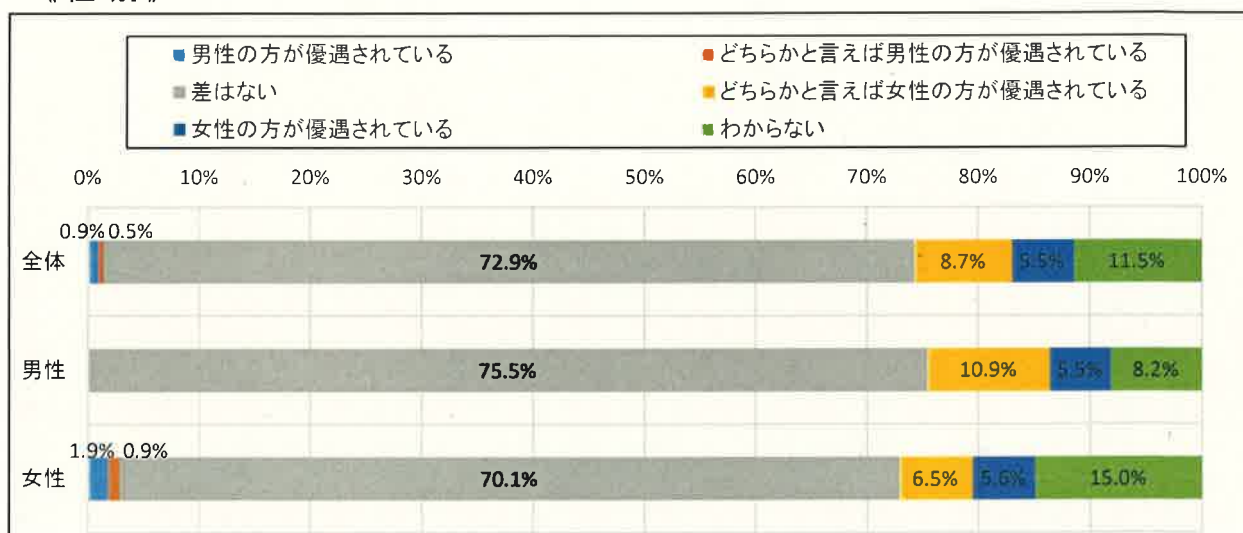
●「差はない」と回答した割合が全体で72.9%と最も高くなっており、「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と回答した割合が14.2%で58.7ポイントの差となっている(参考:28年度調査「差はない」70.1%、「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」19.5%)

●性別回答では、「差はない」と回答した割合が男性75.5%、女性70.1%で、男性の方が5.4ポイント高くなっている。

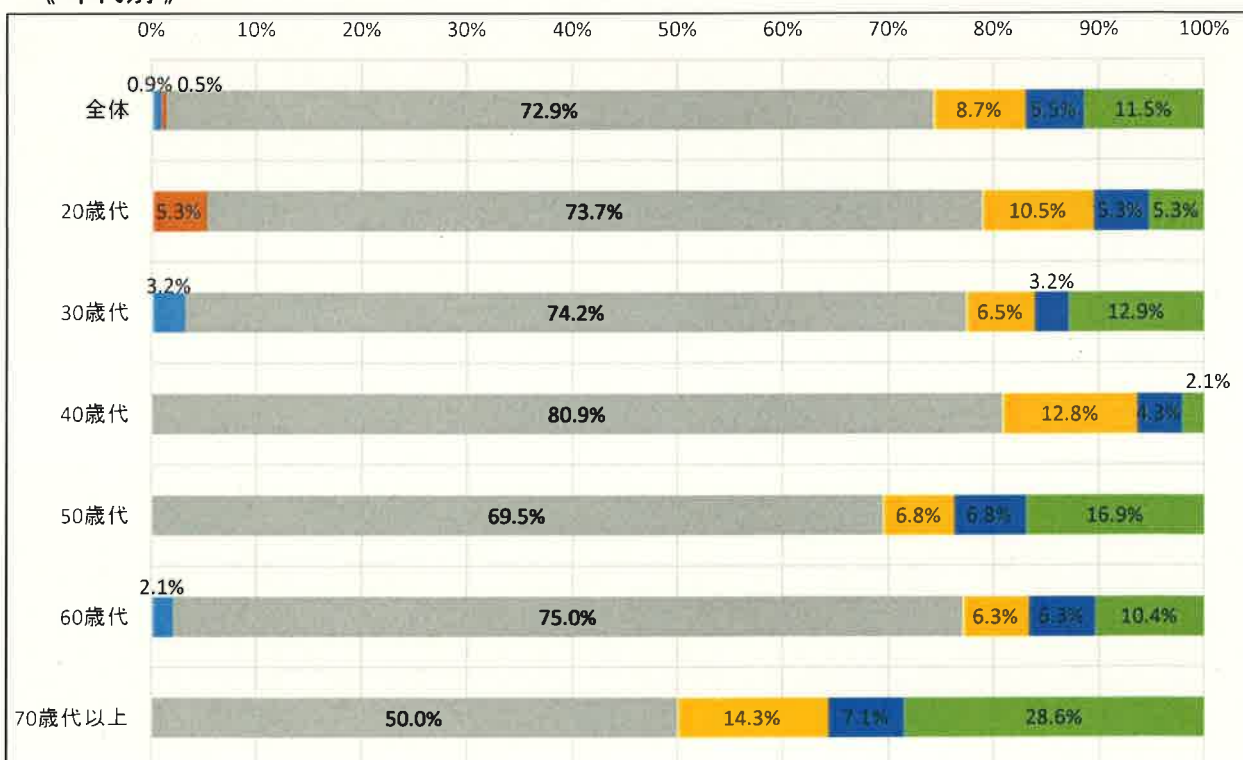
●年代別回答では、全ての年代において「女性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と回答した割合が「男性の方が優遇されている」、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答した割合を上回っている。

●職業別回答では、「差はない」と回答した割合が、勤め人(常勤・フルタイム)が76.6%、勤め人(パート・アルバイト)が73.9%でとなっており、常勤・フルタイムの方が2.7ポイント高くなっている。

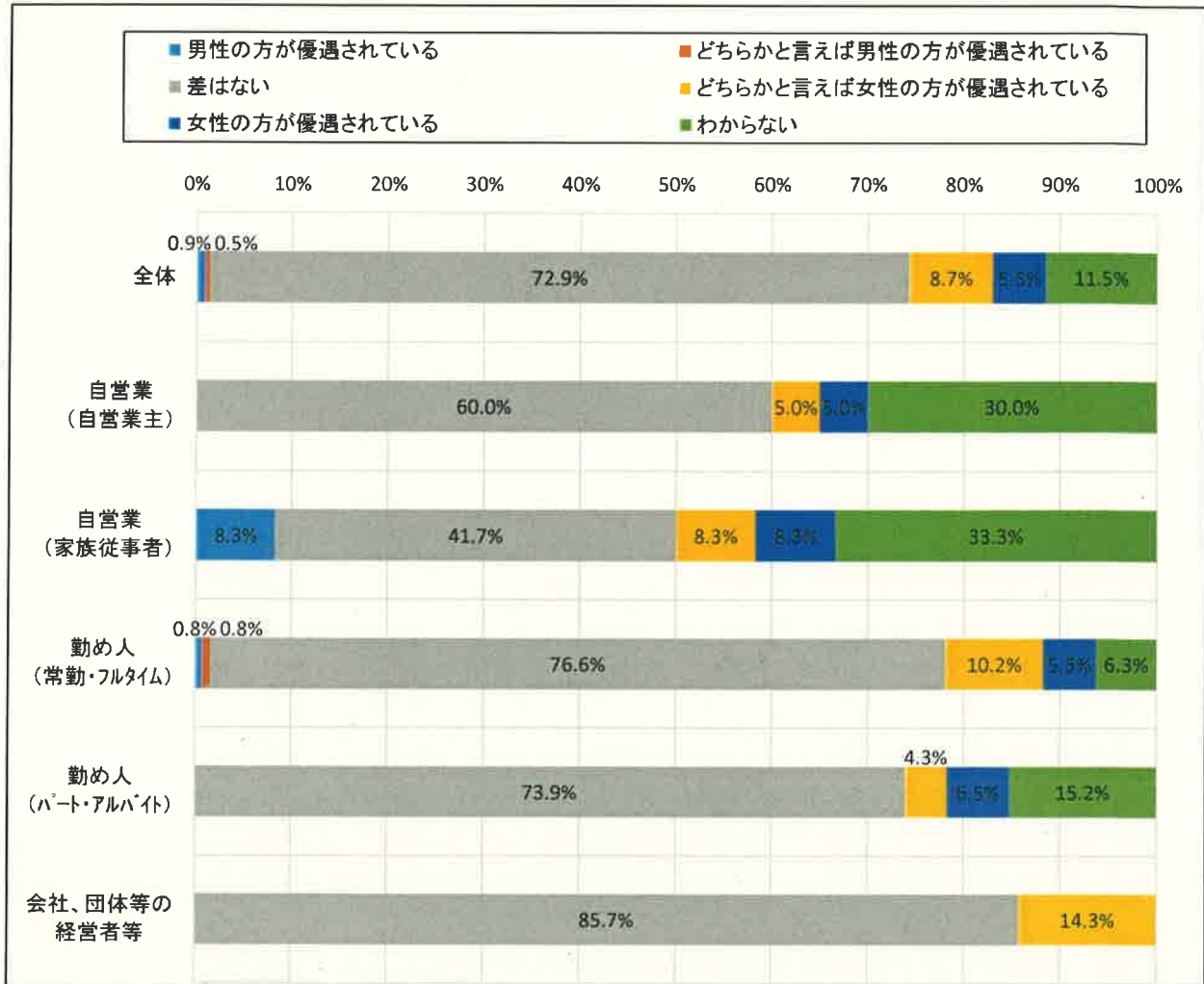
《性別》



《年代別》



《 職業別 》



問12 あなたは、女性の職業へのかかり方について最も望ましいと思われる形態はどれにあたると思われますか。

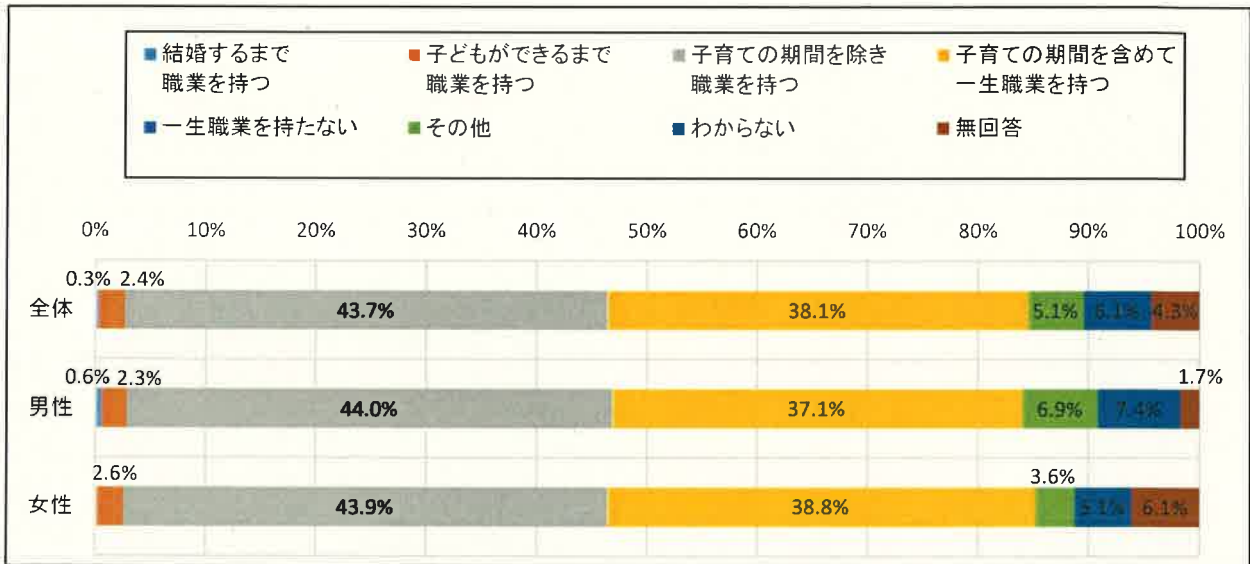
●「子育ての期間を除き職業を持つ」と回答した割合が全体で43.7%と最も高くなっており、次に「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」が38.1%で続いている。性別回答をみても男女の回答割合にあまり差はない。(参考:28年度調査「子育ての期間を除き職業を持つ」35.8%、「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」47.5%)

●年代別回答では、40、50、60歳代で「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」と回答した割合が「子育ての期間を除き職業を持つ」と回答した割合を上回っている。

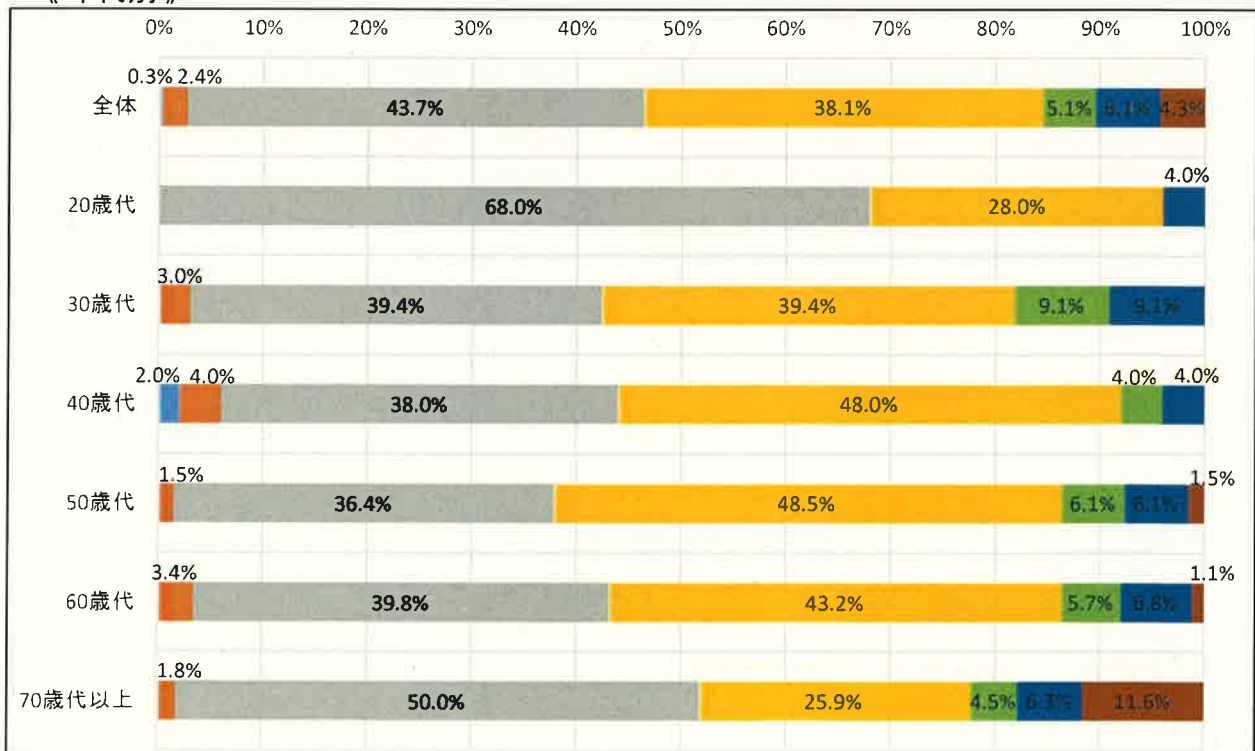
●職業別回答では、会社、団体等の経営者等と勤め人(常勤・フルタイム)で「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」と回答した割合が「子育ての期間を除き職業を持つ」と回答した割合を上回っている。

●婚姻状況別回答では、「子育ての期間を除き職業を持つ」と回答した割合が未婚が56.0%、既婚が43.5%で、12.5ポイントの差で未婚が上回っており、「子育ての期間を含めて一生職業を持つ」と回答した割合は、既婚が40.7%、未婚が30.0%で、10.7ポイント既婚が上回っている。

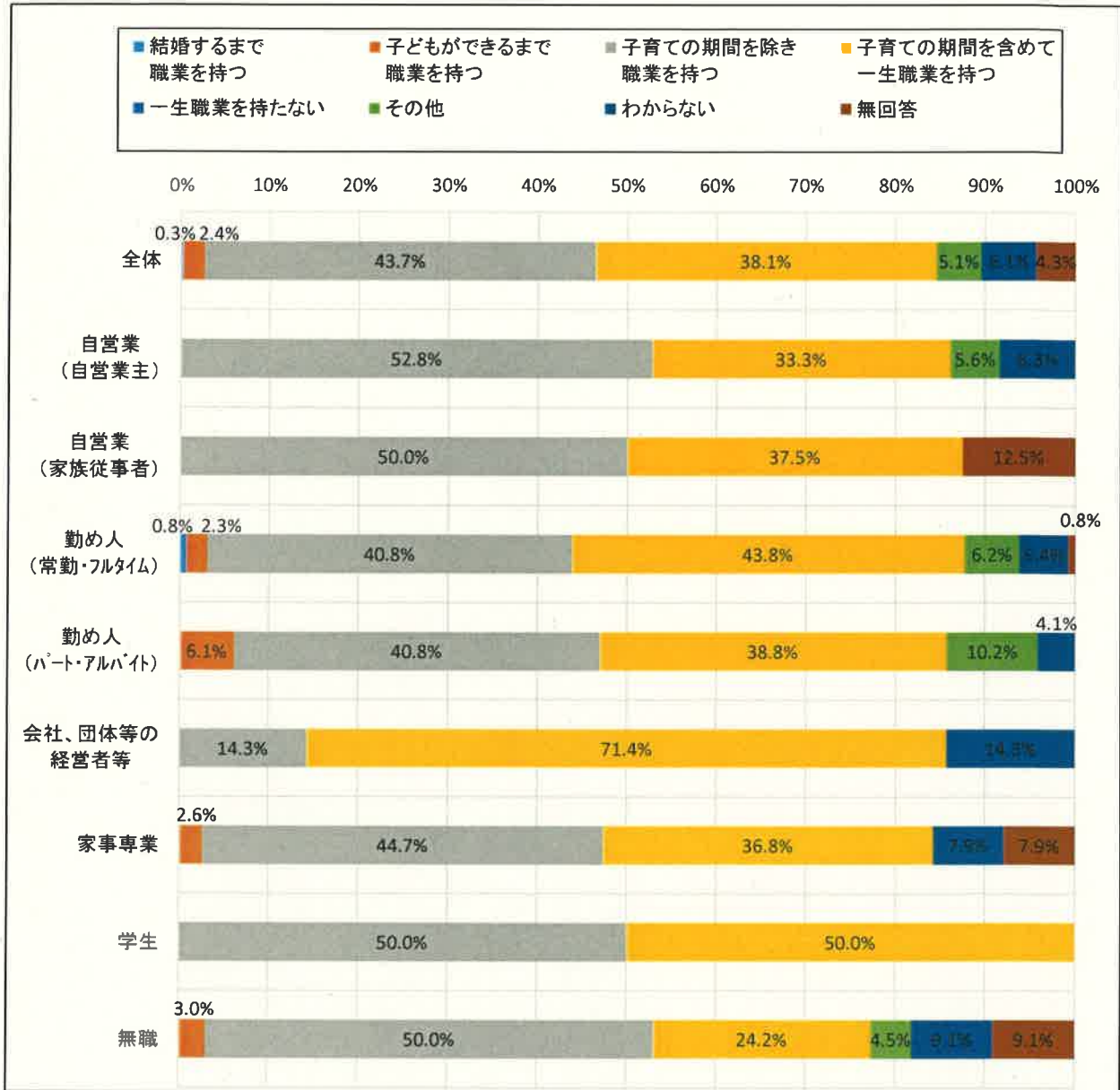
《性別》



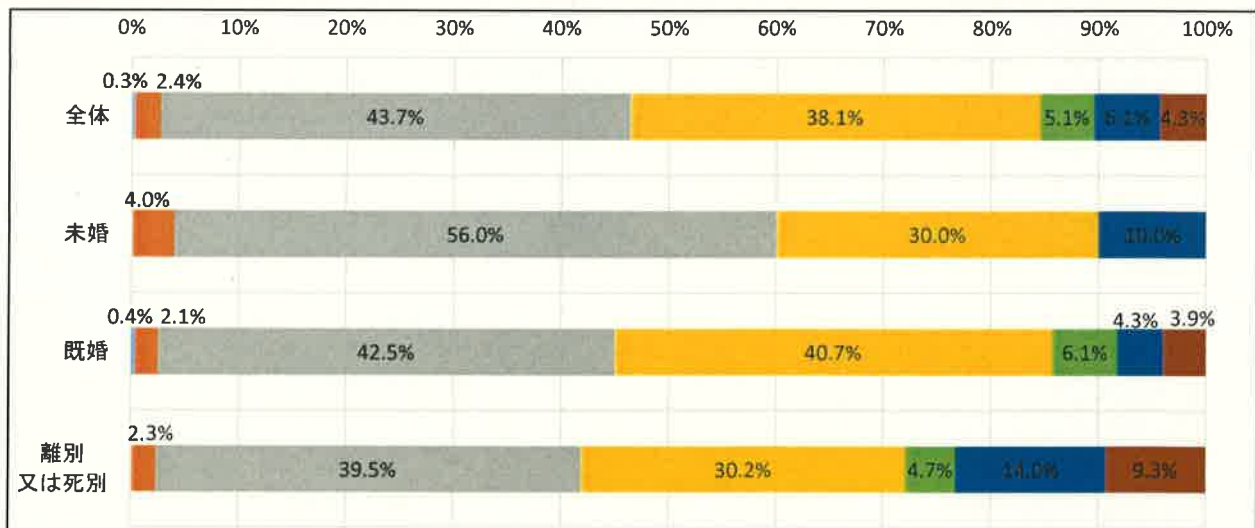
《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 婚姻状況別 》



問13 あなたは、女性が仕事を続けていくなかで、障害となっていると思われることは何だと思えますか。あてはまるところの番号をいくつか選んでください。

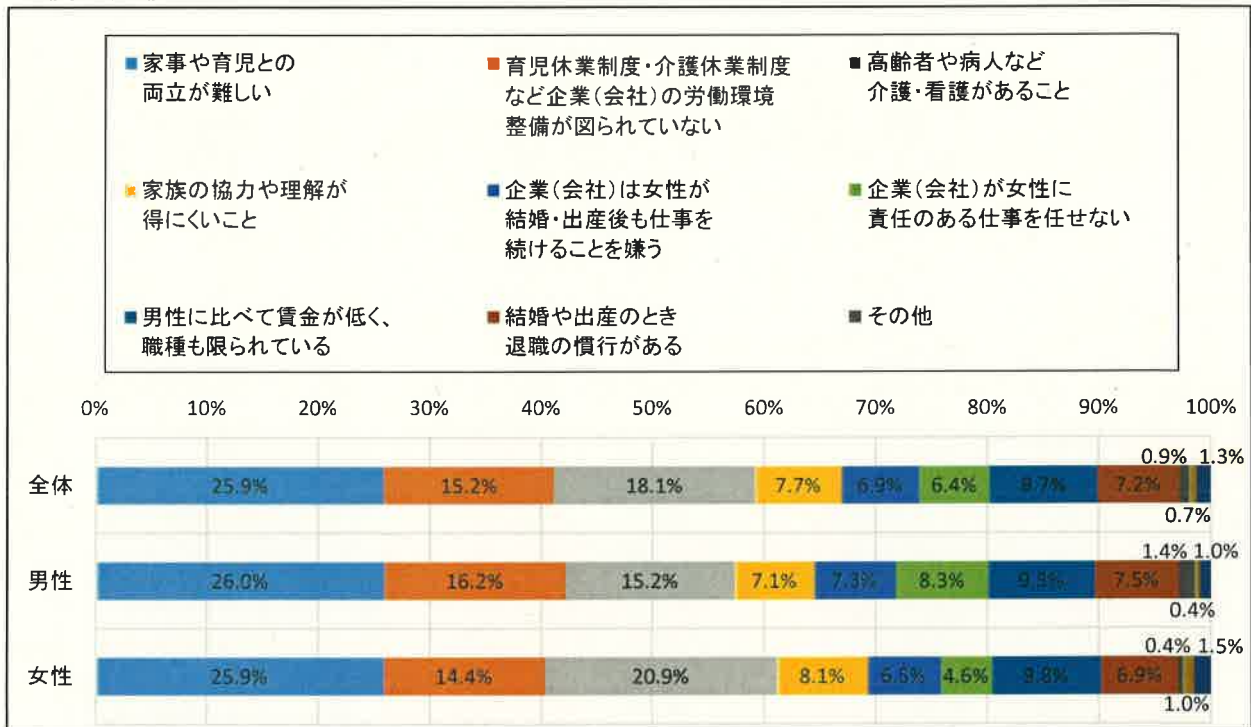
●「家事や育児との両立が難しい」と回答した割合が全体で25.9%と最も高くなっており、次に「高齢者や病人など介護・看護があること」が18.1%で続いている。性別回答では、男性の回答割合で2番目に高いのは「育児休業制度・介護休業制度など企業(会社)の労働環境整備が図られていない」となっている。(参考:28年度調査「家事や育児との両立が難しい」26.7%、「高齢者や病人など介護・看護があること」17.0%)

●年代別回答では、回答割合の上位2、3位の順番が、20歳代のみ「育児休業制度・介護休業制度など企業(会社)の労働環境整備が図られていない」18.2%、「男性に比べて賃金が低く、職種も限られている」12.1%となっている。

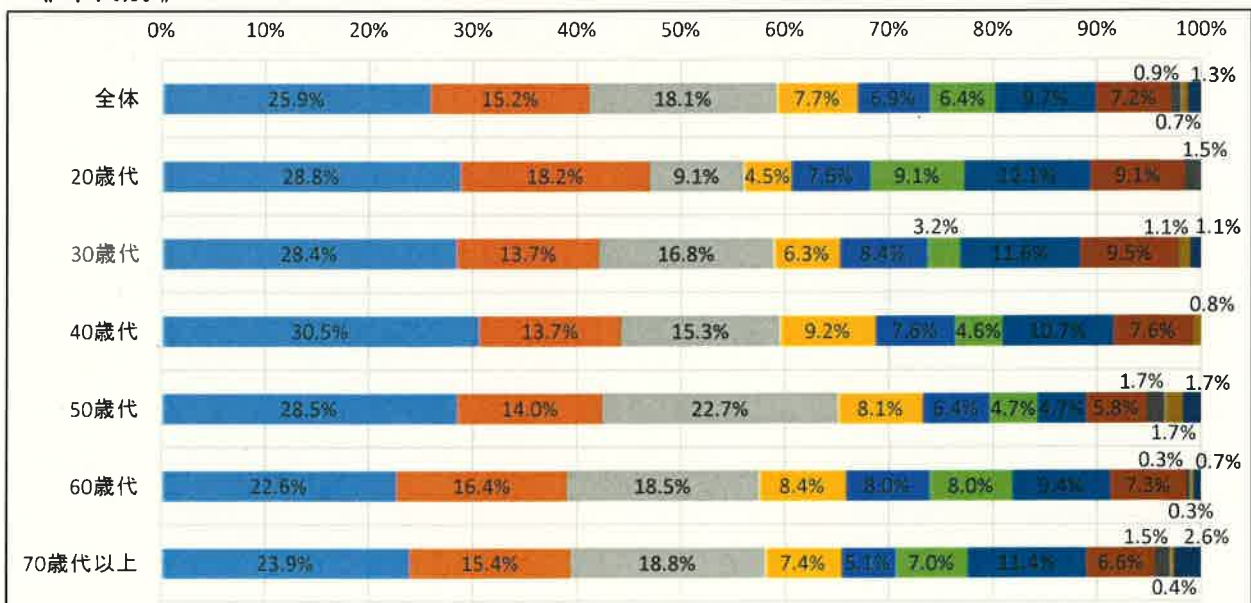
●職業別回答では、「家事や育児との両立が難しい」と回答した割合のうち、会社、団体等の経営者等33.3%、勤め人(常勤・フルタイム)29.9%、勤め人(パート・アルバイト)27.4%で比較的高くなっている。

●婚姻状況別回答で、回答した割合が最も高かった項目は、未婚、既婚では「家事や育児との両立が難しい」で、離別又は死別では「高齢者や病人など介護・看護があること」となっている。

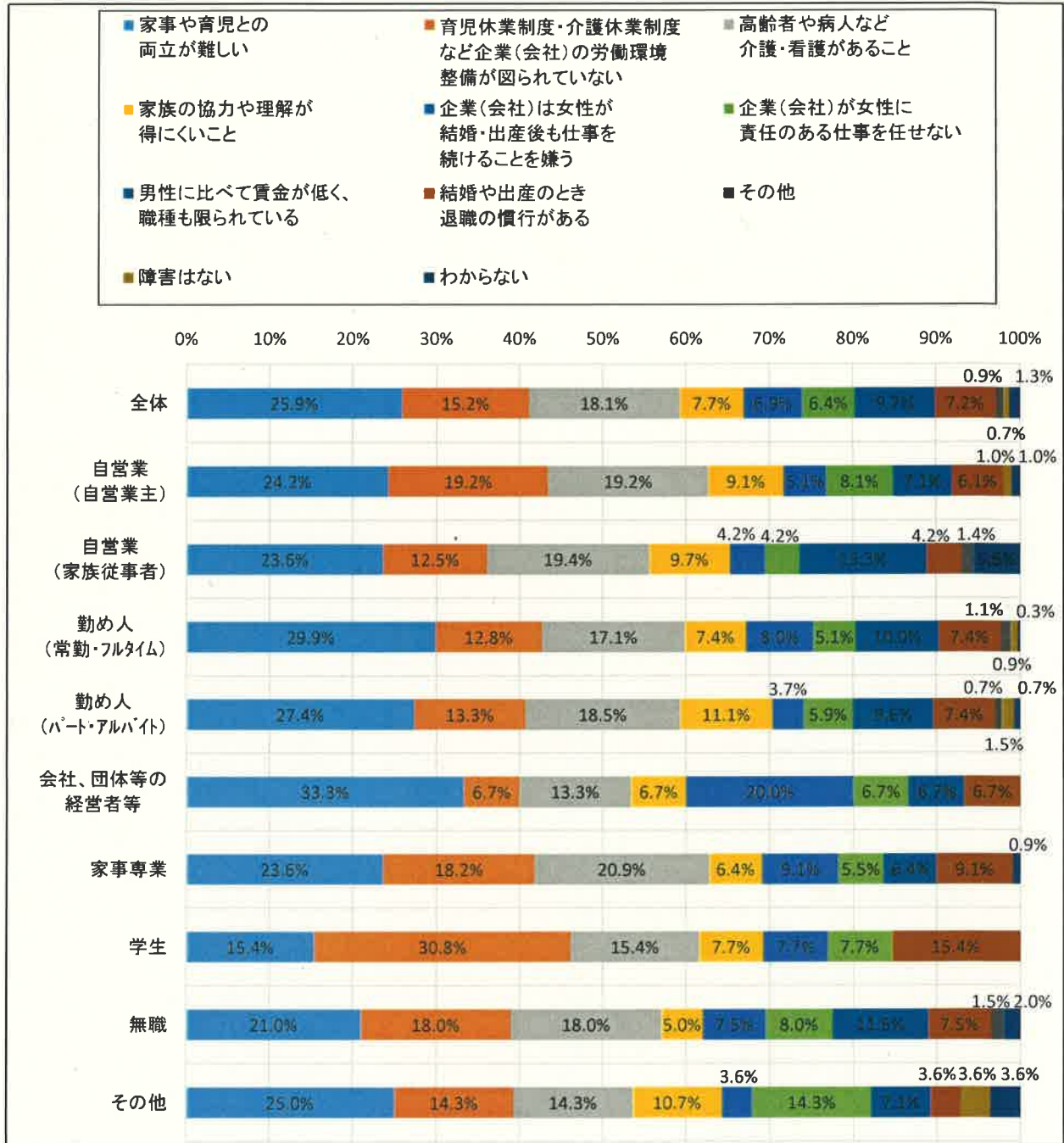
《性別》



《年代別》



## 《 職業別 》



## 《 婚姻状況別 》



【6】ワーク・ライフ・バランスについて（問14・15）

問14 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、おたずねします。

(1)理想とする(希望する)生活に最も近いものを1つ選んでください。

(2)現実(現状)の生活に最も近いものを1つ選んでください。

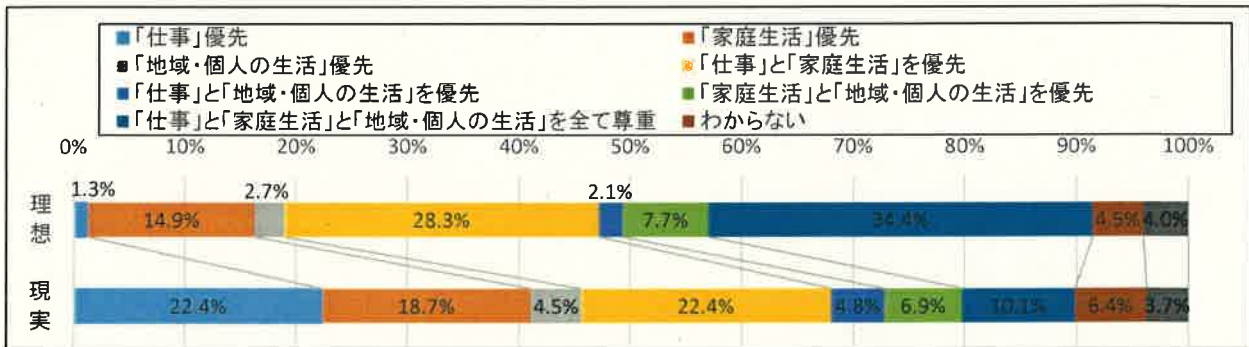
●全体回答をみると、理想では『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重』と回答した割合が34.4%で最も高くなっているが、現実では10.1%で24.3ポイントの差で下回っている。また、現実では『「仕事」優先』と、『「仕事」と「家庭生活」を優先』と回答した割合が22.4%で最も高くなっているが、理想を見ると『「仕事」優先』では1.3%で21.1ポイントの差で低く、『「仕事」と「家庭生活」を優先』では28.3%で5.9ポイントの差で高い。

●性別回答の理想では、男女共に『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重』と回答した割合が最も高く、『「仕事」と「家庭生活」を優先』、『「家庭生活」を優先』と続くが、現実を見ると、女性は、『「家庭生活」を優先』、男性は『「仕事」優先』と回答した割合が最も高くなっている。

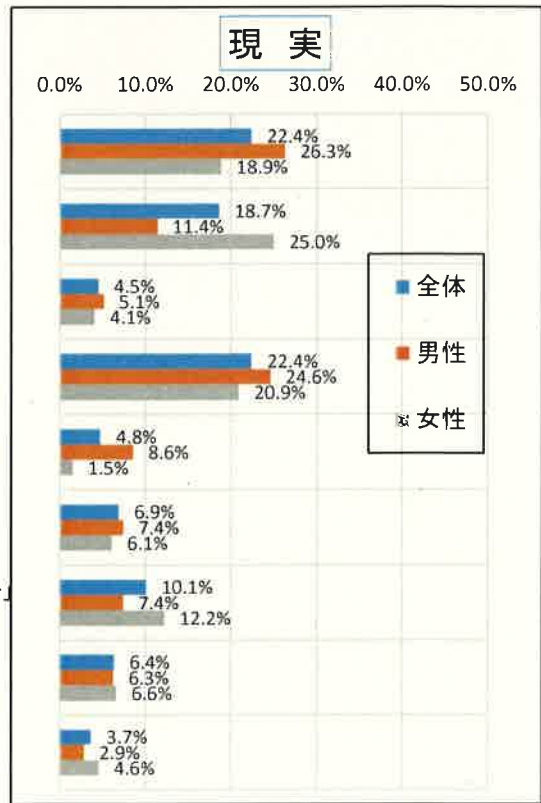
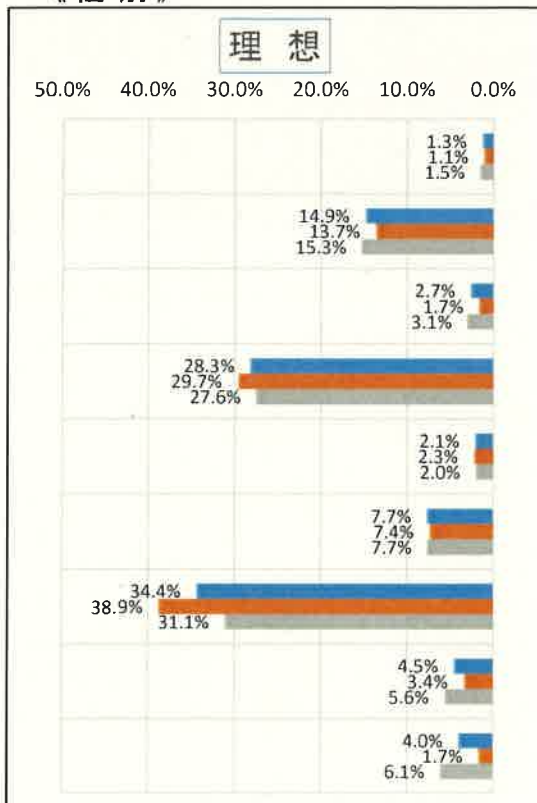
●年代別回答の理想では、40歳代のみ、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重』よりも『「仕事」と「家庭生活」を優先』と回答した割合の方が高く、20、50歳代では同じ割合となっている。

●職業別回答の『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重』と回答した割合をみると、理想と現実で大きな差がある中で、勤め人(パート・アルバイト)では、理想が36.7%であるのに対して現実が22.4%と14.3ポイントの差となっており、比較的差が小さい。

●婚姻状況別回答で、未婚と既婚の、理想と現実での回答割合をみると、理想では未婚、既婚共に『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重』と回答した割合が最も高く、現実では、未婚が『「仕事」優先』、既婚が『「仕事」と「家庭生活」を優先』と回答した割合が最も高くなっている。

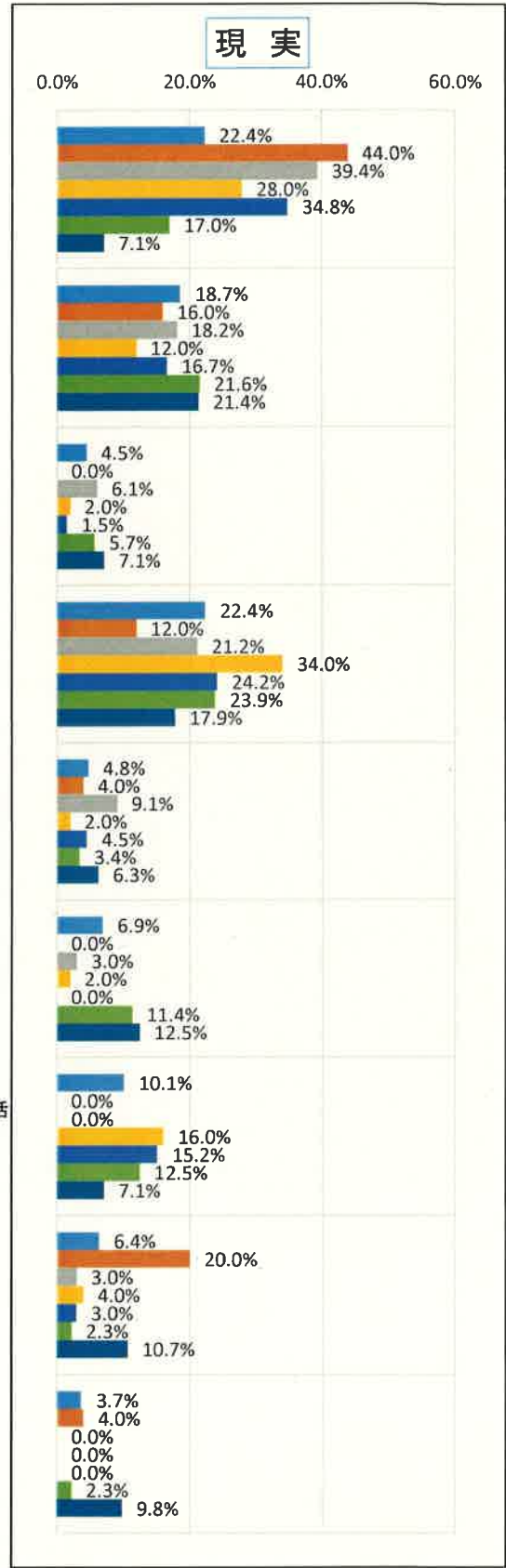
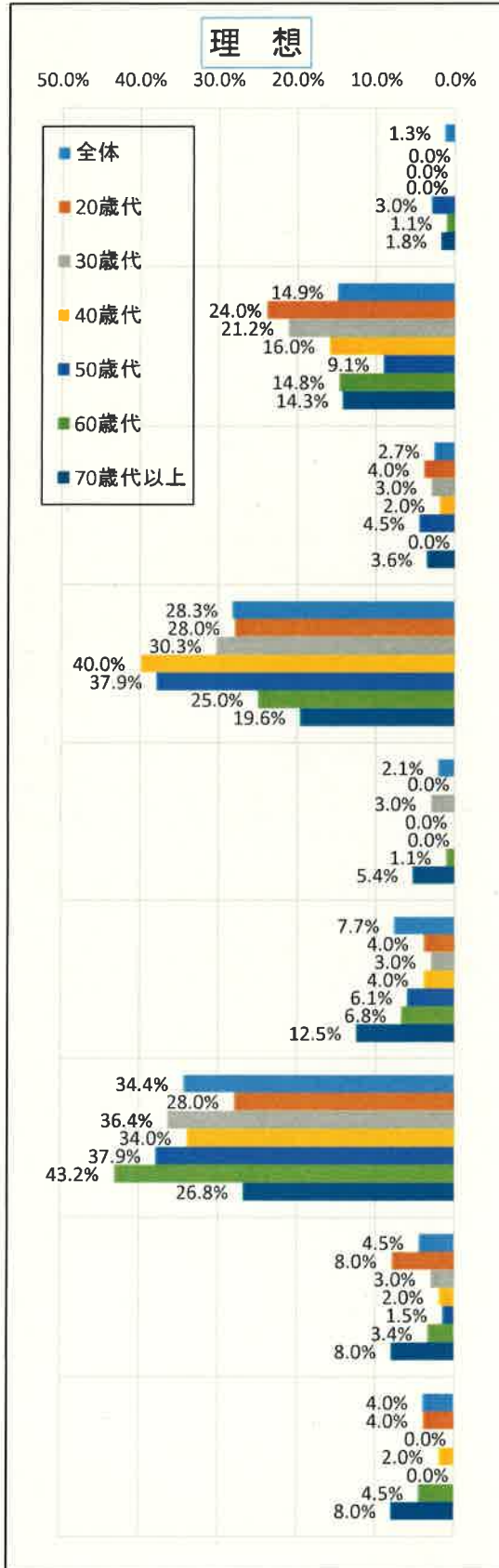


《性別》

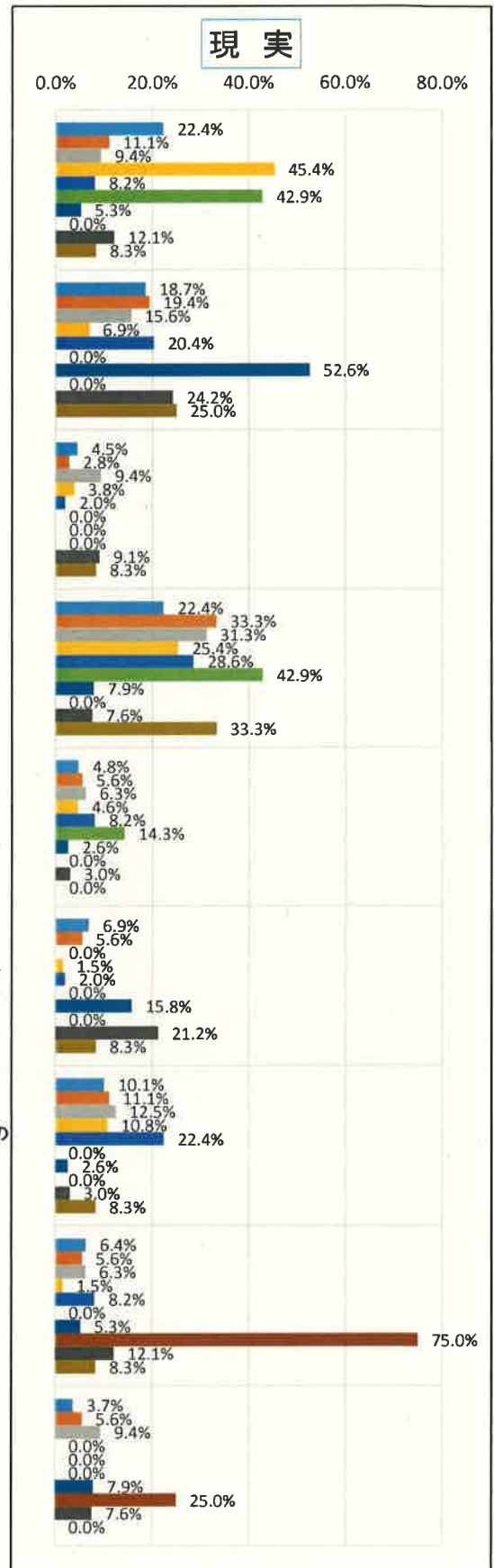
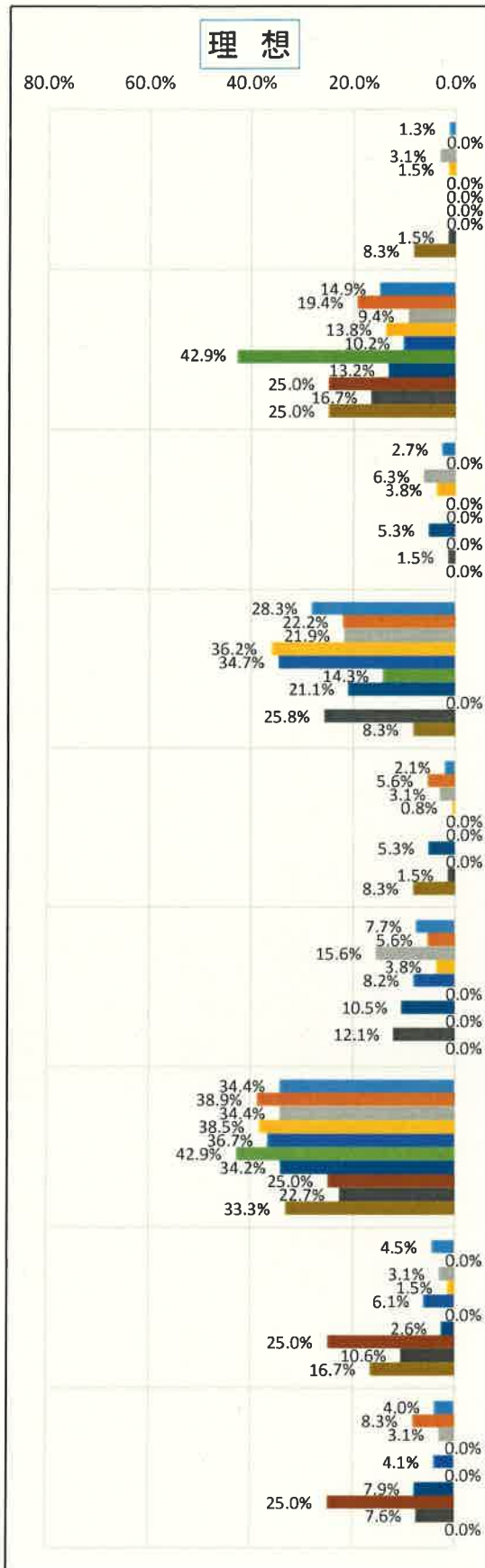
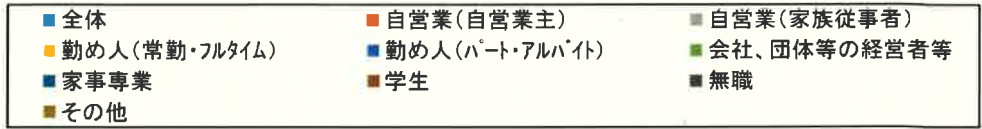




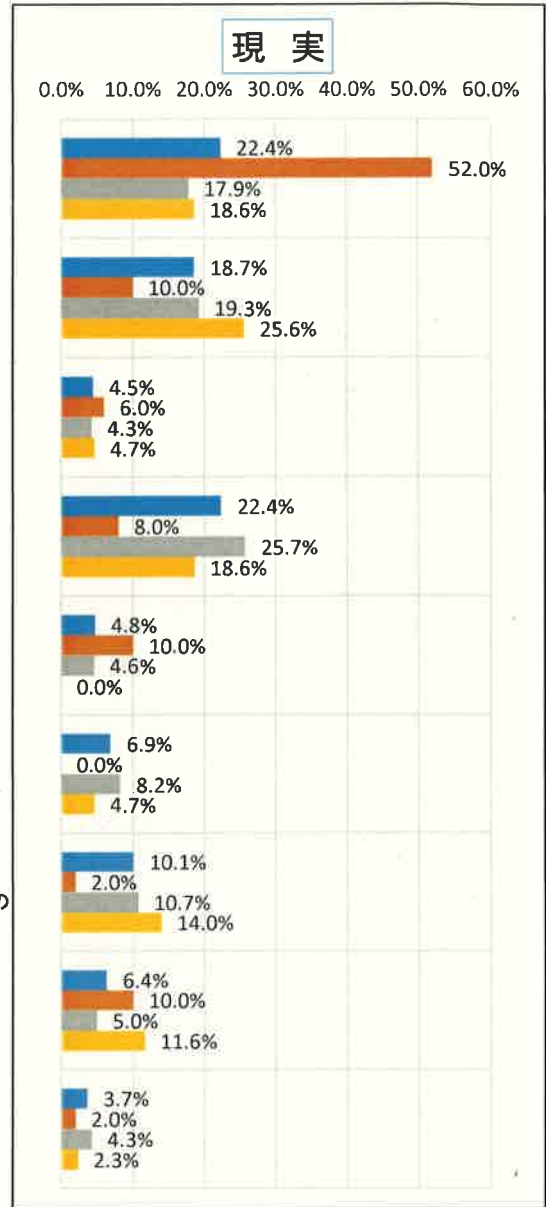
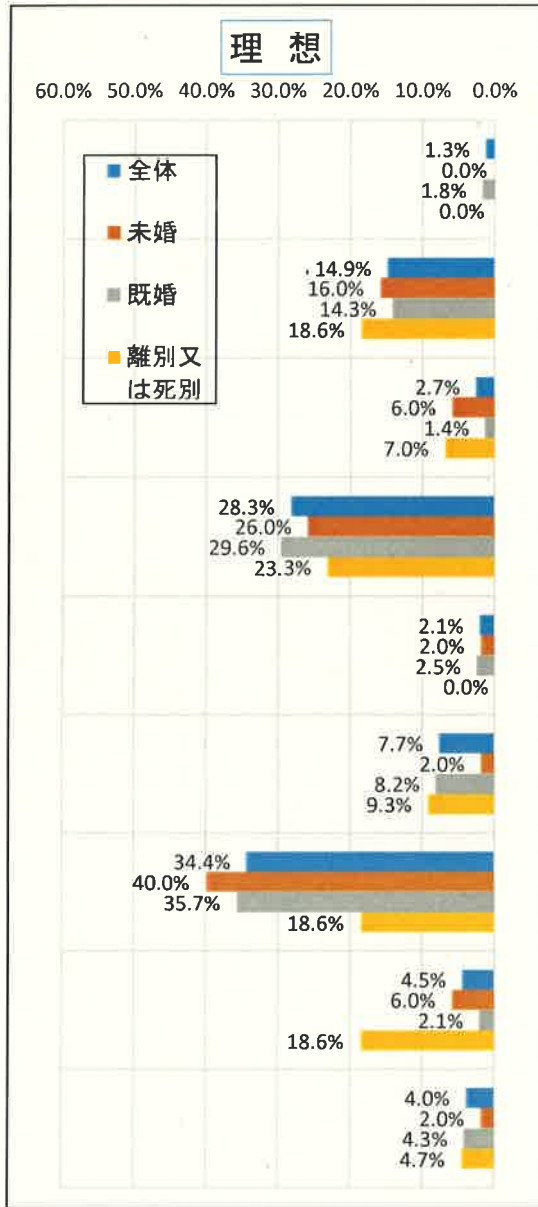
《年代別》



《職業別》



# 《 婚姻状況別 》



問15 今後、男性が女性とともに育児・介護に参加していくためには、どのようなことが重要になると思いますか。

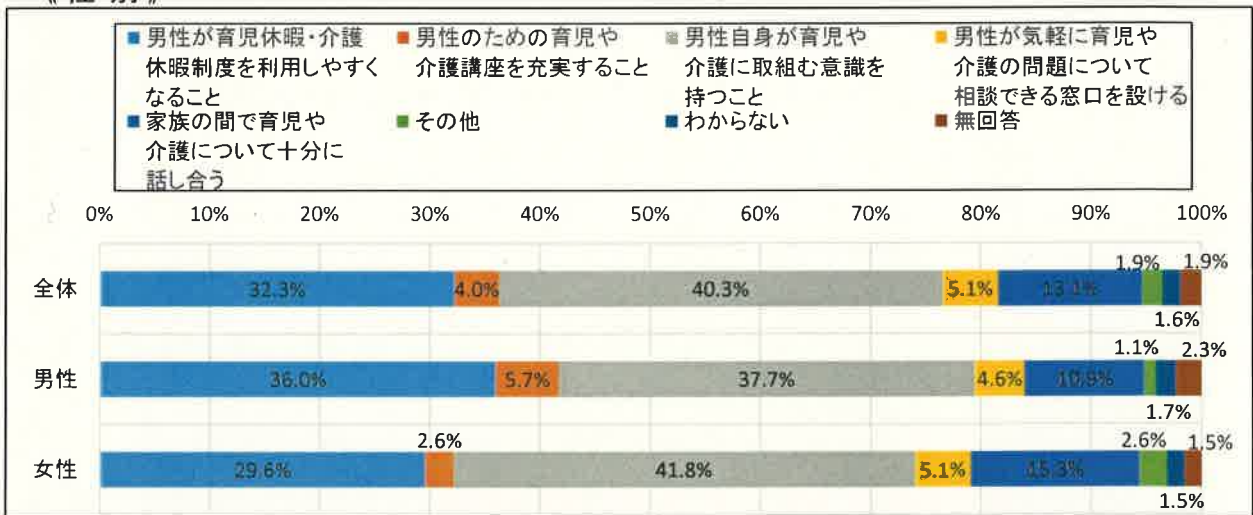
●「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」と回答した割合が全体で40.3%と最も高くなっており、次に「男性が育児休暇・介護休暇を利用しやすくなること」が32.3%で続いている。性別回答では、「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」と回答した割合が、女性が41.8%、男性が37.7%で、4.1ポイントの差となっている。(参考:28年度調査「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」30.0%、「男性が育児休暇・介護休暇を利用しやすくなること」29.2%)

●年代別回答では、20、30、40歳代では、「男性が育児休暇・介護休暇を利用しやすくなること」と回答した割合が最も高くなっているが、50歳代以上では「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」と回答した割合が最も高くなっている。

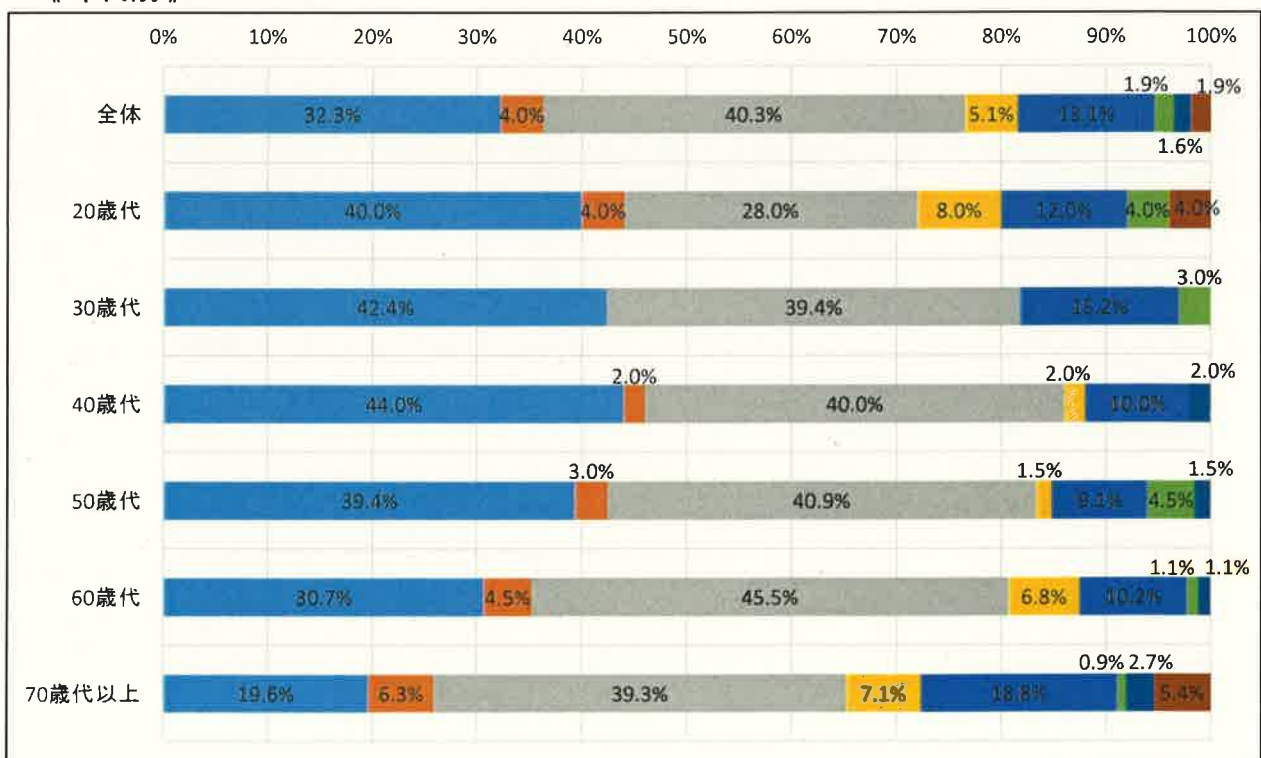
●職業別回答で、職業ごとの最も回答割合の高い項目を見ると、会社、団体等の経営者等と勤め人(常勤・フルタイム)では「男性が育児休暇・介護休暇を利用しやすくなること」となっており、それ以外の職業では「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」となっている。

●婚姻状況別回答で、婚姻状況ごとの最も回答割合の高い項目を見ると、既婚では「男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと」となっているが、未婚や離別又は死別では「男性が育児休暇・介護休暇を利用しやすくなること」となっている。

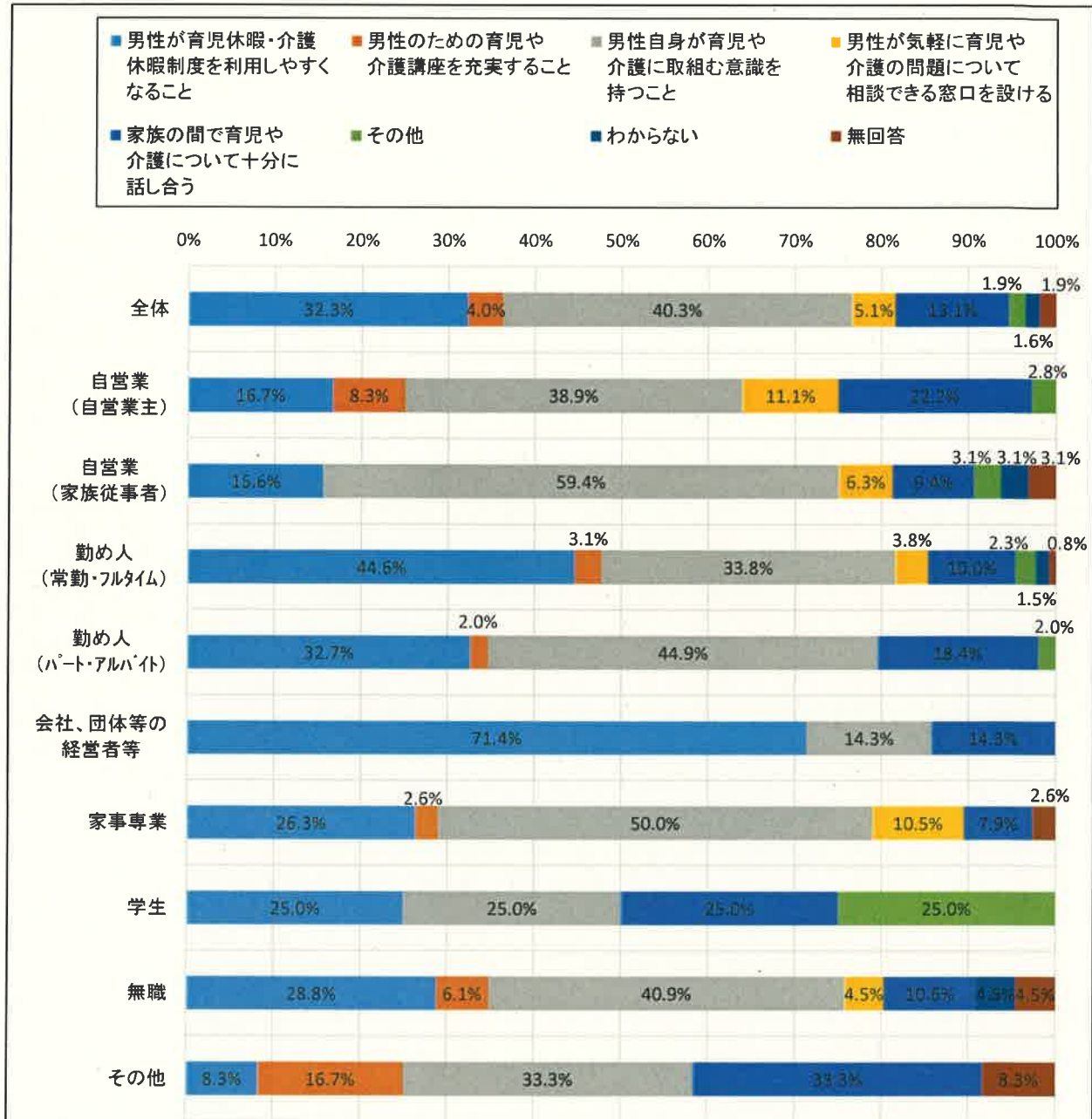
《性別》



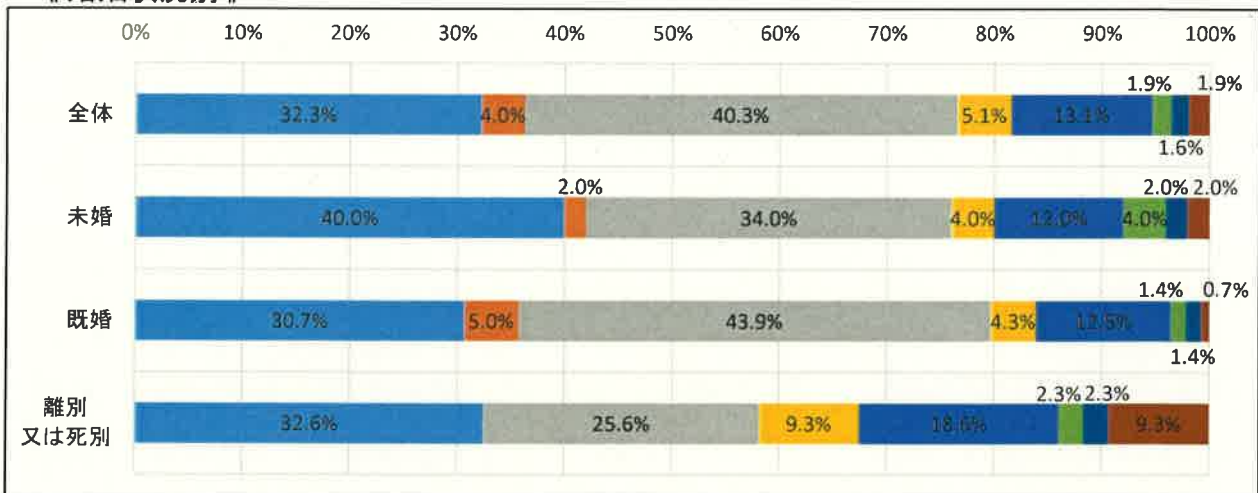
《年代別》



### 《職業別》



### 《婚姻状況別》



## 【7】介護について(問16)

問16 ご自身が、介護が必要になった時、どなたに世話をしてほしいと思いますか。

●「病院・老人ホームなどの施設」と回答した割合が全体で29.3%と最も高くなっており、次に「自宅で受けられる福祉サービス」が26.4%、次に「配偶者」で23.7%と続いている。(参考:28年度調査「病院・老人ホームなどの施設」30.1%・「自宅で受けられる福祉サービス」20.3%、「配偶者」33.3%)

●性別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、男性では「配偶者」で37.1%、女性では「自宅で受けられる福祉サービス」で34.2%となっている。

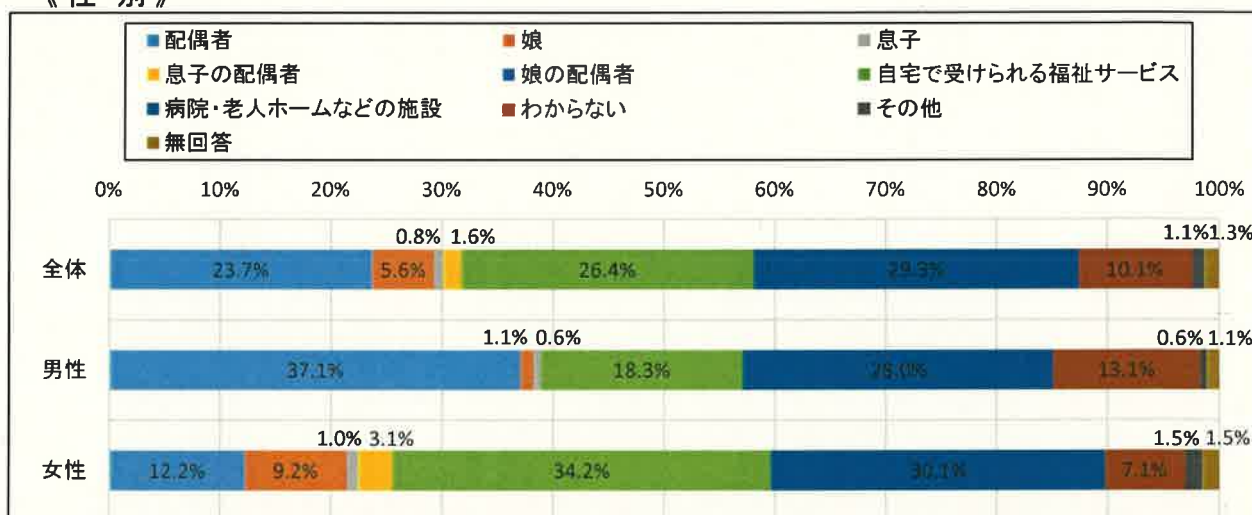
●年代別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、70歳代以上のみが「自宅で受けられる福祉サービス」となっており、その他の年代では全て「病院・老人ホームなどの施設」となっている。

●職業別回答では、自営業(事業主)と会社、団体等の経営者等で「配偶者」と回答した割合が最も高くなっており、4割を超えている。

●婚姻状況別回答で、婚姻状況ごとの最も回答割合の高い項目を見ると、未婚では「わからない」、既婚では「配偶者」、離別又は死別では「病院・老人ホームなどの施設」となっている。

●家族形態別回答で、家族形態ごとの最も回答割合の高い項目を見ると、一世代(夫婦のみなど)では、「自宅で受けられる福祉サービス」、三世代家族では「配偶者」となっており、その他は全て「病院・老人ホームなどの施設」となっている。

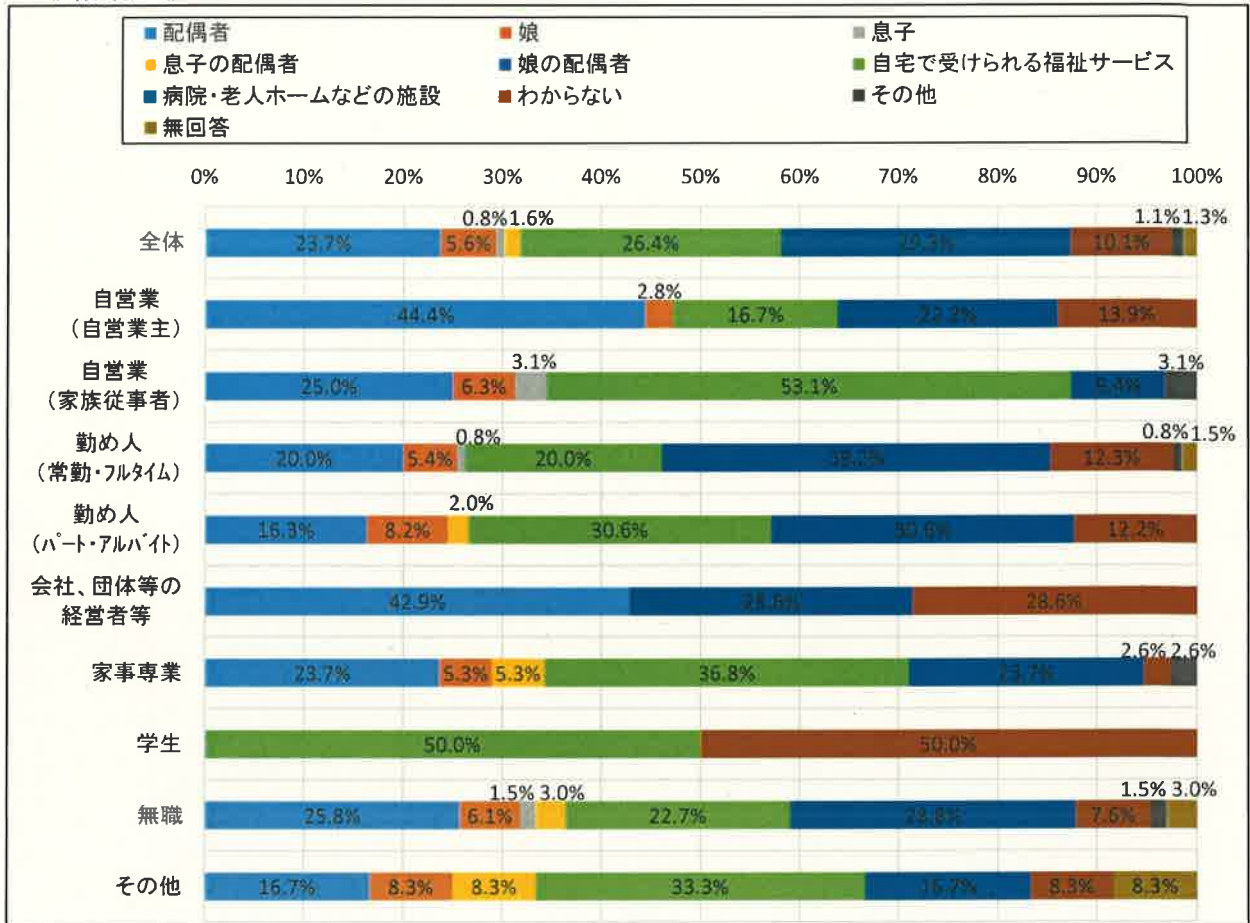
### 《性別》



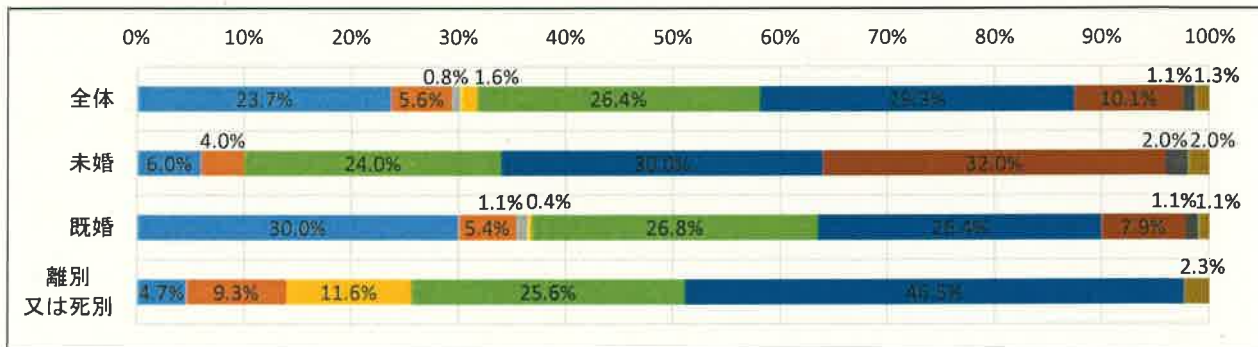
### 《年代別》



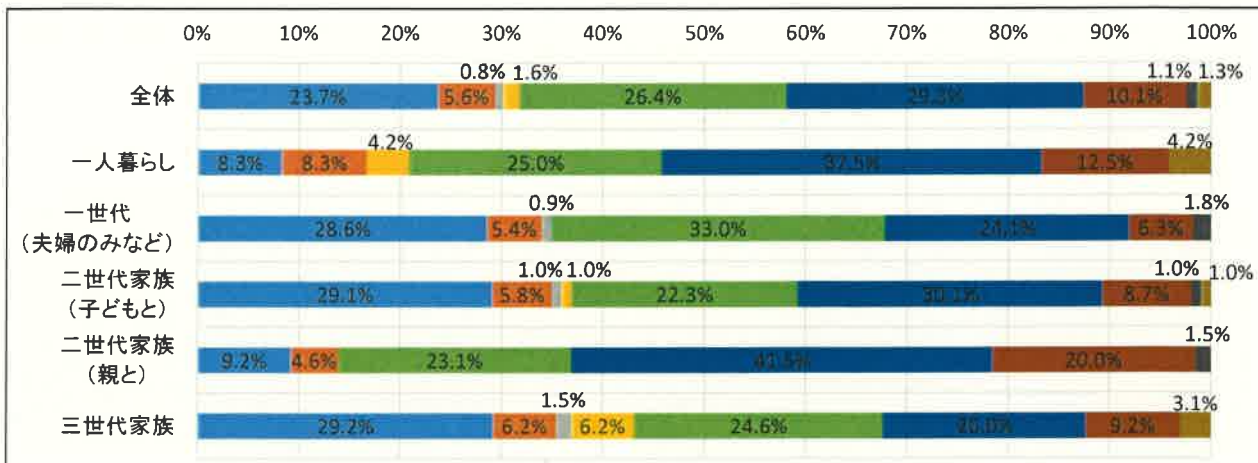
## 《 職業別 》



## 《 婚姻状況別 》



## 《 家族形態別 》



【8】 社会参加(地域活動への参加)について (問17, 18)

問17 現在参加している活動についておたずねします。

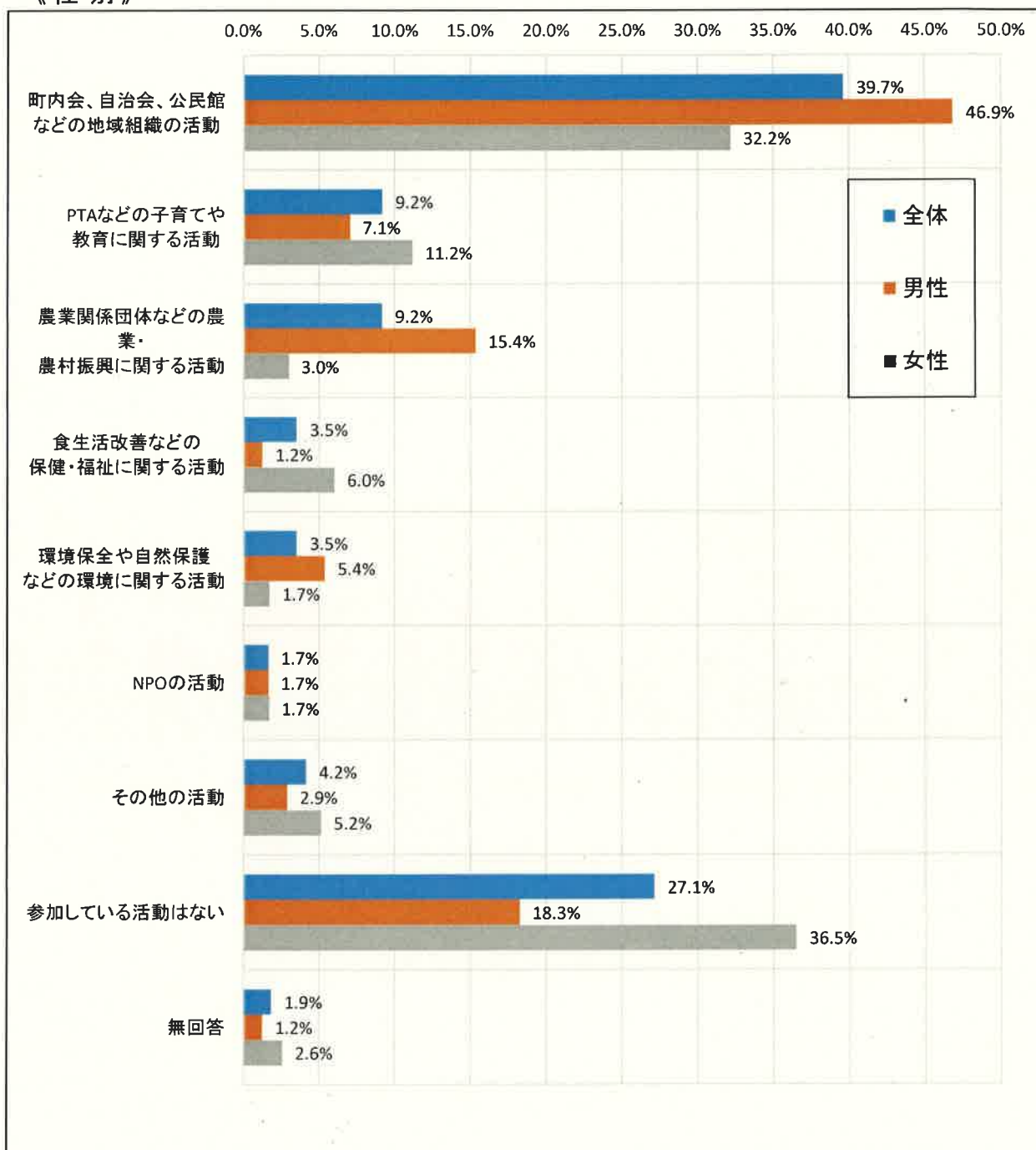
(1)次の中からあなたが参加している活動を全て選んでください。

●「町内会、自治会、公民館などの地域組織の活動」と回答した割合が全体で39.7%と最も高くなっており、次に「参加している活動はない」が27.1%、次に「PTAなどの子育てや教育に関する活動」「農業関係団体などの農業・農村振興に関する活動」が9.2%と続いている。

●性別回答において、「町内会、自治会、公民館などの地域組織の活動」と回答した割合をみると、男性は46.9%、女性は32.2%で、14.7ポイントの差となっている。また、「参加している活動はない」をみると、女性は36.5%、男性は18.3%で、18.2ポイントの差となっている。

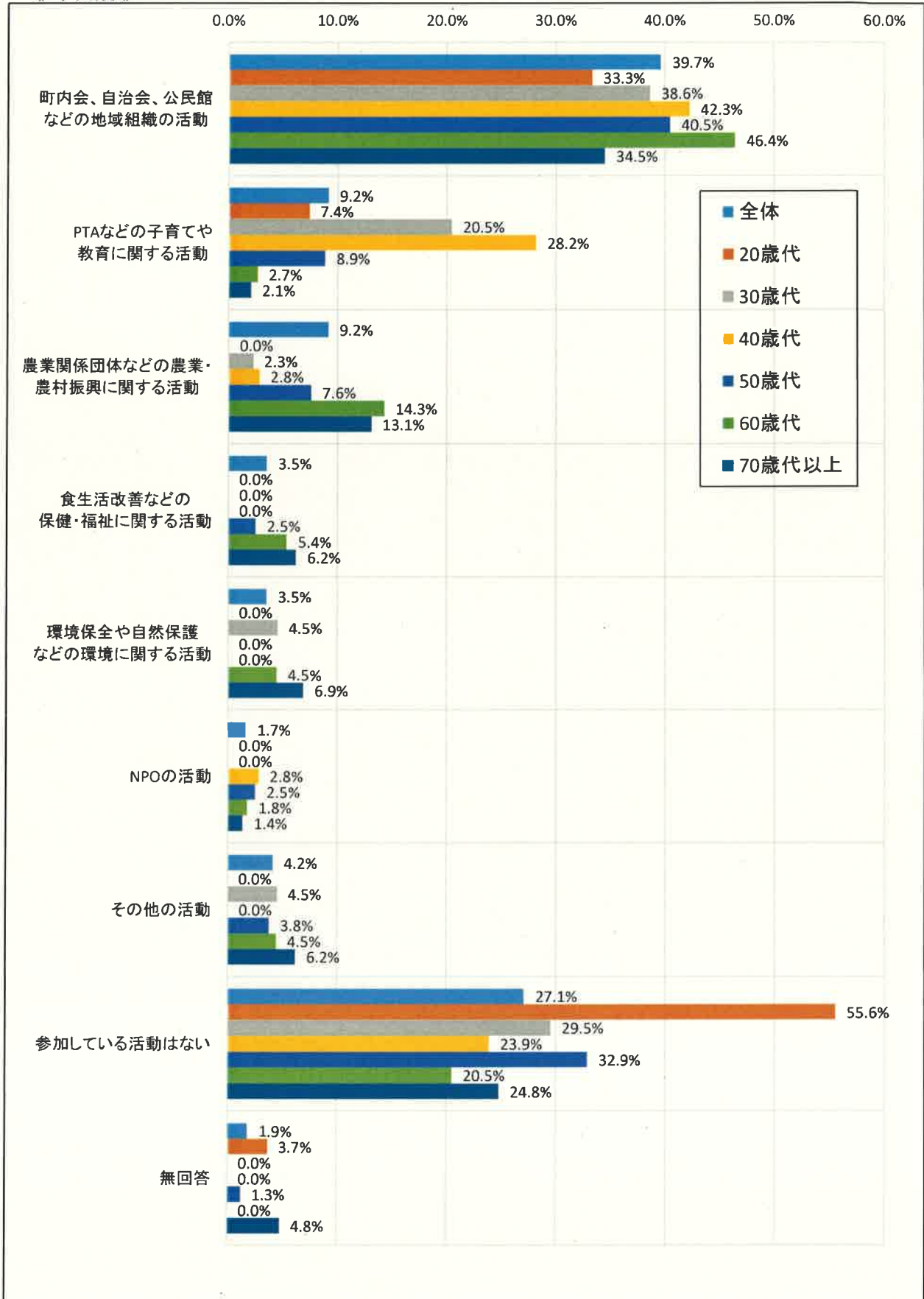
●年代別回答において、「町内会、自治会、公民館などの地域組織の活動」と回答した割合をみると、60歳代が46.4%で最も高く、20歳代が33.3%で最も低い。また、「参加している活動はない」をみると、20歳代が55.6%で、最も高く、60歳代が20.5%で最も低くなっている。

《 性別 》





《年代別》



問17 現在参加している活動についておたずねします。

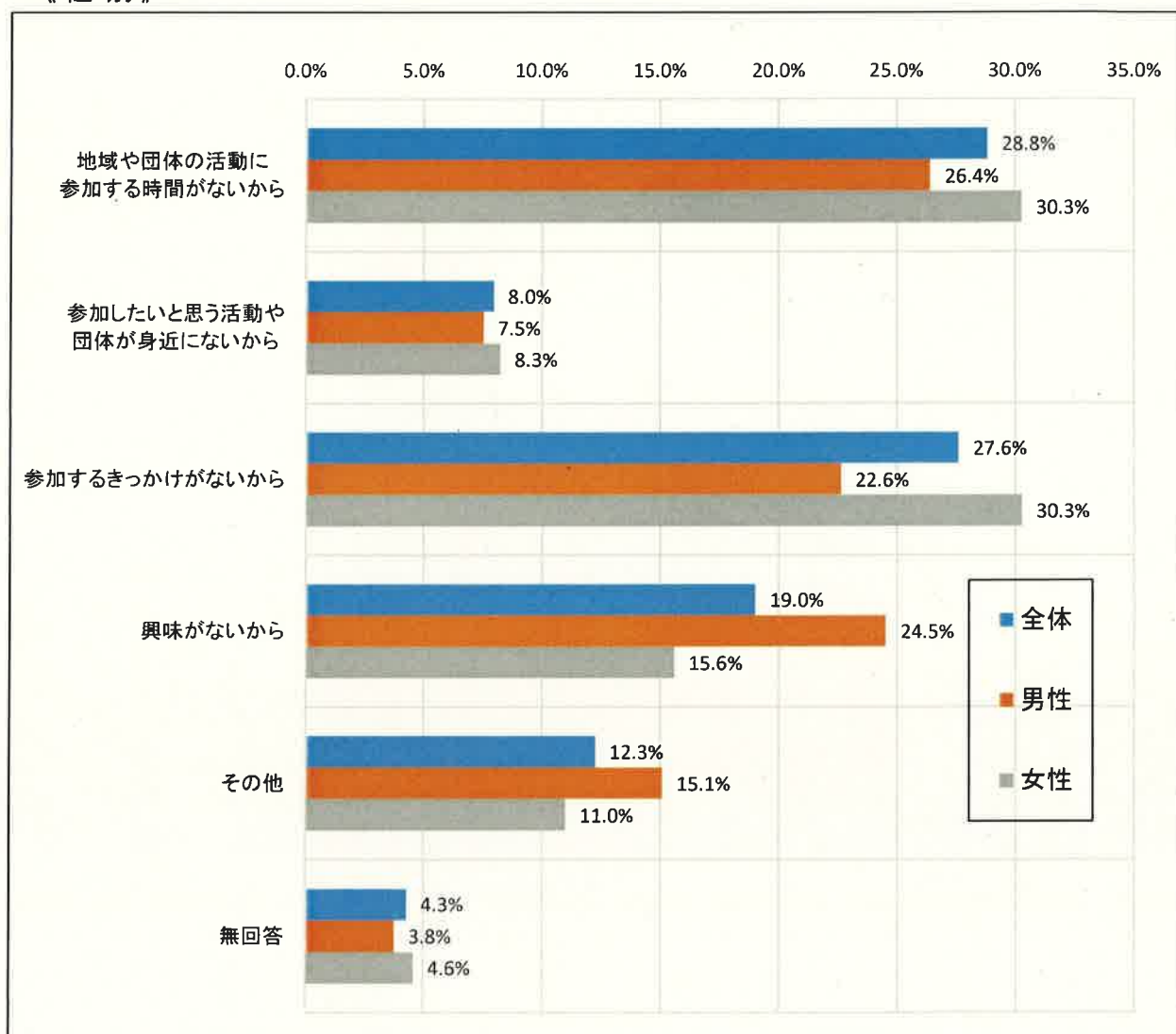
(2)「参加している活動はない」とお答えいただいた方におたずねします。参加していない理由は何ですか。あてはまる番号を2つまで選んでください。

●「地域や団体の活動に参加する時間がないから」と回答した割合が全体で28.8%と最も高くなっており、次に「参加するきっかけがないから」が27.6%、次に「興味がないから」が19.0%と続いている。

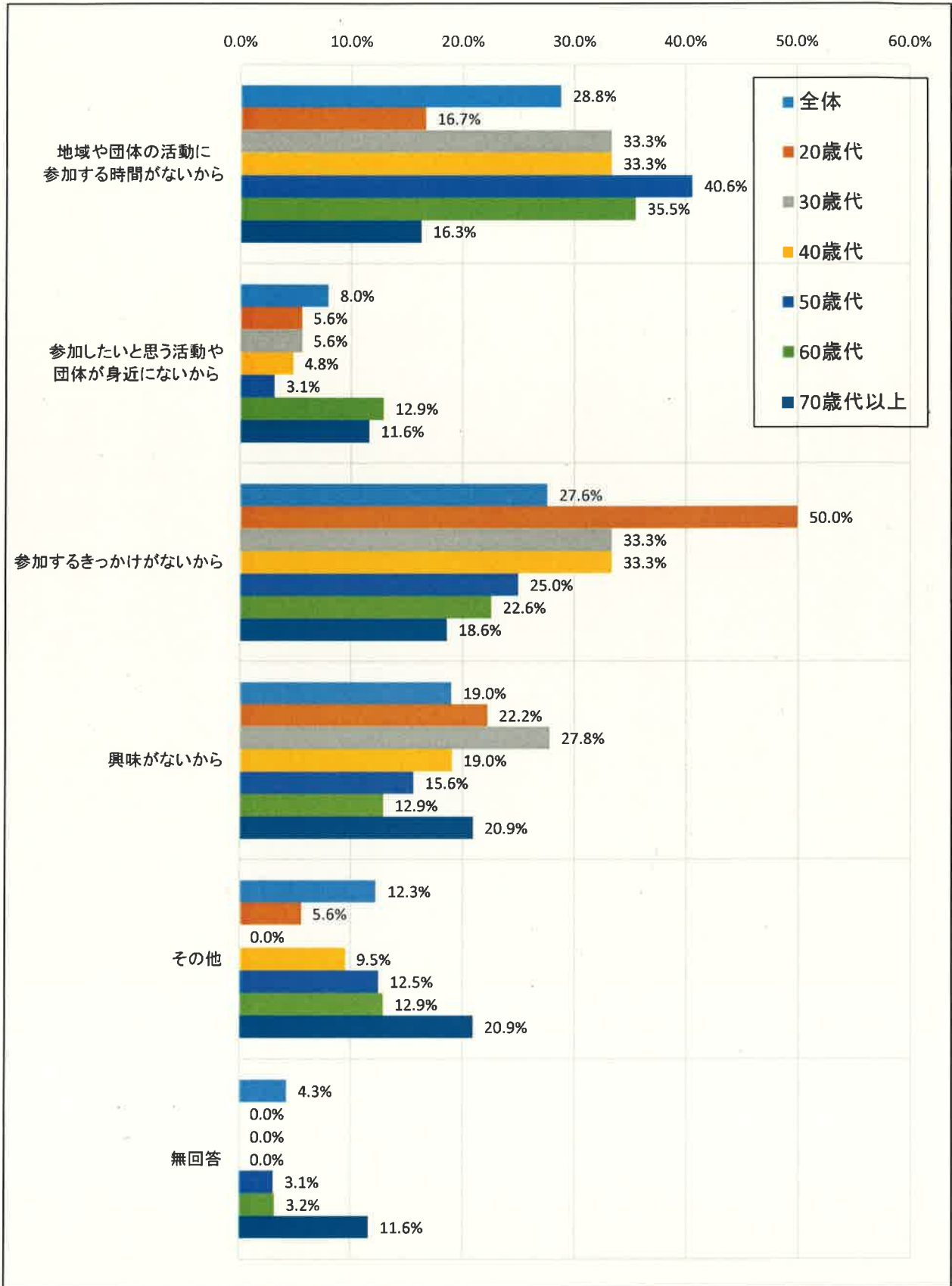
●性別回答において、「地域や団体の活動に参加する時間がないから」と回答した割合をみると、女性は30.3%、男性は26.4%で、3.9ポイントの差となっている。また、「参加するきっかけがないから」をみると、女性が男性より7.7ポイント差で高く、「興味がないから」では、男性が女性より8.9ポイント差で高くなっている。

●年代別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、20歳代では「参加するきっかけがないから」、70歳代以上では「興味がないから」「その他」となっており、それ以外の年代は全て「地域や団体の活動に参加する時間がないから」となっている。

《性別》



《年代別》



問18 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるところの番号を3つまで選んでください。

●「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」と回答した割合が全体で21.1%と最も高くなっており、次に「夫婦の間で家事などの役割分担をするように話し合うこと」が16.3%、次に「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」で15.4%と続いている。(参考:28年度調査「男女の役割分担についての……」20.7%・「夫婦の間で家事などの……」10.0%、「労働時間短縮や休暇……」19.3%)

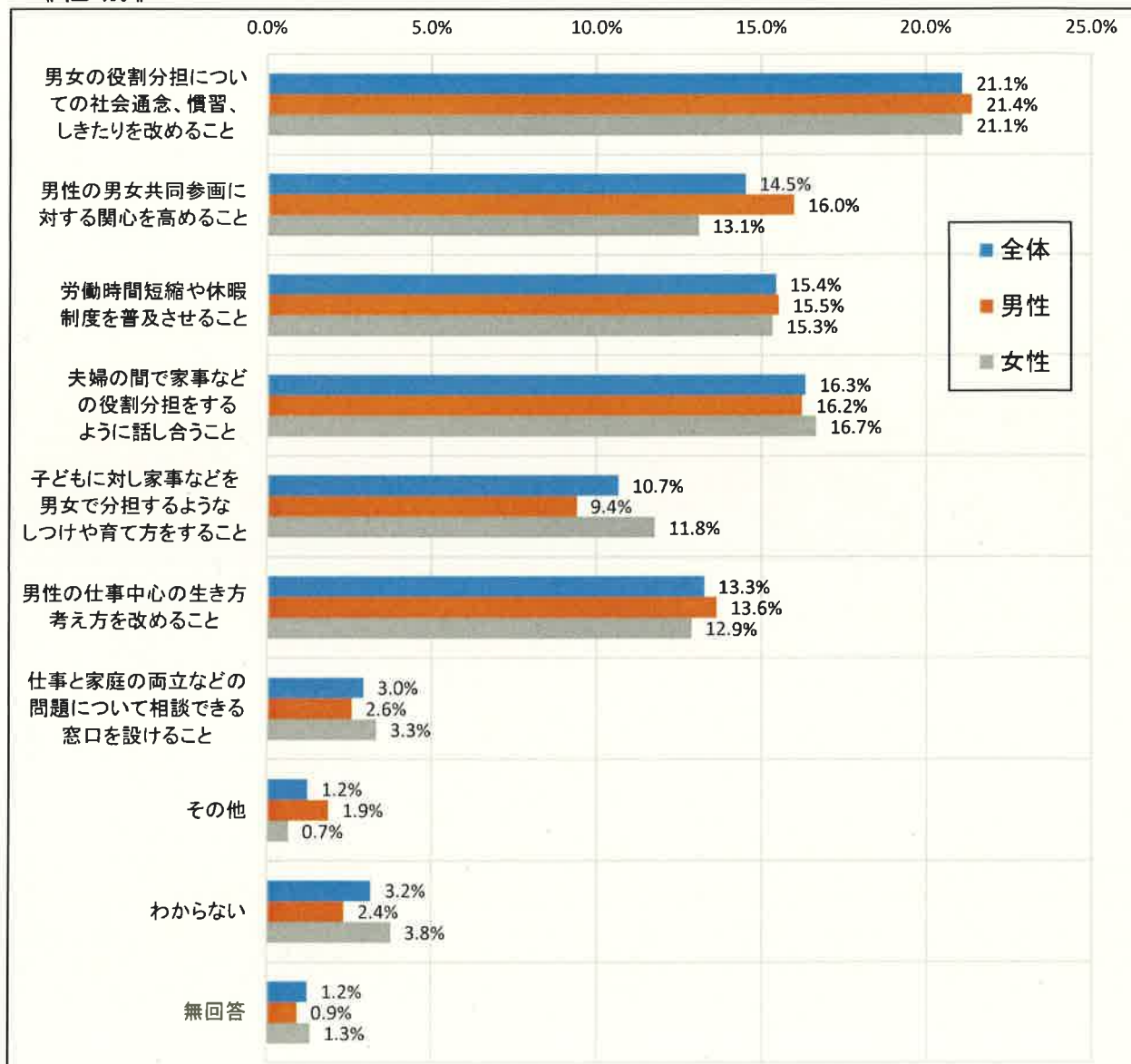
●性別回答において、回答割合が3番目に高い項目をみると、全体や女性では「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」となっているが、男性は「男性の男女共同参画に対する関心を高めること」になっている。

●年代別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、20、30、50歳代では「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」となっており、40、60、70歳代以上では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」となっている。

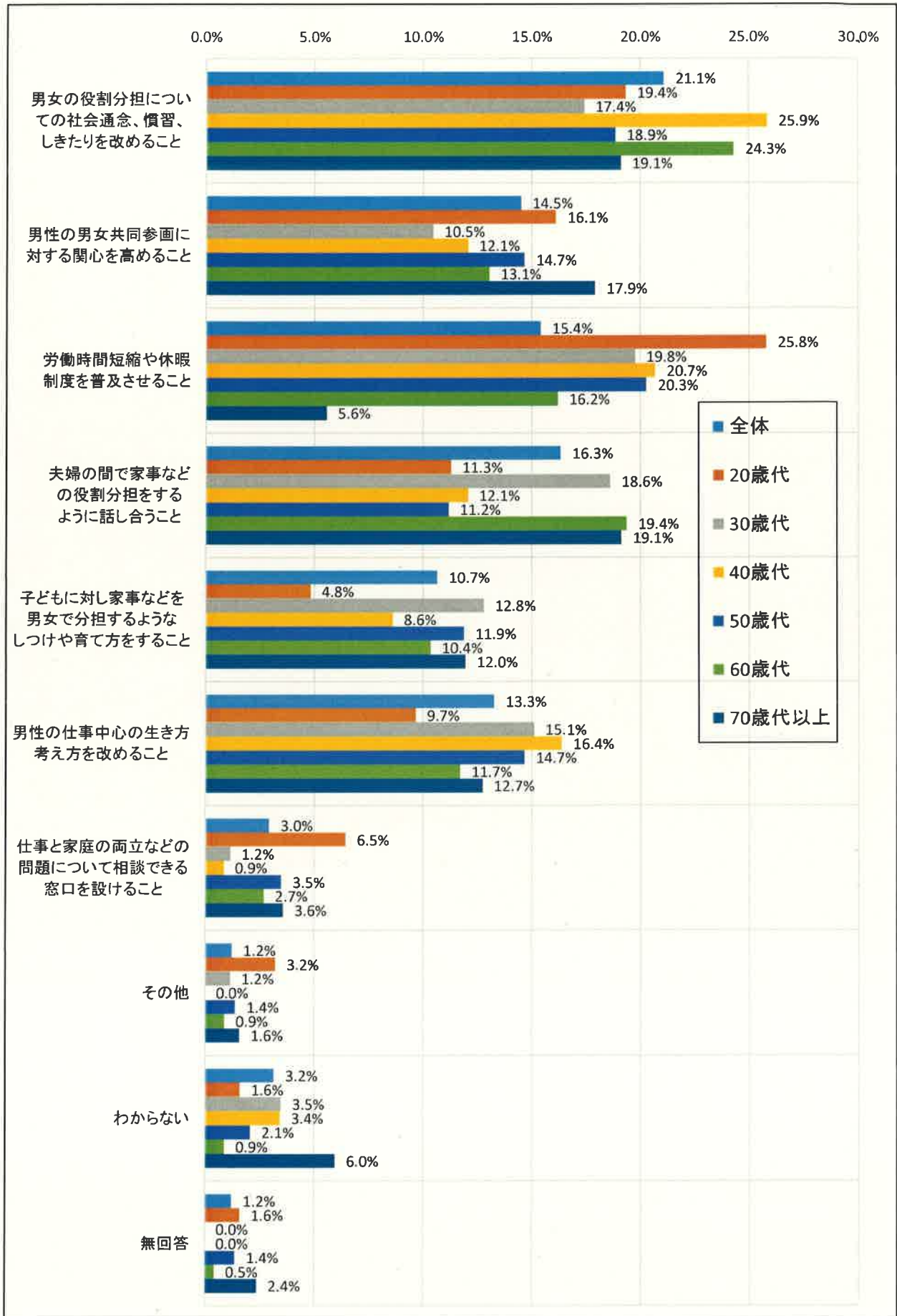
●職業別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、無職のみ「夫婦の間で家事などの役割分担をするように話し合うこと」となっており、その他の職業等では全て「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が最も高くなっている。

●婚姻状況別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、未婚は「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」となっており、既婚及び“離別又は死別”では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」となっている。(離別又は死別では、「男性の男女共同参画に対する関心を高めること」も同率で最も高い割合となっている)

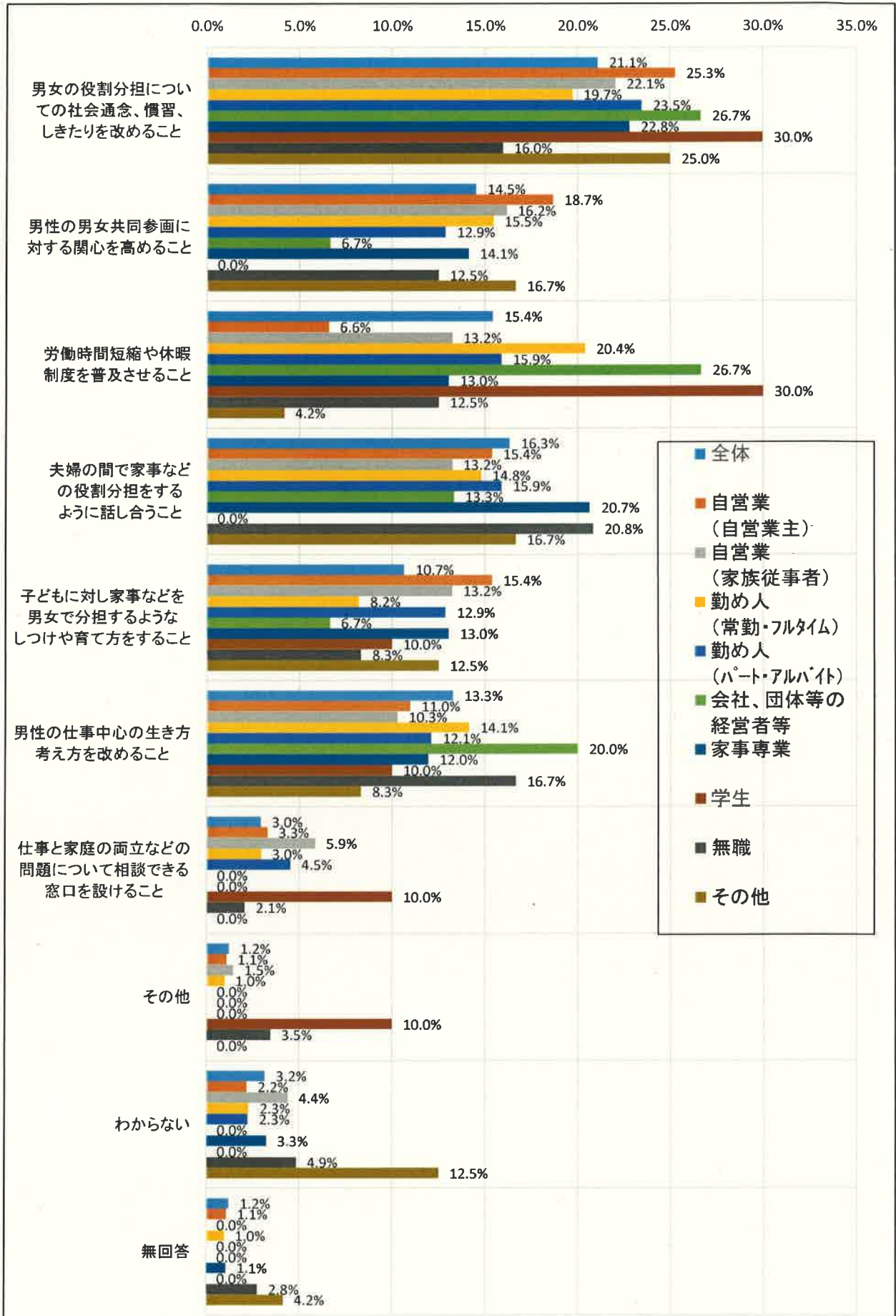
### 《性別》



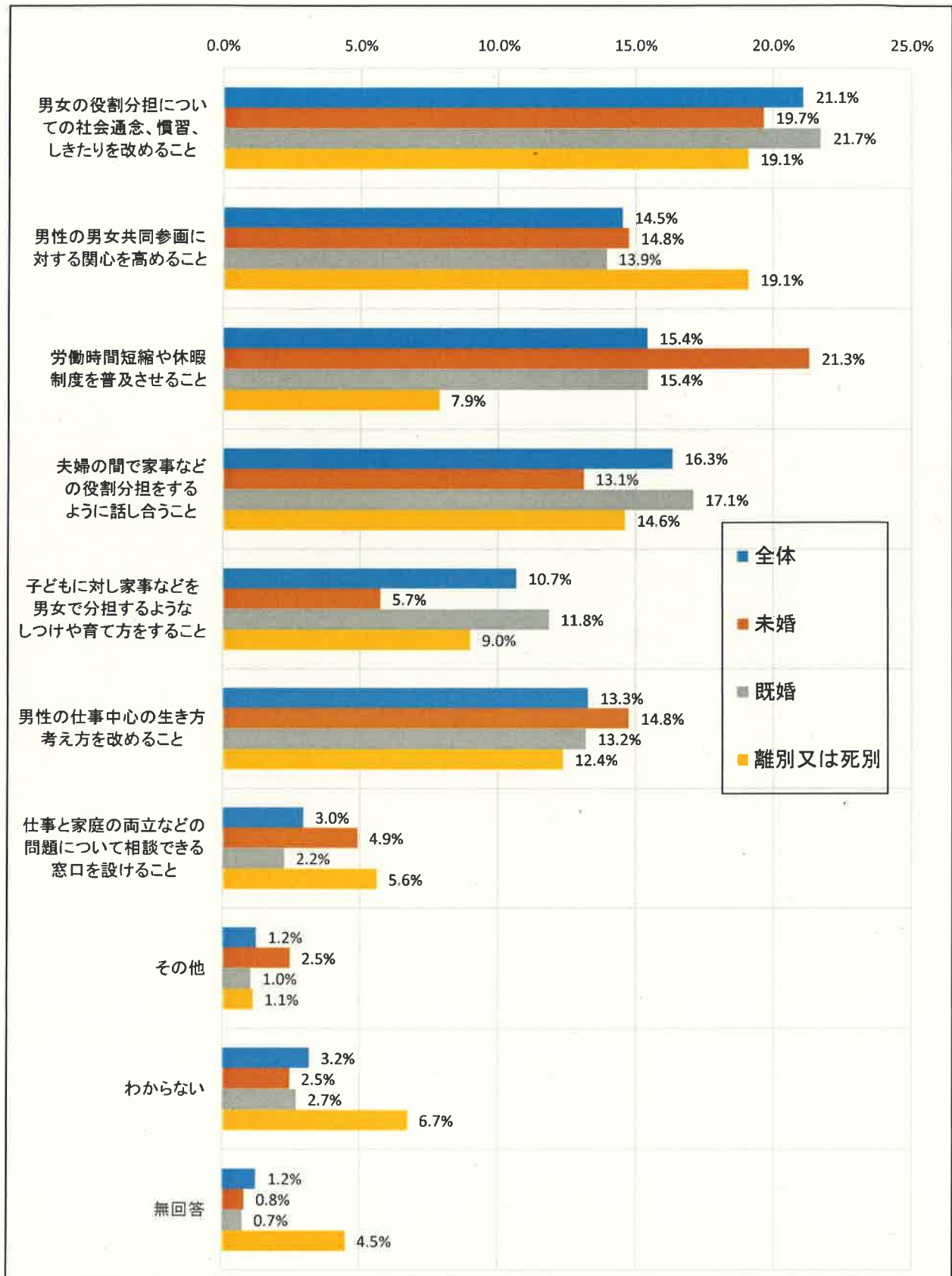
《年代別》



《 職業別 》



## 《 婚姻状況別 》



【9】社会参加(政策・方針決定)について (問19, 20)

問19 女性が地域活動のリーダーになることについておたずねします。

(1)女性が自治会等の役員になることについてどう思いますか。

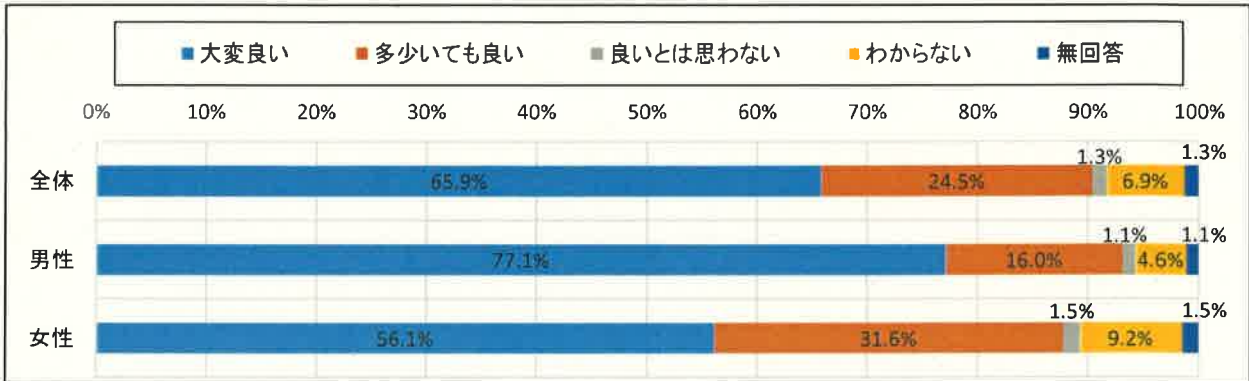
●「大変良い」と回答した割合が全体で65.9%と最も高くなっており、「良いとは思わない」は1.3%で最も低くなっている。(参考:28年度調査「大変良い」50.8%・「良いとは思わない」3.4%)

●性別回答では、「大変良い」と回答した割合が男性で77.1%、女性で56.1%となっており、21.0ポイントの差となっている。

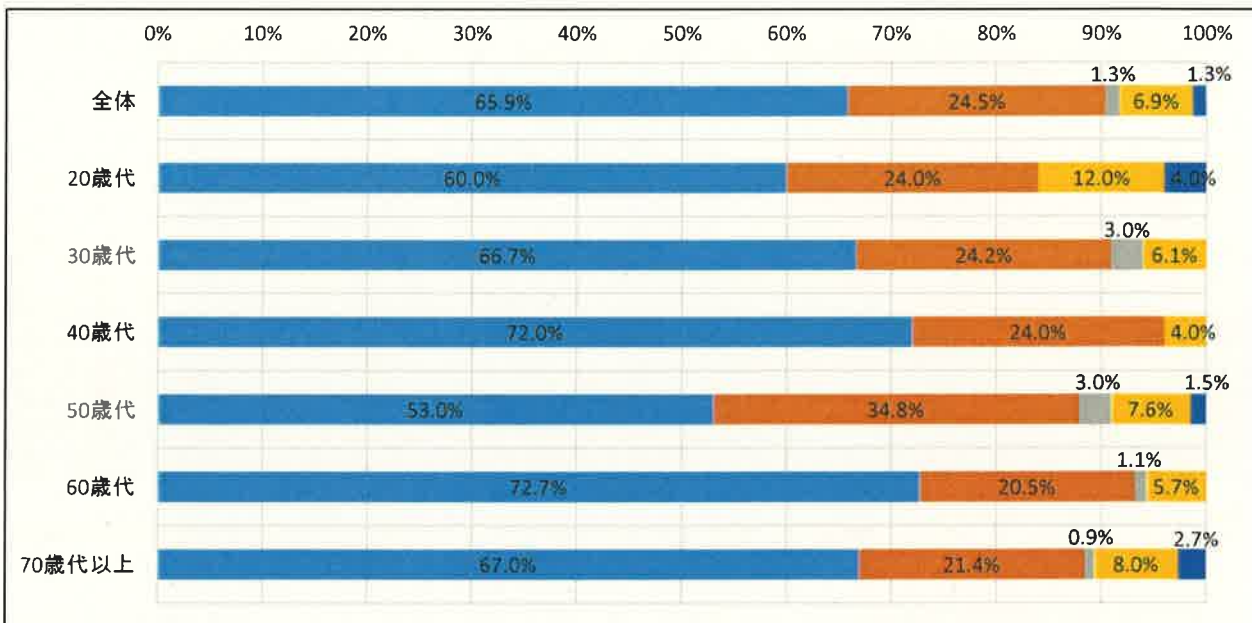
●年代別回答において、「大変良い」と回答した割合で最も低いのは50歳代で、「多少いても良い」、「良いとは思わない」という回答割合では、他の年代と比較して最も高くなっている。

●婚姻状況別回答では、「大変良い」と回答した割合が、未婚や離別又は死別よりも既婚のほうが高くなっている。

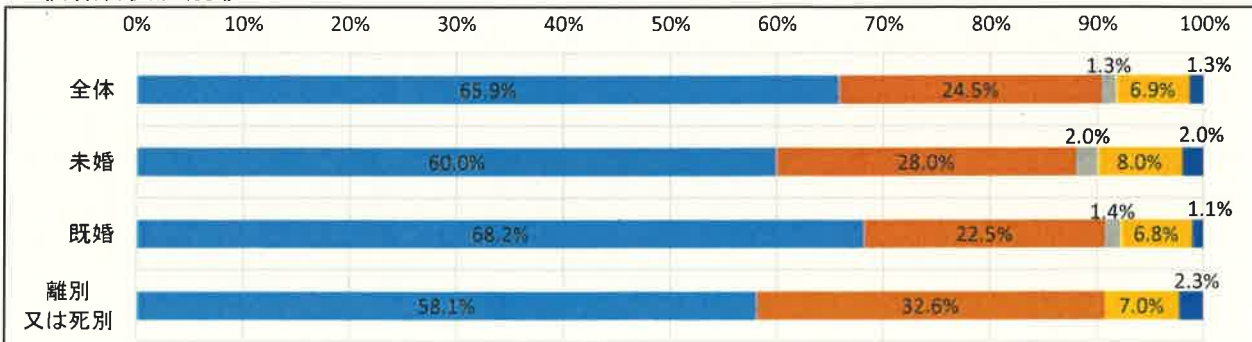
《性別》



《年代別》



《婚姻状況別》





問19 女性が地域活動のリーダーになることについておたずねします。

(2)女性の社会参画は進みつつありますが、自治会の長、PTA会長などには、まだ女性が少ない現状です。このような方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

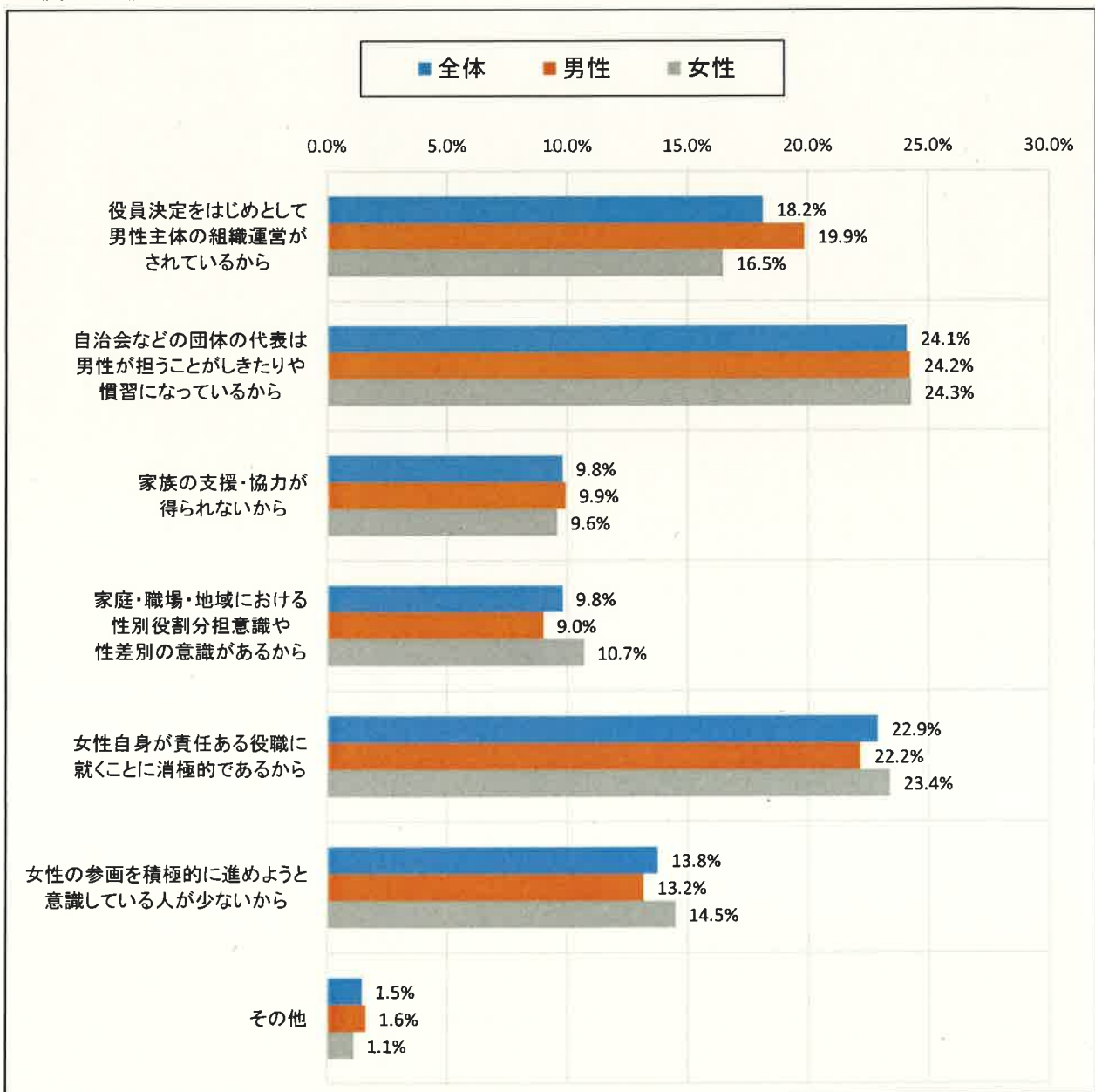
●「自治会などの団体の代表は男性が担うことがしきたりや慣習になっているから」と回答した割合が全体で24.1%と最も高くなっており、次に「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」が22.9%、次に「役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから」が18.2%と続いており、性別回答でも、男女共に同じ順位となっている。

●年代別回答において、回答した割合が最も高い項目をみると、60歳代、70歳代以上では「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」となっており、それ以外の年代では「自治会などの団体の代表は男性が担うことがしきたりや慣習になっているから」となっている。

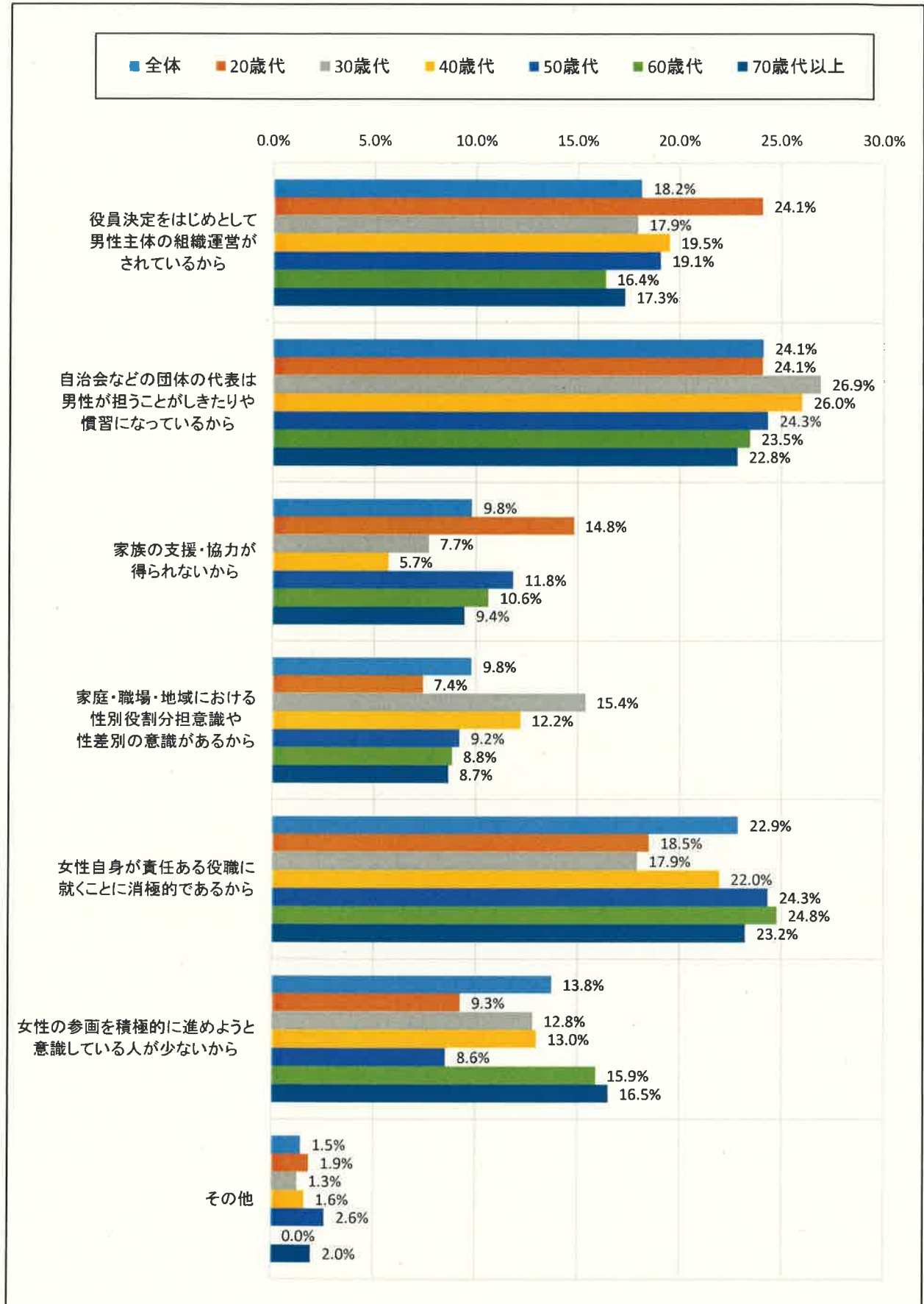
●婚姻状況別回答において、回答した割合が最も高い項目をみると、未婚、既婚は共に「自治会などの団体の代表は男性が担うことがしきたりや慣習になっているから」となっており、離別又は死別は「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」となっている。

●婚姻状況別回答では、「大変良い」と回答した割合が、未婚や離別又は死別よりも既婚のほうが高くなっている。

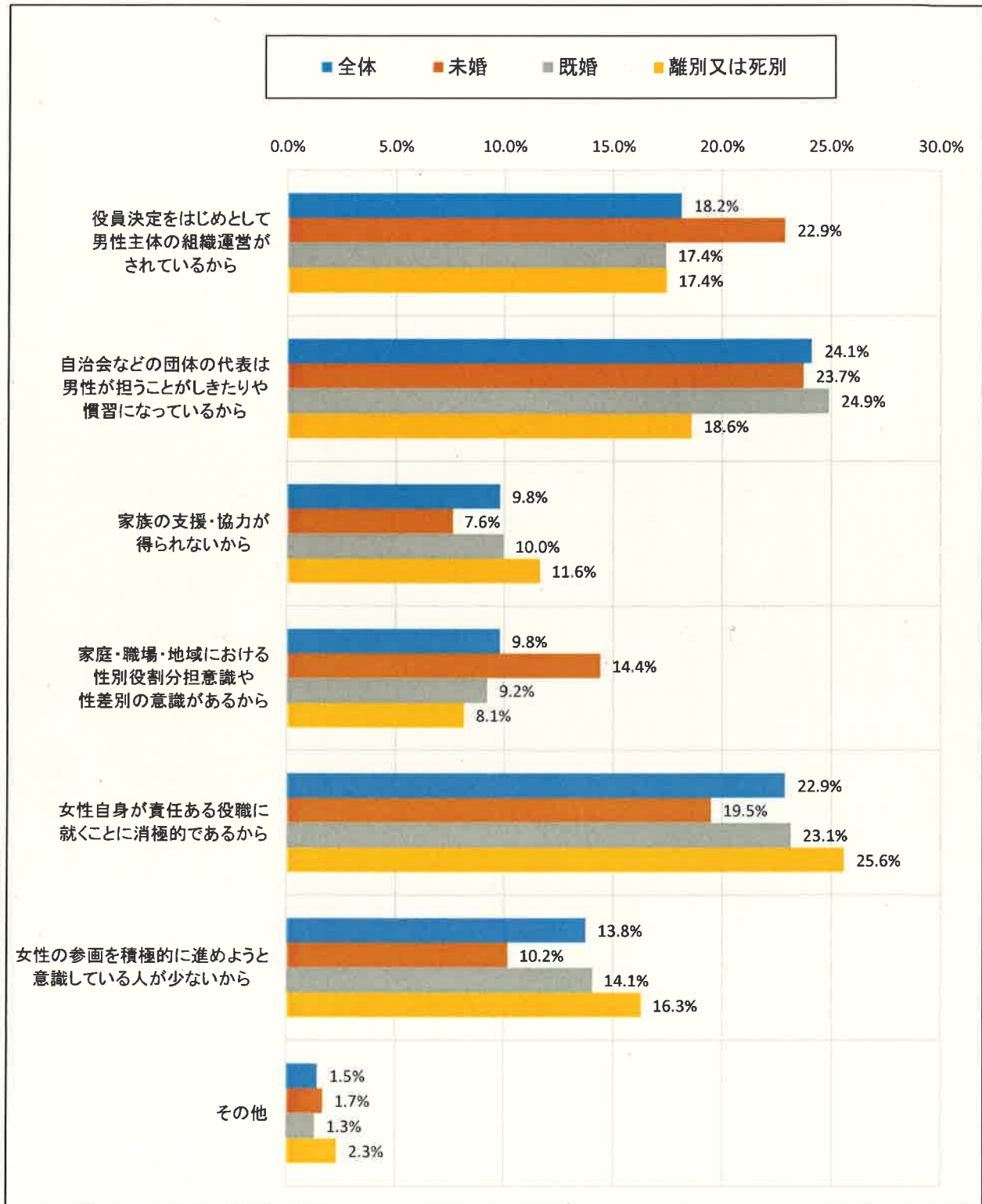
《性別》



《年代別》



《 婚姻状況別 》



問19 女性が地域活動のリーダーになることについておたずねします。

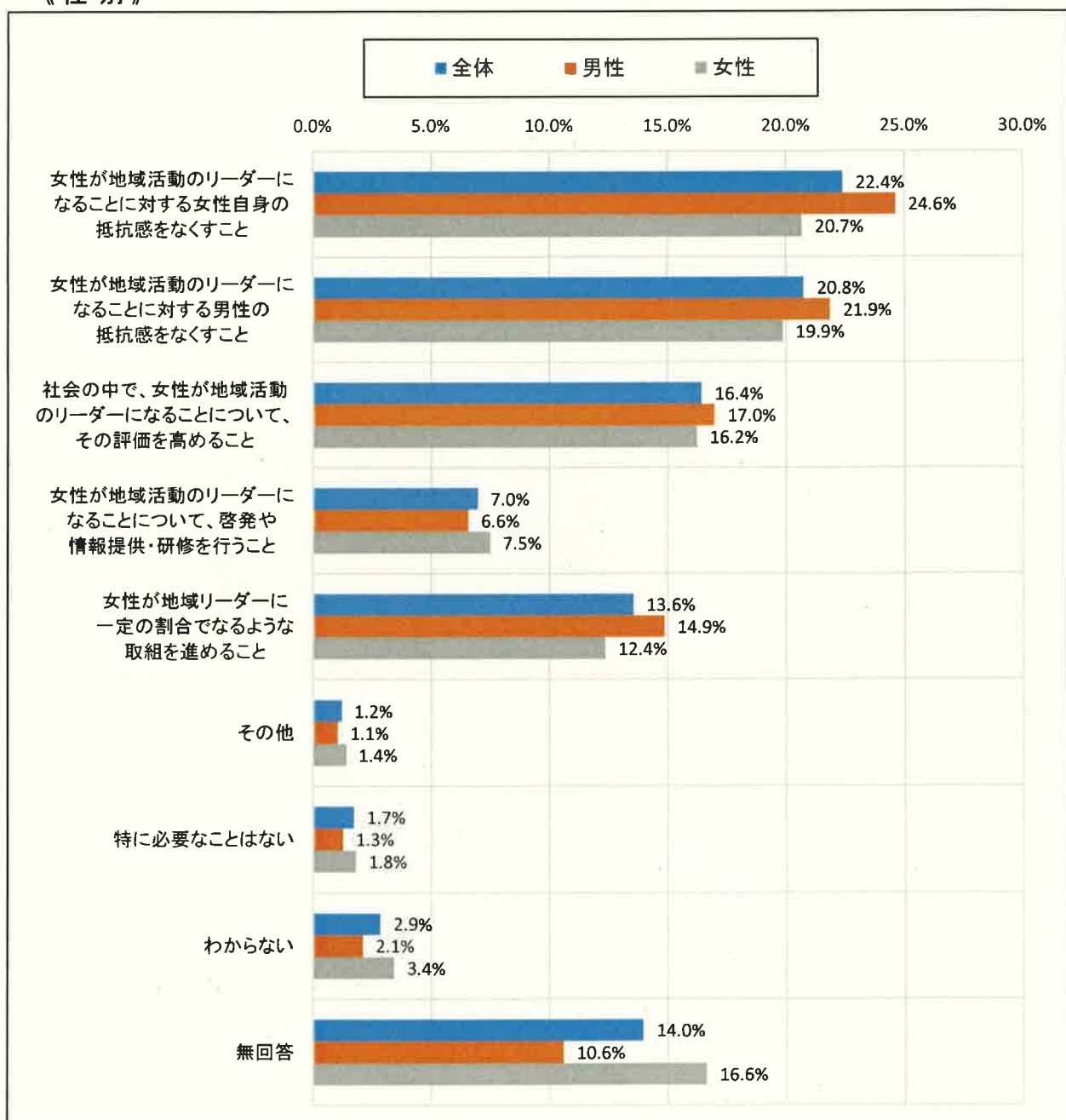
(3) 自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。

●「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」と回答した割合が全体で22.4%と最も高くなっており、次に「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が20.8%、次に「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること」が16.4%と続いている。性別回答の割合も男女共に、全体の回答割合と大きな差はないが、女性の「無回答」の割合が高く、3番目に高い項目となっている。

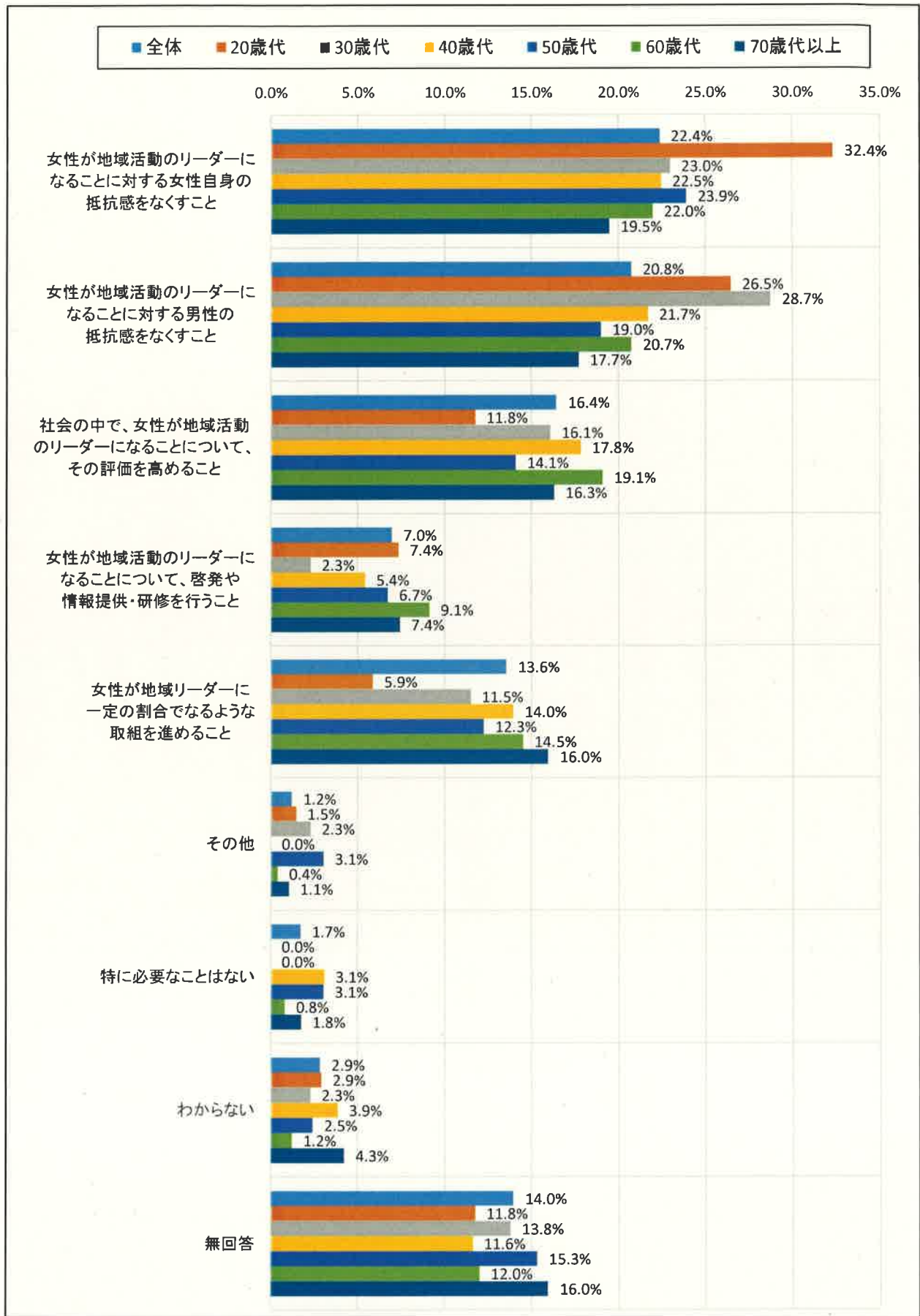
●年代別回答において、回答した割合が最も高い項目をみると、30歳代のみが「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」となっており、それ以外の年代では「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」となっている。

●婚姻状況別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、いずれも「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」となっているが、未婚が25.6%、既婚が22.4%、離別又は死別が19.2%と各割合に差が見られる。また、離別又は死別の「無回答」とした割合が比較的高い。

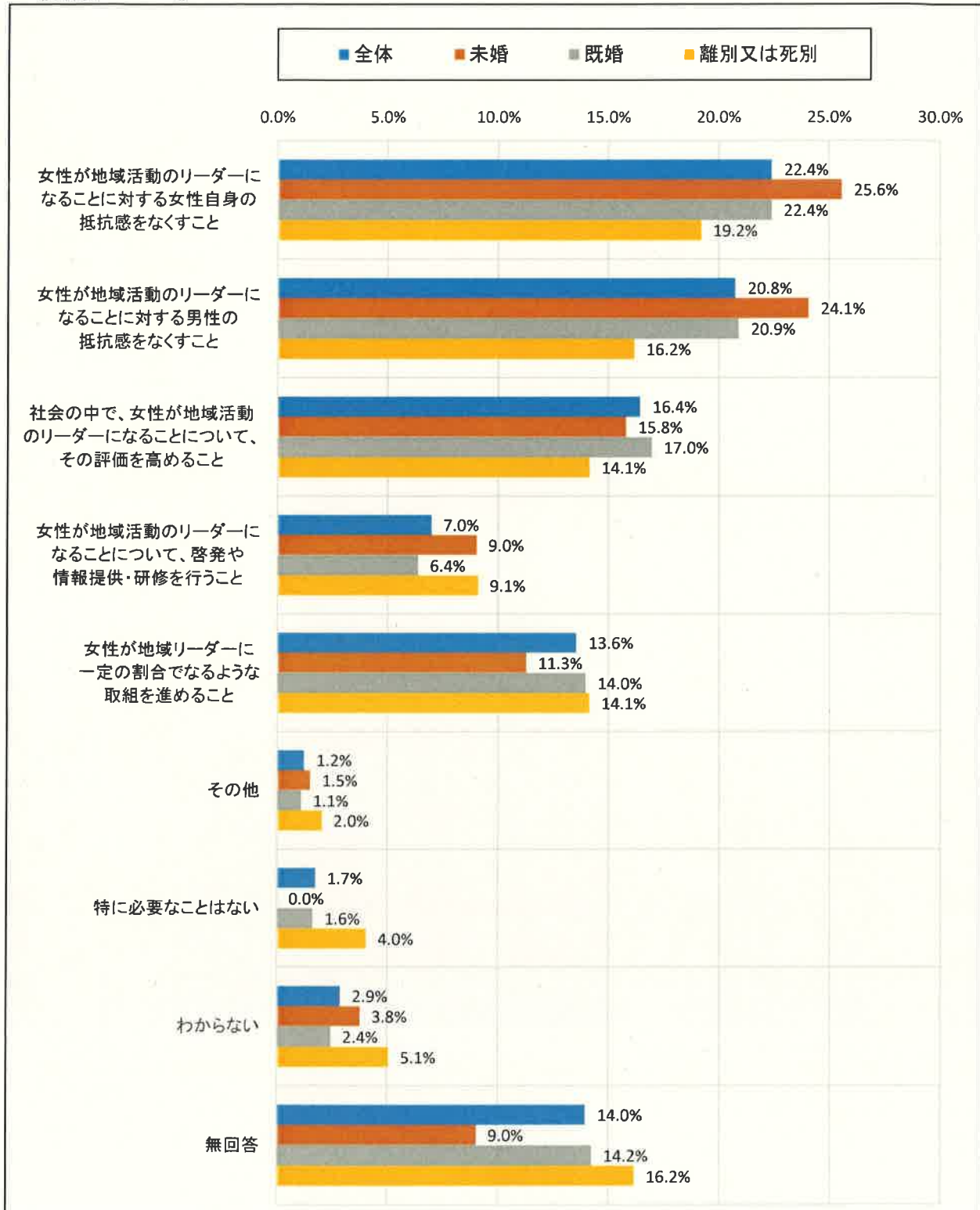
《性別》



《年代別》



《 婚姻状況別 》



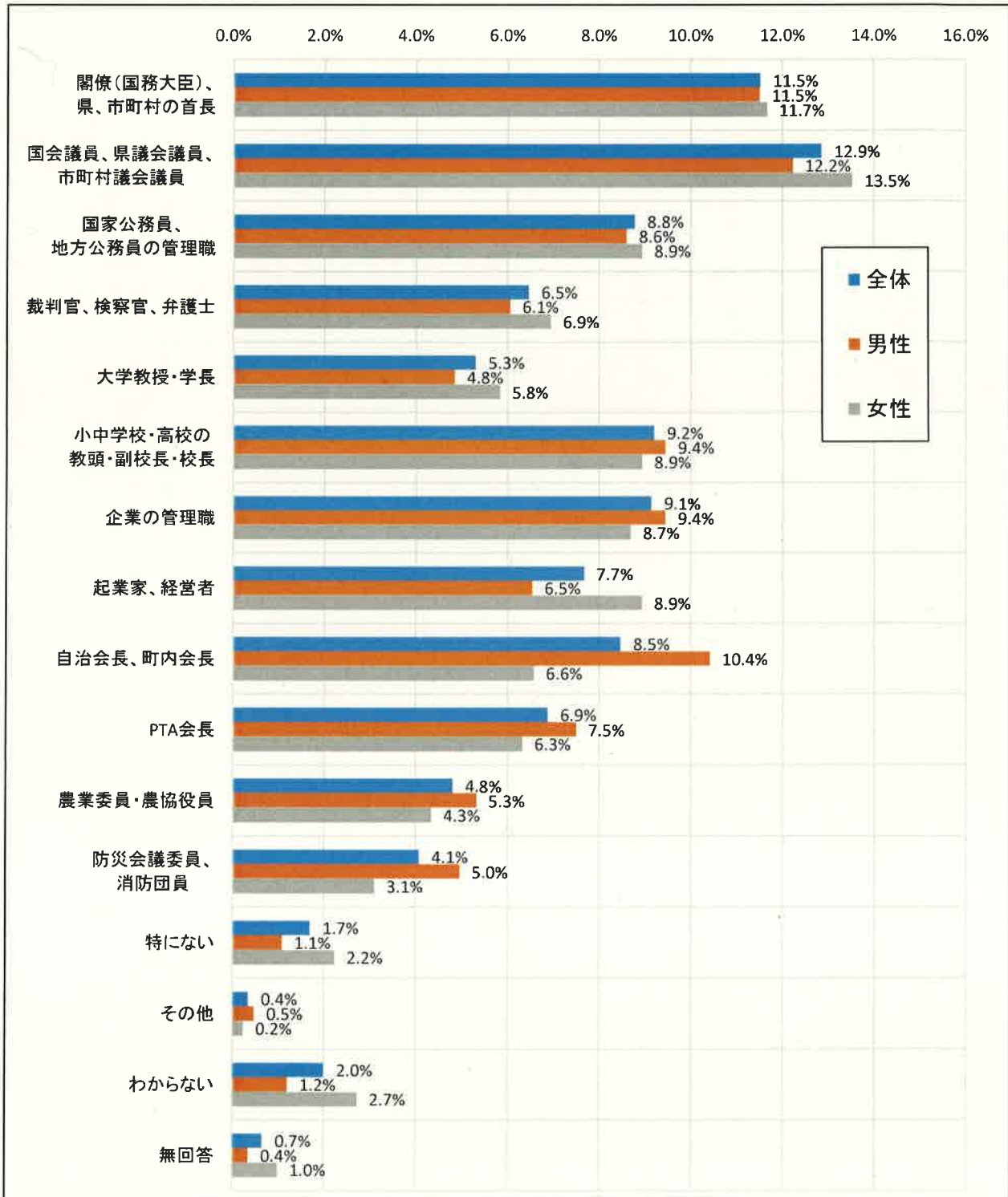
問20 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。この中からいくつでも選んでください。

●「国会議員、県議会議員、市町村議会議員」と回答した割合が全体で12.9%と最も高くなっており、次に「閣僚(国務大臣)、県、市町村の首長」が11.5%、次に「小中学校・高校の教頭・副校長・校長」が9.2%と続いている。

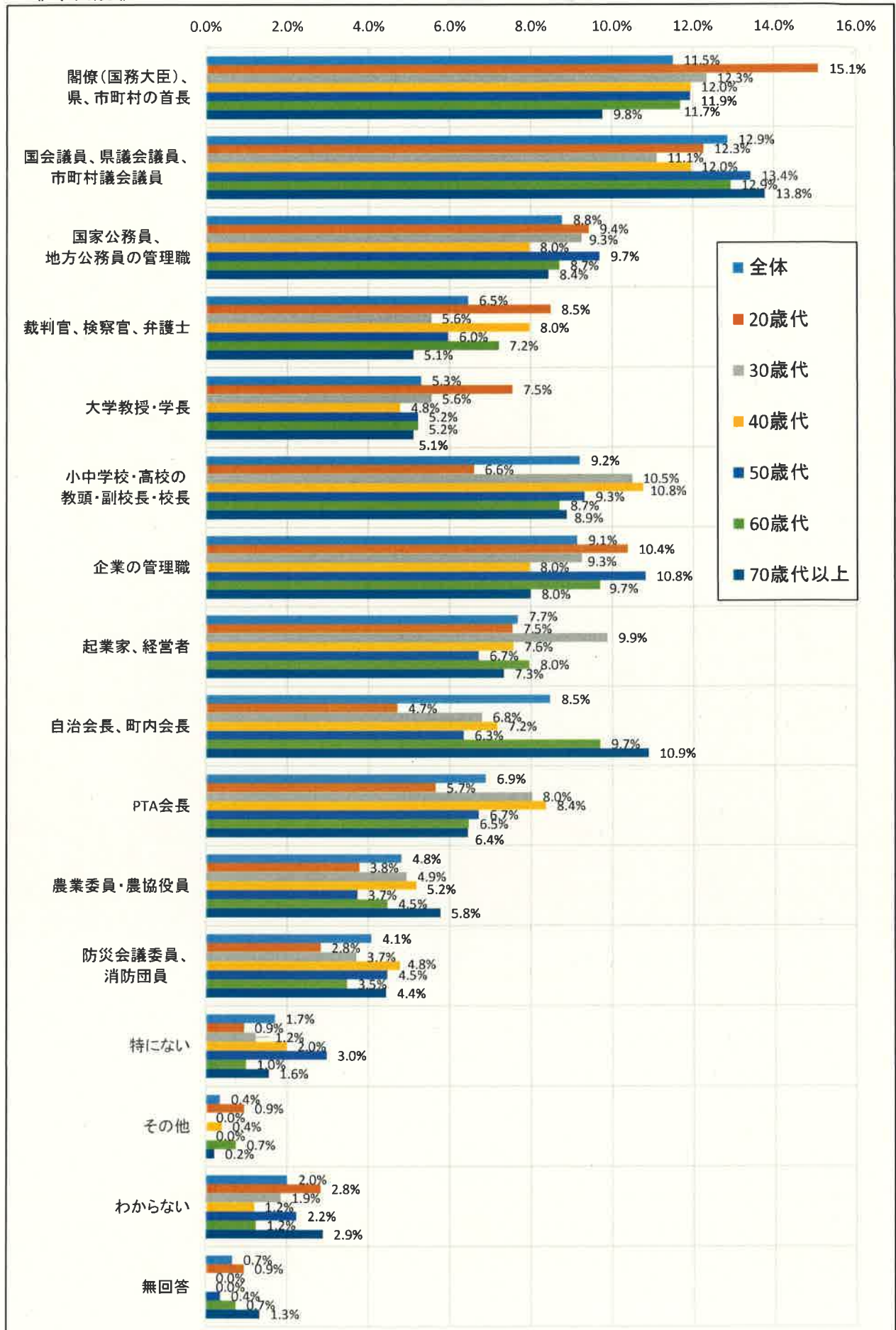
●性別回答において、回答割合の高い順にみると、3番目に高い項目では全体割合の項目とは異なり、女性では「国家公務員、地方公務員の管理職」「小中学校・高校の教頭・副校長・校長」「企業家、経営者」の同率3位となっており、男性は「自治会長・町内会長」となっている。また、男女の回答割合の差が最も大きいのは「自治会長・町内会長」で、3.8ポイント男性の方が高い。

●年代別回答において、「自治会長・町内会長」と回答した割合をみると、60歳代、70歳代以上が他の年代よりも、回答割合が高くなっている。

《性別》



《 年代別 》



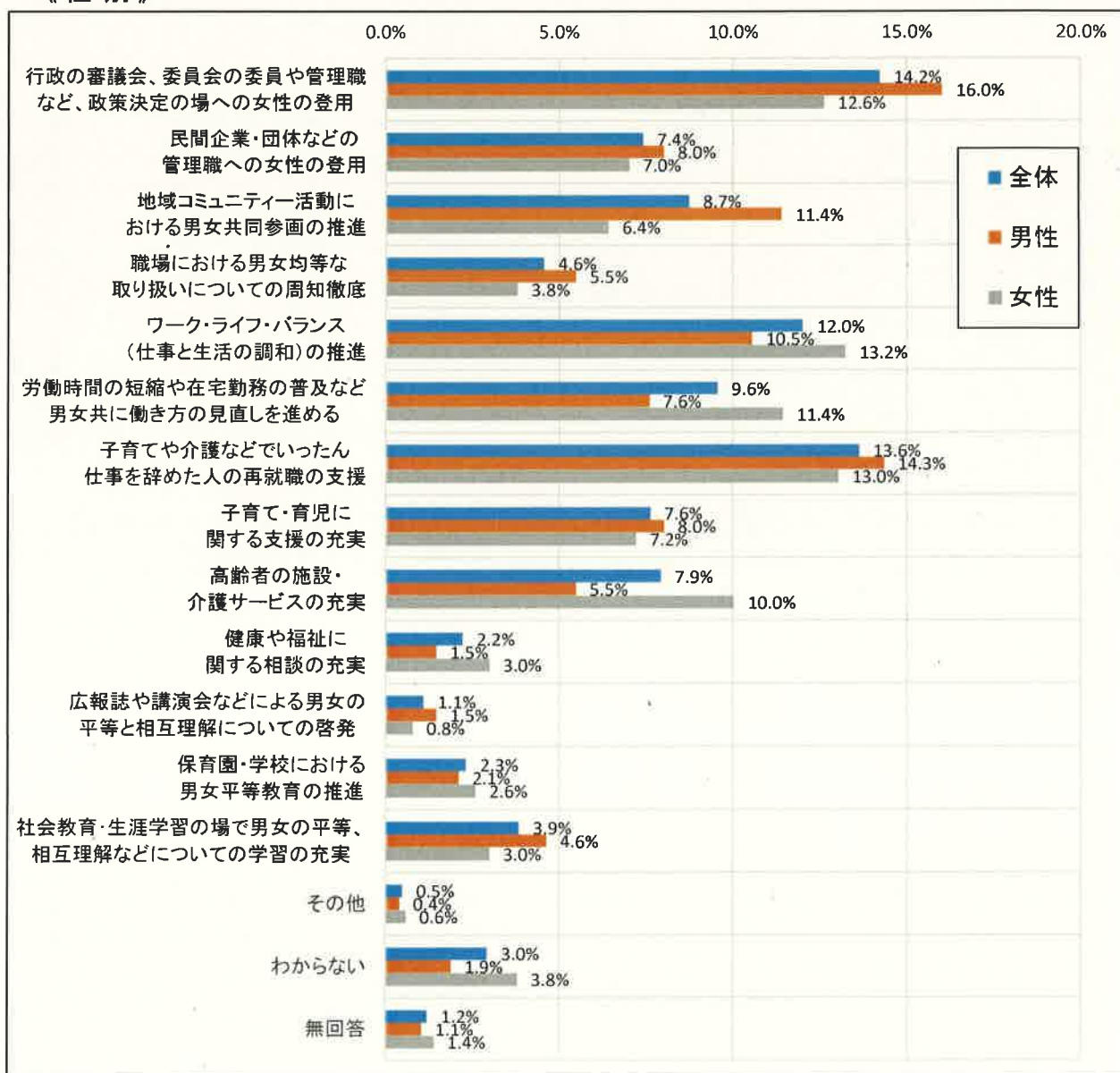


【10】 男女共同参画社会の実現について（問21・22・23・24）

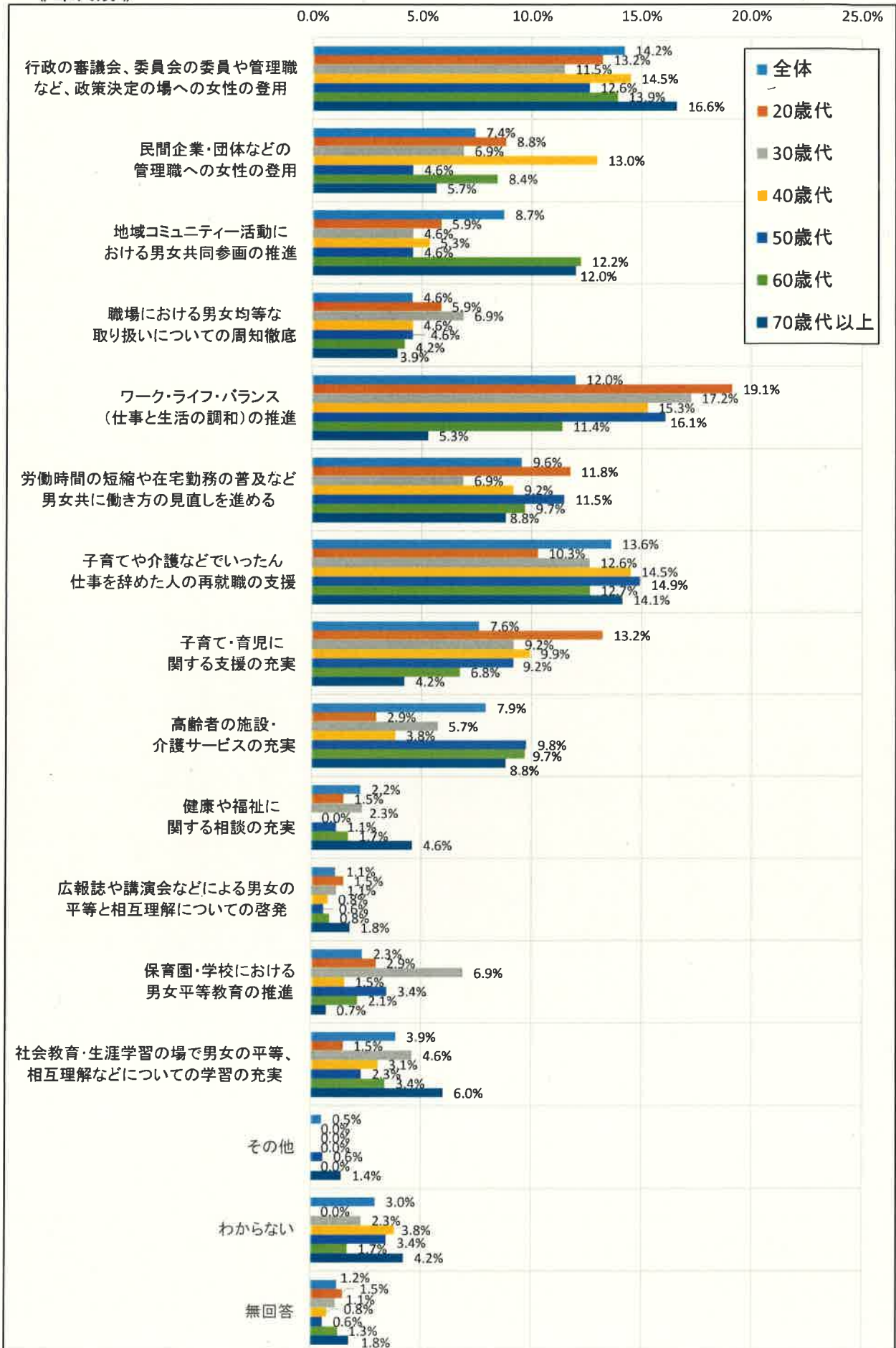
問21「男女共同参画社会」を実現するために、どのようなことが必要だと思いますか。特に重要だと思う番号を3つまで選んでください。

- 「行政の審議会、委員会の委員や管理職など、政策決定の場への女性の登用」と回答した割合が全体で14.2%と最も高くなっており、次に「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職の支援」が13.6%、次に「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」で12.0%と続いている。
- 性別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、女性は「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」が13.2%で最も高く、男性の回答割合と2.7ポイントの差となっている。また、男性は「行政の審議会、委員会の委員や管理職など、政策決定の場への女性の登用」が16.0%で最も高く、女性の回答割合と3.4ポイントの差となっており男女で差が見られる。
- 年代別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、20、30、40、50歳代では「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」となっており、60、70歳代以上では「行政の審議会、委員会の委員や管理職など、政策決定の場への女性の登用」となっている。
- 職業別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、自営業(自営業主)では「地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進」、勤め人(常勤・フルタイム)では、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」となるなど、職業によって異なる傾向にある。
- 婚姻状況別回答において、回答割合が最も高い項目をみると、未婚は「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」、既婚は、「行政の審議会、委員会の委員や管理職など、政策決定の場への女性の登用」、離別又は死別では、「子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職の支援」でそれぞれ異なっている。

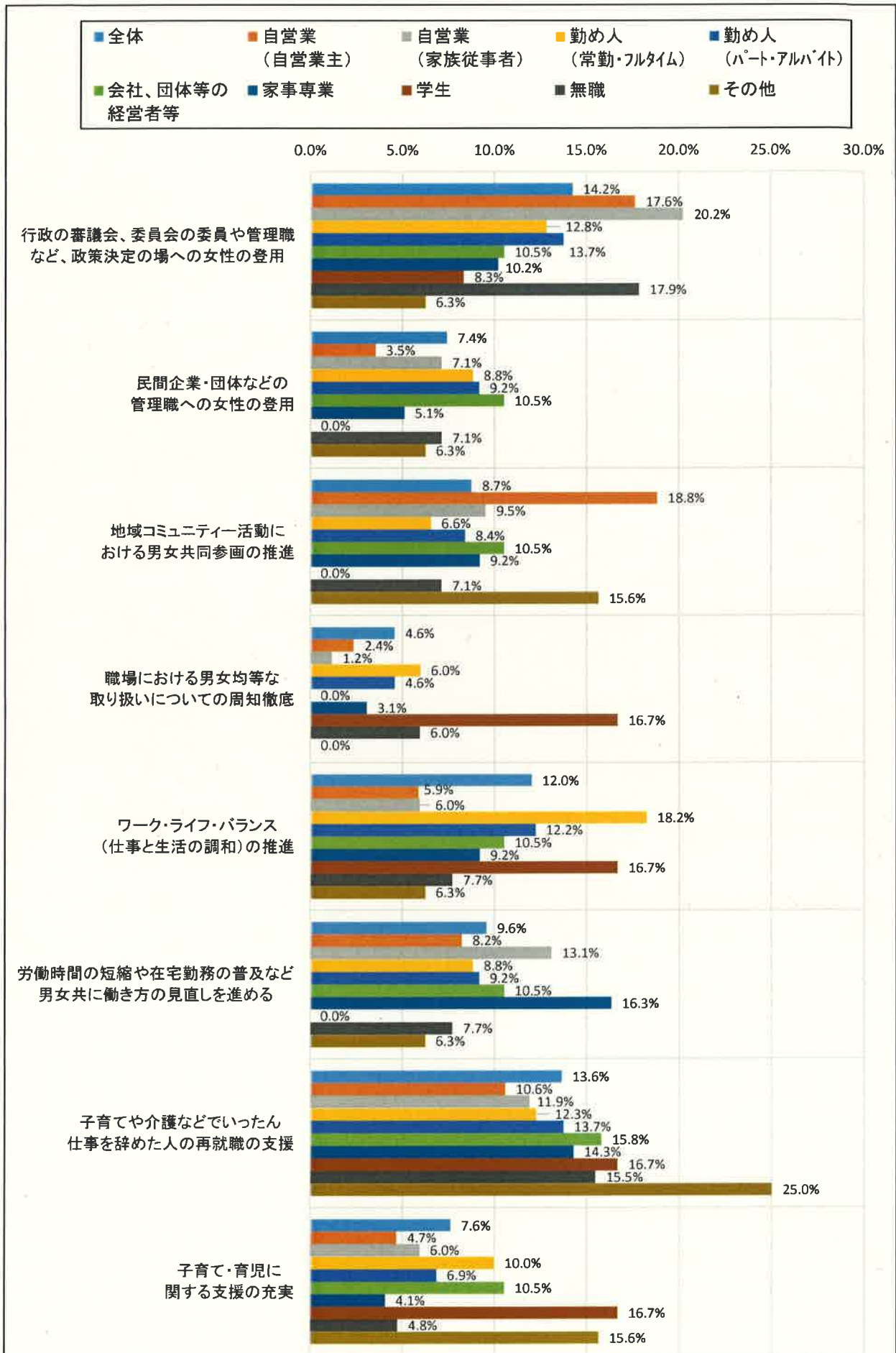
《性別》

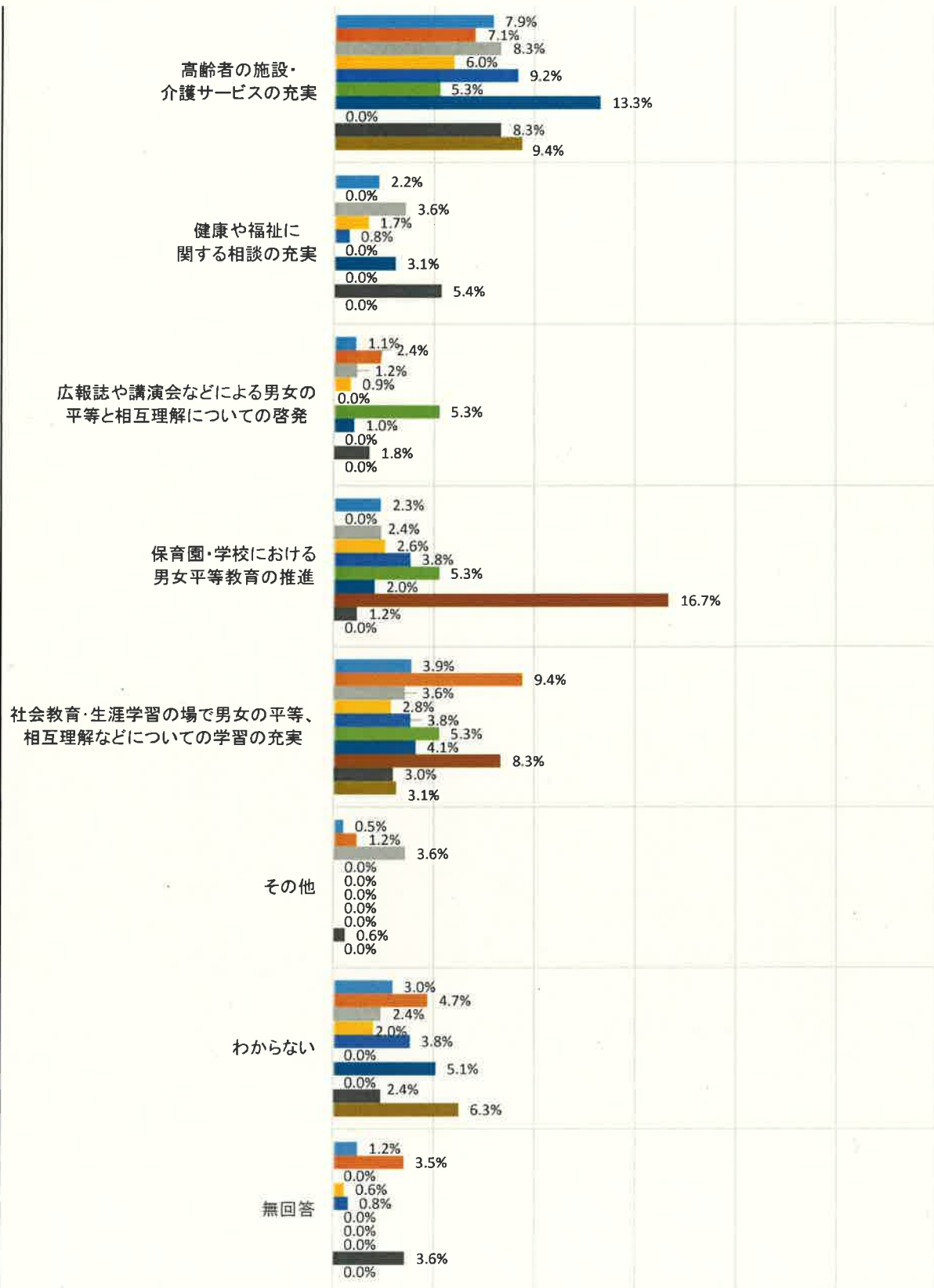


《年代別》

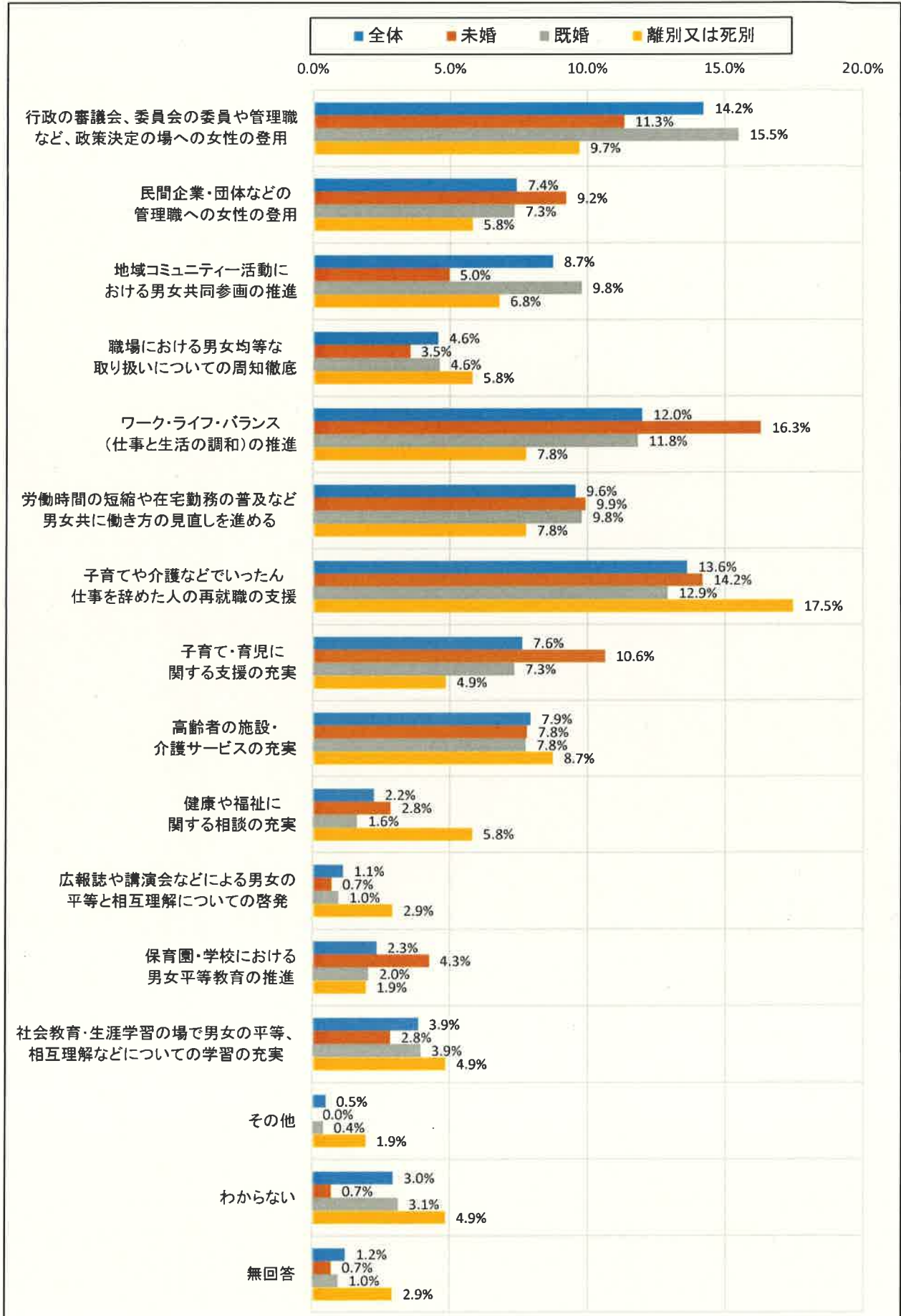


《 職業別 》





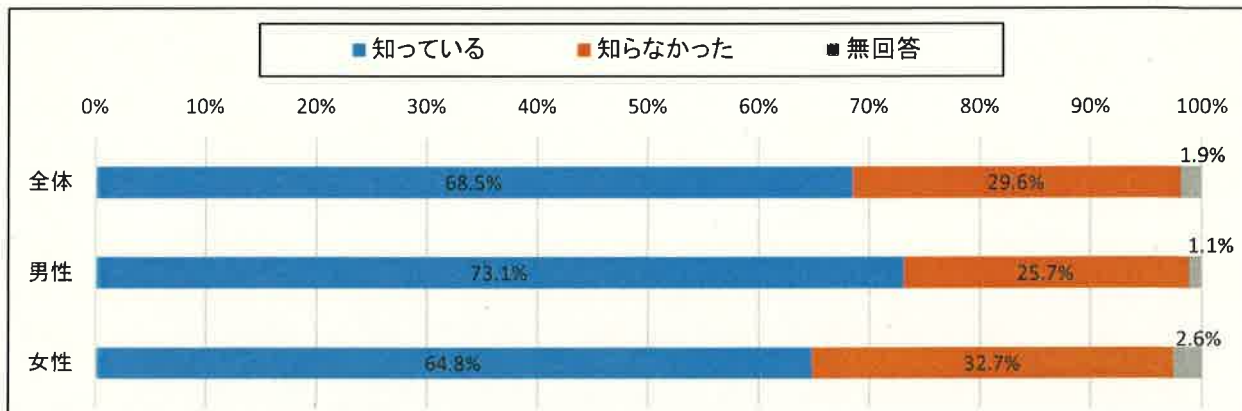
《婚姻状況別》



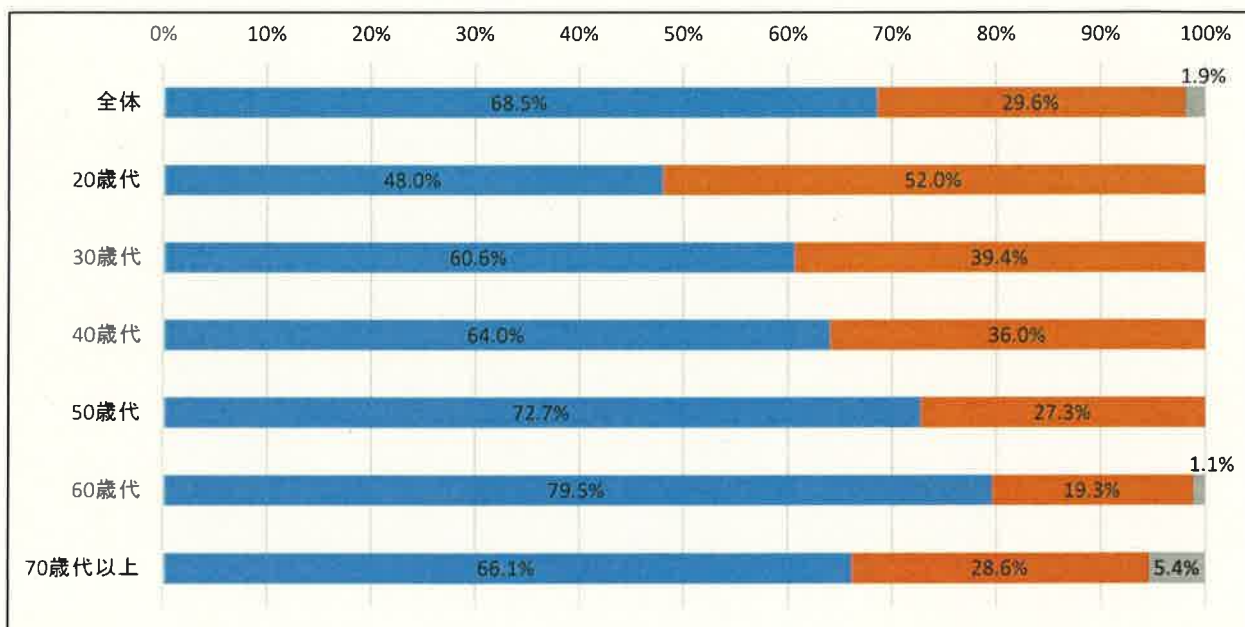
問22 配偶者等からの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまる番号を選んでください。

- 「知っている」と回答した割合が全体で68.5%となっており、性別回答では、男性が73.1%、女性が64.8%で8.3ポイントの差で男性が上回っている。
- 年代別回答では、「知っている」と回答した割合が最も高いのが60歳代で79.5%、最も低いのが20歳代で48.0%となっており、31.5ポイントの差となっている。
- 婚姻状況別回答では、「知っている」と回答した割合が、既婚で72.9%、未婚で56.0%、離別又は死別で55.8%となっており、既婚の割合が高くなっている。

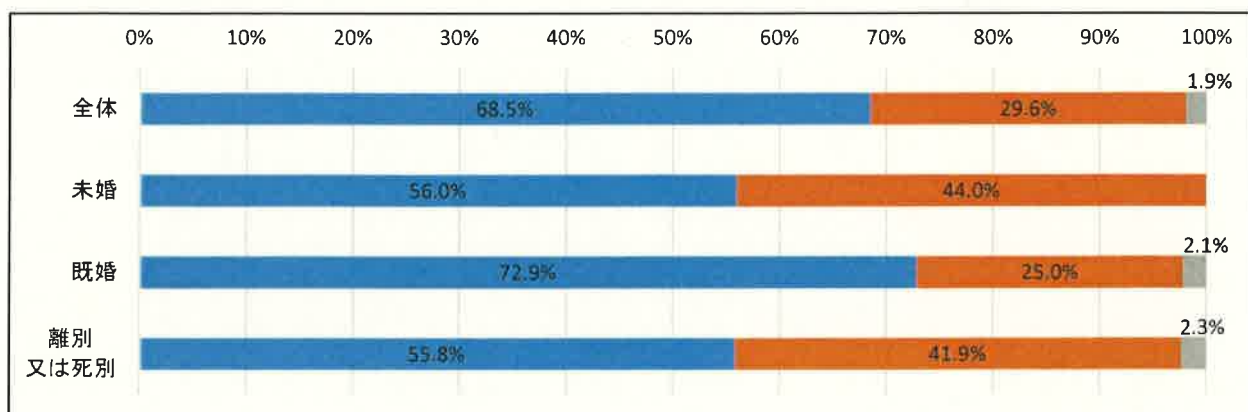
《性別》



《年代別》



《婚姻状況別》



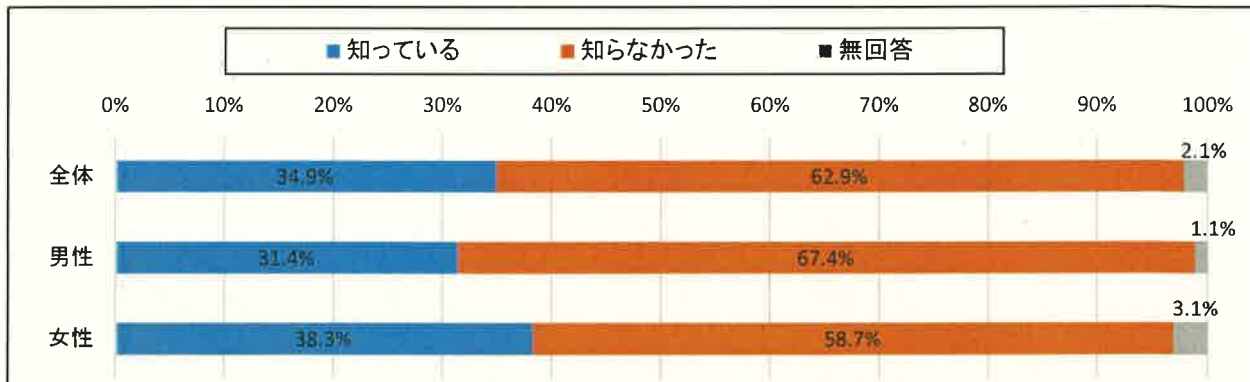
問23 飯綱町に子育てや介護中の女性などの就労支援施設として、相談支援や情報提供、各種講座の開催、在宅ワークスペースの提供などを行う、飯綱町ワークセンター“iワーク”があることを知っていますか。

●「知っている」と回答した割合が全体で34.9%となっており、性別回答では、女性が38.3%、男性が31.4%で6.9ポイントの差で女性が上回っている。

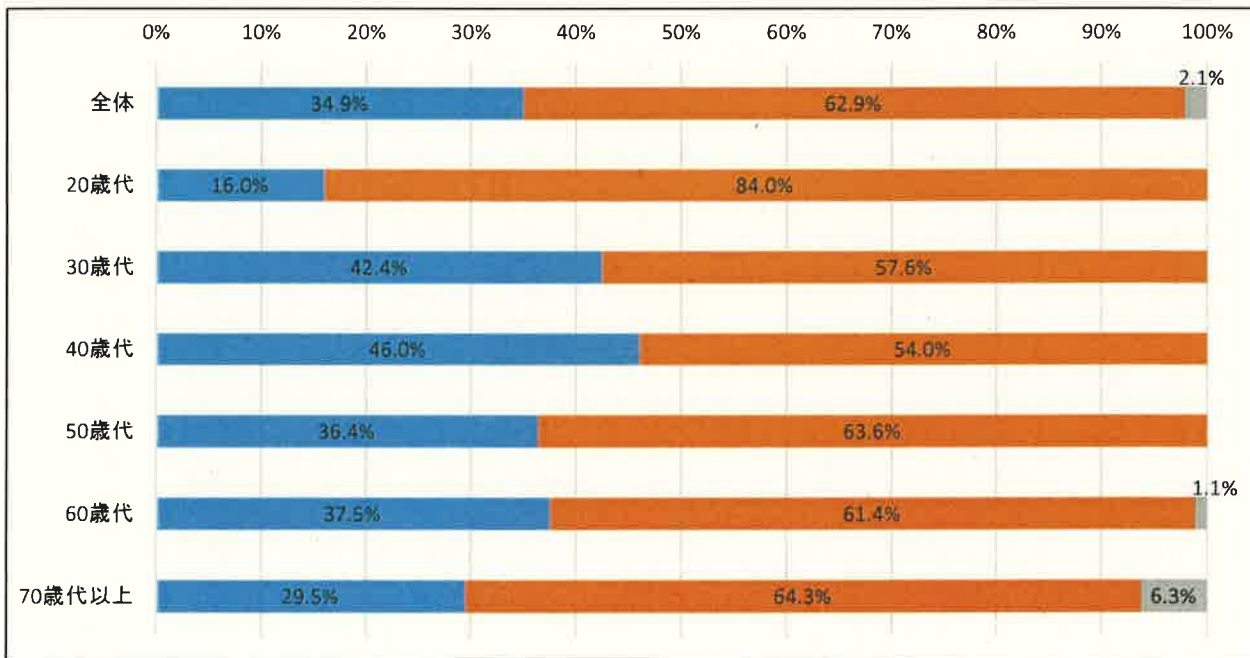
●年代別回答では、「知っている」と回答した割合が最も高いのが40歳代の46.0%で、最も低いのが20歳代の16.0%となっており、30.0ポイントの差となっている。

●婚姻状況別回答では、「知っている」と回答した割合が、既婚で38.6%、離別又は死別で34.9%、未婚で16.0%となっており、未婚の割合が低くなっている。

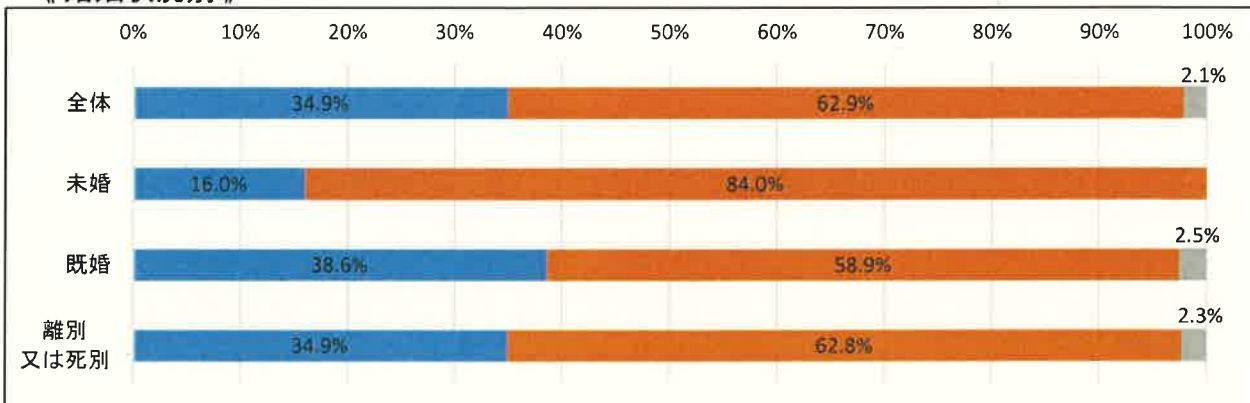
《性別》



《年代別》



《婚姻状況別》



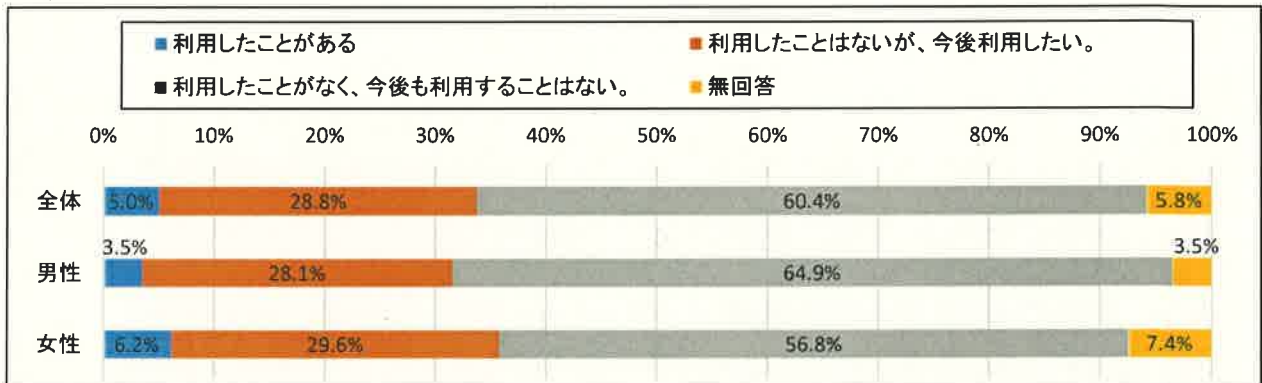
問24 問23で「知っている」とお答えいただいた方におたずねします。この飯綱町ワークセンター“i(アイ)ワーク”の利用について、あてはまるところの番号を1つを選んでください。

●「利用したことがある」と回答した割合が全体で5.0%となっており、性別回答では、女性が6.2%、男性が3.5%で2.7ポイントの差で女性が上回っている。また、「利用したことはないが、今後利用したい」と回答した割合は全体で28.8%となっており、性別回答では、女性が29.6%、男性が28.1%で、1.5ポイントの差で女性が上回っている。

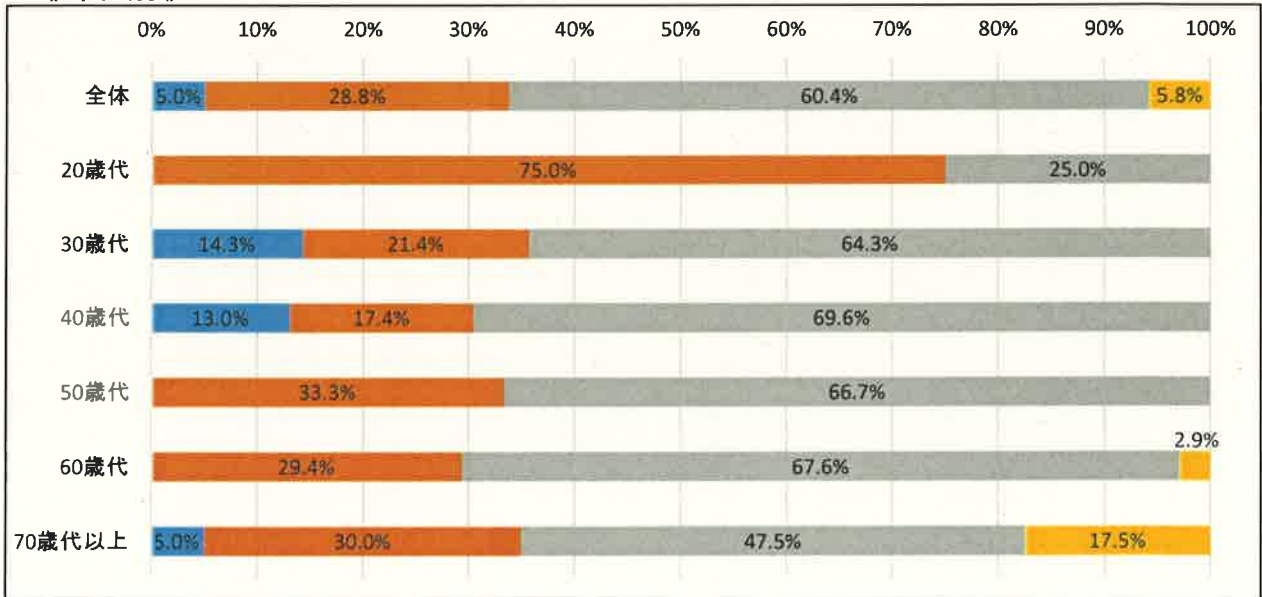
●年代別回答において、「利用したことがある」と回答があるのが、30、40歳代、70歳代以上のみであり、30歳代の回答割合が14.3%で最も高い。また、「利用したことはないが、今後利用したい」と回答した割合が最も高いのが20歳代で75.0%となっており、最も低いのが40歳代で17.4%と57.6ポイントの差となっている。

●婚姻状況別回答において、「利用したことがある」と回答があるのは既婚のみで6.1%となっている。また、「利用したことはないが、今後利用したい」と回答した割合は、未婚が50.0%、既婚が25.2%、離別又は死別が43.8%となっており、既婚の割合が低くなっている。

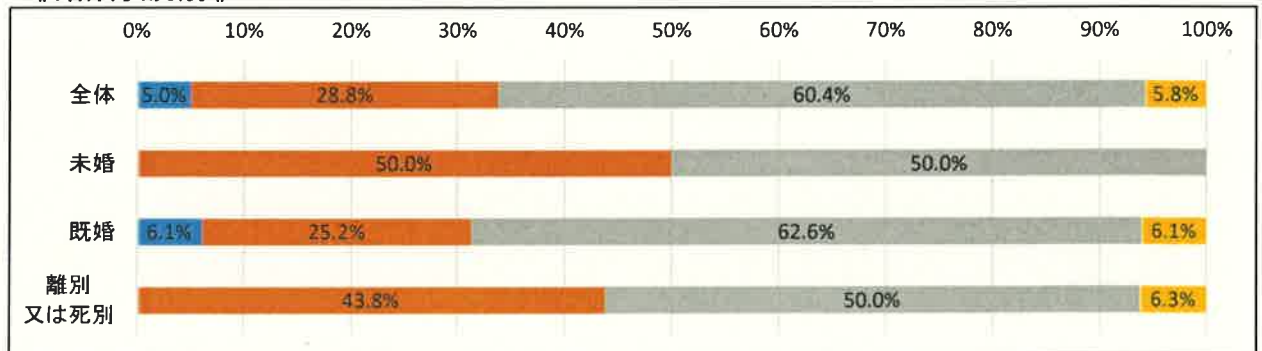
### 《性別》



### 《年代別》



### 《婚姻状況別》





## 2 ご意見・ご要望

◆男女共同参画を進めるにあたり、ご意見やご要望がありましたらご自由に記入してください。

内容	性別	年齢	婚姻状況	家族形態	自身の職業	配偶者の職業
問21の定義にあるように「性別に関わりなく」だから無理に（是非とも）数値目標を定めるべきではない。例えば、女性の昇進・幹部登用を無理に数値目標として設けてしまうと、女性だから有利な枠が逆に生じてしまい、今度は有能な男性がその分不利な扱いを受け逆差別が生じてしまう。	女	70歳代以上	離別又は死別	二世世代家族（子どもと）	無職	無回答
子ども、老人にとってよりよい社会になるよう若い人に望みます。	女	70歳代以上	既婚	二世世代家族（子どもと）	自営業（家族従事者）	自営業（家族従事者）
どんな事でもすぐに変えることはできなくとも、意識を持つことは大切だと思います。少しずつでも変わってきていると思います。	女	70歳代以上	既婚	二世世代家族（子どもと）	自営業（家族従事者）	自営業（自営業主）
今の若い人は考えが年配の人とはだいぶ違うと思うのでゆっくり世の中のことも変わっていくと思います。	女	70歳代以上	既婚	一世代（夫婦のみなど）	家事専業	家事専業
男女決めずに何事もその人に合った仕事を見つけられれば仕事も子育ても楽しくできるといいですね。	女	70歳代以上	離別又は死別	三世世代家族	その他	無回答
男だから女だからと決めつけるのではなく個人の能力にあるものを自由に発揮できるよう共に参画することだと思います。これからも長く進めていくべきである。	女	70歳代以上	離別又は死別	三世世代家族	その他	無回答
女性も男性も与えられた人生を精一杯生きることだと思います。自ずと自分の道が開けます。	女	70歳代以上	既婚	一世代（夫婦のみなど）	家事専業	無職
このアンケートについて、自分の意にそわない事もいくつかありますが一応答えさせていただきました。飯綱町がより一層発展することを願っています。	女	70歳代以上	既婚	一世代（夫婦のみなど）	家事専業	自営業（自営業主）
男女共に助け合って生活していきたいと思います。	女	70歳代以上	既婚	一世代（夫婦のみなど）	無職	無回答
飯綱町という地域の特性から考えて、まだ女性が他地域から結婚してくる人の方が多いと思います。その場合、私も含めてコミュニティーの役員とかどうしても関心が最初から薄くなりがちで、生まれたときから居住している夫に比べ遅れを取ってしまいがちです（一例として）。なんとかそこの壁を越えられるように社会全体で女性の参加を盛り上げていけるような活動がこれからは大事かと思われれます。	女	60歳代	既婚	二世世代家族（親と）	勤め人（パート・アルバイト）	勤め人（常勤・フルタイム）
幸福を感じられる生き方ができる町づくりをしてほしい。男性・女性と分けるのではなく、やれる人がやれることをしていくことが大切ではないか。各自の能力が発揮できれば良いと思う。新しいことを始めると、いろいろ言う人が出てくるが、良いことであれば前向きに行える環境になると良いと思う。	女	60歳代	既婚	三世世代家族	その他	その他
男女共同参画が進めばいいと思います。	女	60歳代	離別又は死別	一人暮らし	勤め人（パート・アルバイト）	無回答

内 容	性別	年 齢	婚姻 状 況	家族 形 態	自身の 職 業	配偶者 の職業
今まで生きてきた時代が男女平等・男女共同参画という時代で生きてきていないので、戸惑い遠慮などがありとても難しいとは思いますが、これからはそういう時代でありたいと願います。そのためには、地域に積極的に参加し自らも趣味などして行動していくことだと思ふ。	女	60歳代	既婚	二世世代家族 (子ども)	家事専業	無職
現在の飯綱町においては、まだまだ男性リーダーが多いです。地域活動において、飯綱町では男性が出る仕事が多いです。これからの女性は積極的に社会に出てほしいのでしょ。古い考えは捨てて、新しい社会になることを期待します。	女	60歳代	既婚	二世世代家族 (子ども)	自営業 (家族従事者)	自営業 (家族従事者)
活動の場、町内での仕事の紹介などを知り合いに声を掛けて決めることを無くしてほしい。選挙管理委員、保健指導員、民生委員、社協での仕事、区長など公けに募集してほしい。公平に声掛けが必要です。〇〇の推薦で決めることが多いと思ひます。同じ人にばかりいくのが多いと思ひます。地区内の役員は女性に回さないことが当然になっています。	女	60歳代	既婚	一人暮らし	無職	無回答
核家族になり共働きをしていれば、子どもの子育て学校関係などは女性の関わりのほうが多く、男性は仕事もなかなか休めず関わってもらえませんでした。年代別かもしれませんが、男性が役職などにつけば女性は協力しますが、女性が役職になってもなかなか家庭内で男性の協力を得るのは大変だと思ひます。育児休日・介護休日を男性が取得するには、会社が取りやすい環境にしなければ無理だと思ひます。帰る場所がなくなってしまうのでは？育児・介護は、まだまだ女性の仕事だと思ひている以上、変わらないのではないかと。男女共同参画にするためには、女性が働きやすい環境を作らないと難しいと思ひます。子育てしながら仕事ができること、病気の時に見てくれる人がいることなど子育て支援が必要。50歳代の私としては、今は良い時代になってきていると思ひます。家庭内のコミュニケーションが一番大切なのではないか。	女	50歳代	既婚	四世代家族	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (パート・アルバイト)
これからの時代は男女という性別の概念も変わっていくし、多様な働き方、生活、生き方が認められるように進めていけると良いと思ひます。お疲れ様です。	女	50歳代	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)
女性が家に居ない働いていると言うと『誰がご飯作るの？』と聞かれます。女性が食事を作るのがあたりまえの考えがあります。私自身もいつも食事のことはばかり考えながら仕事をしています。主人も協力してくれますが『今日は自分が作る』と言ひおいしい食事を作ってくれます。力仕事はやはり男性と思ひますが、食事を含め家事について家族で協力出来たら・・・まずは家庭生活において男女同じように家事ができたらと思ひます。	女	50歳代	既婚	二世世代家族 (親と)	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)

内容	性別	年齢	婚姻状況	家族形態	自身の職業	配偶者の職業
仕事の確保と意識改革が必要。周りのサポート。『お役所仕事』が多く、住民の意識をきちんと把握し進めていってほしい。子育て、独居老人、住みやすい環境を作り、役はその役になった人がやればいいと押しつけ感があり、役を逃れたいばかりに若者は定住しない。住民一体での役員をする、区ごとに選んで役をするのではなく、もっと違う方法で決めていき、一つの事をみんなで取り組む意識をもってもらえるように委員会の方にも考えてもらいたい。縦割りだけでなく、横のつながりも、分け隔てなく誰もが参加できる環境整備が必要だと思います。	女	50歳代	既婚	三世代家族	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)
男女平等とはわかっているが、日本の文化的に男は仕事、女は家庭という意識が強く、また、それでうまく回っていることも多い。これからの若い人たちは、平等の意識が備わって考え方も変わってきていると思う。	女	50歳代	既婚	三世代家族	勤め人 (常勤・フルタイム)	自営業 (自営業主)
男女平等というのは大切なことだと思います。選挙権がなかった時代の日本や今の諸外国の女性の低さなど。今は日本は少しずつ優遇されるようになってきました。でも結局子供を産むのは女性です。子育てとか介護などのケアを充実してもらえると家事などは家庭で話し合っ、女性も仕事をずっとできるのではないかと思います。	女	50歳代	既婚	二世代家族 (子どもと)	家事専業	勤め人 (常勤・フルタイム)
女性が自治会等の役員になることについてどう思うか？リーダーが男性であろうが女性であろうが大切なのはその人の人柄だと思うので地域活動に必要な方であれば女性でも「大変良い」と思います。ただ、昔からの地区なので女性になった時に男性がすんなり受け入れてくれるかどうか心配です。	女	50歳代	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	勤め人 (パート・アルバイト)	勤め人 (常勤・フルタイム)
男女共同参画が進んだおかげかかなり快適なワーク&ライフバランスを保っています。男女差も残り少ないのでは？能力差は差別ではなく区別するべきだと思います。ある事業所では「逆差別」が生まれて能力のある人が報われないこともあるそうです。難しいですね。左翼チックな飯綱町さすが先進&革新的だと常々感じています。適切にどうぞ頑張ってください。	女	50歳代	既婚	三世代家族	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)
問20について。役職と家庭の両立ができなければ無理と思う。	女	50歳代	既婚	二世代家族 (子どもと)	勤め人 (パート・アルバイト)	自営業 (自営業主)
男女共同参画社会の実現を目指し、飯綱町独自の男女共同参画づくりのためのアンケートだと思います。このアンケートの中に同じ質問があったり、質問内容やそれに対する答えの内容事項の選ぶ内容をもう少し吟味したら選びやすくなるのではないかと思います。	女	50歳代	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	勤め人 (常勤・フルタイム)	会社、団体等の経営者等

内容	性別	年齢	婚姻状況	家族形態	自身の職業	配偶者の職業
現実には、子育て・家事に従事しているのは圧倒的に女性が多いと思います。男性の収入だけでは生活できない若い世代は共働き家庭も多く、女性の負担は増すばかりです。すべて平等に役割分担するのは難しいと思いますが、女性が担って当たり前という風潮は変えていかなければならないと感じます。女性が結婚後、子育て等安心して働ける環境がもう少し整えば、男女共同参画が進展していくのでは・・・と思います。『男女共同参画』についてセミナー等を行い意識をもって頂くことも大切だと思います。	女	40歳代	既婚	四世代家族	勤め人 (パート・アルバイト)	勤め人 (常勤・フルタイム)
私は女性が多い職場に勤めているので、子どもが熱を出したとき、欠勤する職員（女性）が多いです。私は子どもがいないので、そういう機会は無くよくわかりませんが、子どもが熱を出してお父さんが早退することは今まで1度もありませんでした。やはり社会的にも女性が育児・介護をすることが普通に感じます。又、今までずっと育児・介護をしてきて経験豊富な女性がPTAや地域の関わるようなグループのリーダーをやっていないのも不思議です。でも、やっぱりリーダーという立場は頼られる人であるべきなので、社会的に男性の方が頼られる機会も経験も多いので男性が向いているのでは？と思います。	女	30歳代	未婚	二世世代家族 (親と)	勤め人 (常勤・フルタイム)	無回答
男性がもっと育児に関われる社会になればいいと思う。	女	30歳代	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	勤め人 (常勤・フルタイム)	無回答
個人、個人の意識の高揚を図ることが大切。	男	70歳代以上	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	自営業 (自営業主)	自営業 (家族従事者)
地域の自治会組織運営を男性（世帯代表）中心の運営から女性が積極的に参加できる組織運営が望ましい。	男	70歳代以上	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	会社、団体等の経営者等	会社、団体等の経営者等
男性には男性の形があり、女性には女性の形がある。これはどうやっても変わらない。これをこね合わせて違うものに作り上げるわけはいかない。しかしそうできればそれが全くの平等だ。男性が女性になれないように女性も男性にはなれない。いくら共同参画といっても男女全でおなじことを同じようにできない。性差というものがある。これを十分に認めて理解しあわないといがみ合いになる。それを間違えないように進めていくのはこれからの人の智恵だ。ということが男女共同でできるのかできないのは何なのかそれを知って論じないと方向性が判らなくなる。つまり男には子供は産めない。神から与えられた宿命だ。女だけが子どもを産めて育てられるという力を上は与えている。ある程度限界を知り「それは男の役目」「それは女の役目」と区別、峻別するのも割り切り方として理解する必要が両性にはある。	男	70歳代以上	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	無職	無職
なぜ今このようなアンケートが必要になったのかを知りたい。飯綱はもっとこのような問題に開放的だと思っていた。残念！！質問内容含めて。取組んで（具体的に）いるのであれば、もっとリアルな問いがほしかった。	男	70歳代以上	既婚	二世世代家族 (子どもと)	無職	家事専業

内 容	性別	年 齢	婚 姻 状 況	家 族 形 態	自 身 の 職 業	配 偶 者 の 職 業
行政として積極的に広報に努めるべきです。アンケート結果の周知をお願いします	男	70歳代 以上	既婚	一世代 (夫婦の みなど)	勤め人 (パート・ア ルバイト)	勤め人 (パート・ア ルバイト)
女性が変われば必ず社会も変化するはず、積極的な社会進出を望みます。日本一女性が住みたくなる町の指針に近づくように思います。新型コロナウイルスの波が完全にひとまず去ったタイミングを見計らい当町が主会場でのミニイベント企画などいかが。	男	70歳代 以上	既婚	一世代 (夫婦の みなど)	無職	家事専業
少子高齢化社会に向けて避けて通れない課題・問題です。男女共に社会づくり地域づくりに住民の力を発揮したいものです。	男	70歳代 以上	離別又 は死別	一人 暮らし	無職	無回答
男女共同参画で、女性だから男性だからと言うことをあまり決めつけすぎる。それ自体があまり進歩しない理由のひとつではないのかと思います。いきなり自治会、PTAなどで大役をやってもらっても、回りの男性なり女性はそのことについていろいろ言わないと思うし協力すると思う。市町村議会議員さん等にももっと女性が増えると良いと思う。立派な人はたくさんおられると思います。近年、若い人が少なくなり地域の行事等にも(祭礼・消防・公民館活動)女性が参加されそれで成り立っているところもある。それに対して、回りでも理解を得るのにあまり時間はかからないと思います。アンケートってどのように、またどの程度参考にされるのかいつも思っている。住民意識のひとつとして参考にしてもらえると良いと思います。最後に、皆さまのご苦勞に感謝申し上げます。	男	70歳代 以上	既婚	二世世代家族 (子どもと)	勤め人 (パート・ア ルバイト)	無職
個人、家族、地域すべての考え方が変わることでしか変革はない。10年程度では意識は変わらないように思う。	男	60歳代	既婚	三世代 家族	勤め人 (常勤・フ ルタイム)	勤め人 (常勤・フ ルタイム)
問10.11について：自営業（農業）を対象としたアンケートなのか判らない。対象としてないように思えた。	男	60歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	自営業 (自営業 主)	自営業 (家族従 事者)
男性、女性と区別することではなく、その人の個性や向き不向きでいろいろなことにチャレンジできる社会になると良いと思います。	男	60歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	自営業 (自営業 主)	自営業 (家族従 事者)
女性に強制するようなことはあってはならない。	男	50歳代	既婚	一世代 (夫婦の みなど)	勤め人 (常勤・フ ルタイム)	勤め人 (パート・ア ルバイト)
男女差別なく協力し合え、より良い家庭生活・社会生活ができる家庭・地域・社会になっていくことが大切だと思います。	男	50歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	勤め人 (常勤・フ ルタイム)	勤め人 (パート・ア ルバイト)

内容	性別	年齢	婚姻状況	家族形態	自身の職業	配偶者の職業
男性・女性がいてそれぞれ性格があり、共同参画どこまでがそうなのか能力があれば男女は問わないのでは？能力が無い人を役職に就けたり議員にしても仕方ない。	男	50歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (パート・アルバイト)
制度や法整備と両輪で機能する意識改革。価値観や考え方や国家地域自治体の選考組織変更で、国民住民へのリードを示していくことが必要と思います。笛吹けども踊らずの原因の本質の分析をして欲しいと思います。	男	40歳代	既婚	三世世代家族	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)
飯綱町でこのような計画策定を行っていることを知らなかった。ただ、アンケートを送るのではなく、現在の計画の概要版と進捗状況を同封するべきではないか。計画策定がゴールではなく、進行管理も併せて行う体制も必要である。飯綱町全体の意見として先日も地域福祉計画に関する無作為抽出アンケートを求められました。どのように選定しているのでしょうか？最近アンケートを求められる頻度が多く、また計画の内容も分からないまま回答しなければならず困っています。住民は行政が策定する計画をすべて把握しているわけではないので少なくとも現在の計画の概要版を同封すべきです。	男	40歳代	未婚	二世世代家族 (親と)	勤め人 (常勤・フルタイム)	無回答
○独身の立場でアンケートに答えましたがPTAの項目については正直子供がいるわけでもないので答えられませんでした。PTAの取り組みについてのアンケートは全保護者対象に行ってもよいのではと思います。 ○町の男女共同参画計画の詳細を全く知りません。どんな内容なのでしょう。このアンケートに計画内容を同封してそれを基にアンケート作成配布したほうが良かったのではと思います。	男	30歳代	未婚	二世世代家族 (親と)	勤め人 (パート・アルバイト)	無回答
そもそも、人間には向き不向きがありましてや男性と女性は根本的に造りや思考に違いがあるので、一色担に男女平等と掲げること事態に違和感を感じております。今の時代は簡単に自身の能力やスキルアップをアピールして職にできる時代です。地域のリーダーや管理職に女性が就くことが果たして平等の形かと問われたらそうではないと思います。表に出ていないだけで女性が中心となって活躍している企業はたくさんあります。私が思う平等は男女問わず一個人のスキルを尊重することだと思っております。問題点は家事、育児介護に偏見があることです。なぜならば家庭内で行われていることなのでそこに対価が支払われない。対価のないものに人は価値を持たないので「仕事」としてとらえられない。このような世の風潮が男女平等という言葉を生んだと思います。家事育児介護も立派な仕事です。物質的な金銭にはならないがそれに携わってくれる人がいるから間接的に収入を得ている家庭がほとんどです。つまり平等を掲げることによって不平等が生まれると感じています。男女平等という言葉自体が平等ではないと思っております。自由に記入と記載してありましたので私の考えを書かせていただきました。どうぞ一個人緒考えとしてお許しいただければ幸いです。ありがとうございました。	男	30歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	勤め人 (常勤・フルタイム)	家事専業

内 容	性別	年齢	婚姻 状況	家族 形態	自身の 職業	配偶者 の職業
人々の中にある男女の役割分担意識が一番の妨げになっている気がします。そのあたりの意識が変われば特別な制度が無くても参画が進むと思います。	男	30歳代	既婚	一世代 (夫婦のみなど)	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (常勤・フルタイム)
とにかく性別は関係ないと思う。	男	30歳代	既婚	二世世代家族 (子どもと)	勤め人 (常勤・フルタイム)	勤め人 (パート・アルバイト)
大学全入時代において、どの職種に就くかは個人のそれまでの努力や家庭環境に大いに左右される。今の職種に就くときに、ある程度はそこが男社会か女社会かが分かっていると思う。いざ職に就いた後で、もっと女性を云々、もっと男の地位を云々はわがままに感じる。私は男で看護師という女社会で過ごしているので特にそのように感じる。男女平等という名目で、優先されるのは大体女性。女性を優先した結果が男性を貶めることに繋がらないことを願う。	男	20歳代	未婚	二世世代家族 (親と)	勤め人 (常勤・フルタイム)	無回答
男女平等を目指す施策の推進は素晴らしいものであると思っております。事実、日本に於いても不適切な男女間の差別的意識が根付いていることは事実で、それについては是正されるべきです。一方、このような運動がジェンダーフリー思想にも結び付きやすいとも考えており、少々不安にも思います。男女（又はその他の性）の間には身体的・心理的な性差が存在し、時に考慮しなければかえって行き辛くなります。かと言って誰しもがステレオタイプなのではなく、個人差が性差を超えることもままありますので、それぞれに柔軟な対応が必要かもしれません。本アンケートは、自身の中に誤った性差観がないかを再考する良い機会になりました。ありがとうございました。具体的な案ができず申し訳ありません。追記：現在多くの公的機関や企業において、重役についている女性は少ない傾向にあり、女性の役員・議員を増やそうという意見が多くなっていると思います。事実、そういうポジションに女性がついた際は大きく取り沙汰されます。女性が重役に就くこと自体が珍しかったり、良く思われなかったりする現在においては、あえて女性の数、割合を増やすという取り組みは正しいと思っております。しかしながら、女性が重役に就くことが自然となった後には男女比の固定を実施すべきではないと考えます。重役選びの基準から性別が除かれ、真に能力で測られるようになった後には、男女比が男性側にも女性側にも変動的に傾るはずでです。よって、条例や法律で『女性議員を何割置かねばならない』といった具体的規程を定めてしまうと後に改正（撤回）するのは難しいためすべきではないと考えます。	男	20歳代	未婚	一人暮らし	勤め人 (常勤・フルタイム)	無回答





# 「男女共同参画計画策定に関する住民意識調査」

## (アンケート) ご協力をお願い

町民の皆さまには、日頃から町政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

飯綱町では、男女が社会のあらゆる分野に共に参画し、それぞれの個性や能力を十分に発揮しながら互いにいきいきと暮らすことのできる「男女共同参画社会」の実現に向けて、2010年に「飯綱町男女共同参画計画」を策定しました。

この調査は、計画策定後10年を経過するなかで、参画計画の見直しや今後の施策の実施を新たに検討するにあたって、町民の皆さんのお考えをお聞きするため、町内に在住する20歳以上の男女の方から700人を無作為に抽出し、実施させていただくものです。ご回答いただいた内容は、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年5月

飯綱町長 峯村 勝盛

### 調査票記入にあたってのお願い

- 記入にあたっては、原則としてあて名のご本人がお答えください。
- ボールペンまたは鉛筆などではっきりと記入してください。
- 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、( )内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

令和2年6月15日(月)までに郵便ポストに投函してください。

◆この調査(アンケート)に関するお問い合わせ先◆

飯綱町教育委員会 生涯学習係(飯綱町民会館内)

TEL: 253-6560 FAX: 253-6670

男女共同参画社会とは、女性も男性もすべての個人が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

**最初に、あなたご自身のことについておたずねします。**

あてはまるところの番号に○をしてください。

《性別》あなたの性別についてお聞きします。

- 1 男                      2 女                      3 答えたくない、その他

《年齢》あなたの年齢についてお聞きします。

- 1 20歳代              2 30歳代              3 40歳代              4 50歳代  
5 60歳代              6 70歳代以上

《未婚・既婚》あなたは結婚されていますか。

- 1 未婚                      2 既婚                      3 結婚していたが、離別又は死別

《家族形態》あなたの世帯構成は、どれにあたりますか。

- 1 一人暮らし      2 一世代（夫婦のみなど）      3 二世世代家族（子どもと）  
4 二世世代家族（親と）      5 三世世代家族      6 その他（                      ）

《自身の職業》あなたの職業についてお聞きします。

- 1 自営業（自営業主）      2 自営業（家族従事者）      3 勤め人（常勤・フルタイム）  
4 勤め人（パート・アルバイト）      5 会社、団体の経営者等      6 家事専業  
7 学生                      8 無職                      9 その他（                      ）

《配偶者の職業》配偶者の職業についてお聞きします（配偶者のいらっしゃる方のみ）

- 1 自営業（自営業主）      2 自営業（家族従事者）      3 勤め人（常勤・フルタイム）  
4 勤め人（パート・アルバイト）      5 会社、団体の経営者等      6 家事専業  
7 学生                      8 無職                      9 その他（                      ）

**男女平等についておたずねします。**

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 男女平等になっている
- 2 どちらかといえば、男女平等になっている
- 3 どちらかといえば、男女平等になっていない
- 4 男女平等になっていない
- 5 わからない

問2 あなたは現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位に差があると思いますか。(1)から(8)の項目について、あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

項 目	男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	差はない	どちらかと言えば女性が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
(1) 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
(2) 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
(3) 職場では	1	2	3	4	5	6
(4) 地域活動の場(自治会やNPO(非営利団体)など)では	1	2	3	4	5	6
(5) 政治や行政では	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりでは	1	2	3	4	5	6
(8) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問3 あなたは次の(1)から(9)の法律、制度やことばをご存知ですか。あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

項 目	内容まで知っている	少しは知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	全く知らない
(1) <u>男女共同参画社会</u> (男女が社会のあらゆる分野に共に参画し、それぞれの個性や能力を十分に発揮しながら暮らすことのできる社会)	1	2	3	4
(2) <u>男女雇用機会均等法</u> (募集・採用・配置・昇進について男性と均等な機会を与え、教育訓練・福利厚生・定年・退職・解雇について女性を理由に差別的扱いを禁止している)	1	2	3	4
(3) <u>女性活躍推進法</u> (女性の職業生活における活躍を推進する上での基本的方向や、指針・計画の策定に当たっての基本的な考えを示すもの)	1	2	3	4
(4) <u>ジェンダー</u> (社会的・文化的につくられた性別)	1	2	3	4
(5) <u>育児休業制度</u> (男女の労働者は、1歳未満の子の養育のために育児休業を取得できる)	1	2	3	4
(6) <u>介護休業制度</u> (①労働者は、要介護状態にある親族を介護するために、常時介護を必要とする状態ごとに、のべ93日を限度に介護休業を取得できる) (②小学校就学前の子を養育する労働者は、1年に5日まで子の看護のための休暇を取得できる)	1	2	3	4
(7) <u>家族経営協定</u> (家族農業経営に携わる世帯員の就業条件や労働報酬などの取り決めを文書化したもの)	1	2	3	4
(8) <u>セクシュアル・ハラスメント</u> (セクハラ・性的いやがらせ)	1	2	3	4
(9) <u>ドメスティック・バイオレンス</u> (DV・配偶者、恋人等からの暴力)	1	2	3	4

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはこの考え方をどう  
 思われますか。あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

**家庭生活についておたずねします。**

問5 次の(1)から(7)の考え方について、あなたはどう思いますか。各項目  
 について、あてはまるところの番号を1つを選んで○をつけてください。

項 目	そ う 思 う	そ う 思 う と い え ば	ど ち ら か い え ば	な い と い え ば	そ う 思 わ ない
(1) 男性は外の仕事、女性は家事・ 子育て・介護に向いている	1		2	3	4
(2) 男女とも仕事をもったほうが よい	1		2	3	4
(3) 家事・子育て・介護は男女が 協力してやるべきだ	1		2	3	4
(4) 子どものしつけや教育は母親の 責任である	1		2	3	4
(5) 子どもが幼いうちは、女性は 家庭にいたほうがよい	1		2	3	4
(6) 子どもは、女の子は優しく、男 の子はたくましく育てたほうがよい	1		2	3	4
(7) しきたりや慣習は、自分が嫌だ、 時代に合わないと思っても守る べきだ	1		2	3	4

問6 現在、配偶者がいらっしゃる方にお聞きします。家庭生活での家事などの分担はどのようになさっていますか。(1)から(11)の項目について、あてはまるところの番号を1つを選んで○をつけてください。

項 目	夫の役割	どちらかといえば夫の役割	夫と妻と同程度	どちらかといえば妻の役割	妻の役割	わからない
(1) 家庭における重大問題の決定	1	2	3	4	5	6
(2) 家計の管理	1	2	3	4	5	6
(3) 食事づくり	1	2	3	4	5	6
(4) 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
(5) 掃除	1	2	3	4	5	6
(6) 洗濯	1	2	3	4	5	6
(7) 買い物	1	2	3	4	5	6
(8) ゴミだし	1	2	3	4	5	6
(9) 子どものしつけや家庭教育	1	2	3	4	5	6
(10) 家族の介護	1	2	3	4	5	6
(11) 自治会等地域でのつきあい	1	2	3	4	5	6

**子育て・教育についておたずねします。**

問7 あなたは、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく」という育て方についてどのように思いますか。あてはまるところの番号を1つを選んで○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

問8 あなたは、お子さんをどのように育てたいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。 お子さんがおられない場合は、お子さんがいると仮定してお答えください。

(1) 男の子の場合

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 活発で行動力がある | 2 思いやりがあり優しい心をもつ |
| 3 誠実である     | 4 気配りが出来る        |
| 5 指導力がある    | 6 自立心が旺盛である      |
| 7 誰にでも好かれる  | 8 家事能力がある        |
| 9 職業能力がある   | 10 特にない          |
| 11 その他 ( )  |                  |

(2) 女の子の場合

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 活発で行動力がある | 2 思いやりがあり優しい心をもつ |
| 3 誠実である     | 4 気配りが出来る        |
| 5 指導力がある    | 6 自立心が旺盛である      |
| 7 誰にでも好かれる  | 8 家事能力がある        |
| 9 職業能力がある   | 10 特にない          |
| 11 その他 ( )  |                  |

問9 男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 出席簿や並び方の順番など、男女を分ける慣習をなくす
- 2 学校での指導において、男女の別なく個性を生かせるように配慮する
- 3 教職員に対して、男女共同参画に関する研修を充実する
- 4 男女平等の意識を育てる授業をする
- 5 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
- 6 保護者会などを通じ、男女平等教育を啓発する
- 7 その他 ( )
- 8 わからない

**仕事についておたずねします。**

問10 現在、職業をお持ちの方にお聞きします。仕事をする上でどのような不安・不満や悩みがありますか。あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 賃金が安い     | 2 労働時間が長い    |
| 3 休日が少ない    | 4 職場の人間関係が悪い |
| 5 仕事の量が多すぎる | 6 ない         |
| 7 その他 ( )   |              |

問 11 現在、職業をお持ちの方にお聞きします。あなたの今の職場では、男女の扱いについて、平等になっていると思いますか。(1)から(9)の項目について、あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

項 目	い る 男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て	ど ち ら か と い え ば 男 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	差 は な い	ど ち ら か と い え ば 女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て い る	い る 女 性 の 方 が 優 遇 さ れ て	わ か ら な い
(1) 募集や採用	1	2	3	4	5	6
(2) 賃金	1	2	3	4	5	6
(3) 昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
(4) 幹部への登用	1	2	3	4	5	6
(5) 仕事の内容	1	2	3	4	5	6
(6) 教育訓練・研修	1	2	3	4	5	6
(7) 退職・解雇	1	2	3	4	5	6
(8) 福利厚生	1	2	3	4	5	6
(9) 休暇の取得	1	2	3	4	5	6

問 12 あなたは、女性の職業へのかかわり方について最も望ましいと思われる形態はどれにあたると思われますか。あてはまるところの番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 結婚するまで職業を持つ
- 2 子どもができるまで職業を持つ
- 3 子育ての期間を除き職業を持つ
- 4 子育ての期間を含めて一生職業を持つ
- 5 一生職業を持たない
- 6 その他（具体的に
- 7 わからない



問 13 あなたは、女性が仕事を続けていくなかで、障害となっていると思われることは何だと思いますか。あてはまるところの番号をいくつでも選んで○をつけてください。

- 1 家事や育児との両立が難しい
- 2 育児休業制度・介護休業制度など企業（会社）の労働環境整備が図られていない
- 3 高齢者や病人など介護・看護があること
- 4 家族の協力や理解が得にくいこと
- 5 企業（会社）は女性が結婚・出産後も仕事を続けることを嫌う
- 6 企業（会社）が女性に責任のある仕事を任せない
- 7 男性に比べて賃金が低く、職種も限られている
- 8 結婚や出産のとき退職の慣行がある
- 9 その他（具体的に )
- 10 障害はない
- 11 わからない

問 14 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、おたずねします。

(1) あなたが理想とする（希望する）生活に最も近いものを下の枠から1つ選んで番号を記入ください。 → (            )

(2) 次に、あなたの現実（現状）の生活に最も近いものを下の枠から1つ選んで番号を記入ください。 → (            )

1. 「仕事」優先
2. 「家庭生活」優先
3. 「地域・個人の生活」優先
4. 「仕事」と「家庭生活」を優先
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を全て尊重
8. わからない

問 15 今後、男性が女性とともに育児・介護に参加していくためには、どのようなことが重要になるとお考えですか。あてはまるところの番号を1つを選んで○をつけてください。

- 1 男性が育児休暇・介護休暇制度を利用しやすくなること
- 2 男性のための育児や介護講座を充実すること
- 3 男性自身が育児や介護に取り組む意識を持つこと
- 4 男性が気軽に育児や介護の問題について相談できる窓口を設ける
- 5 家族の間で育児や介護について十分に話し合う
- 6 その他 ( )
- 7 わからない

**介護についておたずねします。**

問 16 あなたご自身が、介護が必要になった時、どなたに世話をしてほしいとお考えですか。あてはまるところの番号を1つを選んで○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 配偶者           | 2 娘              |
| 3 息子            | 4 息子の配偶者         |
| 5 娘の配偶者         | 6 自宅で受けられる福祉サービス |
| 7 病院・老人ホームなどの施設 | 8 わからない          |
| 9 その他 ( )       |                  |

**社会参加についておたずねします。**

問 17 あなたが現在参加している活動についておたずねします。

(1) 次の中からあなたが参加している活動を全て選んで○をつけてください。

- 1 町内会、自治会、公民館などの地域組織の活動
- 2 PTA などの子育てや教育に関する活動
- 3 農業関係団体などの農業・農村振興に関する活動
- 4 食生活改善などの保健・福祉に関する活動
- 5 環境保全や自然保護などの環境に関する活動
- 6 NPO の活動
- 7 その他の活動 (具体的に : )
- 8 参加している活動はない → (2)へ

(2) 「参加している活動はない」とお答えいただいた方におたずねします。  
参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号を2つまで  
選んで○をしてください。

- 1 地域や団体の活動に参加する時間がないから
- 2 参加したいと思う活動や団体が身近にないから
- 3 参加するきっかけがないから
- 4 興味がないから
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 18 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。  
あてはまるところの番号を3つまで選んで○をしてください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 3 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
- 4 夫婦の間で家事などの役割分担をするように話し合うこと
- 5 子どもに対し家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
- 6 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 7 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 8 その他( \_\_\_\_\_ )
- 9 わからない

問 19 女性が地域活動のリーダーになることについておたずねします。

(1) 女性が自治会等の役員になることについてどう思えますか。あてはまる  
ところの番号1つを選んで○をつけてください。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 大変良い     | 2 多少いても良い |
| 3 良いとは思わない | 4 わからない   |

(2) 女性の社会参画は進みつつありますが、自治会の長、PTA 会長などには、まだ女性が少ない現状です。このような方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をしてください。

- 1 役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから
- 2 自治会などの団体の代表は男性が担うことがしきたりや慣習になっているから
- 3 家族の支援・協力が得られないから
- 4 家庭・職場・地域における性別役割分担意識や性差別の意識があるから
- 5 女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから
- 6 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(3) あなたは、自治会長や PTA 会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思えますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をしてください。

- 1 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
- 3 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
- 4 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
- 5 女性が地域リーダーに一定の割合でなるような取組を進めること
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 7 特に必要なことはない
- 8 わからない

問 20 あなたが、次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。この中からいくつでも番号に○をしてください。

- 1 閣僚（国務大臣）、県、市町村の首長
- 2 国会議員、県議会議員、市町村議会議員
- 3 国家公務員、地方公務員の管理職
- 4 裁判官、検察官、弁護士
- 5 大学教授・学長
- 6 小中学校・高校の教頭・副校長・校長
- 7 企業の管理職
- 8 起業家、経営者
- 9 自治会長、町内会長
- 10 PTA 会長
- 11 農業委員・農協役員
- 12 防災会議委員、消防団員
- 13 特にない
- 14 その他
- 15 わからない

**男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについておたずねします。**

問 21 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することが出来る社会」です。「男女共同参画社会」を実現するために、どのようなことが必要だと思えますか。特に重要だと思ふ番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 行政の審議会、委員会の委員や管理職など、政策決定の場への女性の登用
- 2 民間企業・団体などの管理職への女性の登用
- 3 地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進
- 4 職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底
- 5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 6 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
- 7 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職の支援
- 8 子育て・育児に関する支援の充実
- 9 高齢者の施設・介護サービスの充実
- 10 健康や福祉に関する相談の充実
- 11 広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発
- 12 保育園・学校における男女平等教育の推進
- 13 社会教育・生涯学習の場で男女の平等、相互理解などについての学習の充実
- 14 その他（具体的に )

15 わからない

問 22 あなたは、配偶者等からの暴力について相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

(窓口とは、配偶者暴力相談支援センター(女性相談センターや男女共同参画センター)、警察、法務局、民間の専門機関など)

- 1 知っている      2 知らなかった

問 23 あなたは、飯綱町に子育てや介護中の女性などの就労支援施設として、相談支援や情報提供、各種講座の開催、在宅ワークスペースの提供などを行う、飯綱町ワークセンター “iワーク” があることを知っていますか。

- 1 知っている      2 知らなかった

問 24 問 23で「知っている」とお答えいただいた方におたずねします。  
この飯綱町ワークセンター “iワーク” を利用について、あてはまる  
ところの番号を1つを選んで○をしてください。

- 1 利用したことがある      2 利用したことはないが、今後利用したい。  
3 利用したことがなく、今後も利用することはない。

男女共同参画を進めるにあたり、ご意見やご要望がありましたら  
ご自由に記入してください。

調査（アンケート）にご協力いただき、ありがとうございました。  
この調査票を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに  
投函してください。





# 男女共同参画に関する住民意識調査報告書

令和2年9月作成

作成・編集 飯綱町教育委員会 生涯学習係

飯綱町大字牟礼1989(町民会館内)

電 話 026-253-6560

F A X 026-253-6670

電子メール [gakushu@town.iizuna.nagano.jp](mailto:gakushu@town.iizuna.nagano.jp)